

DocuPrint 4400 d
DocuPrint 3500 d
DocuPrint 3200 d

ユーザーズガイド

Adobe、Acrobat、Reader、PostScript、および PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple, iPhone, AirPrint, iPad, Bonjour, macOS, OS X, and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Android、Google、Google Chrome、および Google Cloud Print は、Google Inc. の登録商標または商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMA) の商標です。

RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mopria および Mopria ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、ContentsBridge、PDF Bridge、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

ApeosWare および DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは DocuPrint 4400 d/3500 d/3200 d（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読みなおしてご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

目次

はじめに	3
目次	4
1 お使いいただく前に	9
1.1 マニュアル体系	9
1.2 本書の使い方	10
本書の構成	10
本書の表記	10
1.3 各部の名称と働き	12
操作パネル	15
1.4 本機で使用している記号	17
2 本機のセットアップ	18
2.1 電源について	18
電源を入れる	18
電源を切る	18
2.2 本機をコンピューターに接続する	19
有線 LAN で接続する	19
USB で接続する	19
無線 LAN で接続する	20
IP アドレスを設定する	25
Windows® 用のソフトウェアをインストールする	29
Linux 用のプリンタードライバーをインストールする	32
3 本機の基本操作	33
3.1 ディスプレイの表示について	33
3.2 節電機能について	34
節電モードを設定する	34
節電モードを解除する	34
節電モードに移行しない場合について	34
3.3 用紙について	35
弊社が推奨する用紙	35
各トレイで利用できる用紙質量と枚数	35
用紙の保管と取り扱い	37
3.4 用紙をセットする	39
手差しトレイに用紙をセットする	39
用紙トレイ 1 とトレイモジュール（用紙トレイ 2 ～ 4）（オプション）に 用紙をセットする	44
トレイの用紙サイズを設定する	50
トレイの用紙種類を変更する	52
用紙別の画質処理を設定する	53
自動トレイ選択について	55
手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する	55

4 プリント 58

4.1	コンピューターからプリントする	58
4.2	プリントを中止する / 確認する	60
	プリントを中止する	60
	プリント指示したデータの状態を確認する	61
4.3	はがき / 封筒にプリントする	62
	はがき / 封筒をセットする	62
	はがき / 封筒にプリントする	62
4.4	定形外サイズ用の紙にプリントする	65
	定形外サイズの用紙をセットする	65
	定形外サイズを登録する	65
	定形外サイズの用紙にプリントする	67
4.5	さまざまな種類の用紙にプリントする	69
4.6	機密文書をプリントする - セキュリティプリント -	72
	セキュリティプリント機能について	72
	セキュリティプリントをする	73
4.7	出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -	76
	サンプルプリント機能について	76
	サンプルプリントをする	76
4.8	指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -	80
	時刻指定プリント機能について	80
	時刻指定プリントをする	80
	時刻指定プリントを中止する	82
4.9	プライベートプリント	83
	プライベートプリント機能について	83
	プライベートプリントをするための設定	84
	プライベートプリントをする	84
	プリントデータを削除する	84
4.10	認証プリント	86
	認証プリントについて	86
	認証プリントをするための設定	86
	認証プリントをする	87
4.11	PDF ファイルを直接プリントする	89
	PDF ファイルを直接プリントする方法	89
4.12	DocuWorks ファイルを直接プリントする	91
	DocuWorks ファイルを直接プリントする方法	91
4.13	電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -	93
	メール受信プリントをするための環境設定	93
	メールを受信する	97
	メールを手動で受信してプリントする	100
	メールによる文書送信時のご注意	101

5 スマートフォン／タブレットからのプリント 102

5.1	本機をスマートフォン／タブレットと接続する	102
	Wi-Fi で接続する	102
	Wi-Fi Direct で接続する	103
5.2	Print Utility を使ってプリントする	107
5.3	その他のサービスを利用する	108
	AirPrint	108
	Google クラウド プリント	109
	Google クラウドプリントに本機を登録する	110
	Mopria プリントサービス	112

6	本体の設定を変更する	114
6.1	共通メニューの概要	114
	メニューの構成	114
	設定を変更する	117
6.2	共通メニュー項目の説明	119
	[レポート / リスト]	119
	[メーター確認]	119
	[機械管理者メニュー]	119
	[プリント言語の設定]	190
	[言語切り替え]	196
7	便利な使いかた	197
7.1	CentreWare Internet Services を使う	197
	Web ブラウザーの設定	198
	CentreWare Internet Services を起動する	199
	ヘルプの使い方	201
7.2	本機に付属するソフトウェアを使う	202
	概要	202
	ソフトウェアをアップデートする	202
7.3	RAM ディスクを使用するための設定	203
7.4	セキュリティー機能について	205
	セキュリティー機能の概要	205
	複製管理機能について	207
	強制アノテーション機能について	208
	監査ログ機能について	208
7.5	暗号化機能を設定する	209
	証明書の種類	209
	暗号化機能について	209
	HTTP の通信を暗号化するための設定	210
	IPSec を使用して暗号化するための設定	214
7.6	ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について	218
	認証 / 集計管理機能の概要	218
	認証 / 集計管理機能を使用するための設定	219
	IC カード読み取り装置を利用するための設定	224
8	日常管理	226
8.1	消耗品を交換する	226
	トナーカートリッジを交換する	227
	ドラムカートリッジを交換する	229
8.2	レポート / リストをプリントする	235
	レポート / リストの種類	235
	レポート / リストをプリントする	238
8.3	プリントページ数を確認する	240
	総プリントページ数を確認する (メーター)	240
	コンピューター別にプリントページ数を確認する ([プリンター集計レポート])	241
	機能別にプリントページ数を確認する ([機能別カウンターレポート])	242
8.4	電子メールで本機の状態を確認する	243
	メール通知サービスで通知される情報	243
	メール通知サービスを使用するための設定	243
8.5	ペーパーレジを補正する	246
8.6	清掃する	249

本体外部を清掃する	249
用紙送りローラーを清掃する	249

9 困ったときには 256

9.1	紙づまりの処置	256
	フロントカバー [A] での紙づまり	256
	リアカバー [B] での紙づまり	263
	用紙トレイ 1 ～ 4 での紙づまり	264
	手差しトレイでの紙づまり	267
9.2	機器本体のトラブル	268
9.3	プリントのトラブル	270
9.4	印字品質や画質のトラブル	273
9.5	トレイや用紙送りのトラブル	281
9.6	ネットワーク関連のトラブル	282
	無線 LAN 接続時のトラブル	282
	Wi-Fi Direct 接続時のトラブル	282
	CentreWare Internet Services 使用時のトラブル	283
	メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル	284
	IPv6 接続時のトラブル	285
	IPv6 環境でのプリント時のトラブル	285
	その他 IPv6 使用時のトラブル	285
9.7	エラーコード	287

10 付 録 330

10.1	主な仕様	330
	本体	330
	トレイモジュール (オプション)	336
	内蔵フォント	337
10.2	オプション製品について	340
10.3	消耗品、定期交換部品の寿命について	341
10.4	本機を移動するときは	343
10.5	カスタムモードについて	344
10.6	最新のソフトウェアを入手する	345
10.7	本機のファームウェアを更新する	346
10.8	ART IV、ESC/P エミュレーションについて	347
	エミュレーションについて	347
	フォントについて	348
	排出機能について	349
	エミュレーションモードでのプリント機能	351
	ART IV、および ESC/P に関連する共通メニュー	352
	ESC/P 設定項目一覧	353
	エミュレーションモードのリストについて	360
	ESC/P モード関連資料	361
10.9	PC-PR201H エミュレーションについて	368
	エミュレーションについて	368
	フォントについて	369
	排出機能について	369
	エミュレーションモードでのプリント機能	371
	PC-PR201H に関連する共通メニュー	372
	201H 設定項目一覧	372
	201H モードのリストについて	379
	201H モード関連資料	380

	リセット時の状態一覧	388
10.10	HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて	389
	エミュレーションについて	389
	工場出荷時の設定	390
	フォントについて	390
	排出機能について	391
	HP-GL、HP-GL/2 に関連する共通メニュー	392
	HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧	393
	HP-GL、HP-GL/2 モードのリストについて	400
10.11	PCL エミュレーションについて	401
	エミュレーションについて	401
	フォントについて	402
	排出機能について	402
	エミュレーションモードでのプリント機能	404
	PCL に関連する共通メニュー	404
	PCL 設定項目一覧	405
	PCL モードのリストについて	407
10.12	無線 LAN キット（オプション）の取り付け	409
10.13	トレイモジュール（オプション）の取り付け	410
10.14	フェイスアップトレイ（オプション）の取り付け	415
10.15	専用キャスター台（オプション）の取り付け	416
10.16	Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（オプション）のインストール	419
10.17	機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）の取り付け	421
10.18	セキュリティ拡張キット（オプション）のインストール	423
10.19	セカンダリーイーサネットキット（オプション）の取り付け	425
10.20	地震対策キット（バンドタイプ）（オプション）の取り付け	427
10.21	地震対策キット（ゲルタイプ）（オプション）の取り付け	429
10.22	シリアル番号（機械番号）を確認する	430
	操作パネルメニュー一覧	431

1 お使いいただく前に

1.1 マニュアル体系

簡単操作ガイド（冊子）	本機の設置手順、本機を安全にお使いいただくためのご注意、トラブルシューティング、本体同梱メディア（「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）の使いかたについて説明しています。
ユーザーズガイド（本書） （「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）	本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。

1.2 本書の使い方

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、プリント環境の設定、プリントのしかた、使用できる用紙、日常のお手入れ方法などについて記載しています。

本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。

1 お使いいただく前に	操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。
2 本機のセットアップ	本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
3 本機の基本操作	節電機能、使用できる用紙、および用紙のセット方法について説明しています。
4 プリント	プリントの基本的な操作方法と、機能について説明しています。
5 スマートフォン／タブレットからのプリント	本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリント方法について説明しています。
6 本体の設定を変更する	操作パネルで設定できる項目と、その設定方法について説明しています。
7 便利な使いかた	機械管理者を対象に、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりするツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
8 日常管理	消耗品の交換方法やレポート / リストのプリント方法など、日常の管理について説明しています。
9 困ったときには	トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。
10 付 録	主な仕様、オプション製品の紹介、消耗品の寿命、製品情報の入手方法、および各エミュレーションについて説明しています。

本書の表記

- ・本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- ・本書に掲載している画面は、実際の画面と異なる場合があります。
- ・本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

 **注記** : 注意すべき事項を記述しています。必ず、お読みください。

 **補足** : 補足事項を記述しています。

 **参照** : 参照先を記述しています。

- ・本文中では、次の記号を使用しています。

参照「 」: 参照先は、本書内です。

参照『 』: 参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

[] : コンピューターや本機の操作パネルのディスプレイに表示されるメニュー、項目、メッセージを表します。また、本機から出力されるレポート / リスト名を表します。

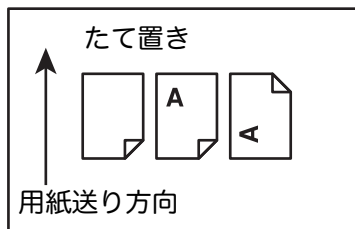
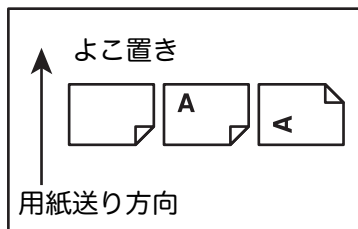
< > : キーボード上のキーや、本機の操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

> : 操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。

・本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。

よこ置き : 本機正面から見て、用紙をよこ長にセットした状態を表しています。

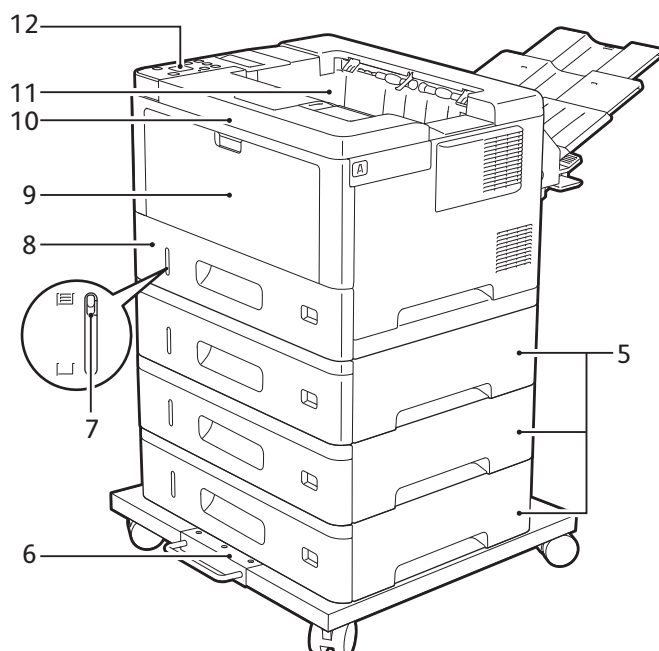
たて置き : 本機正面から見て、用紙をたて長にセットした状態を表しています。



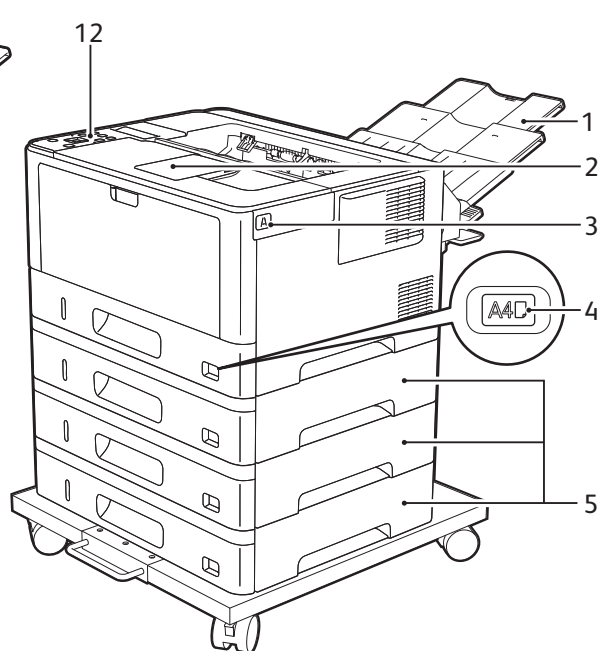
1.3 各部の名称と働き

前面

■ DocuPrint 4400 d



■ DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d

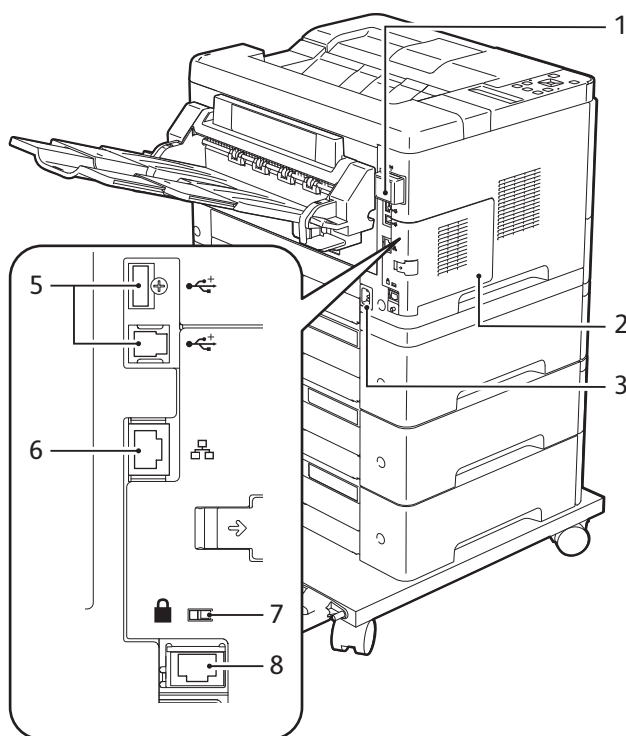


イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

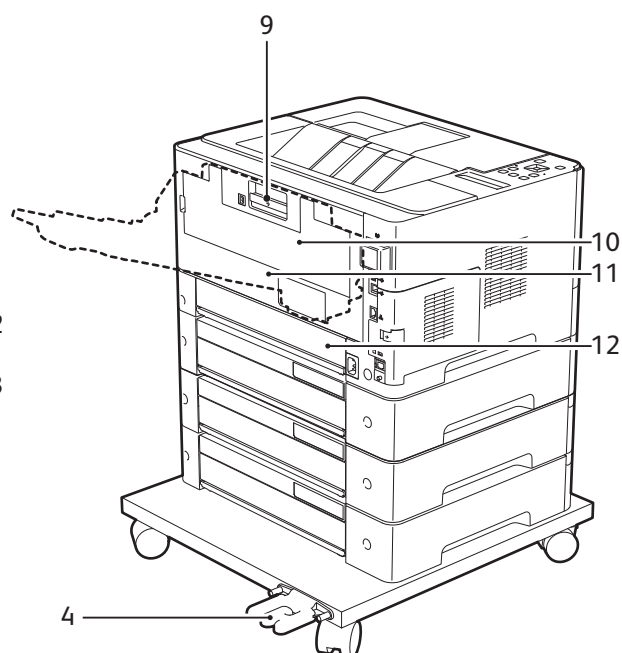
No.	名称	説明
1	フェイスアップトレイ（オプション）	プリント面を上にして用紙が排出されます。
2	排出延長トレイ	持ち上げて排出トレイを延長します。
3	A ボタン	フロントカバーを開けるときに押します。
4	用紙サイズ表示	トレイ内の用紙サイズ設定ダイヤルで設定した用紙サイズと向きが表示されます。
5	用紙トレイ 2～4（オプション）	用紙をセットします。
6	専用キャスター台（オプション）	移動時に使用します。
7	用紙残量表示	用紙トレイ内の用紙残量を確認できます。
8	用紙トレイ 1	用紙をセットします。
9	手差しトレイ	用紙トレイ 1～4 にセットしていない用紙、またはできない用紙（厚紙などの特殊用紙）をプリントするときに使用します。
10	フロントカバー	消耗品を交換するときや詰まった用紙を取り除くときに開けます。
11	センタートレイ	プリント面を下にして用紙が排出されます。
12	操作パネル	電源ボタン、操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。  参照 ・「操作パネル」(P. 15)

背面

■ DocuPrint 4400 d



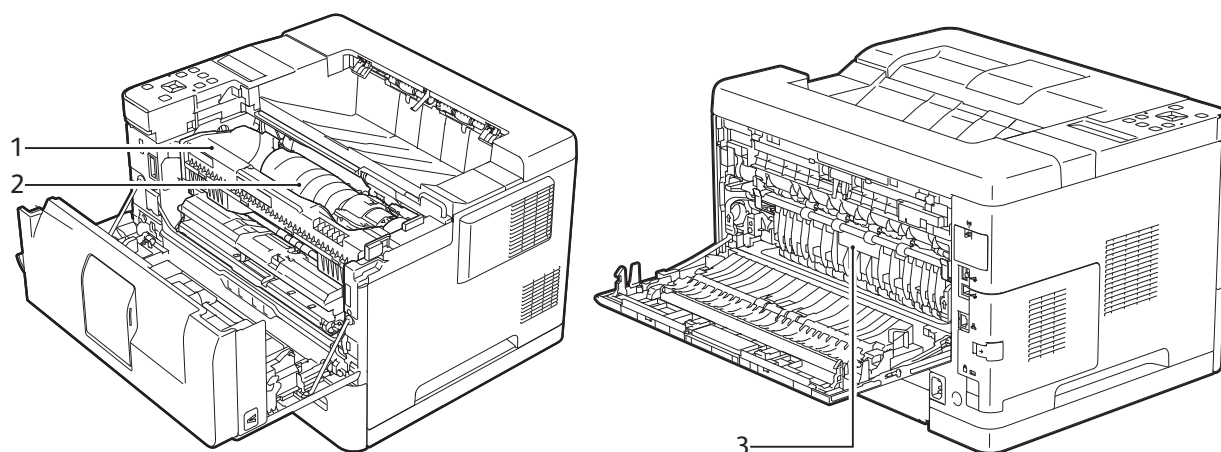
■ DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d



イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

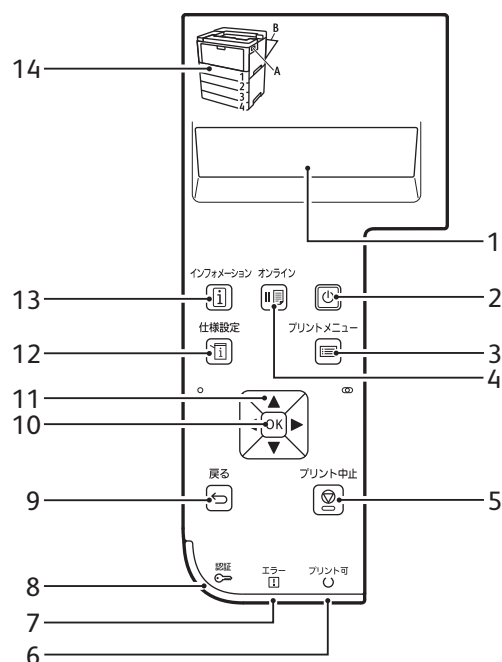
No.	名称	説明
1	無線 LAN キット (オプション)	本機を無線 LAN で接続するときに取り付けます。
2	左カバー	オプションの機能拡張キット (ハードディスク)などを装着するときに開けます。
3	電源コード接続部	電源コードを接続します。
4	ケーブルフック	専用キャスター台 (オプション) を装着している場合に、電源コードを巻きつけます。
5	USB インターフェイスコネクター	USB ケーブルを接続します。
6	イーサネットインターフェイスコネクター	ネットワークケーブルを接続します。 ! 注記 セカンダリーイーサネットキット (オプション) を装着している場合は No.8 のセカンダリーイーサネットコネクターにケーブルを接続します。
7	セキュリティロックスロット	セキュリティロックを取り付けます。
8	セカンダリーイーサネットコネクター (オプション)	セカンダリーイーサネットキット (オプション) を装着している場合に、ネットワークケーブルを接続します。
9	B レバー	背面カバーを開けるときに押し下げます。
10	背面排出カバー	フェイスアップトレイ (オプション) を装着するときに取り外します。
11	リアカバー	紙づまりを処理するときなどに開けます。
12	ダストカバー	用紙トレイ (オプション) を装着するときに取り外します。

内部



No.	名称	説明
1	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。
2	トナーカートリッジ	トナー（画像形成剤）が入っています。
3	定着ユニット	トナーを用紙に定着させる装置です。 ！ 注記 ・ 高温時に触れないように注意してください。

操作パネル



No.	名称	説明
1	ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。 電源を入れると【お待ちください】と表示されます。この表示が【プリントできます】に変わるとプリントできます。 カード認証時には、認証したユーザー ID を約 2 秒間表示します。  参照 ・「本機のセットアップ」(P. 18)
2	⏻(電源) ボタン	・本機の電源を入れる / 切るときに押します。 ・節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。 本機が節電状態に入ると点灯します。  参照 ・電源を入れる / 切る方法については、「2.1 電源について」(P. 18) を参照してください。 ・節電機能については、「3.2 節電機能について」(P. 34) を参照してください。
3	☰(プリントメニュー) ボタン	セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書をプリントするときに押します。  補足 ・この機能を使用するには、機能拡張キット（オプション）を取り付けるか、RAM ディスクを有効にします。 ・使用環境によって、使用できるプリント機能が異なります。 本機で可以使用機能については、「操作パネルメニュー一覧」(P. 431) を参照してください。  参照 ・「7.3 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 203)

No.	名称	説明
4	⏏️<オンライン> ボタン	⏏️<オンライン> ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、○<プリント可> ランプが消灯し、プリント処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（プリント可能な状態）に移行します。
5	⏏️<プリント中止> ボタン	プリントを中止します。
6	○<プリント可> ランプ	点灯中は、プリントが可能です。
7	❗<エラー> ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅、または点灯します。
8	🔑<認証> ランプ	オプションの IC カード認証時に点灯します。
9	⬅️<戻る> ボタン	メニュー画面のとき、ひとつ前の項目に戻ります。
10	OK ボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。
11	⬆️<▲> <▼> <◀> <▶> ボタン	メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移行します。 💡 補足 ・ <▲> <▼> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▲> と <▼> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
12	⚙️<仕様設定> ボタン	メニュー画面に移行します。
13	ℹ️<インフォメーション> ボタン	ディスプレイにℹ️マークが表示されているときにこのボタンを押すと、詳細情報が表示されます。
14	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。

1.4 本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

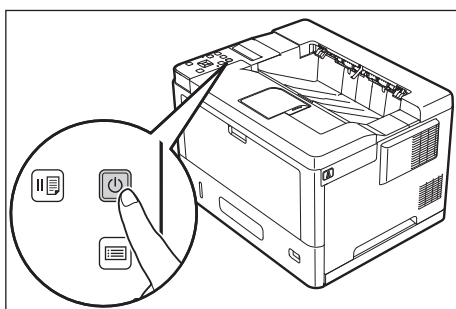
記号	説明	記号	説明
	注意、危険、警告		用紙のプリント面を上セット
	高温注意		用紙のプリント面を下セット
	接触禁止		最大積載量
	分解禁止		用紙残量
	トナーカートリッジを火中に投じないこと		紙づまり
	ドラムカートリッジを直射日光に当てないこと		LAN
	電源オン/オフ		USB
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと		トナー
	インクジェット紙を使用しないこと		操作方向
	OHP フィルムを使用しないこと		ロック
	用紙		ロック解除

2 本機のセットアップ

2.1 電源について

電源を入れる

1. ㊤〈電源〉ボタンを押します。

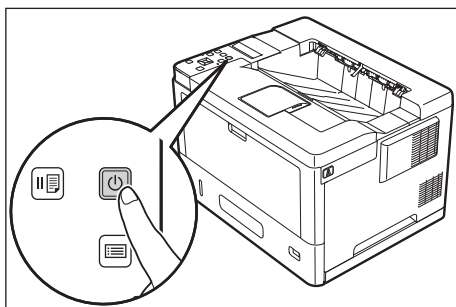


電源を切る

❗ 注記

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- ・ プリント中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリーに蓄えられた情報は消去されます。
- ・ ㊤〈電源〉ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフの処理をしています（㊤〈電源〉ボタン点滅）。再度、電源を入れる場合は、㊤〈電源〉ボタンが完全に消灯してから入れてください。
- ・ 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、10 秒待ってから入れてください。

1. ㊤〈電源〉ボタンを押します。



2. ディスプレイに[電源を切る]が表示されていることを確認し、**[OK]**ボタンを押します。

💡 補足

- ・ 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。緊急時に容易に電源コードを抜くことができるように、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

2.2 本機をコンピューターに接続する

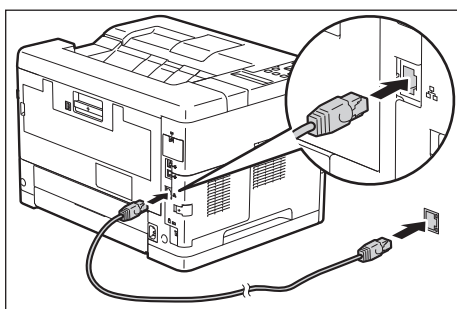
本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。

有線 LAN で接続する

1. 本機と LAN ポートまたはハブを LAN ケーブルで接続します。

💡 補足

- ・セカンダリーイーサネットキット（オプション）を装着している場合は、セカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続します。



2. 本機の IP アドレスを設定します。

📖 参照

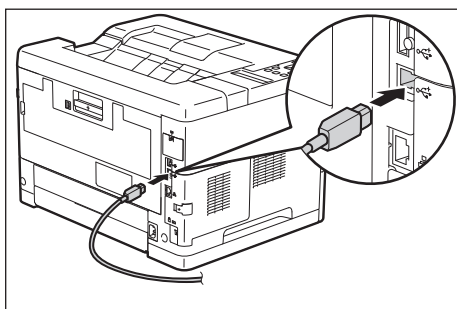
- ・IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを設定する」(P. 25) を参照してください。

USB で接続する

本機の電源が入っていない状態で、コンピューターを USB ケーブルで接続します。

⚠ 注記

- ・本機を USB ハブに接続しないでください。



無線 LAN で接続する

無線 LAN を使うために必要な作業

無線 LAN を設定する前に、次の操作をしてください。

1. 無線 LAN キット（オプション）が本機に接続されていることを確認します。



・詳しくは、「10.12 無線 LAN キット（オプション）の取り付け」（P. 409）を参照してください。

無線 LAN 接続の設定方法は次のとおりです。

- ・本機の操作パネルから、自動設定で接続する
「無線 LAN に自動設定で接続する」（P. 20）
- ・本機の操作パネルから、手動設定で接続する
「無線 LAN に手動設定で接続する」（P. 22）

無線 LAN に自動設定で接続する

本機は WPS（プッシュボタン方式）および WPS（PIN コード方式）を使用した無線 LAN 接続に対応しています。

WPS（プッシュボタン方式）では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。

WPS（PIN コード方式）では、本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

どちらの方法も無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。



・無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

■ WPS（プッシュボタン方式）で接続する場合

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定 レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定 機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定 TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
Wi-Fi 設定
6. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態
7. [WPS セットアップ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
WPS セットアップ
8. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[PBC 開始] が表示されます。

WPS セットアップ
PBC 開始
9. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[[OK] キーで接続] が表示されます。

PBC 開始
[OK] キーで接続
10. ^{OK}ボタンを押します。

接続中です
[中止]でストップ
11. 無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを 2 分以内に押します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

■ WPS (PIN コード方式) で接続する場合

1. 操作パネルのⁱ〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー
3. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク/ポート設定
4. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク/ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態

7. [WPS セットアップ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
WPS セットアップ

8. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[PBC 開始] が表示されます。

WPS セットアップ
PBC 開始

9. [PINCode] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

WPS セットアップ
PINCode

10. 〈▶〉または  ボタンを押します。
表示される PIN コードをメモします。

01234567
[OK] キーで接続

11.  ボタンを押します。

接続中です
[中止] でストップ

12. PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。



- 参照
・ PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN に手動設定で接続する

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選ぶか、または SSID を指定して無線 LAN に接続します。



- 補足
・ 無線 LAN アクセスポイントの SSID と、WEP キーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

■ 無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態

7. [アクセスポイント検索] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
アクセスポイント検索

8. 〈▶〉または  ボタンを押します。
アクセスポイントの一覧が表示されます。

アクセスポイント一覧
AP-abcdedg

9. 〈▲〉または 〈▼〉ボタンを押して、接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、 ボタンを押します。

アクセスポイント一覧
AP-abcdedg

補足

- ・ 無線 LAN アクセスポイントが表示されない場合は、手動で入力して SSID を設定します。詳しくは、「SSID を手動で入力して接続する場合」(P.23) を参照してください。

10. WEP キーまたはパスフレーズを入力し、 ボタンを押します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

■ SSID を手動で入力して接続する場合

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態

7. [SSID 直接入力] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
SSID 直接入力

8. 〈▶〉または  ボタンを押します。

SSID 直接入力
[]

9. SSID を入力し、〈▶〉または  ボタンを押します。
[ネットワークタイプ] が表示されます。

ネットワークタイプ
インフラストラクチャ

10. 〈▼〉ボタンを押して [インフラストラクチャ] または [アドホック] をお使いの環境に合わせて選び、 ボタンを押します。

ネットワークタイプ
インフラストラクチャ

 補足

- ・ [Wi-Fi Direct 設定] が有効な場合は、[アドホック] を使用できません。

11. 〈▼〉ボタンを押して、暗号化方式を設定します。

12.  ボタンを押します。

13. 必要に応じて WEP キーまたはパスフレーズを入力し、 ボタンを押します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

IP アドレスを設定する

IP アドレスの設定／変更方法について説明します。

本機の操作パネルから設定する

- | | |
|---|---|
| 1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。 | <div>仕様設定
レポート / リスト</div> |
| 2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。 | <div>仕様設定
機械管理者メニュー</div> |
| 3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。 | <div>機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定</div> |
| 4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。 | <div>ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定</div> |
| 5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。 | <div>TCP/IP 設定
IP 動作モード</div> |
| 6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[デュアルスタック] が表示されます。 | <div>IP 動作モード
デュアルスタック</div> |
| 7. [IPv4] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。 | <div>IP 動作モード
IPv4</div> |
| 8.  ボタンを押します。 | <div>IP 動作モード
IPv4</div> |
| 9.  〈戻る〉 ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。 | <div>TCP/IP 設定
IP 動作モード</div> |
| 10. [Ethernet] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。 | <div>TCP/IP 設定
Ethernet</div> |

11. <▶> または ボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。
12. <▶> または ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
13. IP アドレスの割り当て方法を設定します。
自動で設定する場合は、<▲> または <▼> ボタンを押して、[DHCP/AutoIP]、[BOOTP]、[RARP]、または [DHCP] を選んで ボタンを押します。手順 28 に進みます。
手動で設定する場合は、次の手順に進みます。
14. [手動] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。
15. <▶> または ボタンを押します。
16. ⏪<戻る> ボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。
17. [IP アドレス (IPv4)] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。
18. <▶> または ボタンを押します。
現在の IP アドレスが表示されます。
19. IP アドレスを入力し、 ボタンを押します。
(例：192.0.2.1)
20. ⏪<戻る> ボタンで [IP アドレス (IPv4)] に戻ります。
21. [サブネットマスク] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

Ethernet
IP アドレス取得方法

IP アドレス取得方法
• DHCP/AutoIP

IP アドレス取得方法
• DHCP/AutoIP

IP アドレス取得方法
手動

IP アドレス取得方法
・手動

Ethernet
IP アドレス取得方法

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

IP アドレス
• 000.000.000.000

IP アドレス
• 192.000.002.001

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

Ethernet
サブネットマスク

22. <▶> または  ボタンを押します。
現在のサブネットマスクが表示されます。
23. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、 ボタンを押します。
(例：255.255.255.000)
24. <◀> または  <戻る> ボタンで [サブネットマスク] に戻ります。
25. [ゲートウェイアドレス] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。
26. <▶> または  ボタンを押します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。
27. IP アドレスと同様に、ゲートウェイアドレスを入力し、 ボタンを押します。
(例：192.168.1.254)
28. これで、設定は終了です。
 <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。

サブネットマスク
•000.000.000.000

サブネットマスク
•255.255.255.000

Ethernet
サブネットマスク

Ethernet
ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレス
•000.000.000.000

ゲートウェイアドレス
•192.168.001.254

IP アドレスを確認する

設定内容は、操作パネルの画面または機能設定リストで確認できます。

■ 操作パネルを使用する

1. 操作パネルの  <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
3. <▶> または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

仕様設定
レポート / リスト

仕様設定
機械管理者メニュー

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. <▶> または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク/ポート設定
TCP/IP 設定

5. <▶> または  ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード

6. [Ethernet] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

TCP/IP 設定
Ethernet

7. <▶> または  ボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

Ethernet
IP アドレス取得方法

8. [IP アドレス (IPv4)] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

9. <▶> または  ボタンを押します。
IP アドレスが表示されます。

IP アドレス
192.0.2.1

10.  <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

■ 機能設定リストを使用する

1. 機能設定リストをプリントします。



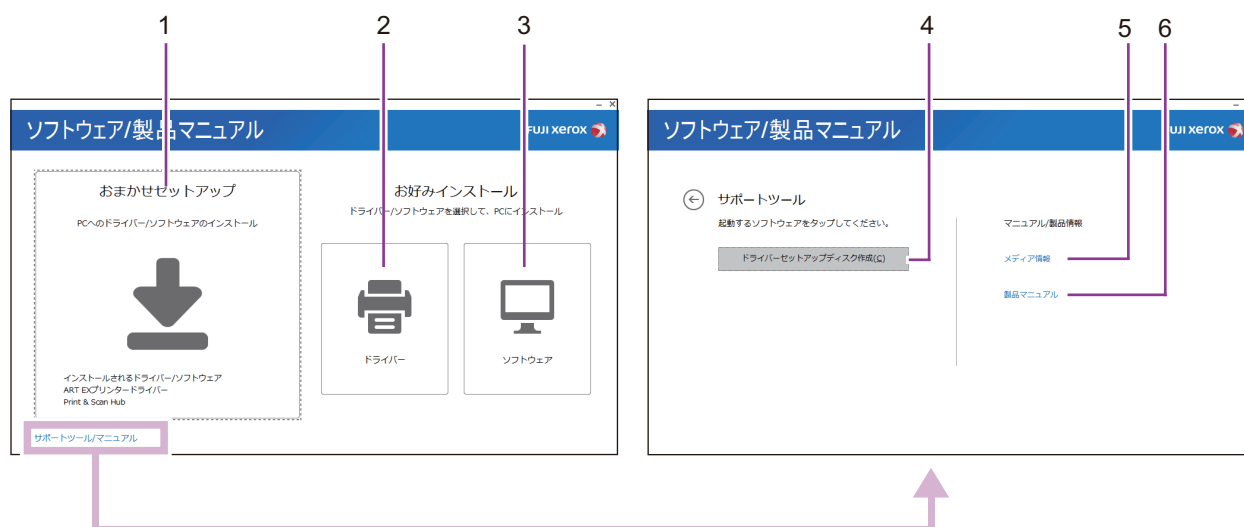
- ・ リストのプリント方法については、「8.2 レポート / リストをプリントする」(P. 235) を参照してください。

2. リストの [コミュニケーション設定] の項目内に記載されている IP アドレスを確認します。

Windows® 用のソフトウェアをインストールする

「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。



1 【おすすめセットアップ】

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ・ART EX プリンタードライバー
- ・Print & Scan Hub
- ・Supply Monitor



- ・インストール方法については、「【おすすめセットアップ】でインストールする」(P. 30) を参照してください。
- ・Print & Scan Hub については、「Print & Scan Hub (Windows®)」(P. 202) を参照してください。

2 【おすすめインストール】 > 【ドライバー】

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ・ART EX プリンタードライバー
- ・PS ドライバー H3 (Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (平成 3 書体) 用)
- ・PS ドライバー J2 (Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (モリサワ 2 書体) 用)
- ・共通プリンタードライバー



- ・インストール方法については、「【おすすめインストール】でインストールする」(P. 31) を参照してください。



補足

- ・共通プリンタードライバーは、Microsoft Edge® などの Windows® ストアアプリからのプリントに最適化された Windows® 8.1 以降用の V4 プリンタードライバーです。Windows® ストアアプリからのプリント設定について、機種標準のプリンタードライバーに比べ、より多くの機能を提供します。Windows® ストアアプリ以外のアプリケーションからのプリントについては、機種標準ドライバーに比べて利用可能な機能が一部制限されます。

3 [お好みインストール] > [ソフトウェア]

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility
- Supply Monitor



- ・インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P. 31) を参照してください。
- ・ソフトウェアについては、「7.2 本機に付属するソフトウェアを使う」(P. 202) を参照してください。

4 [サポートツール] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負荷を軽減できます。



- ・セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 [メディア情報]

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

6 [製品マニュアル]

ユーザーズガイド（本書）を表示できます。

[おまかせセットアップ] でインストールする



- ・事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P. 19)
 - 「USB で接続する」(P. 19)
 - 「無線 LAN で接続する」(P. 20)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



- ・「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

💡 補足

- ・ 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」 (P. 19)
 - 「USB で接続する」 (P. 19)
 - 「無線 LAN で接続する」 (P. 20)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクをコンピューターにセットします。

💡 補足

- ・ 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」(「D」は光学ディスクドライブの名称) を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ドライバ] または [ソフトウェア] をクリックします。

[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 5 に進みます。



3. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。

4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。

5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

3 本機の基本操作

3.1 ディスプレイの表示について

本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

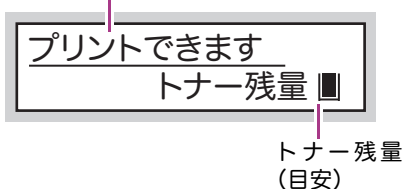
💡 補足

- ・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示されるメッセージは異なります。
- ・ ディスプレイに **i** マークが表示されているときに **i** 〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

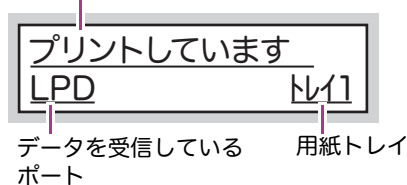
プリント画面

本機の状態を表示します。レディー時またはプリント中は、プリント画面に次のように表示されます。

本機の状態（レディー時）



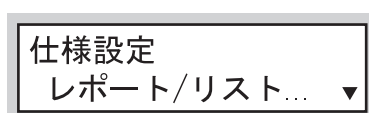
本機の状態（プリント中）



メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。

メニュー画面は、**i** 〈仕様設定〉 ボタンを押して表示します。メニュー画面を表示すると、次のように表示されます。



📖 参照

- ・ メニュー画面で設定できる項目：「6 本体の設定を変更する」(P. 114)

3.2 節電機能について

本機には、レディー時の電力消費を抑える、節電モードが搭載されています。節電モードには、低電力モードと、スリープモードの2種類があります。

スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにして、消費電力を最低の値に下げます。ただし、ウォームアップ時間としては、低電力モードよりも長くなります。

低電力モードは、完全には電源を切りませんが、定着ユニットの温度を、本機の電源を切ったときとレディー状態の中間に制御するなどにより、消費電力とウォームアップ時間のバランスをとったモードです。

❗ 注記

- ・定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。節電モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

💡 補足

- ・レディー状態とは、画面に「プリントできます」と表示されている状態のことです。

節電モードを設定する

本機では、低電力モード / スリープモードに移行するかどうかを、それぞれ設定できます。また、低電力モード / スリープモードに切り替わるまでの時間を設定できます。

💡 補足

- ・低電力モードとスリープモードは、どちらかのモードだけを有効にすることもできます。
- ・低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
- ・低電力モードとスリープモードの設定を変更する手順：「[低電力モード]」(P. 149)、「[スリープモード]」(P. 150)

節電モードを解除する

節電モードは、コンピューターからデータを受信すると、自動的に解除されます。

本機にICカード読み取り装置（オプション）を接続している場合には、低電力モード時にICカードをタッチすると、低電力モードが解除されます。スリープモードのときには解除されません。

手動で節電モードを解除するには、操作パネルの⏻〈電源〉ボタンを押します。

節電モードに移行しない場合について

次のようなときには、本機に発生している現象をお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために、低電力モードやスリープモードに移行しません。

- ・操作パネルで何らかの操作をしているとき
- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、いずれか1つでも交換メッセージが表示されているとき
- ・定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
- ・紙づまり、カバーオープンなどの操作を必要としているとき
- ・故障などによりエラーが発生しているとき
- ・結露防止モードが有効に設定されているとき

3.3 用紙について

弊社が推奨する用紙



警告

- ・電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にプリントをするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の画質処理
P 紙	64 g/m ²	普通紙	普通紙 B

その他の用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店へお問い合わせください。

再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

用紙名	メートル坪量	古紙パルプ配合率
G70	67 g/m ²	70%
C ^{2r}	70 g/m ²	70%

各トレイで利用できる用紙質量と枚数

■ 用紙種類

各トレイにセットできる用紙種類および最大収容枚数は、次のとおりです。



参照

- ・用紙のセットについては、「3.4 用紙をセットする」(P. 39) を参照してください。



補足

- ・メートル坪量とは、1 m² の用紙 1 枚の質量をいいます。

用紙トレイ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数*
手差しトレイ	普通紙（60～80 g/m ² ）、 普通紙（うら面）（60～80 g/m ² ）、 再生紙（60～80 g/m ² ）、 再生紙（うら面）（60～80 g/m ² ）、 上質紙（81～105 g/m ² ）、 上質紙（うら面）（81～105 g/m ² ）、 厚紙 1（106～163 g/m ² ）、 厚紙 1（うら面）（106～163 g/m ² ）、 厚紙 2（164～220 g/m ² ）、 厚紙 2（うら面）（164～220 g/m ² ）、 ラベル紙、 はがき（190 g/m ² ）、 はがき（うら面）（190 g/m ² ）、 封筒、 封筒（うら面）、 ユーザー 1～5（60～80 g/m ² ）	10 mm まで 100 枚 💡 補足 ・ 10 枚（封筒） ・ 45 枚（郵便はがき）
用紙トレイ 1 用紙トレイ 2～4（オプション）	普通紙（60～80 g/m ² ）、 再生紙（60～80 g/m ² ）、 上質紙（81～105 g/m ² ）、 厚紙 1（106～163 g/m ² ）、 厚紙 2（164～220 g/m ² ）、 ラベル紙、 はがき（190 g/m ² ）、 封筒、 ユーザー 1～5（60～80 g/m ² ）	用紙トレイ 1 の場合 ・ DocuPrint 4400 d : 550 枚 ・ DocuPrint 3500 d/3200 d : 250 枚 用紙トレイ 2～4（オプション） の場合 ・ トレイモジュール (550) : 550 枚 ・ トレイモジュール (250) : 250 枚

* 弊社 P 紙の場合

❗ 注記

- ・ 用紙は、サイズや種類に合わせて、必ず適切なトレイにセットしてください。また、プリンタードライバーや操作パネルでは、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選んでプリントしてください。用紙のセットや、設定方法が適切でないと、紙づまりの原因になります。
- ・ 水、雨、蒸気などの水分により、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

■ 使用できる用紙の規格

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。

用紙トレイ	規格（メートル坪量）
手差しトレイ	60～220 g/m ²
用紙トレイ 1	60～220 g/m ²
用紙トレイ 2～4（オプション）	60～220 g/m ²

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙づまりや故障、画質への影響、および装置破損の原因になります。

- ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙（坪量が 59 g/m² 以下または 221 g/m² 以上）
- ・白い枠付きの OHP フィルム
- ・フォトペーパー、コート紙
- ・トレーシングペーパー
- ・電飾フィルム
- ・インクジェット用紙（専用紙、OHP フィルム、はがき）
- ・静電気で密着している用紙
- ・貼り合わせた用紙、糊付けされた用紙
- ・紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- ・表面加工したカラー用紙
- ・感熱紙 / 熱転写用紙
- ・感光紙
- ・カーボン紙、またはノンカーボン紙
- ・ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・凹凸や止め金、窓、剥離紙付きの糊のある封筒。中身が封入された封筒、またはクッション入りの封筒
- ・タックフィルム
- ・水転写紙
- ・布地転写用紙
- ・ミシン目のある用紙
- ・レザック紙（凹凸処理、エンボス処理を施した用紙）
- ・折り紙やカーボン含有紙などの導電性をもつ用紙
- ・しわや折れ、破れのある用紙
- ・湿っている用紙、ぬれている用紙
- ・波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ・一度プリント後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- ・他のプリンターやコピー機で、一度印刷された用紙
- ・ベタの裏紙（裏面全体に印刷されている用紙）
- ・台紙全体がラベルなどで覆われてないラベル紙、ラベルがはがれかかっているラベル紙、糊がしみ出しているラベル紙
- ・長期間放置した用紙
- ・裏写り防止用の白粉（マイクロパウダー）が塗布された用紙
- ・穴があいている用紙
- ・大量のタルク成分を含んだ用紙

用紙の保管と取り扱い

■ 用紙の保管

- ・用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- ・開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- ・用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- ・直射日光を避けて保管してください。

■ 用紙の取り扱い

- ・用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。

- ・サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ・ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

3.4 用紙をセットする

💡 補足

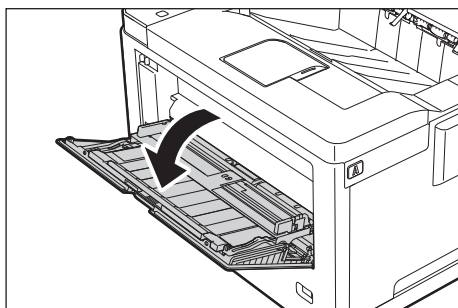
- ・ プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

手差しトレイに用紙をセットする

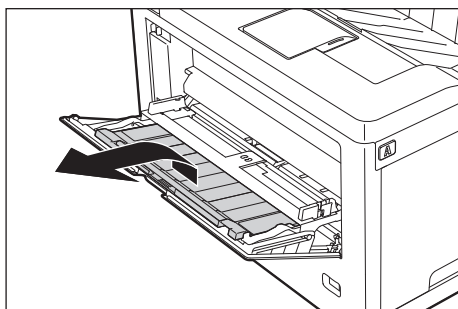
⚠ 注記

- ・ 電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- ・ 種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
- ・ プリント中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 手差しトレイには、用紙以外のものを置かないでください。また、無理な力を加えて、手差しトレイを押し下げないでください。

1. 手差しトレイを、手前に引いて開けます。

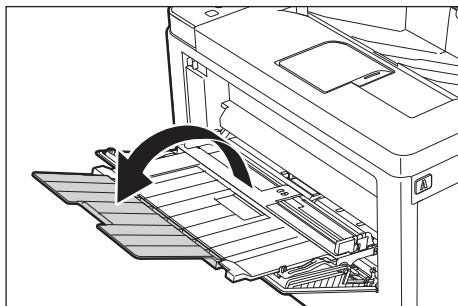


2. トレイを浮かせて、引き出します。



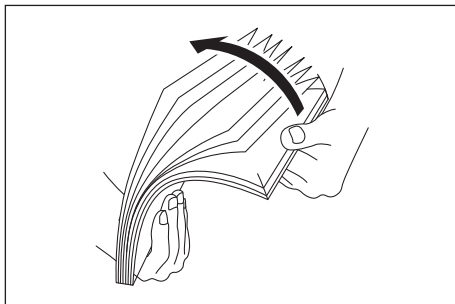
💡 補足

- ・ 必要に応じて、延長トレイを開きます。延長トレイを開くときは、ゆっくりと開いてください。

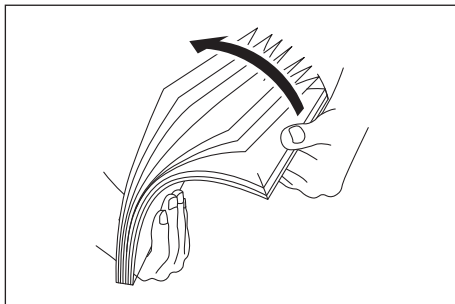


3. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。

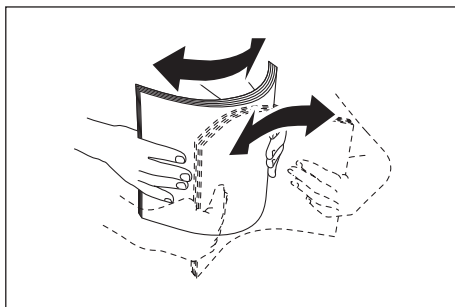
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。

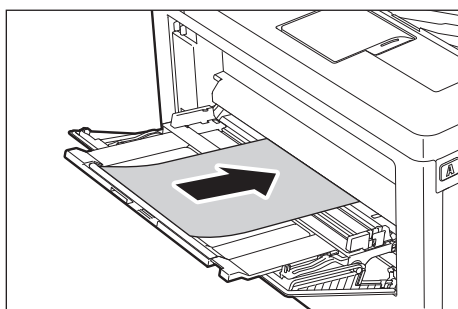


3. 用紙をほぐします。



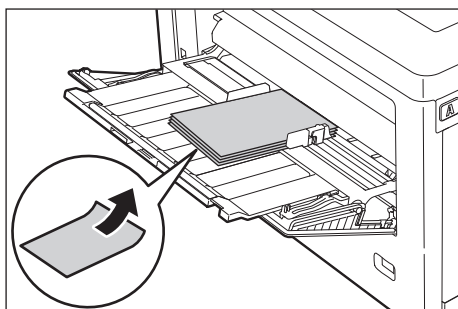
4. 上記の手順を数回繰り返します。

4. プリントする面を上にして、用紙をセットします。



注記

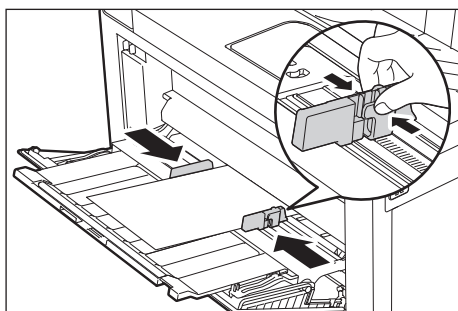
- ・ 種類やサイズが異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ はがきなどの厚い紙にプリントする場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を次のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。



補足

- ・ はがき、封筒、ラベル、長尺サイズ用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。「手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き」(P. 42)、「4.4 定形外サイズ用紙にプリントする」(P. 65)を参照してください。

5. 用紙ガイドをつまみながら、用紙サイズに合った位置まで移動します。



注記

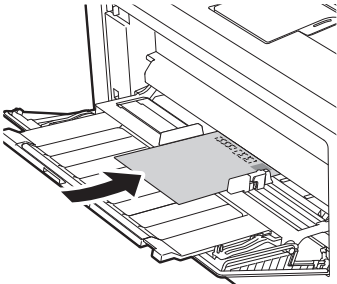
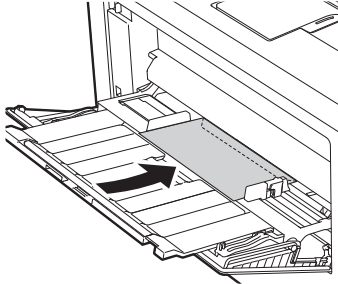
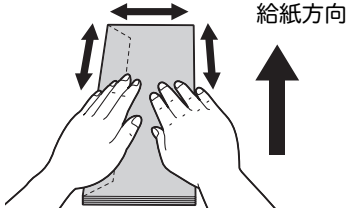
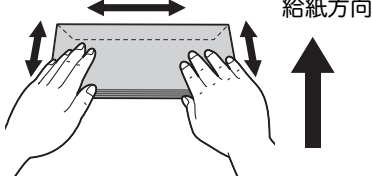
- ・ 用紙ガイドは、軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。

補足

- ・ 手差しトレイの用紙にプリントする場合は、プリント時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ・ プリンタードライバーを使用しないでプリントするときは、操作パネルで用紙種類と用紙サイズを設定します。詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.171)、「[トレイの用紙サイズ設定]」(P.175)を参照してください。

手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き

手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。はがき、封筒の詳しいプリント方法は、「はがき / 封筒にプリントする」(P. 62)を参照してください。

はがきの場合	封筒の場合
例) 郵便はがき 	例) 封筒洋長形 3 号 
プリント面を上にして、本機と向かい合ったときにはがきの上部が奥側になるようにセットします。 ❗ 注記 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。	フラップを閉じて、プリント面を上にして、封筒の上部を奥側にセットします。 ❗ 注記 - フラップが開いている封筒を使用する場合は、封筒の下部（フラップではない方）を奥側にセットします。 - 封筒を使用する場合、紙しわなどが発生することがあります。 💡 補足 - 開封したての新しい封筒を使用してください。封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかりと押さえて平らにしてください。 縦向きにセットする場合  横向きにセットする場合  - 異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。

本機で利用できる定形サイズの封筒は、次のとおりです。

- ・封筒角形 2 号 (240x332 mm)
- ・封筒角形 3 号 (216x277 mm)
- ・封筒角形 6 号 (C5) (162x229 mm)
- ・封筒洋長形 3 号 (120x235 mm)
- ・封筒長形 3 号 (120x235 mm)
- ・封筒長形 4 号 (90x205 mm)
- ・封筒洋形 2 号 (162x114 mm)
- ・封筒洋形 3 号 (98x148 mm)
- ・封筒洋形 4 号 (235x105 mm)

補足

- ・上記以外の封筒を使用する場合は、封筒サイズをプリンタードライバーのユーザー定義サイズに登録してください。詳しくは、「定形外サイズを登録する」(P. 65) を参照してください。
- ・プリンタードライバーで封筒洋長形 3 号、封筒洋形 2 号、封筒洋形 3 号、または封筒洋形 4 号を指定すると、自動的に次の設定が変更されます。
[手差し用紙種類]: [封筒]
[用紙トレイ選択]: [トレイ 5 (手差し)]
- ・フラップを開いたまま給紙する場合は、ユーザー定義サイズで、フラップの部分を含めたサイズを登録してください。

注記

きれいにプリントするためには、次のような封筒は使用しないでください。

- ・カールやよじれがある封筒
- ・貼り付いている封筒、破損している封筒
- ・窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
- ・ひもや金属製の留め金が付いている封筒や、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
- ・切手が貼ってある封筒
- ・フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
- ・ふちがギザギザな封筒や、隅が折れている封筒
- ・表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
- ・フラップが開いたままの、糊付き封筒
- ・封筒のフラップを折らないときは、次の設定でプリントしてください。
 - プリンタードライバーの [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] で [たてよこ原稿 (封筒など)] を選ぶ
 - フラップ部が用紙の長さに含まれるので、用紙サイズを定形外サイズに設定する

参照

- ・定形外のサイズの封筒を使用する場合は、「4.4 定形外サイズ用の紙にプリントする」(P. 65) を参照してください。

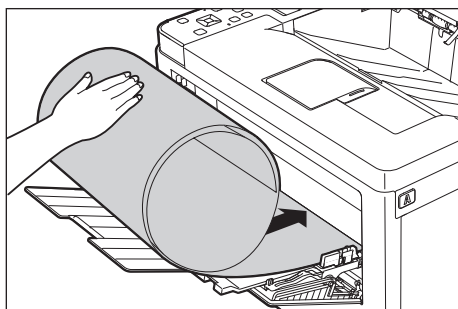
長尺サイズ用の紙をセットする

長尺サイズ用の紙は手差しトレイにセットします。

補足

- ・長尺サイズ用の紙の場合、印字面に指紋跡がつく可能性があります。用紙をセットするときは、プリント面に指紋がつかないように注意してください。
- ・長尺サイズ以外の定形外サイズの用紙をセットする場合は、「3.4 用紙をセットする」(P. 39) を参照してください。
- ・設定できる用紙のサイズは、長尺紙 (210 x 900 mm)、長尺紙 A (297 x 900 mm)、および長尺紙 B (297 x 1200 mm) です。

1. 長尺サイズ用の紙のプリントする面を上にして、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします。



 補足

- ・ 長尺サイズ用紙の後端は、用紙の差し込み口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差し込み口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- ・ 用紙の先端は、手差しトレイの差し込み口にしっかり挿入してください。用紙の先端が正しく差し込まれないと紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙は、1枚ずつセットしてください。

2. 用紙ガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。
長尺サイズの用紙は長いので、排出された用紙が床に落ちないように、必ず1枚ずつ取り除いてください。

用紙トレイ1とトレイモジュール（用紙トレイ2～4）（オプション）に用紙をセットする

本機では、B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4（297 mm）よりも長い用紙をトレイにセットする場合は、トレイを引き伸ばします。

また、A5 や B5 などの用紙をセットする場合、A4 や 8.5x11" などの用紙をよこ置きでセットする場合は、トレイが伸びているとセットできないため、トレイを伸ばしているときはトレイの長さを元に戻します。

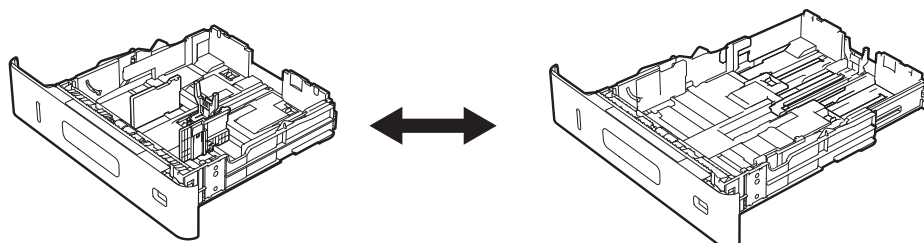
トレイを引き伸ばしたり縮めたりする方法は、次の手順 3～4 で説明しています。トレイの長さを変更する必要がない場合は、手順 3～4 は不要です。

 補足

- ・ トレイを引き伸ばすと、本体の奥行きよりもトレイの長さが長くなるため、トレイが背面から突き出した状態になります。

通常のトレイの状態

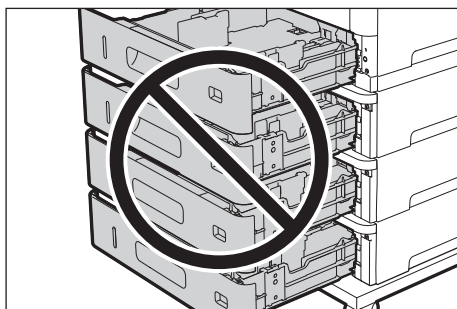
トレイを引き伸ばした状態



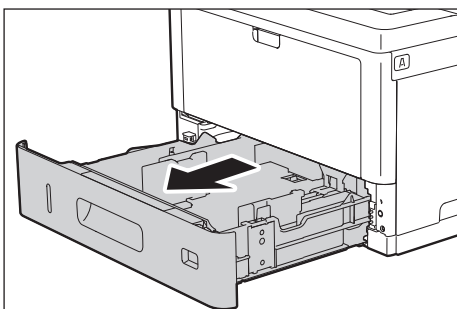
ここでは、用紙トレイ1に用紙をセットする例で説明します。

注記

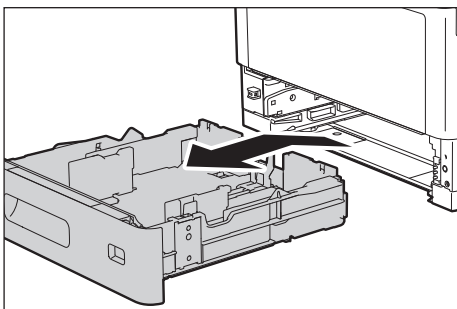
- ・ 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となる恐れがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出してください。



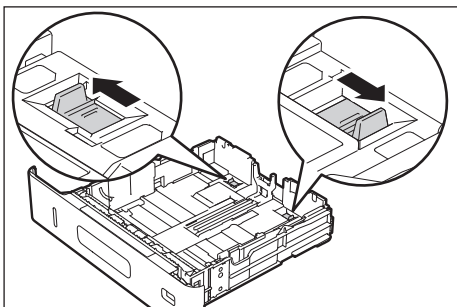
1. トレイを引き出します。



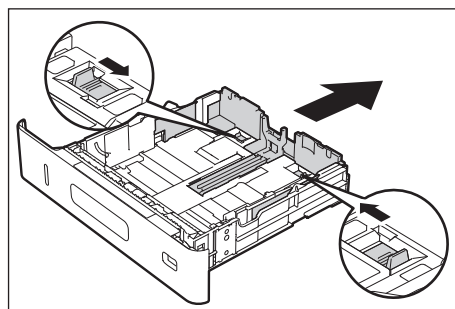
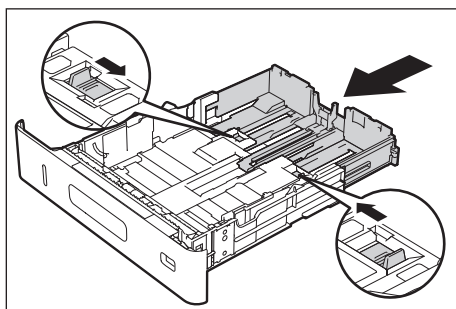
2. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



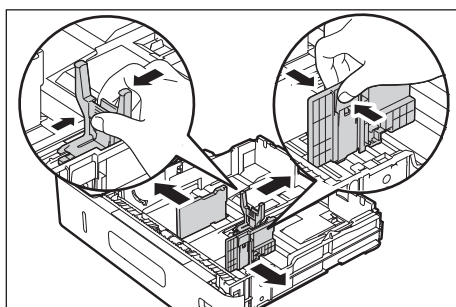
**3. トレイの長さを変更する必要がある場合は手順 5 に進みます。
トレイの長さを変更する場合は、トレイの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除します。**



4. 用紙に合わせてトレイの長さを調節します。
トレイの長さを変更する場合は、手順3で解除したロックが自動的にかかるまで、引き伸ばす、または縮めます。

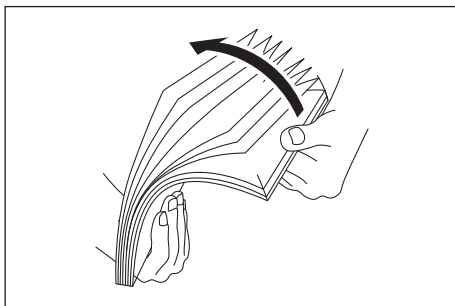


5. 2箇所の用紙ガイドをつまみながら、それぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

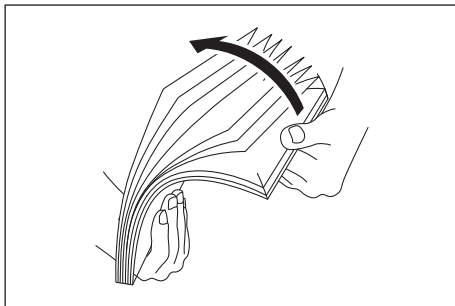


6. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。

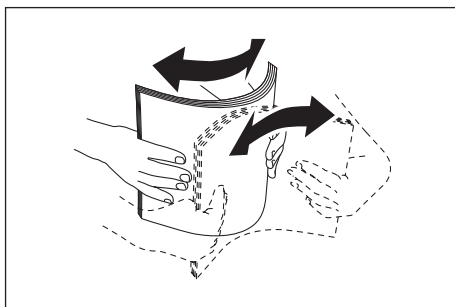
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。

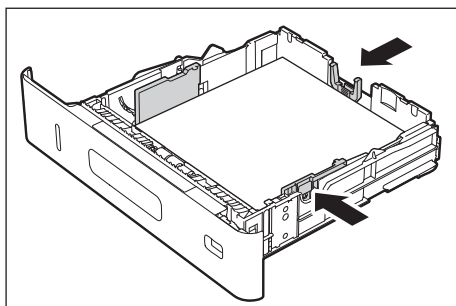


3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返します。

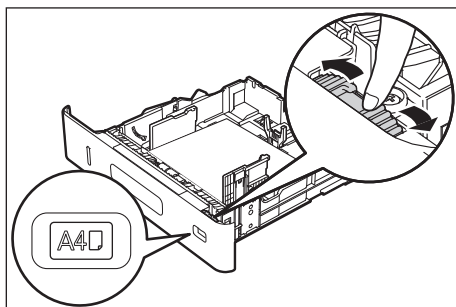
7. プリントする面を下にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。



注記

- ・ 種類が異なる用紙と一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- ・ トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。

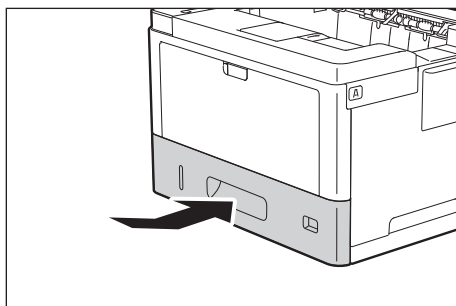
8. セットした用紙に合わせて、用紙サイズ設定ダイヤルを回します。



！ 注記

- ・ 用紙サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙のサイズと同じ用紙サイズに合わせてください。異なる用紙サイズに合わせると、用紙サイズを正しく認識できません。
- ・ 用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを [＊] に合わせ、「[ダイヤルスイッチ設定]」(P. 180) で用紙サイズを設定してください。

9. 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。



！ 注記

- ・ トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

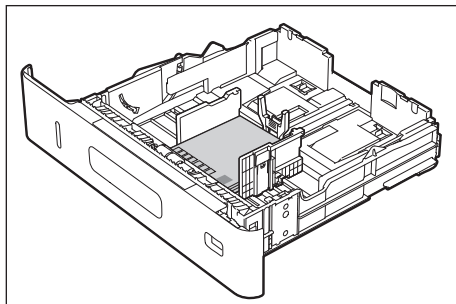
💡 補足

- ・ トレイを伸ばした場合は、延長部分が本機の背面から突き出ます。

用紙トレイ 1 とトレイモジュール（用紙トレイ 2 ～ 4）（オプション）にはがきや封筒をセットする場合の向き

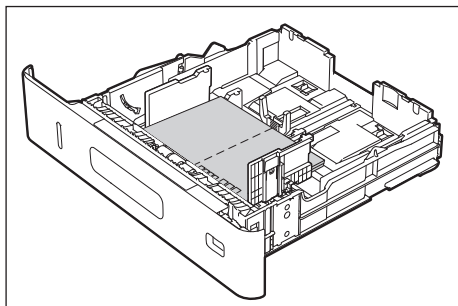
■ はがき

はがきをよくさばいてから、プリント面を下にしてはがきの上部が手前側になるようにセットします。



■ 往復はがき

往復はがきをよくさばいてから、プリント面を下にして往復はがきの上部が手前側になるようにセットします。



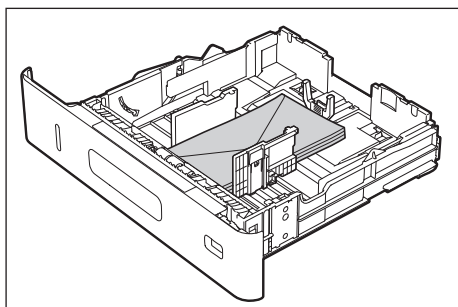
! 注記

- ・ はがきや往復はがきの両面にプリントするときは、片面にプリントしたあと、はがきや往復はがきの端にできた反りを平らにならしてから、うら面をセットします。反りを直さずにセットすると、はがきや往復はがきが正しく給紙されない場合があります。



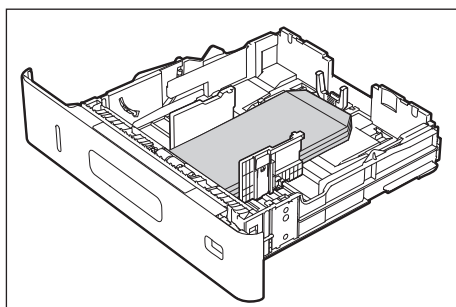
■ 洋形または洋長形の封筒

プリント面を下にして、封筒のフラップを閉じ、フラップが用紙トレイの左側を向くようにセットします。

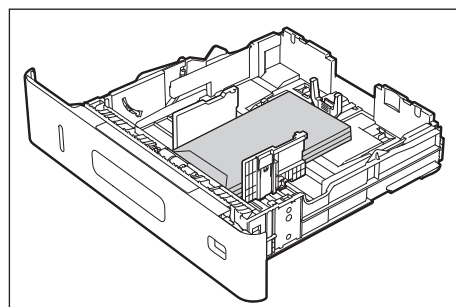


■ 長形または角形の封筒

プリント面を下にして、封筒をセットします。



糊なし封筒の場合



糊あり封筒の場合

用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズ / 種類の変更について

用紙トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きを、用紙サイズ設定ダイヤルで設定します。

定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。

また、用紙の種類の設定も必要です。用紙の種類の設定がトレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。正しく用紙の種類を設定してください。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

🔧 参照

- ・「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 50)
- ・「トレイの用紙種類を変更する」(P. 52)

💡 補足

- ・本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定が必要なことがあります。画質については、「[用紙の画質処理]」(P. 176)を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」(P. 53)を参照してください。
- ・用紙の種類は、プリント時にプリンタードライバーで変更することもできます。手順については、「4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする」(P. 69)を参照してください。

トレイの用紙サイズを設定する

ここでは、操作パネルで用紙トレイ 1 の用紙サイズを定形外サイズに設定する方法を例に説明します。

1. 操作パネルの **1** [仕様設定] ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、**▼** ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. **▶** または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定
 5. 〈▶〉 または OK ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え
 6. [トレイの用紙サイズ設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙サイズ 設定
 7. 〈▶〉 または OK ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの用紙サイズ 設定
トレイ 1
 8. 設定したいトレイが表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押したあと、〈▶〉 または OK ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

トレイ 1
•自動
 9. [定形外] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

トレイ 1
定形外
-  **補足**
- ・ 定形外サイズから定形サイズの用紙に変更した場合は、[自動] を選んでください。
10. OK ボタンを押します。
[たて (Y) 方向のサイズ] が表示されます。

トレイ 1 の定形外
たて (Y) 方向のサイズ
 11. 〈▶〉 または OK ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

たて (Y) 方向のサイズ
• 140mm
 12. 〈▲〉 〈▼〉 ボタンで、たて方向のサイズを入力し、OK ボタンを押します。
(例 : 297 mm)

たて (Y) 方向のサイズ
• 297mm
 13. 〈◀〉 または 戻る ボタンで、[たて (Y) 方向のサイズ] に戻ります。

トレイ 1 の定形外
たて (Y) 方向のサイズ
 14. 〈▼〉 ボタンを押します。
[よこ (X) 方向のサイズ] が表示されます。

トレイ 1 の定形外
よこ (X) 方向のサイズ

15. <▶> または  ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

よこ (X) 方向のサイズ
• 182mm

16. <▲> <▼> ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、 ボタンを押します。
(例：432 mm)

よこ (X) 方向のサイズ
• 432mm

17. ほかのトレイも設定する場合は、<◀> または  <戻る> ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、 <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

トレイの用紙種類を変更する

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。

注記

- ・ 設定した用紙種類で、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりするなどの現象が発生する場合は、別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に設定を変更してプリントしてみてください。

参照

- ・ 各用紙に適した設定値については、「使用できない用紙」(P. 37) の表を参考にしてください。

1. 操作パネルの  <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. <▶> または  ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え

6. [トレイの用紙種類] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙種類

7. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの用紙種類
トレイ 1

8. 設定したいトレイが表示されるまで <▼> ボタンを押したあと、<▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

トレイ 1
•普通紙

9. 設定したい用紙種類が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
(例：再生紙)

トレイ 1
再生紙

10. **OK** ボタンを押します。

トレイ 1
•再生紙

11. ほかのトレイも設定する場合は、<◀> または **戻る** ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、**仕様設定** ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

用紙別の画質処理を設定する

本機は、設定された用紙の種類に応じて画質の処理をします。使用する用紙によって、印字品質や画質などのトラブルが頻繁に発生する場合は、次の手順で画質の処理方法を変更してください。

1. 操作パネルの **仕様設定** ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え

6. [用紙の画質処理] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[普通紙] が表示されます。
8. 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
9. 設定したい画質が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
(例：A)
10. ^{OK}ボタンを押します。
11. ほかの用紙も設定する場合は、〈◀〉または^{戻る}ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、ⁱ〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリント設定
用紙の画質処理

用紙の画質処理
普通紙

普通紙
• B

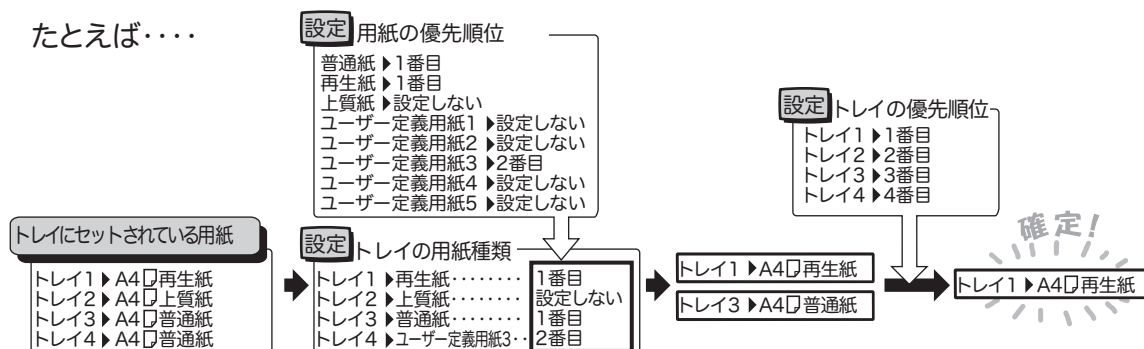
普通紙
A

普通紙
• A

自動トレイ選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントを指示すると、本機はプリントする原稿のサイズと向き、用紙種類、用紙色から、該当するトレイを選びます。これを、自動トレイ選択と呼びます。

この自動トレイ選択で、該当するトレイが複数ある場合は、操作パネルの [トレイの用紙種類] に設定されている値を [用紙の優先順位] にあてはめ、優先順位が高いトレイを選びます。このとき、[用紙の優先順位] が [設定しない] になっている用紙をセットしているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[用紙の優先順位] がまったく同じ場合は、[トレイの優先順位] で決定されます。



💡 補足

- ・手差しトレイは、工場出荷時は [自動トレイ切替対象外] に設定されています。自動トレイ選択の対象にする場合には、「手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する」(P.55) を参照してください。
- ・手差しトレイを自動トレイ選択の対象にした場合、手差しトレイにはもっとも低い優先度だけが設定できます。手差しトレイを自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.174) を参照してください。
- ・[トレイの優先順位] で [自動トレイ切替対象外] に設定しているトレイは、自動トレイ選択の対象外です。
- ・自動トレイ選択で該当するトレイがなかったときには、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズ of 用紙か、大きい用紙にプリントするように設定することもできます (用紙の置き換え機能)。
- ・プリント中に用紙がなくなったときは、プリントしていた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選んで、プリントを続けます (自動トレイ切り替え機能)。このとき、[用紙の優先順位] を [設定しない] に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。
- ・同じ種類の用紙でも、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。たとえば、青色の普通紙をセットしている場合に、「フツウシ Blue」といった名前を付けると、ほかの普通紙と区別できます。

🔍 参照

- ・「[プリント設定]」(P. 170)

手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する

ここでは、操作パネルで手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する方法を説明します。

手差しトレイに優先順位、用紙サイズを設定することで、自動トレイ選択の対象に設定することができます。

🔍 参照

- ・「自動トレイ選択について」(P. 55)

1. 操作パネルの **1** [仕様設定] ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

 3. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

 4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

 5. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え

 6. [トレイの優先順位] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリント設定
トレイの優先順位

 7. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの優先順位
トレイ 1

 8. [手差しトレイ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイの優先順位
手差しトレイ

 9. 〈▶〉または^{OK}ボタンを押します。
[自動トレイ切替対象外] が表示されます。

手差しトレイ
•自動トレイ切替対象外

 10. 〈▼〉ボタンを押したあと、^{OK}ボタンを押します
これで、手差しトレイに優先順位が設定されます。

手差しトレイ
•5 番目
-  **補足**

 - ・手差しトレイには、もっとも低い優先度だけが設定できます。手差しトレイを自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.174) を参照してください。
11. [プリント設定] メニューが表示されるまで、〈◀〉ボタンを押します。

プリント設定
トレイの優先順位

12. [トレイの用紙サイズ設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙サイズ 設定

13. 〈▶〉または ボタンで選びます。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの用紙サイズ 設定
トレイ 1

14. [手差しトレイ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイの用紙サイズ 設定
手差しトレイ

15. 〈▶〉または ボタンで選びます。
現在の設定値が表示されます。

手差しトレイ
• A4 ☐

16. 設定したいサイズが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
(例: A5 ☐)

手差しトレイ
A5 ☐

17. ボタンで決定します。

手差しトレイ
• A5 ☐

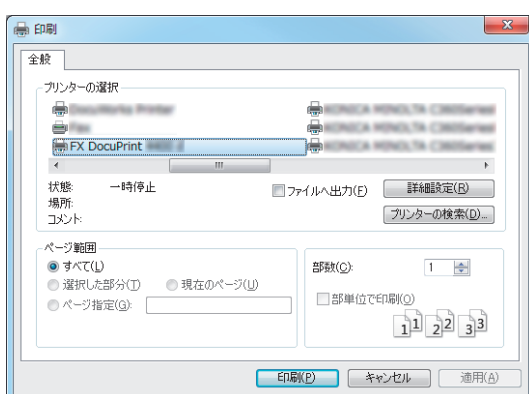
18. 設定を終了する場合は、 〈仕様設定〉 ボタンを押して、
プリント画面に戻ります。

4 プリント

4.1 コンピューターからプリントする

Windows® のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

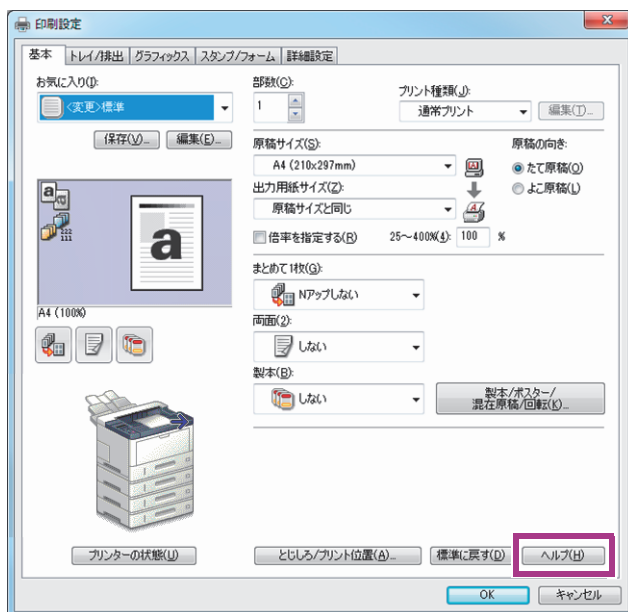
1. アプリケーションの【ファイル】メニューから、【印刷】を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、【詳細設定】をクリックすると、プロパティダイアログボックスが表示されます。



3. 各タブを切り替えてプリント機能を設定し、【OK】をクリックします。



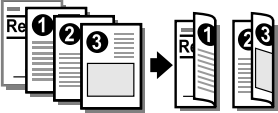
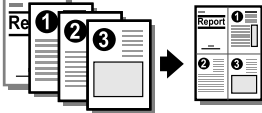
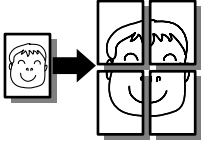
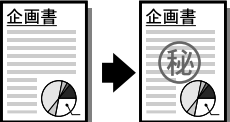
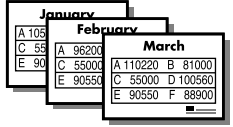
- ・ 各機能の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。【ヘルプ】をクリックすると、【ヘルプ】ウィンドウが表示されます。



4. 【印刷】ダイアログボックスで【印刷】をクリックし、プリントを実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
基本	両面 用紙の両面にプリントできます。 	まとめて1枚 (N アップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けてプリントします。 	ポスター ポスターなどを作製するときに使用します。 
	製本 正しいページ順の小冊子になるように、両面プリントとページ配分を組み合わせ合わせてプリントします。 	お気に入り よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選ぶだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容の編集や、あらたに登録することもできます。	
	セキュリティープリント あらかじめ、プリントデータを本機に送っておいて、操作パネルからプリントを指示します。	サンプルプリント 複数部数をプリントする場合、1部だけサンプルをプリントします。プリント結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルからプリントします。	時刻指定プリント プリント時刻を指定できます。
トレイ / 排出	トレイの高度な設定 用紙トレイを「自動」に設定したときに、優先して使用されるトレイや用紙の種類をあらかじめ設定できます。	表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使ってプリントできます。	
スタンプ / フォーム	スタンプ プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。 	フォーム 使用頻度の高いプリントフォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。 	

💡 補足

- プリント機能は、[デバイスとプリンター] (OSによっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]) ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

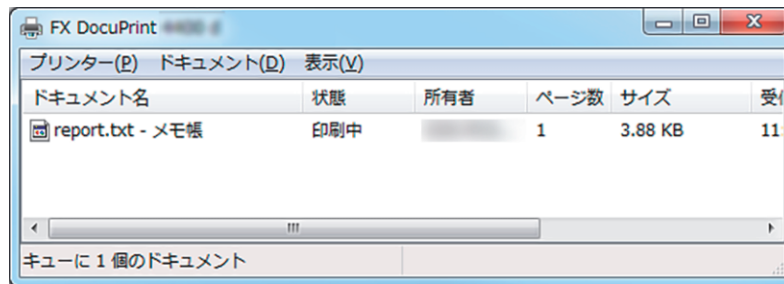
4.2 プリントを中止する / 確認する

プリントを中止する

プリントを中止するには、コンピューターでプリントの指示を取り消す方法と本機でプリントの指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選び、削除（〈Delete〉キーを押す）します。



💡 補足

- ・ ウィンドウ内に中止するドキュメントがなかった場合は、本機でプリントを中止してください。
- ・ CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

📖 参照

- ・ 「CentreWare Internet Services」については「7.1 CentreWare Internet Services を使う」(P. 197) を参照してください。

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの 〈プリント中止〉 ボタンを押します。ただし、プリント中のページはプリントされます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. 操作パネルで 〈オンライン〉 ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。

オフライン
 データあり

2. 〈プリント中止〉 ボタンを押します。

すべてのデータを
中止しています

中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに
[オフライン] と表示されます。

オフライン

3. 「オンライン」ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

プリント指示したデータの状態を確認する

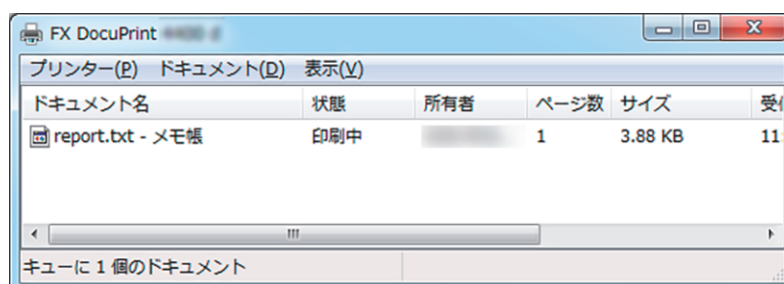
プリント指示したデータの状態を確認するには、Windows® 上で確認する方法と CentreWare Internet Services で確認する方法があります。



- ・「CentreWare Internet Services」については「7.1 CentreWare Internet Services を使う」(P. 197) を参照してください。

Windows® での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、[状態] を確認します。



CentreWare Internet Services での確認方法

CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、本機に指示したプリントジョブの状態を確認できます。



- ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

4.3 はがき / 封筒にプリントする

はがき / 封筒をセットする

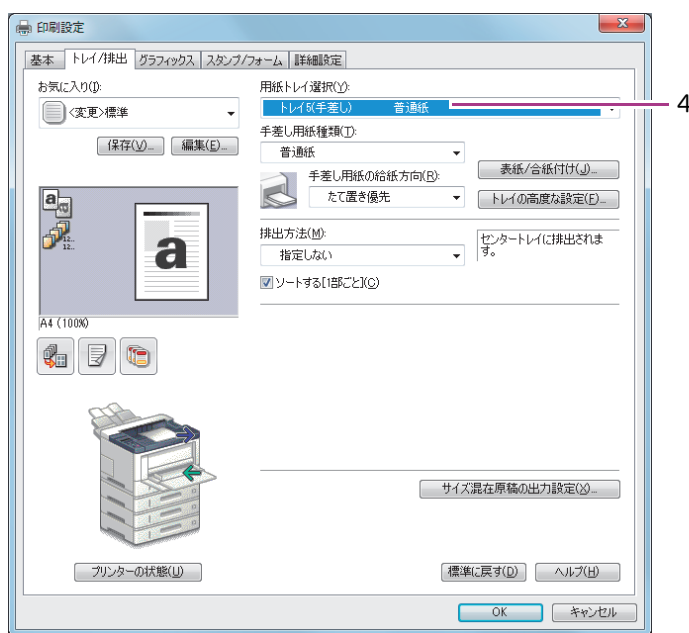


- ・手差しトレイに用紙をセットする手順：「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 39)
- ・用紙トレイに用紙をセットする手順：「用紙トレイ 1 とトレイモジュール（用紙トレイ 2 ～ 4）（オプション）に用紙をセットする」(P. 44)

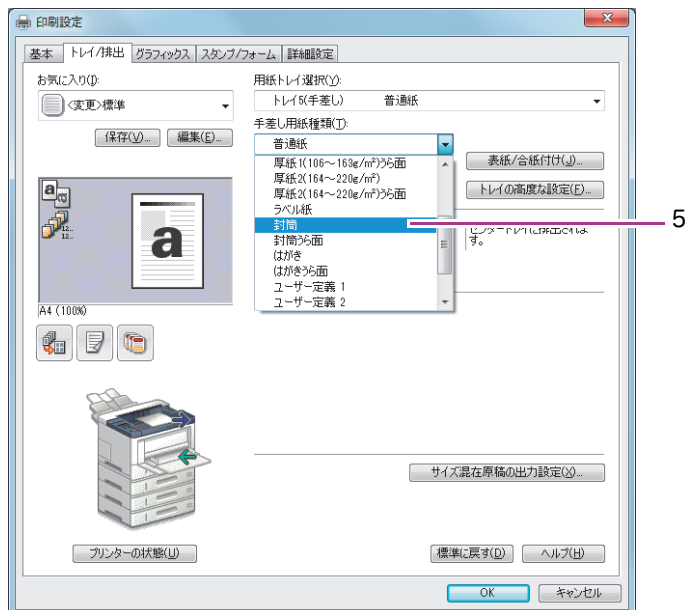
はがき / 封筒にプリントする

ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. ここでは [トレイ 5(手差し)] を例に説明します。[用紙トレイ選択] から、使用するトレイを選びます。



5. [手差し用紙種類] から [はがき] または [封筒] を選びます。



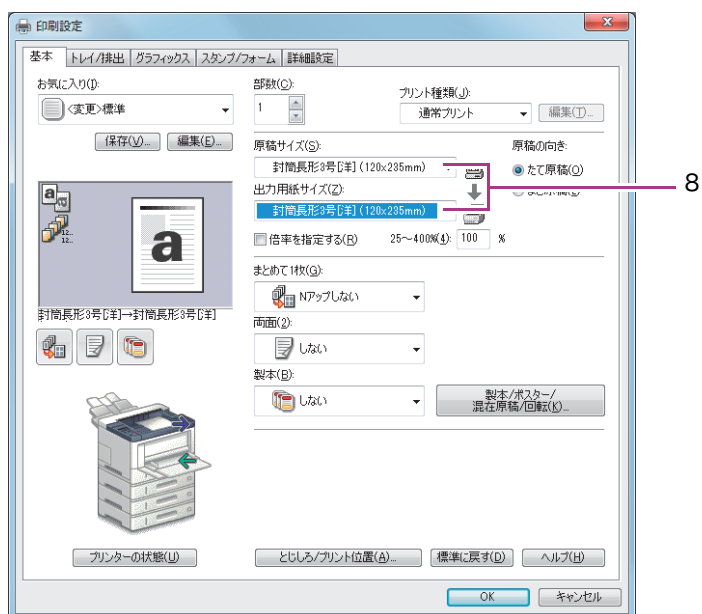
 補足

- ・一度プリントしたはがきや封筒の反対面にプリントする場合は、[はがきうら面] または [封筒うら面] を選んでください。

6. [手差し用紙の給紙方向] から任意の給紙方向を選びます。

7. [基本] タブをクリックします。

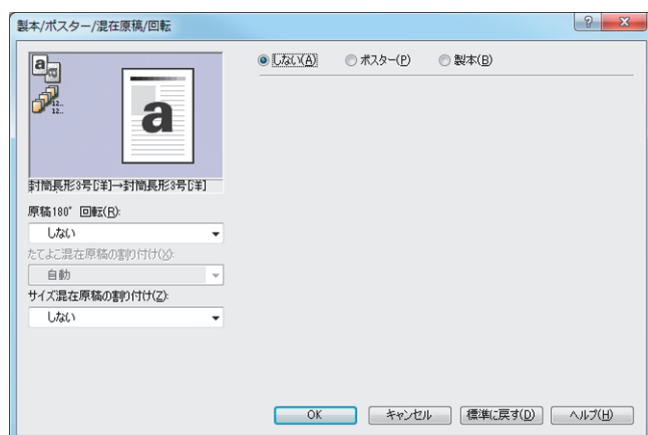
8. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を選びます。



 補足

- ・はがきの場合は、[はがき (100x148 mm)] を選んでください。
- ・封筒洋長形 3 号の場合は、[封筒長形 3 号 [洋] (120x235 mm)] を選んでください。
- ・選択できない封筒の場合は、ユーザー定義サイズとして登録したサイズを選んでください。

9. 封筒の場合は、必要に応じて【製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転】をクリックして【製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転】ダイアログボックスを表示します。
【原稿 180° 回転】を設定し、【OK】をクリックします。



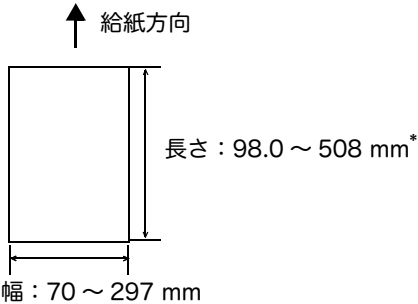
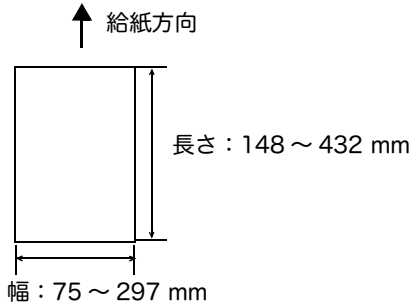
 補足

- ・ 封筒をユーザー定義サイズとして登録した場合は、【たてよこ原稿（封筒など）】を選んでください。

10. 【OK】をクリックします。
11. 【印刷】ダイアログボックスで【OK】をクリックし、プリントを実行します。

4.4 定形外サイズの下紙にプリントする

本機で使用する定形外の下紙サイズは、次のとおりです。

手差しトレイ	用紙トレイ 1 用紙トレイ 2 ~ 4 (オプション)
 ↑ 給紙方向 長さ: 98.0 ~ 508 mm* 幅: 70 ~ 297 mm *: 長尺サイズは、210 x 900 mm、297 x 900 mm、および 297 x 1200 mm が使用できます。	 ↑ 給紙方向 長さ: 148 ~ 432 mm 幅: 75 ~ 297 mm

定形外サイズの下紙をセットする

定形外サイズの下紙をセットする方法は、定形サイズの下紙をセットする方法と同じです。「3.4 下紙をセットする」(P. 39)を参照してください。

定形外サイズを登録する

プリントをする前にプリンタードライバーで定形外サイズをユーザー定義サイズとして登録します。ここでは、Windows® 7 を例に説明します。

定形外サイズの下紙を用紙トレイ 1 ~ 4 (2 ~ 4 はオプション) にセットした場合は、あらかじめ操作パネルでトレイの下紙サイズを設定してください。

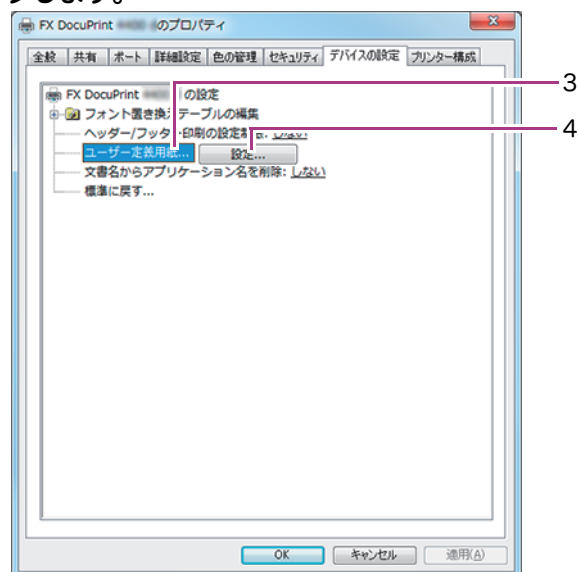
操作パネルでの設定については、「トレイの下紙サイズを設定する」(P. 50)を参照してください。

💡 補足

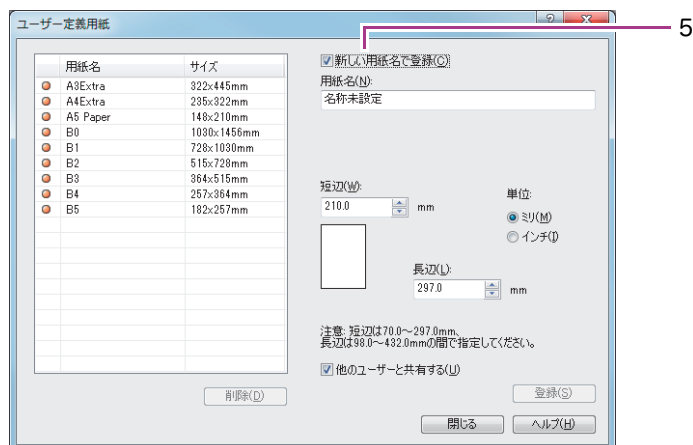
- ・ 管理者の権限があるユーザーだけが、設定を変更できます。管理者の権限がない場合は、内容の確認だけです。
- ・ [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]) を選び、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [デバイスの設定] タブをクリックします。
3. [ユーザー定義用紙] をクリックします。

4. [設定] をクリックします。



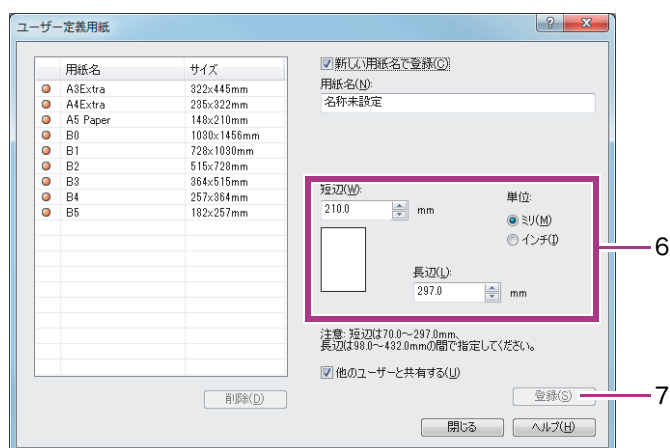
5. [新しい用紙名で登録] にチェックを入れて、定形外を登録する用紙名を[用紙名]に入力します。



補足

- すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選択します。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。 キー入力、または[▲][▼]で指定します。



補足

- ・ 短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

7. [登録] をクリックします。

8. 必要に応じて、手順 5 ～ 7 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

補足

- ・ すでに登録している用紙のサイズを変更した場合は、[はい] をクリックします。

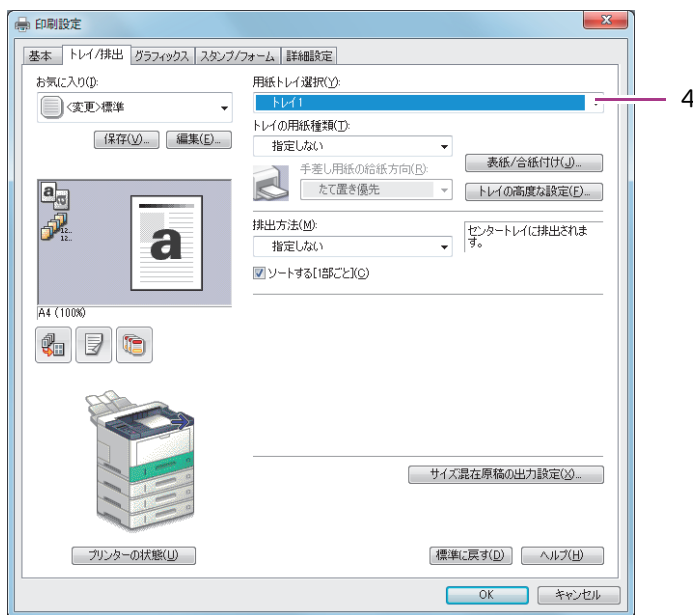
9. [閉じる] をクリックします。

10. [OK] をクリックします。

定形外サイズの下紙にプリントする

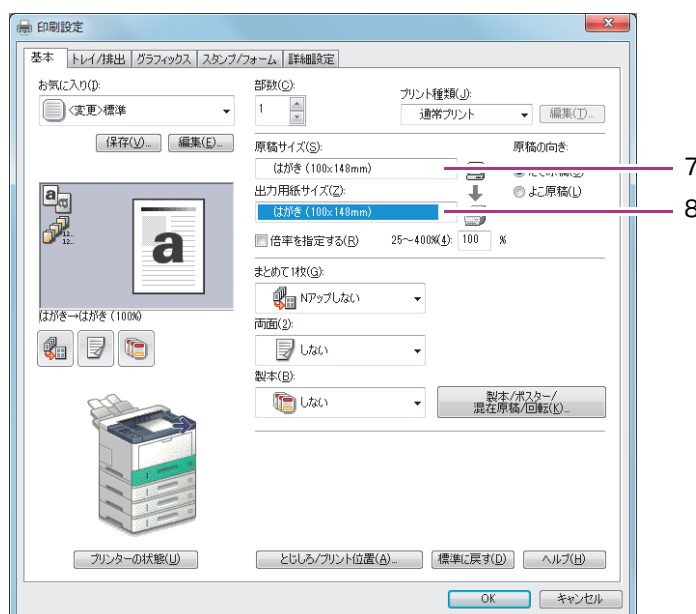
ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選びます。



5. [用紙トレイ選択] で [トレイ 5 (手差し)] を選んだ場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。
6. [基本] タブをクリックします。

7. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。



8. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選び、[OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする

本機用の紙トレイ 1 ～ 4（2 ～ 4 はオプション）には、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

トレイにセットする用紙種類を変更した場合は、操作パネルで「[トレイの用紙種類]」の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーでプリンター本体から情報を取得してください。

💡 補足

- ・ プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、トレイにセットされている用紙の種類が一致しない場合、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [用紙種類エラーの処理] で設定した処理が行われます。

📖 参照

- ・ プリンター本体の設定情報を取得する方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

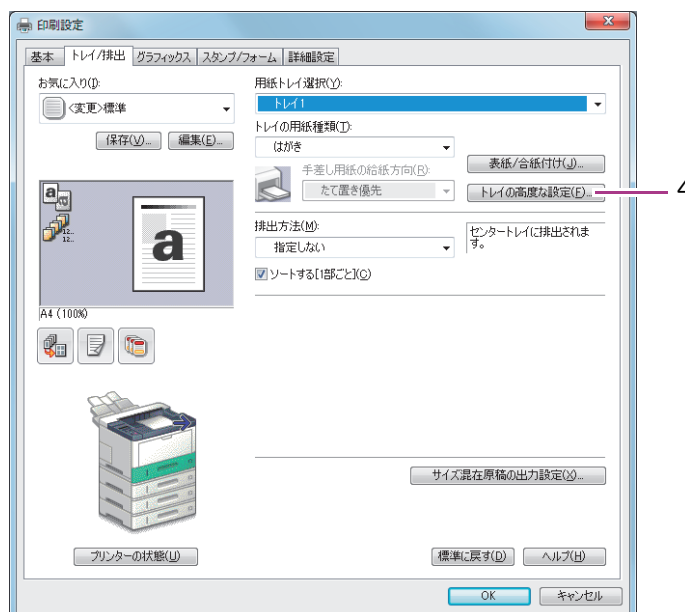
ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

用紙種類を指定して自動でプリントする

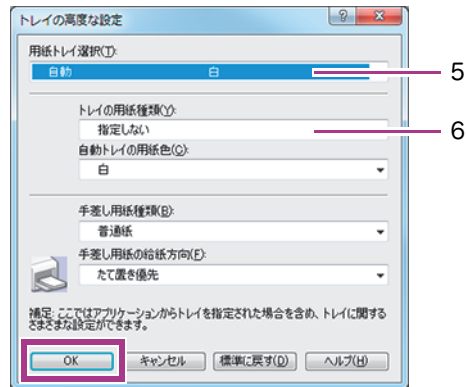
「[トレイの用紙種類]」の設定とトレイにセットされている用紙種類が合っている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選んでプリントします。

この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくてもプリントできます。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [トレイの高度な設定] をクリックします。



5. [用紙トレイ選択] から、[自動] を選びます。



6. [トレイの用紙種類] からプリントする用紙の種類を選び、[OK] をクリックします。
7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、プリントを実行します。

トレイと用紙種類を設定してプリントする

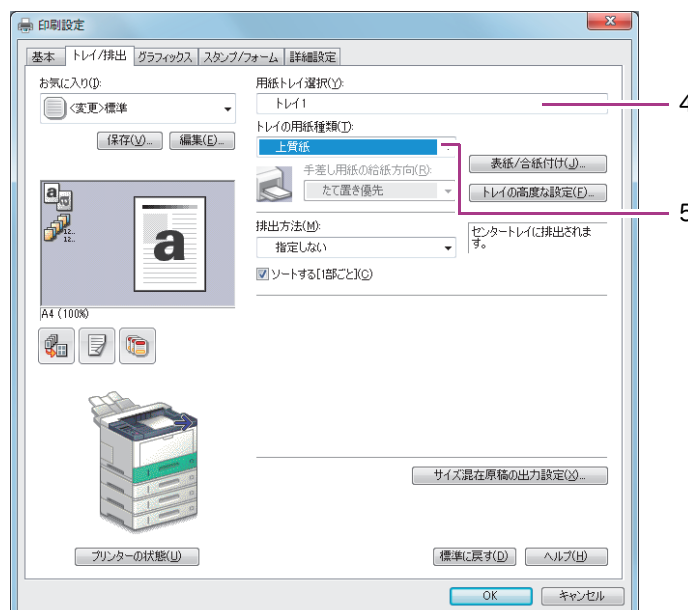
ここでは、用紙トレイ 1 の [トレイの用紙種類] に [上質紙] が設定され、実際には普通紙がセットされている場合を例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から [トレイ 1] を選びます。



補足

- ・ プリンターの用紙設定を読み込んでいる場合は、トレイ名の横に用紙のサイズ、向き、用紙種類、色が表示されます。



5. [トレイの用紙種類] から [普通紙] を選びます。

 補足

- ・ ここで選んだ用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているトレイの用紙種類は変更されません。

6. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

7. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、プリントを実行します。

4.6 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、セキュリティープリント機能を使用できます。

❗ 注記

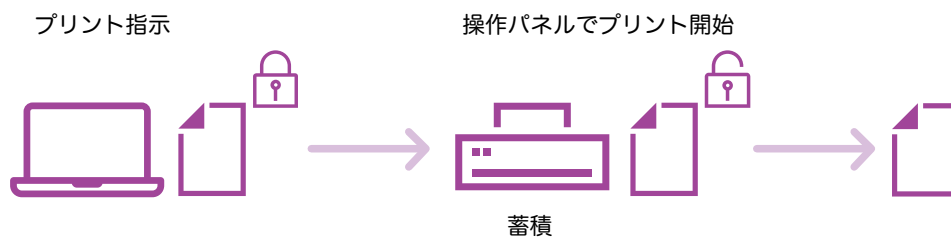
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

📖 参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.3 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 203)

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、プリントデータにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけてプリントを指示し、プリントデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルでプリントを開始する機能です。また、セキュリティーをかけないでプリントデータを本機に蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書を本機に蓄積しておけば、コンピューターから何度もプリントを指示しなくても、本機側の操作だけでプリントできます。



💡 補足

- ・プリント後にセキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを指示する手順の中で選びます。「操作パネルでの操作」(P. 74)を参照してください。
- ・操作パネルの「セキュリティープリント操作」が「無効」に設定されている場合は、セキュリティープリントを実行できません。
- ・本機のプロパティダイアログボックスの「プリンター構成」タブ>「オプションの設定」>「オプションの設定」ダイアログボックスで、「暗証番号の最小桁数」を「1」以上に設定している場合は、暗証番号の入力が必要になります。

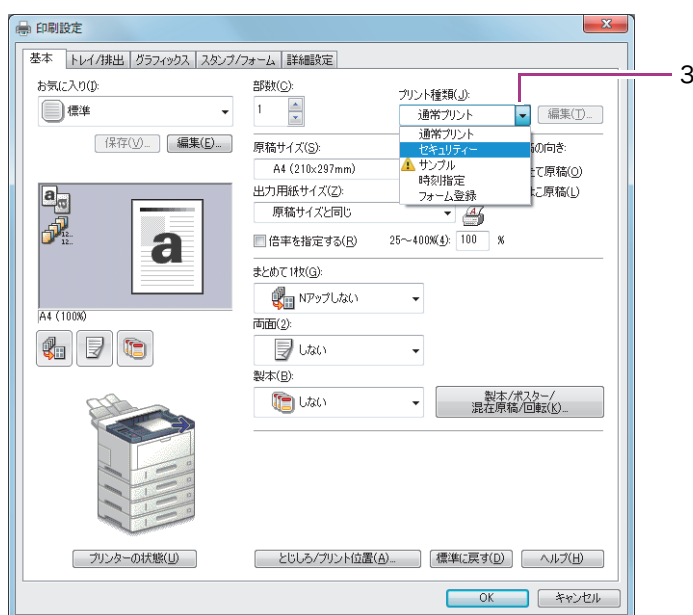
セキュリティプリントをする

まず、セキュリティプリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、本機側の操作でプリントします。

コンピューター側での操作

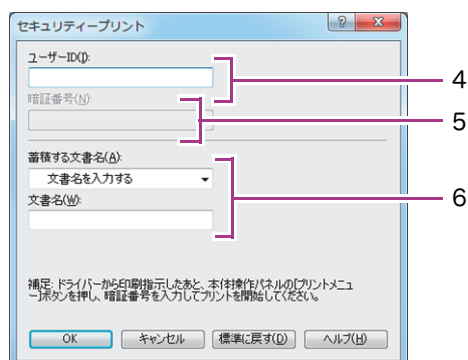
ここでは、Windows[®]7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブの [プリント種類] から、[セキュリティ] を選びます。



[セキュリティプリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



5. 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号] に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。
6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する]、または [文書名の自動取得] を選びます。
[文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

補足

- ・ 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、プリントしないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する] を選んでください。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー セキュリティープリント

2. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択 1001.12345678

3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティー プrint] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
暗証番号を付けた場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を付けていない場合は、手順 6 に進みます。

暗証番号を入れ [OK] [0]

5. 〈▶〉 ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉 〈▼〉 ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK] [**7]

補足

- ・ 暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティー プrint] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6.  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択 1.Report

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

 補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの〔セキュリティープリント〕ダイアログボックスで設定した〔蓄積する文書名〕が表示されます（12 バイトまで）。
- ・ 複数文書が格納されている場合は、〔全ての文書〕を選ぶこともできます。

8. 〈▶〉または  ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report プリント後削除する

 補足

- ・ プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、〔削除する〕を表示し、〈▶〉ボタン、 ボタンの順に押します。
- ・ プリント後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、〔プリント後削除しない〕を表示し、手順 9 に進みます。

9. 〈▶〉または  ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数 1 部

10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または  ボタンで選びます。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

11.  ボタンを押します。
プリントが開始されます。

12.  〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.7 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、サンプルプリント機能を使用できます。

❗ 注記

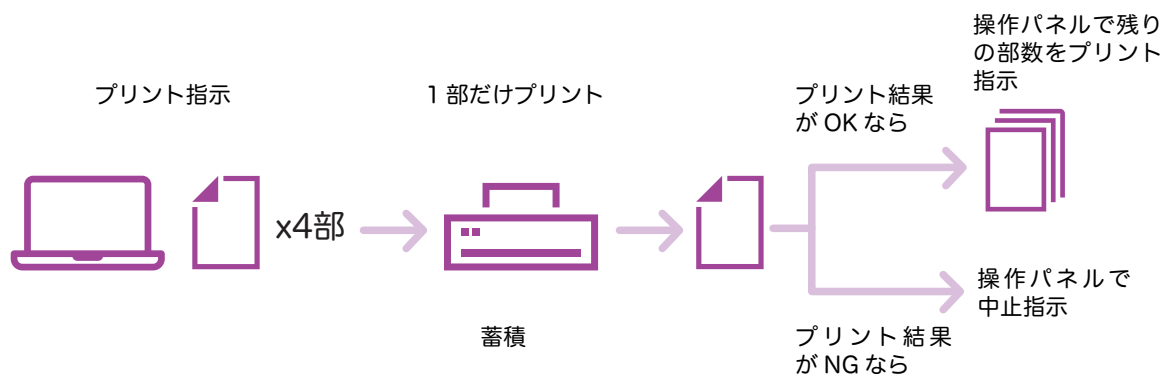
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

📖 参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.3 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 203)

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを蓄積し、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。



💡 補足

- ・不要になったサンプルプリントデータは、プリントする場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」(P. 78)を参照してください。

サンプルプリントをする

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、本機側の操作でプリントします。

コンピューター側での操作

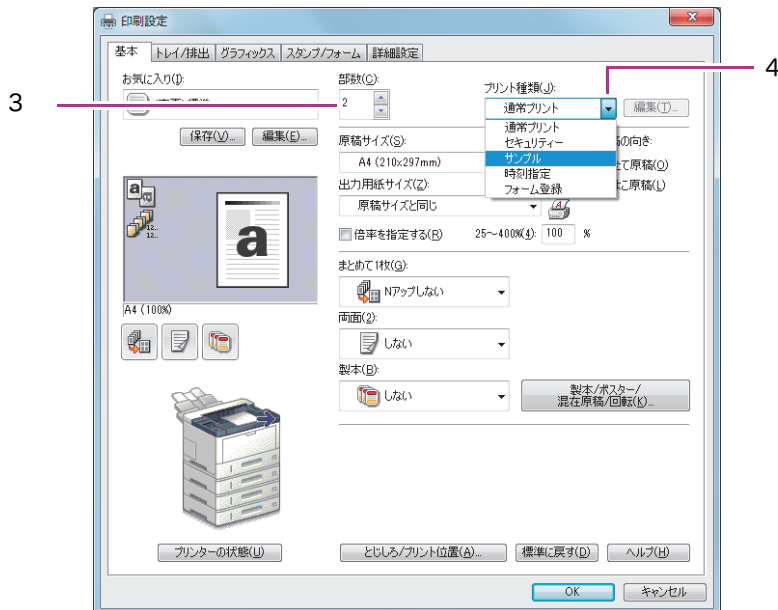
ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。

4. [プリント種類] から [サンプル] を選びます。

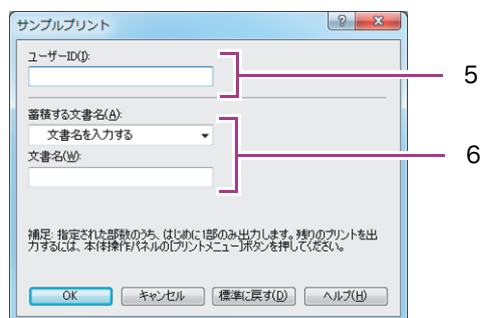
💡 補足

- ・ 印刷部数を 2 部以上に設定すると、[サンプル] が選べます。



[サンプルプリント] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。 ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選びます。 [文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。 [文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. [OK] をクリックします。

8. [基本] タブで [OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー セキュリティプリント

2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー サンプルプリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択 2001.12345678

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択 1.Report

6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report プリントする

補足

- ・ プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉 ボタン、 ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータをプリントする場合は、〈▶〉 または  ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数 1 部

9. <▼> ボタンを押して部数を設定し、<▶> または  ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

 補足

- ・ 部数の初期値は、プリンタードライバーであらかじめ設定した部数が表示されます。

10.  ボタンを押します。
プリントが開始されます。
11.  <プリントメニュー> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.8 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、時刻指定プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.3 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 203)

時刻指定プリント機能について

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを蓄積しておき、設定した時刻に自動的にプリントする機能です。

蓄積できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

注記

- ・時刻指定プリントを設定している場合は、本機の電源を切らないでください。
ハードディスクを使用しているときに、指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後に自動的にプリントされます。
RAM ディスクを使用している場合には、本機の電源を切ると、蓄積しているプリントデータは消去され、再び本機の電源が入ってもプリントされません。

補足

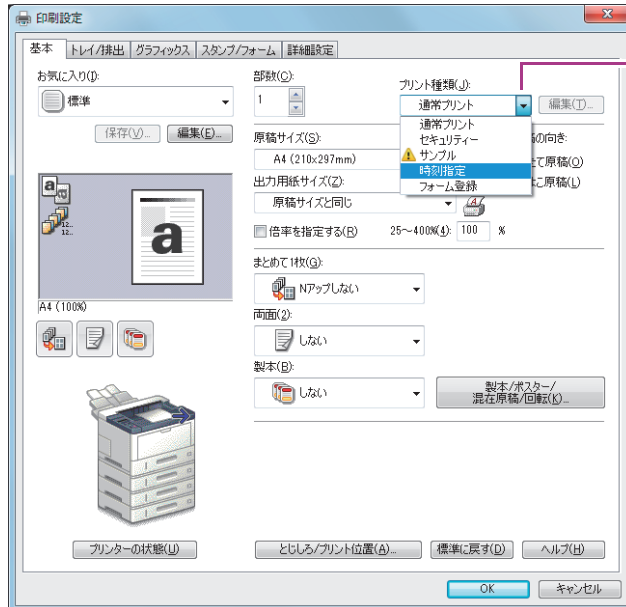
- ・この機能で指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。

時刻指定プリントをする

ここでは、Windows[®] 7 のワードパッドを例に説明します。

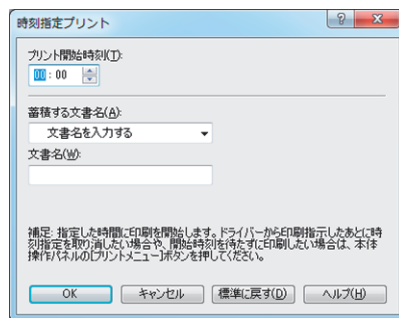
1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選びます。



[時刻指定プリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. プリントを開始する時刻を設定します。



💡 補足

- ・時刻は、24 時間制です。

5. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選びます。
[文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
6. [OK] をクリックします。
7. [基本] タブで [OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。
指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視してプリントしたいときは、操作パネルで操作します。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

2. [時刻指定プリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

4. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [時刻指定プリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
すぐにプリントするか、プリントしないで削除するかを選ぶ画面が表示されます。

1.Report
すぐにプリントする

補足

- ・ 蓄積したデータをプリントしないで削除する場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉 ボタン、 ボタンの順に押します。

6. すぐにプリントする場合は、〈▶〉 または  ボタンを押します。
プリントを開始させる画面が表示されます。

1.Report
[OK] でプリント開始

7.  ボタンを押します。
プリントが開始されます。

8.  〈プリントメニュー〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.9 プライベートプリント

本機に、IC カード読み取り装置（オプション）、および機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、プライベートプリント機能を使用できます。

❗ 注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

プライベートプリント機能について

プライベートプリントとは、コンピューターからプリントを指示したデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、プリントしたいときに IC カードで認証することでプリントする機能です。

コンピューターからプリントを指示したデータは、認証用ユーザー ID ごとに保存され、IC カードの認証情報と一致したユーザーの文書がプリントできます。

💡 補足

- ・本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリント、または削除してください。
- ・複製管理またはペーパーセキュリティを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除プリント] を選ぶと、これらの機能を解除してプリントできます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。
ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連づけ」(P. 221) をご覧ください。また、複製管理、ペーパーセキュリティ機能については、「7.4 セキュリティー機能について」 > 「複製管理機能について」(P. 207) を参照してください。
- ・プライベートプリント機能を設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できなくなります。

プライベートプリントをするための設定

本機側の設定

認証プリントは、操作パネルの[機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・[認証プリントの設定] > [受信制御] を[プライベートプリント保存] に設定。
- ・[認証方式の設定] を[外部認証]、[認証プリントの設定] > [受信制御] を[プリントの認証に従う]、[認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [認証成功のジョブ] を[プライベートプリント保存] に設定。
- ・[認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [PJL なしのジョブ] > [User ID があれば利用] を[プライベートプリント保存] に設定。



・「認証プリントの設定」(P. 162)

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティでユーザー ID の設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないとプリントできません。

各項目に設定する内容や設定方法の詳細は、システム管理者にご相談ください。

プライベートプリントをする

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータは、IC カードをタッチするだけでプリントできます。

1. 操作パネルに[プリントできます]が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証します。

プリントできます
トナー残量

認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

プリントしています

プリントデータを削除する

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータを削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの <プリントメニュー> ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント

2. [プライベートプリント削除]が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント削除

3. <▶> または  ボタンを押します。
右の画面が表示されます。

IC カードで認証して
ください

4. IC カードをタッチして認証します。
認証に成功すると、文書名が表示されます。

削除する文書を選択
1.Report

5. 対象の文書名が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

 補足

- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

6. <▶> または  ボタンを押します。
削除を開始する画面が表示されます。

1.Report
[OK] で削除開始

7.  ボタンを押します。
プリントデータが削除されます。

8.  <プリントメニュー> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.10 認証プリント

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、認証プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.3 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 203)

認証プリントについて

認証プリントとは、本機に IC カード読み取り装置を接続している場合に、IC カードによって本機にユーザーを認証させることにより、不正なプリントを防ぐ機能です。

操作パネルの「機械管理者メニュー」>「システム設定」>「認証の設定」>「認証プリントの設定」>「受信制御」が「認証プリントに保存」に設定されている場合、コンピューターからプリントを指示したデータは、蓄積用ユーザー ID ごとに本機内に一時的に保存されます。蓄積用ユーザー ID が設定されていないデータは、「No User ID」として保存されます。保存されたデータは、プリントしたいときに本機側での操作でプリントできます。

補足

- ・プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（ContentsBridge、CentreWare Internet Services を使用したプリント、メール受信プリントなど）も保存できるため、ユーザー ID なしのジョブも認証してプリントできます。
- ・本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリント、または削除してください。

認証プリントをするための設定

本機側の設定「認証プリントの設定」(P. 162)

認証プリントは、操作パネルの「機械管理者メニュー」>「システム設定」>「認証の設定」>「認証プリントの設定」で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・「受信制御」を「認証プリントに保存」に設定。
- ・「受信制御」を「プリントの認証に従う」に設定し、「ジョブ認証時の処理」>「認証が不正のジョブ」を「認証プリントに保存」に設定。
- ・「受信制御」を「プリントの認証に従う」に設定し、「ジョブ認証時の処理」>「UserID なしのジョブ」を「認証プリントに保存」に設定。

参照

- ・「認証プリントの設定」(P. 162)

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーのプロパティで蓄積用ユーザーの ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザーの ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティープリント

2. [認証プリント] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
認証プリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
本機に IC カード読み取り装置を接続している場合は、右の画面が表示されます。IC カードをタッチして認証します。
認証に成功すると、手順 4 の画面が表示されます。手順 4 に進みます。
IC カード読み取り装置を接続していない場合は、右の画面は表示されません。手順 4 に進みます。

IC カードで認証してください

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ユーザー ID を選択
7001.(no userID)

補足

- 蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書をプリントする場合は、ユーザー ID で (no userID) を選びます。

ユーザー ID を選択
7002.12345678

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
暗証番号を設定している場合は、右の画面が表示されます。手順 6 に進みます。
暗証番号を設定していない場合は、文書を選ぶ画面が表示されます。手順 8 に進みます。

暗証番号を入力 [OK]
[0]

6. 〈▶〉 ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉 〈▼〉 ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入力 [OK]
[**7]

7.  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

8. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

 補足

- ・ 特定のユーザー ID に複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

9. 〈▶〉または ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report プリント後削除する

 補足

- ・ プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して [削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、 ボタンの順に押します。
- ・ プリント後もデータを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して [プリント後削除しない] を表示し、手順 10 に進みます。

10. 〈▶〉または ボタンでを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数 1 部

11. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

12. ボタンを押します。
プリントが開始されます。

13.  〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.11 PDF ファイルを直接プリントする

本機では、プリンタードライバーを使用しないで、PDF ファイルを直接本機に送信して、プリントできます。プリンタードライバーを使用してプリントするときよりも簡単に高速にプリントされます。

また、PDF ファイルを直接プリントする場合、本機が標準で搭載している PDF Bridge 機能を使用するモードと PostScript[®] 機能（オプション）を使用するモードを選べます。

操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] で、PDF ファイルのプリント処理モードを設定してください。

補足

- ・ PostScript[®] 機能を使用するには、Adobe[®] PostScript[®] ソフトウェアキット（オプション）が必要です。

参照

- ・ 「[PDF]」 (P. 190)

PDF ファイルを直接プリントする方法

PDF ファイルを直接プリントするには、いくつかの方法があります。

注記

- ・ USB を使用して PDF ファイルを直接プリントするときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接本機に送ってプリントするための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）に収録されています。

補足

- ・ ContentsBridge Utility を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

CentreWare Internet Services からプリントする

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、PDF ファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。
- ・ CentreWare Internet Services を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

メールに添付してプリントする

PDF ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、プリントします。詳しくは、「4.13 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -」 (P. 93) を参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接本機に送信する

PDF ファイルを lpr コマンドなどを使って直接本機に送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [PDF] の設定に従ってプリントされます。

- ・プリント処理モード
- ・部数
- ・両面
- ・印刷モード
- ・パスワード
- ・ソート
- ・レイアウト
- ・用紙サイズ

参照

- ・「[PDF]」(P. 190)

補足

- ・ [プリント処理モード] は、オプションの Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが取り付けられている場合に表示されます。
- ・ [レイアウト] は、[プリント処理モード] で [PS] が選択されている場合は表示されません。
- ・ lpr コマンドを使ってプリントする場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの [部数] の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF ファイルをプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・ 空白（スペース）は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```

4.12 DocuWorks ファイルを直接プリントする

プリンタードライバーを使用しないで、DocuWorks ファイルを直接本機に送信して、プリントできます。プリントデータが直接本機に送信されるので、プリンタードライバーを使用してプリントするときよりも簡単に高速にプリントされます。

DocuWorks ファイルを直接プリントする方法

DocuWorks ファイルを直接プリントするには、いくつかの方法があります。

注記

- ・ USB を使用して DocuWorks ファイルを直接プリントするときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接本機に送ってプリントするための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）に収録されています。

補足

- ・ ContentsBridge Utility を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

CentreWare Internet Services からプリントする

CentreWare Internet Services の［プリント］タブから、DocuWorks ファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。
- ・ CentreWare Internet Services を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

メールに添付してプリントする

DocuWorks ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、プリントします。詳しくは、「4.13 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -」(P. 93) を参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接本機に送信する

DocuWorks ファイルを lpr コマンドなどを使って直接本機に送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [XDW(DocuWorks)] の設定に従ってプリントされます。

- | | |
|--------|--------|
| ・部数 | ・ソート |
| ・両面 | ・レイアウト |
| ・印刷モード | ・用紙サイズ |
| ・パスワード | |

参照

- ・「[XDW (DocuWorks)]」(P. 194)

補足

- ・lpr コマンドを使ってプリントする場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの [部数] の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って DocuWorks ファイルをプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・空白（スペース）は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、Report.xdw ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ Report.xdw
```

4.13 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

本機に機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

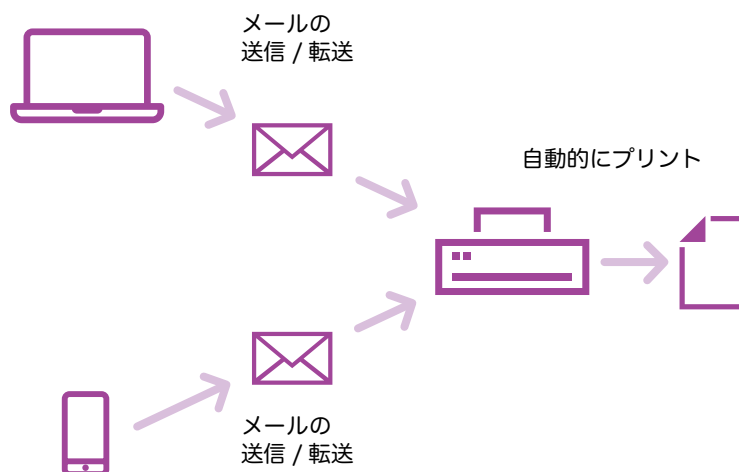
この機能を「メール受信プリント」といいます。

❗ 注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

💡 補足

- ・添付できる文書は、TIFF 形式、PDF 形式、JPEG（JFIF）形式、XML Paper Specification（XPS）形式、XDW 形式（DocuWorks 文書）、XBD 形式（DocuWorks バインダー文書）です。



メール受信プリントをするための環境設定

メール受信プリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）にも設定が必要です。

ネットワーク環境の設定

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の [プロパティ] で、次の項目を設定します。



- ・ 設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。
- ・ 各項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

*：初期値

オン：チェックボックスがチェックされている状態

オフ：チェックボックスがチェックされていない状態

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	英数字と「@」、「.」、「-」、「_」で、128 バイト以内	○	○
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの [From] 欄に表示されます。			
ネットワーク設定 > ポート起動	メール受信	チェックを付けます。	-	○	○
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。ホスト名は、DNS の動的更新で使用されます。	英数字と「-」で、32 バイト以内	○	○
	ドメイン名	DNS ドメイン名を設定します。	英数字と「.」、「-」、で、255 バイト以内	○	-
	DHCP からアドレスを取得 / DHCPv6-lite からアドレスを取得	IPv4 用 DNS サーバーアドレス / IPv6 用 DNS サーバーアドレスを自動的に取得する場合は、[有効] にチェックを付けます。	IPv4 用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCP* IPv6 用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCPv6-lite	○	-
	DNS サーバーアドレス 1 ～ 3	IPv4 用 / IPv6 用の DNS サーバーアドレスを設定します。	IPv4 用： xxx.xxx.xxx.xxx IPv6 用：IPv6-addr 形式	○	-
	DNS の動的更新 (IPv4/IPv6)	IPv4 用 / IPv6 用 DNS を動的に更新する場合は [する] に、また上書きする場合は [上書きする] にチェックを付けます。	・ する ・ 上書きする *	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定 設定>プロトコル 設定> TCP/IP	ドメイン検索リストの自動作成	ドメイン検索リストを自動作成する場合は、[する] にチェックを付けます。	・ オン：自動作成する* ・ オフ：自動作成しない	○	-
	検索ドメイン名 1 ~ 3	検索するドメイン名を指定します。	英数字と「.」、 「-」、で、255 バイト以内	○	-
	タイムアウト	ドメインを検索する場合のタイムアウト時間を設定します。	1 ~ 60 秒 1 秒*	○	-
	DNS 名前解決 の IPv6 優先	デュアルスタックモード時に IPv6 用 DNS の名前解決を優先する場合は、[する] にチェックを付けます。	・ オン：優先する* ・ オフ：優先しない	○	-
サービス設定 設定>メール>初期値 >送信者アドレス>編集	受信 プロトコル	メールの受信方法を設定します。	・ SMTP ・ POP3*	○	-
	受信メールシート の プリント	受信したメールの添付文書と共に、電子メールのヘッダーと本文をプリントする場合に設定します。電子メールの受信経路などをプリントしたいときは [ヘッダーすべてと本文をプリント] に設定します。	・ しない (添付文書の み印刷) ・ 本文がなければ プリントしない ・ ヘッダーの一部 と本文を プリント* ・ ヘッダーすべて と本文を プリント	○	○
	送達確認 メールの自動 プリント	配送確認のメールをプリントするかどうかを設定します。	・ しない* ・ する ・ 不達時のみ プリントする	○	○
ネットワーク設定 設定>プロトコル 設定> POP3	POP3 サーバー IP アドレス (ホ スト名) とポー ト番号	メール受信用の POP3 サーバーの IP アドレス、IPv6-addr 形式、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。 また、POP3 サーバーで使用しているポート番号を設定します。	英数字と「.」、 「-」で、128 バ イト以内 1 ~ 65535	-	○
	POP 受信パス ワードの暗号化	POP 受信の認証に APOP を使用する場合は、[APOP 認証] にチェックを付けます。	・ オフ：使用し ない* ・ オン：使用す る	-	○
	POP ユーザー 名	POP3 サーバーに接続するためのユーザー名を設定します。1 ユーザーだけ設定できます。	ASCII 図形文字 (コード番号 33 ~ 126 の文字) で、64 バイト以 内	-	○

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定 設定>プロトコル 設定>POP3	POP ユーザー パスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、[POP ユーザーパスワードの確認入力]にもう一度パスワードを入力します。	ASCII 印字可能文字（ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ～ 126 の文字）で、64 バイト以内	-	-
	POP3 サーバー 確認間隔	POP3 サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 ～ 120 分 10 分 *	-	○
ネットワーク設定 設定>プロトコル 設定>SMTP	SMTP サーバー IP アドレス（ホスト名）	メール受信用の SMTP サーバーの IP アドレス、IPv6-addr 形式、または FQDN（Fully Qualified Domain Name）を設定します。 ・ IPv4 の場合、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 の間の数値です。 ・ IPv6 の場合、xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。 ・ 入力を間違えたときは、〈C（クリア）〉ボタンを押して、再入力してください。	英数字と「.」、 「-」で、128 バイト以内	○	-
	送信ポート番号 （メール）	SMTP サーバーで使用している送信用のポート番号を設定します。	1 ～ 65535	○	○
	受信ポート番号	SMTP サーバーで使用している受信用のポート番号を設定します。	1 ～ 65535	○	-
	SMTP-SSL/ TLS 通信	SSL/TLS 通信の接続方法について設定します。	・ 無効 ・ STARTTLS 接続（利用可能時） ・ STARTTLS 接続 ・ SSL/TLS 接続	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定 ＞プロトコル設定 ＞SMTP	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。 SMTP 受信の場合、アカウント（@ マークの左側）は、任意の名称を設定できます。アドレス部（@ マークの右側）には、ホスト名とドメイン名を組み合わせたものを設定します。エイリアスは設定できません。 ・ アカウント名：mymail ・ ホスト名：myhost ・ ドメイン名：example.com の場合、メールアドレスは、mymail@myhost.example.com となります。	メールアドレスとして登録可能な文字で、128 バイト以内	○	-
	SMTP 送信の認証	SMTP 送信時の認証方法を設定します。	・ 利用しない * ・ POP before SMTP ・ SMTP AUTH	○	-
	SMTP AUTH-ユーザー	認証が必要な SMTP サーバーの場合、認証用のユーザー名を設定します。	ASCII 図形文字（コード番号 33 ～ 126 の文字）で、64 バイト以内	○	-
	SMTP AUTH-パスワード	SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。	ASCII 印字可能文字（ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ～ 126 の文字）で、64 バイト以内	○	-

メールを受信する

受信できる添付ファイル

本機が受信できるメールの添付文書は、次のとおりです。

- ・ PDF ファイル
- ・ TIFF ファイル
- ・ XML Paper Specification (XPS) ファイル
- ・ JPEG (JFIF) ファイル
- ・ DocuWorks ファイル

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

補足

- ・メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- ・添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- ・添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。
- ・添付ファイルの拡張子は、大文字 / 小文字の区別はされません。
- ・最大 31 文書まで添付できます。
なお、本機でプリントできない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。

参照

- ・Web メールの場合、送信方法によっては正しくプリントされないことがあります。詳しくは、「9.6 ネットワーク関連のトラブル」>「メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル」(P. 284) を参照してください。

2. あて先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は、次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up ^{*1 *2} （まとめて一枚）	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター (8.5 × 11")	letter
	リーガル	legal

*1 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの [PDF] > [プリント処理モード] を [PS] に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。

*2 メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

*3 [1 アップ] を指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小してプリントされます。

補足

- ・ 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- ・ 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付ファイルの種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。
2. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。
3. ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。

指定例

メールの件名に次のように入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

補足

- ・ ジョブ属性を指定するときに、大文字、小文字の区別はありません。
- ・ ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

参照

- ・ メール本文のプリントは、CentreWare Internet Services の [受信メールシートのプリント] でも設定できます。設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

4. メールの件名を確認し、送信します。

補足

- ・ ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定でプリントされます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定でプリントされます。
 - TIFF、または JPEG 形式の添付文書：CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある、[TIFF/JPEG] の [使用するメモリー設定] で設定されている論理プリンターの設定値。
 - PDF 形式の添付文書：操作パネルの [PDF] の設定値。ただし、操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] を [PS] に設定していて、CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある [PostScript] のデフォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの [PDF] の設定値に優先して適用されます。
 - XML Paper Specification (XPS) ファイルの添付文書：XML Paper Specification (XPS) に含まれる PrintTicket の設定（操作パネルの [XPS] の設定によって動作は異なります）
 - XDW、または XBD 形式の添付文書：操作パネルの [XDW (DocuWorks)] で設定されている設定値。

メールを手動で受信してプリントする

本機では、メールを受信すると自動的にプリントされますが、操作パネルから手動でメールを受信し、プリントすることもできます。（POP メール受信時のみ）

補足

- ・ この機能はオプションの機能拡張キット（ハードディスク）が装着され、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [ポート起動] > [メール受信] が [起動] に、[プロパティ] > [メール設定] > [受信プロトコル] が [POP3] に設定されている場合に使用できます。

1. 操作パネルの 〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
メニュープリント

2. [メール受信プリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
メール受信プリント

3. 〈▶〉 または ボタンを押します。 受信を開始させる画面が表示されます。

メール受信プリント
[OK] で受信開始

4. ボタンを押します。 メールの受信が始まります。受信後、文書がプリントされます。

メール受信プリントを
受け付けました

5. プリントが終わると、自動的にプリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

メールによる文書送信時のご注意

ドメインによる受信制限

本機では、特定のドメインからのメールだけを受信するように設定できます。

ドメインによる受信制限の設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

5 スマートフォン／タブレットからのプリント

5.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する

スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、ウェブページやメールなどを素早く簡単にプリントできます。

次のいずれかの方法で、本機をスマートフォン／タブレットと接続します。

- ・Wi-Fi 接続
本機とスマートフォン／タブレットを無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- ・Wi-Fi Direct 接続
無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とスマートフォン／タブレットを直接接続します。



補足

- ・ NFC（オプション）も利用できます。NFC 機能の詳細については、弊社公式サイトをご覧ください。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。



参照

- ・ 接続方法については、「無線 LAN で接続する (P.20)」を参照してください。

スマートフォン／タブレットの設定



補足

- ・ 操作方法是スマートフォン／タブレットの機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットの Wi-Fi 機能を有効にします。
2. 本機が接続しているネットワーク（SSID）を選びます。
3. 暗号化キーを入力し、接続を完了します。



補足

- ・ 暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

補足

- ・ スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器は同時に 3 台まで接続できます。

Wi-Fi Direct を設定する

Wi-Fi Direct を使用するには、はじめに本機の操作パネルで Wi-Fi Direct を設定します。次に本機の SSID をモバイル機器上の画面で選び、パスコードを入力すると、Wi-Fi Direct 経由で本機に接続できます。

■ 本機の設定をする

補足

- ・ CentreWare Internet Services を使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・ Wi-Fi Direct は IPv6 やアドホック環境では使用できません。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi Direct] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi Direct

6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ポートの起動] が表示されます。

Wi-Fi Direct
ポートの起動

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[起動] が表示されます。

ポートの起動
起動

8. [停止] が表示された場合は、[起動] が表示されるまで
〈▼〉 ボタンを押します。

ポートの起動
起動

9. OK ボタンを押します。
10. これで、設定は終了です。
1 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を終了し
 ます。
 設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。
11. 手順 1 ～ 6 の操作をします。
 [ポートの起動] が表示されます。

Wi-Fi Direct
ポートの起動

12. [グループロール] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押
 します。

Wi-Fi Direct
グループロール

13. 〈▶〉 または OK ボタンを押します。
 [自動] が表示されます。

グループロール
自動

14. [グループオーナー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを
 押します。

グループロール
グループオーナー

15. OK ボタンを押します。

グループロール
グループオーナー

16. 〈◀〉 または ⏮ 〈戻る〉 ボタンで [グループロール] に戻
 ります。

Wi-Fi Direct
グループロール

17. [接続数] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
接続数

18. OK ボタンを押します。

接続数
2

19. 画面に表示されているモバイル機器数が 2 台以下である
 こと確認し、〈◀〉 または ⏮ 〈戻る〉 ボタンで [接続数]
 に戻ります。

Wi-Fi Direct
接続数

補足

- ・ 接続しているモバイル機器数が 3 台のときは、Wi-Fi Direct ネットワークに追加接続できません。

20. [SSID] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi Direct SSID

21. 〈▶〉または  ボタンを押します。

SSID [DIRECT-**]

22. 無線ネットワーク名を入力し、 ボタンを押します。

SSID [DIRECT-**abcdefg]

23.  〈戻る〉ボタンで [SSID] に戻ります。

Wi-Fi Direct SSID

24. [パスコード入力] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi Direct パスコード入力

25. 〈▶〉または  ボタンを押します。
[ASCII で入力] が表示されます。

パスコード入力 ASCII で入力

26. 〈▶〉または  ボタンを押します。

パスコード (ASCII) []

27. パスコードを入力し、 ボタンを押します。

パスコード (ASCII) [abcdefghijklmnop]

28.  〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

■ 本機とモバイル機器を接続する

参照

- ・ 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。
2. 本機の SSID を選びます。
3. パスコードを入力します。

Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. [Wi-Fi Direct] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ポートの起動] が表示されます。
7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[起動] が表示されます。
8. [停止] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。
9.  ボタンを押します。
10. これで、設定は終了です。
 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

仕様設定
レポート / リスト

仕様設定
機械管理者メニュー

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi Direct

Wi-Fi Direct
ポートの起動

ポートの起動
起動

ポートの起動
停止

5.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン／タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン／タブレットからプリントできます。

詳しくは、次の URL を参照してください。

- ・ iOS の場合：https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_ios/
- ・ Android の場合：https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_and/

5.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhone などの iOS 搭載機器や Mac のコンピューターから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。

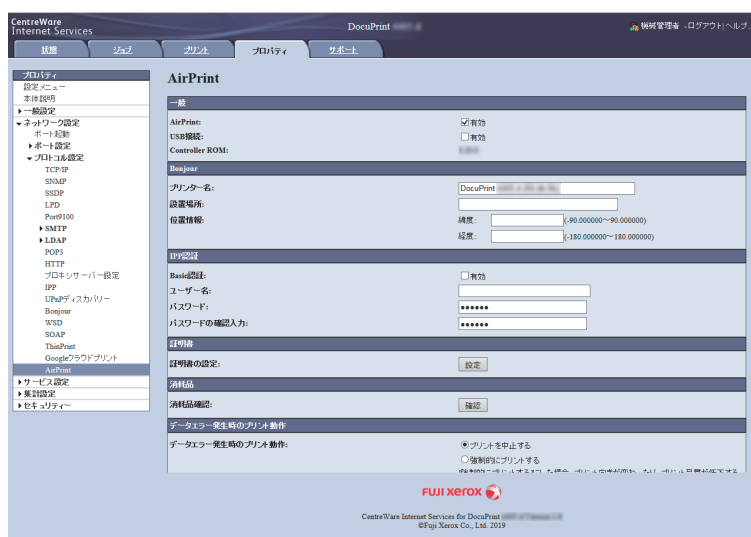
AirPrint の設定を有効にする

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



- 補足**
- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.27)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [AirPrint] を順にクリックします。



4. [AirPrint] の [有効] にチェックマークを付けます。



- 補足**
- ・ USB で接続しているときは、[AirPrint] の [USB 接続] にもチェックマークを付けます。

5. [新しい設定を適用] をクリックします。
6. [再起動] をクリックします。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS11 を使った手順を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。
2.  のアイコンをタップします。
3. [プリント] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

Google クラウド プリント

Google クラウド プリントは、Google Inc. が提供するプリントサービスです。本機を Google クラウド プリントに登録すると、Google クラウド プリントに対応したアプリケーションからプリントできます。

補足

- ・ Google クラウド プリントは IPv4 接続にだけ対応しています。
- ・ 本機をプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Services から [プロキシサーバー] を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。
- ・ 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、[ユーザー指定なし印刷の許可] を有効にする必要があります。

参照

- ・ Google クラウド プリントについては、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

本機で Google クラウド プリントを使うために必要な作業

Google クラウド プリントを使用するには、次の準備をする必要があります。

- ・ Google アカウントを取得する

■ Google クラウドプリントポートの起動

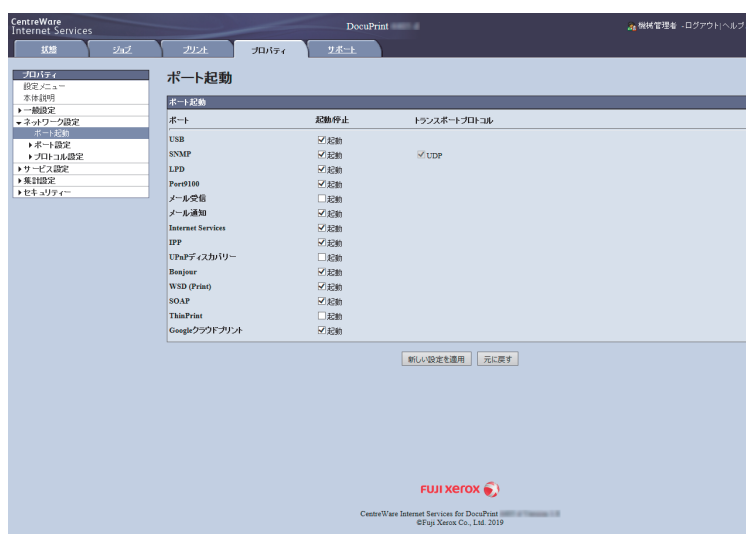
1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

補足

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.27)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

- 画面左の領域にある「ネットワーク設定」>「ポート起動」>「Google クラウドプリント」を順にクリックします。



- 「Google クラウドプリント」の「有効」にチェックマークを付けます。
- 「新しい設定を適用」をクリックします。
- 「再起動」をクリックします。

Google クラウドプリントに本機を登録する

CentreWare Internet Services または Google Chrome を使って Google クラウドプリントに本機を登録します。

■ CentreWare Internet Services を使って登録する場合

- 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

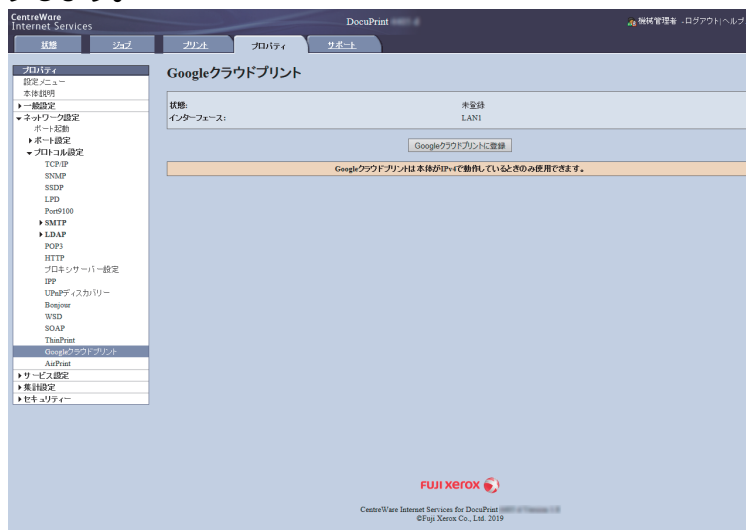


補足

- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.27)」を参照してください。

- 「プロパティ」タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある【ネットワーク設定】>【プロトコル設定】>【Google クラウドプリント】を順にクリックします。



4. 【Google クラウドプリントに登録】をクリックします。
Google クラウド プリント登録サイトの URL が記載された用紙がプリントされます。
5. 用紙に記載された URL を Web ブラウザーに入力し、Google クラウド プリントの登録サイトにアクセスします。

 補足

- ・用紙に記載された QR コードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。

6. ログイン画面で、お使いの Google アカウントを入力してログインします。
7. 【プリンタ登録を完了】>【プリンタの管理】をクリックします。
本機が【プリンタ】リストに表示され、Google クラウド プリントサービスが利用可能になります。

■ Google Chrome を使って登録する場合

 補足

- ・Bonjour が有効になっていることを確認します。設定については、「[Bonjour]」(P. 130) を参照してください。

1. Google Chrome を起動します。
2. 画面右上にある  をクリックし、【設定】を選びます。
3. ページ下部にある【詳細設定を表示】をクリックします。
4. 【Google クラウドプリント】>【管理】をクリックします。

 補足

- ・【新しいデバイス】の下に Chrome へのログインを促すメッセージが表示されたら、【ログイン】をクリックして Chrome にログインします。

5. 登録するプリンターの【登録】をクリックします。
6. 登録の確認ウィンドウが表示されたら、【登録】をクリックします。

7. 本機の画面の指示に従って操作します。
8. Google Chrome の [マイデバイス] に本機の名前が表示されることを確認します。

 補足

- ・ [マイデバイス] に本機の名前が表示されるまで 5 分以上かかることがあります。

Google クラウド プリントへの登録を解除する

1. 本機の IP 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

 補足

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.27)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] を順にクリックします。
4. [Google クラウドプリント登録を解除] をクリックします。

Google クラウド プリントでプリントする

 参照

- ・ Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

Mopria プリントサービス

Mopria® プリントは Android 搭載のスマートフォンやタブレット (Android 4.4 以降) から、Mopria 認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめに Google Play ストアから、Mopria プリントサービスのアプリケーションを、お使いの Android 機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使って本機に接続します。

 補足

- ・ 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、[ユーザー指定なし印刷の許可] を有効にする必要があります。

本機に Mopria プリントサービスを設定する

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

 補足

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.27)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Mopria] を順にクリックします。
4. [Mopria] の [有効] にチェックマークを付けます。
5. [新しい設定を適用] をクリックします。
6. [再起動] をクリックします。

Mopria プリントサービスでプリントする



参照

- ・ 詳しくは、「<http://mopria.org/>」を参照してください。

6 本体の設定を変更する

6.1 共通メニューの概要

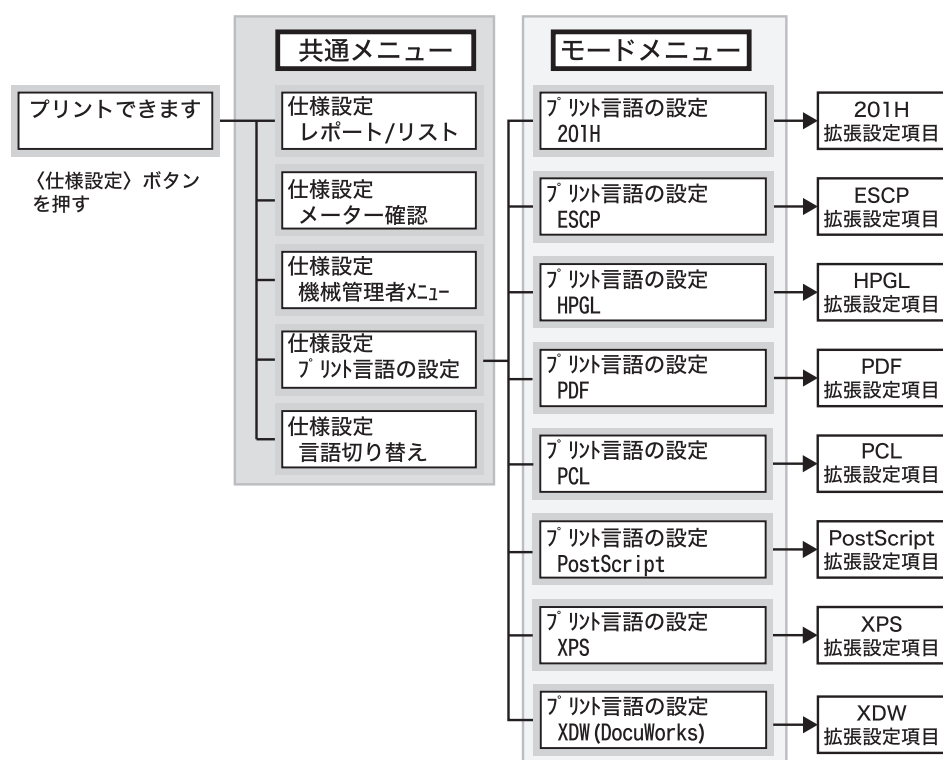
メニューの構成

メニューには、共通メニューとモードメニューがあります。本書では、主に共通メニューについて説明します。



補足

- ・ [PostScript] は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

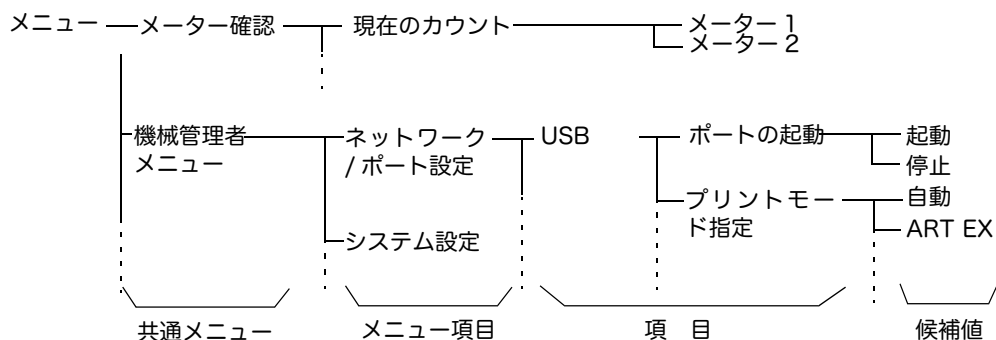


共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

- ・ 共通メニュー>メニュー項目>項目>候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。



共通メニューの各メニューの概要は、次のとおりです。

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
レポート / リスト	各種レポート / リストをプリントします。	「8.2 レポート / リストをプリントする」(P. 235)
メーター確認	プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総プリントページ数を確認する(メーター)」(P. 240)
機械管理者メニュー	[ネットワーク / ポート設定] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク / ポート設定]」(P. 119)
	[システム設定] 節電モードや異常警告音の設定など、本機の基本的な動作に関する設定をします。また、メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、暗証番号を設定します。	「[システム設定]」(P. 146)
	[プリント設定] 自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。	「[プリント設定]」(P. 170)
	[メモリー設定] 各インターフェイスのメモリーやフォームメモリーの容量を変更します。	「[メモリー設定]」(P. 181)
	[画質補正] プリント画質が悪いときに、本機を調整します。	「[画質補正]」(P. 184)
	[初期化 / データ削除] 本機の設定値やハードディスクの初期化、フォームデータの削除をします。	「[初期化 / データ削除]」(P. 188)
	[エンジンクリーニング] 本機の内部をクリーニングします。	「[エンジンクリーニング]」(P. 190)
	[トナーリフレッシュ] トナーと現像剤のバランスを適正にします。	「[トナーリフレッシュ]」(P. 190)

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
プリント言語の設定	[201H] PC-PR201H エミュレーションモードの設定をします。	「PC-PR201H エミュレーションについて」(P. 368)
	[ESCP] ART IV、ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P. 347)
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P. 389)
	[PDF] PDF ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[PDF]」(P. 190)
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	「PCL エミュレーションについて」(P. 401)
	[PostScript] PostScript® に関する設定をします。	「[PostScript]」(P. 193)
	[XPS] XML Paper Specification (XPS) ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XPS]」(P. 193)
	[XDW (DocuWorks)] DocuWorks ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XDW (DocuWorks)]」(P. 194)
言語切り替え	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[言語切り替え]」(P. 196)

補足

- ・メニュー項目を設定するための基本的な操作方法については、「基本的な操作方法」(P. 117)を参照してください。

3. <▶> または **OK** ボタンを押します。
下の階層に移動します。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

 補足

- ・間違っ、違項目で <▶> または **OK** ボタンを押してしまっ場合は、<◀> または  <戻る> ボタンで前の画面に戻ります。
- ・最初からやり直したい場合は、 <仕様設定> ボタンを押します。

4. [システム設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. <▶> または **OK** ボタンを押します。
下の階層に移動します。

システム設定
音の設定

6. [スリープモード移行時間] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

システム設定
スリープモード 移行時間

7. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

スリープモード 移行時間
• 1 分後

8. <▲> <▼> ボタンを押して、[60 分後] を表示します。

 補足

- ・ <▲> <▼> ボタンを押し続けると、連続して値を変えることができます。

スリープモード 移行時間
60 分後

9. **OK** ボタンを押します。
値が確定されます。

スリープモード 移行時間
• 60 分後

10. これで設定が完了です。
 <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

6.2 共通メニュー項目の説明

補足

- ・メニューの設定方法については、「設定を変更する」(P. 117) を参照してください。
- ・CentreWare Internet Services でも、一部、操作パネルと同様の項目を設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・共通メニュー全体を図式的に表したメニューツリーは、「操作パネルメニュー一覧」(P. 431) を参照してください。

[レポート / リスト]

各種レポート / リストをプリントします。レポート / リストの詳細、およびプリント方法は、「8.2 レポート / リストをプリントする」(P. 235) を参照してください。

補足

- ・本機に取り付けられているオプション製品によって、プリントできるレポート / リストが異なります。詳細は、「8.2 レポート / リストをプリントする」(P. 235) を参照してください。

[メーター確認]

プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。メーターの詳細、および確認手順は、「総プリントページ数を確認する (メーター)」(P. 240) を参照してください。

[機械管理者メニュー]

[機械管理者メニュー] には、[ネットワーク / ポート設定]、[システム設定]、[プリント設定]、[メモリー設定]、[画質補正]、[初期化 / データ削除]、[エンジンクリーニング]、[トナーリフレッシュ] のメニュー項目があります。

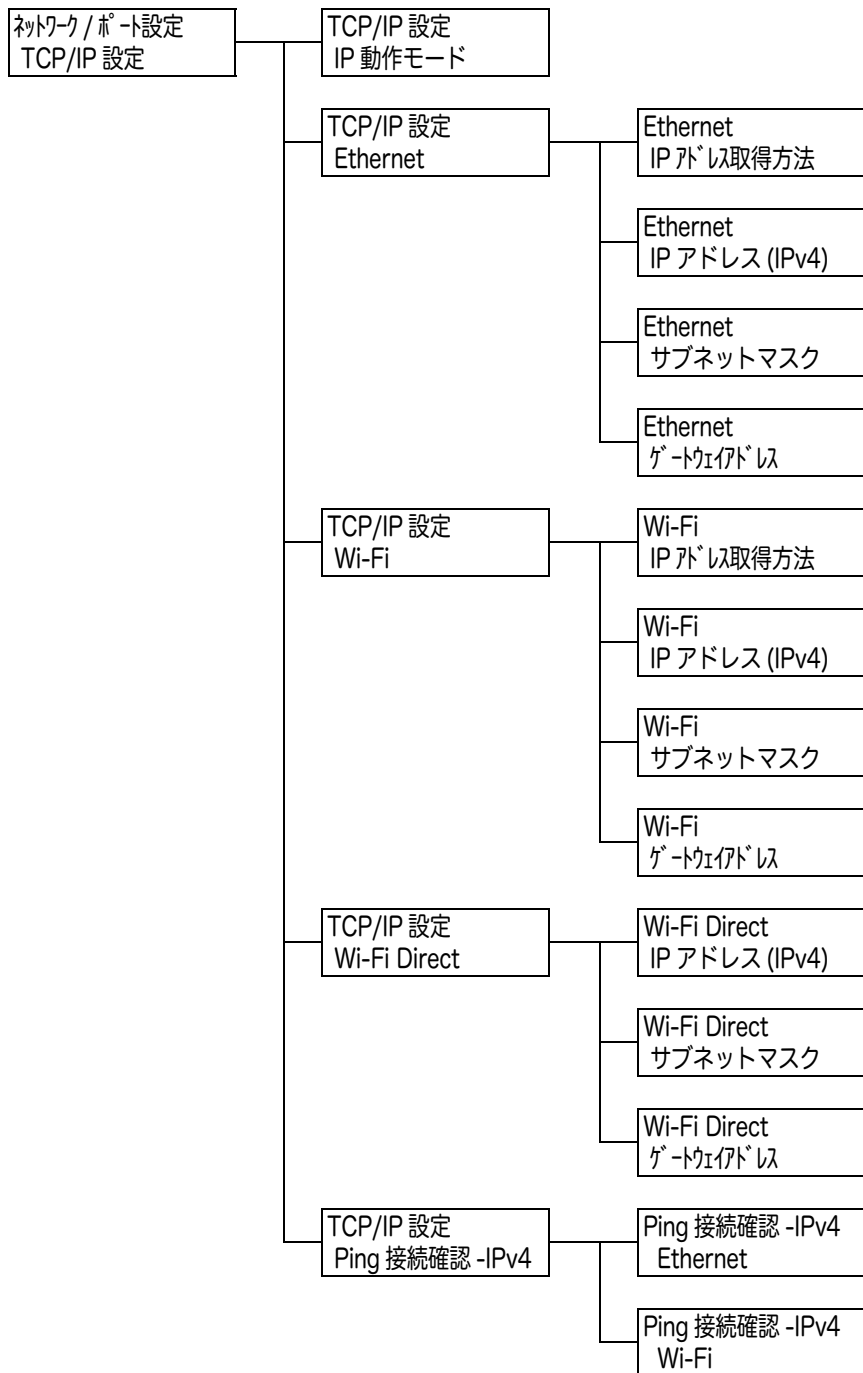
[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定] では、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。

[TCP/IP 設定]

💡 補足

- ・ セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合は、[Ethernet1] と [Ethernet2] が表示されます。
- ・ Wi-Fi に関する項目は、無線 LAN キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



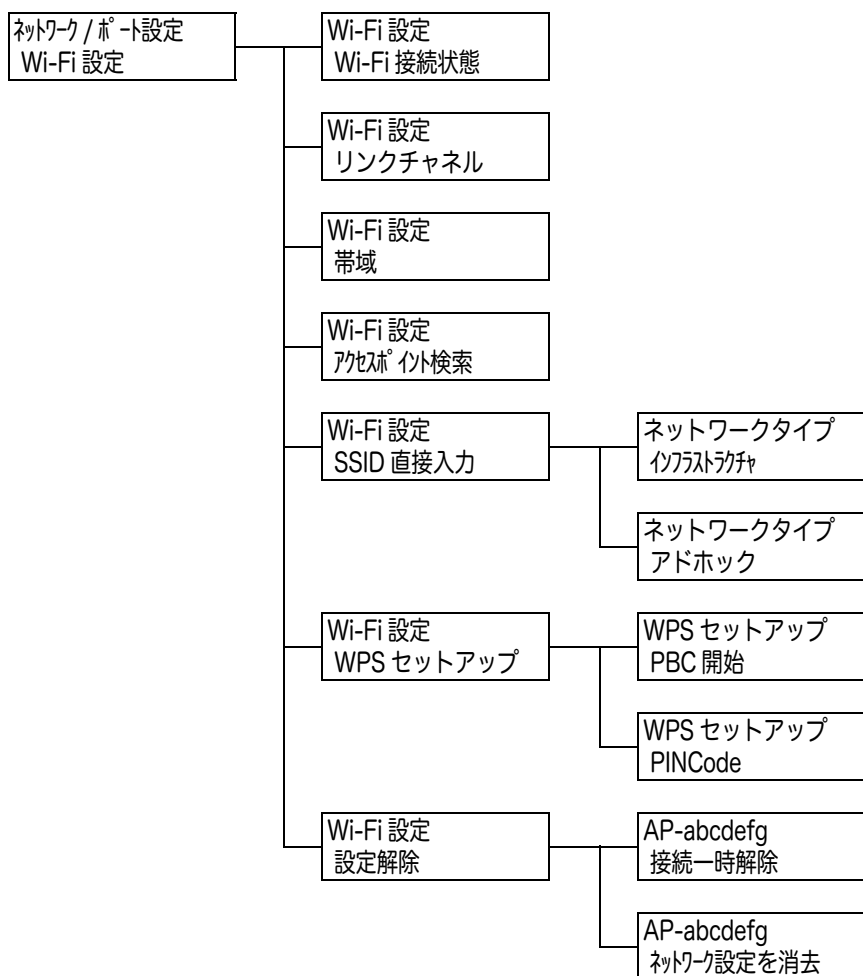
設定項目		説 明
IP 動作モード		IP 動作モードを設定します。 ・ [デュアルスタック] (初期値) IPv4 と IPv6 モードの両方が使用できます。 ・ [IPv4] IPv4 モードを使用します。[IPv4 設定] から IP アドレスの設定を行います。 ・ [IPv6] IPv6 モードを使用します。オートコンフィグレーションになっているので、詳細設定は不要です。  補足 ・ [IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Direct を使用できません。
Ethernet	—	Ethernet 設定を行います。
	IP アドレス取得方法	TCP/IP を使うために必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の取得方法を設定します。 ・ [手動] 手動で設定します。 ・ [DHCP] DHCP サーバーから自動的に取得します。 ・ [BOOTP] BOOTP から自動的に取得します。 ・ [RARP] RARP から自動的に取得します。 ・ [DHCP/AutoIP] (初期値) AutoIP 機能付きの DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーから自動的に取得します。  補足 ・ [DHCP/AutoIP]、[DHCP]、[BOOTP]、または [RARP] から、[手動] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
	IP アドレス (IPv4)、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。 アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 ～ 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ～ 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。 (参照 P. 196 の *2)  注記 ・ サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合 (途中のビットを 0 に設定した場合など)、数値の設定後に 《仕様設定》 ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・ 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときにだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

設定項目		説 明
Wi-Fi	—	Wi-Fi 設定を行います。
	IP アドレス取得方法	TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の取得方法を設定します。 ・ [手動] 手動で設定します。 ・ [DHCP] DHCP サーバーから自動的に取得します。 ・ [BOOTP] BOOTP から自動的に取得します。 ・ [RARP] RARP から自動的に取得します。 ・ [DHCP/AutoIP]（初期値） AutoIP 機能付きの DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーから自動的に取得します。  補足 ・ [DHCP/AutoIP]、[DHCP]、[BOOTP]、または [RARP] から、[手動] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
	IP アドレス (IPv4)、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。 アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 ～ 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ～ 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。 (参照 P. 196 の *2)  注記 ・ サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを 0 に設定した場合など）、数値の設定後に  〈仕様設定〉 ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・ 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。
Wi-Fi Direct	—	Wi-Fi Direct 設定を行います。
	IP アドレス (IPv4)、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	自動で取得されたアドレスを確認する場合に使用します。
Ping 接続確認 -IPv4	Ethernet、Wi-Fi	設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。コンピューターの IPv4 アドレスを入力すると、Ping 接続確認が開始されます。  補足 ・ セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合は、[Ethernet1] と [Ethernet2] が表示されます。

[Wi-Fi 設定]

💡 補足

- ・ この項目は、無線 LAN キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



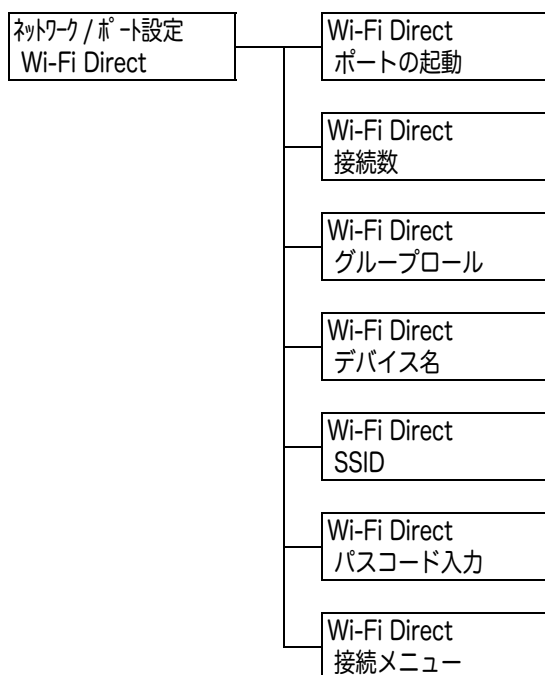
設定項目	説 明
Wi-Fi 接続状態	Wi-Fi 通信の状態を表示します。 ・ [強い] ・ [良好] ・ [弱い] ・ [未接続]
リンクチャンネル	Wi-Fi 通信で使用するチャンネルが表示されます。
帯域	周波数帯域を設定します。 ・ [自動] 周波数帯域を 2.4 GHz 帯または 5 GHz 帯から自動で設定します。 ・ [2.4GHz] 周波数帯域を 2.4 GHz 帯に設定します。 ・ [5GHz] 周波数帯域を 5 GHz 帯に設定します。 ・ [停止] 電波を停止します。

設定項目		説 明
アクセスポイント検索		無線 LAN アクセスポイントを検索し、電波強度の強い順に SSID を表示します。最大 5 台まで表示します。アクセスポイントを選択し、[OK] ボタンを押すと接続を行います。アクセスポイントのセキュリティー設定に応じて、WEB キーやパスフレーズなどを入力します。 [WEP キーエントリー] ・ [WEP キー 1] ～ [WEP キー 4] [パスフレーズで入力] ・ [パスフレーズ (ASCII)] ・ [パスフレーズ (HEX)] [EAP 認証方式] ・ [PEAPv0 MS-CHAPv2] ・ [EAP-TLS] ・ [EAP-TTLS/PAP] ・ [EAP-TTLS/CHAP] ・ [EAP-TTLS/MS-CHAP2]
SSID 直接入力	—	無線 LAN アクセスポイントの識別名称を入力します。入力できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 196 の *4 No.1、3、4、5)
	ネットワークタイプ	無線 LAN の種類と暗号化方式を設定します。アクセスポイントのセキュリティー設定に応じて、WEB キーやパスフレーズなどを入力します。 [インフラストラクチャ] ・ [設定しない] ・ [WEP] ・ [WPA2 Personal] ・ [MixedModePersonal] ・ [WPA2 Enterprise] ・ [Mixed Mode Enterp] [アドホック] ・ [設定しない] ・ [WEP]  補足 ・ [Wi-Fi Direct] の [ポートの起動] が [起動] に設定されている場合は [アドホック] は表示されません。
WPS セットアップ		WPS を使用して無線 LAN の設定をします。 ・ [PBC 開始] WPS (プッシュボタン方式) を使用して無線 LAN の設定をします。 ・ [PINCode] 本機に割り当てられる PIN コードを使用して無線 LAN の設定をします。
設定解除	接続一時解除	無線 LAN アクセスポイントへの接続を一時的に解除します。
	ネットワーク設定を消去	設定した接続情報を消去します。

[Wi-Fi Direct]

補足

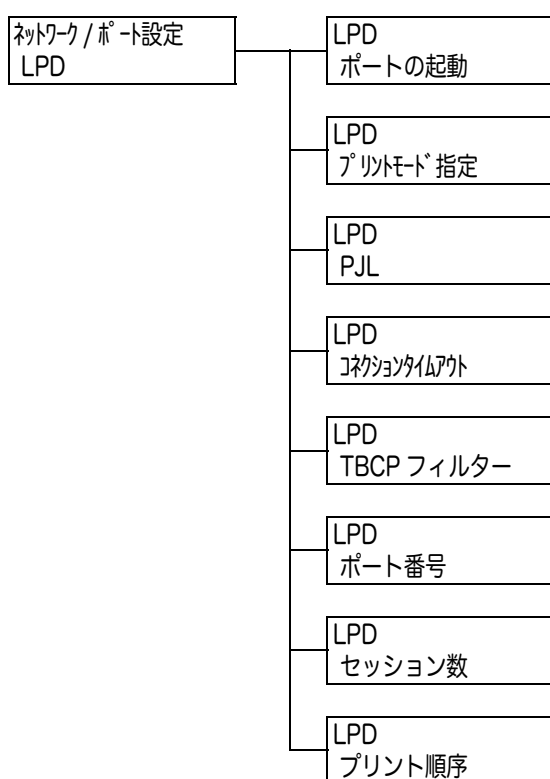
- ・ この項目は、無線 LAN キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、Wi-Fi Direct ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] ・ [停止]  補足 ・ [ネットワークタイプ] が [アドホック]、[帯域] が [5GHz]、[IP 動作モード] が [IPv6] に設定されている場合は [ポートの起動] を [起動] に設定できません。
接続数	現在接続されている Wi-Fi モバイル端末の数を表示します。
グループロール	本機のグループロールを設定します。 ・ [自動] 本機のグループロールを自動的に設定します。 ・ [グループオーナー] 本機を Wi-Fi Direct ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できるようになります。  注記 ・ iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。
デバイス名	Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名称を入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。入力できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。（参照 P. 196 の *4 No.1、3、4、5）

設定項目	説 明
SSID	Wi-Fi Direct ネットワークで識別するネットワークの名称を「DIRECT-**」に続く部分について入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。入力できる文字は、英数半角で 23 文字までです。 (参照 P. 196 の *4 No.1、3、4)
パスコード入力	パスフレーズとして 8 ～ 63 文字の英数字 (参照 P. 196 の *4 No.1、3、4、5) を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。
接続メニュー	- モバイル機器からの接続要求があった場合に設定します。 - PBC 方式で接続要求があった場合は、接続許可の可否を設定します。 - PIN コード方式で接続要求があった場合は、PIN コードを確認してから  ボタンを押して接続します。

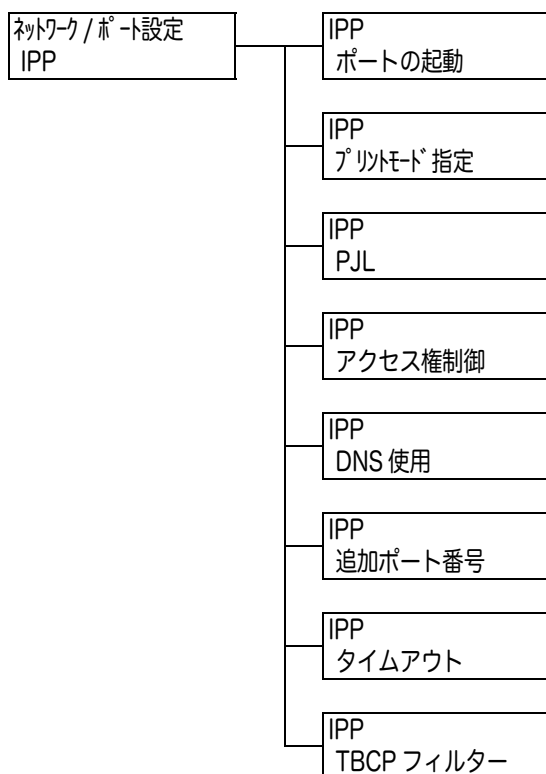
[LPD]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  補足 ・ LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

設定項目	説 明
プリントモード指定	プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 （参照 P. 196 の *1） ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。（参照 P. 196 の *3）  補足 ・ [PS] は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 196 の *5） ・ [無効] ・ [有効]（初期値）
コネクションタイムアウト	プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ～ 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。 （参照 P. 196 の *2） ・ [16 秒]（初期値）
TBCP フィルター	PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効]（初期値） ・ [有効]  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。（参照 P. 196 の *2） ・ [515]（初期値）  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
セッション数	本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を、1 ～ 10 の間で設定します。 ・ [5]（初期値）
プリント順序	プリントデータの順序について設定します。 ・ [データ処理順]（初期値） 本機がデータを処理した順序でプリントします。 ・ [プリント受け付け順] 本機がデータを受信した順序でプリントします。

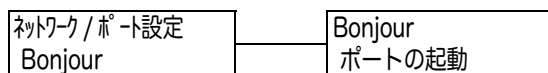
[IPP]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値) 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	プリントデータの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。 ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 (参照 P. 196 の *1) ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。(参照 P. 196 の *3) 補足 ・ [PS] は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目	説 明
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 196 の *5) ・ [無効] ・ [有効] (初期値)
アクセス権制御	プリントジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]
DNS 使用	本機を認識するときに、DNS (Domain Name System) に登録した名前を使うかどうかを設定します。 ・ [無効] IP アドレスを使用します。 ・ [有効] (初期値) DNS 名を使用します。
追加ポート番号	追加ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [80] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 196 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共用できます。
タイムアウト	プリントデータの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間に 1 秒単位に設定します。 ・ [60 秒] (初期値)
TBCP フィルター	PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[Bonjour]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、Bonjour ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。  補足 ・ Multicast DNS 機能を使う場合は [起動] にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートも起動します。

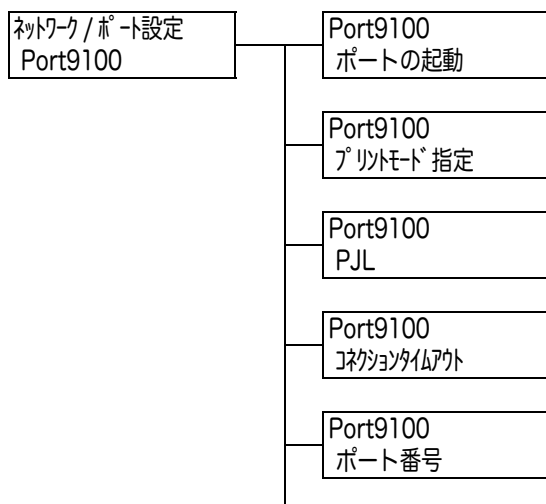
[USB]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、USB ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー 設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 (参照 P. 196 の *1) ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。(参照 P. 196 の *3)  補足 ・ [PS] は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 196 の *5) ・ [無効] ・ [有効] (初期値)
自動排出時間	データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的にプリントして排出する時間を設定します。 時間は 5 ～ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。(参照 P. 196 の *2) また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。 ・ [30 秒] (初期値)

設定項目	説 明
Adobe 通信 プロトコル	PostScript® の通信プロトコルを設定します。 ・ [標準] (初期値) 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによってはプリント処理が [標準] に比べて速くなることがあります。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・ [RAW] 通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しくプリントできない場合に選びます。  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript® でプリントされる場合にだけ有効です。 ・ 通常は、初期値の [標準] で使用してください。
PS 印刷待ちタイムアウト	PostScript® のプリント待ちタイムを設定します。 ・ [無効] (初期値) [USB] の [自動排出時間] を使用します。 ・ [有効] PostScript® プリントドライバーの [印刷待ちタイムアウト] を使用します。  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
ポートの固定	USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするかお使いのプリンター固有のシリアルナンバーにするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするときに設定します。 ・ [有効] USB デバイスに通知するシリアルナンバーをお使いのプリンター固有の値にするときに設定します。

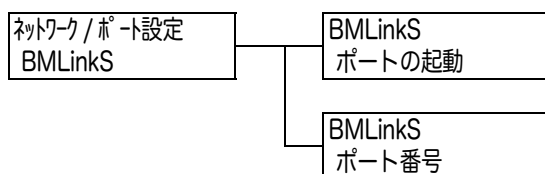
[Port9100]



Port9100
TBCP フィルター

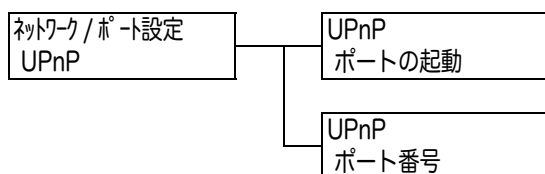
設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 (参照 P. 196 の *1) ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。(参照 P. 196 の *3)  補足 ・ [PS] は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 196 の *5) ・ [無効] ・ [有効] (初期値)
コネクションタイムアウト	プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ～ 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。 (参照 P. 196 の *2) ・ [60 秒] (初期値)
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [9100] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
TBCP フィルター	PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[BMLinkS]



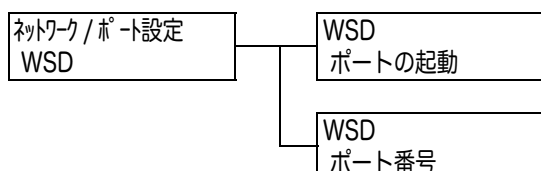
設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、BMLinkS ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] (初期値) ・ [起動]  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [80] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 196 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[UPnP]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、UPnP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] (初期値) ・ [起動]  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [80] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 196 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[WSD]



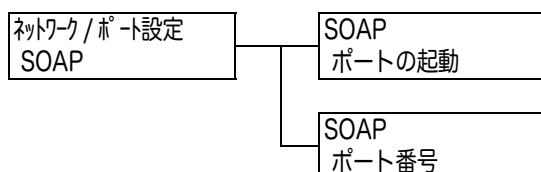
補足

- ・ WSD は、Web Services on Devices の略称です。

設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、WSD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

設定項目	説 明
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [80] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 196 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]

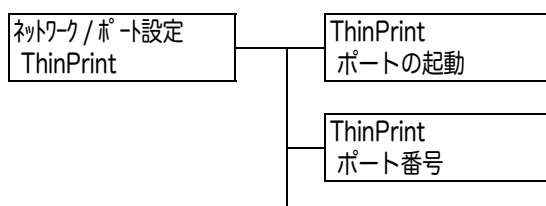


設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、SOAP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [80] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 196 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[ThinPrint]

補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ ThinPrint 機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



ThinPrint SSL/TLS 通信

設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、ThinPrint ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] (初期値) ・ [起動]
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [4000] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
SSL/TLS 通信	SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]  補足 ・ SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

補足

- ・ SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

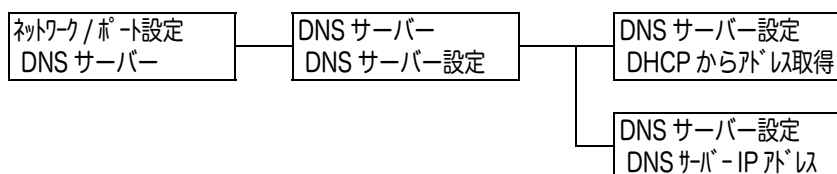
ネットワーク / ポート設定 SNMP 設定	SNMP 設定 ポートの起動
---------------------------	-------------------

設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

[DNS サーバー]

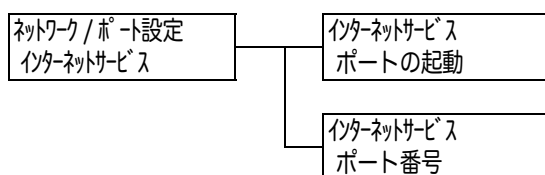
補足

- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合は、[DNS サーバー設定 -1] と [DNS サーバー設定 -2] が表示されます。
- ・ 無線 LAN キット (オプション) が取り付けられている場合は、[DNS サーバー設定 Wi-Fi] が表示されます。



設定項目	説 明
DHCP からアドレス取得	DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを指定します。 ・ [しない] ・ [する] (初期値)  補足 ・ [する] から [しない] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。 ・ IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、[しない] で固定です。
DNS サーバー IP アドレス	この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 196 の *2)

[インターネットサービス]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、インターネットサービスポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。[起動] に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値)  注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。  補足 ・ インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。

設定項目	説 明
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [80] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 196 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共用できます。

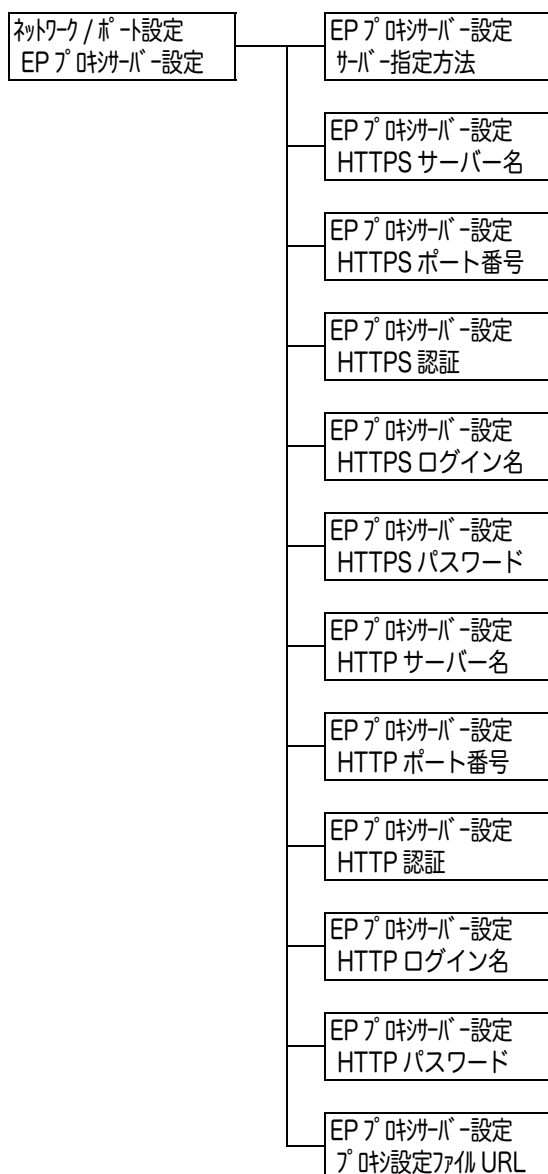
[EP プロキシサーバー設定]

注記

- ・ 本機能は、トータルサービス契約を締結される場合に使用することがあります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご確認ください。

補足

- ・ CentreWare Internet Services でも設定できます。CentreWare Internet Services の設定によっては、表示項目が異なります。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。



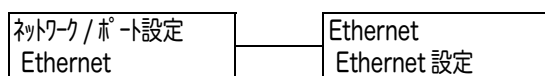
設定項目	説 明
サーバ指定方法	EP プロキシサーバの指定方法を設定します。 ・ [すべて同じ設定] (初期値) HTTPS と HTTP で同じ設定が使用されます。 HTTPS での設定内容が HTTP で使用されます。 ・ [プロトコルごとに設定] HTTPS と HTTP を別々に設定します。 ・ [設定ファイル URL を設定] [プロキシ設定ファイル URL] で登録した URL が使用されます。 ・ [設定ファイルを自動検出] 自動検出した設定ファイルが使用されます。
HTTPS サーバー名 HTTP サーバー名	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバのサーバー名を入力します。255 文字まで入力できます。(参照 P. 196 の *4)

設定項目	説 明
HTTPS ポート番号 HTTP ポート番号	HTTPS、HTTP で使用するポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。 (参照 P. 196 の *2) ・ [8080] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
HTTPS 認証 HTTP 認証	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーの認証機能を有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]
HTTPS ログイン名 HTTP ログイン名	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのログイン名を入力します。31 文字まで入力できます。(参照 P. 196 の *4)
HTTPS パスワード HTTP パスワード	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのパスワードを入力します。31 文字まで入力できます。(参照 P. 196 の *4)
プロキシ設定ファイル URL	EP プロキシサーバーとして指定する URL を入力します 最大 255 文字まで入力できます。

[Ethernet]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] が表示されます。



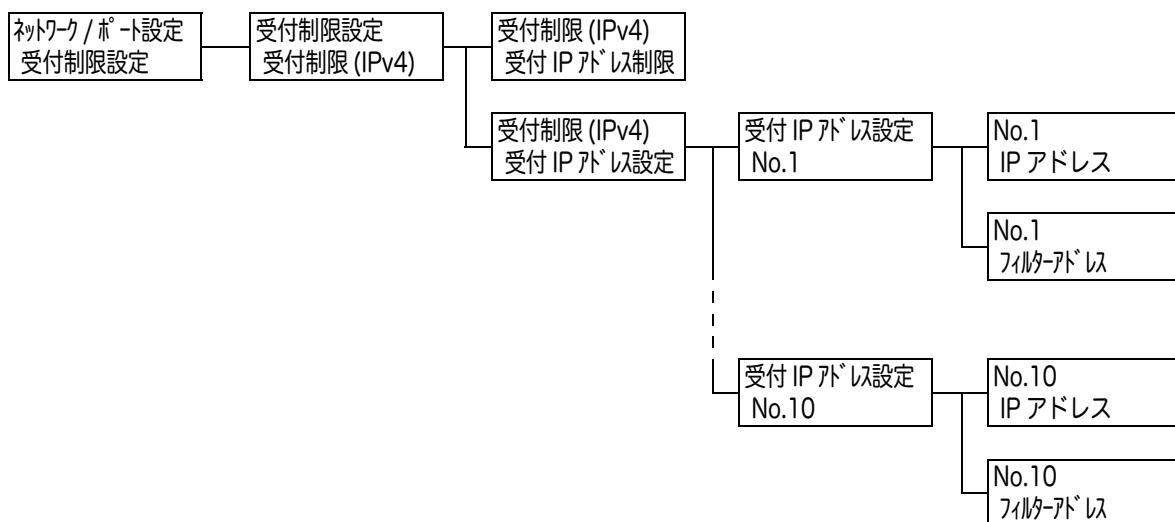
設定項目	説 明
Ethernet 設定	Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクタの種類を設定します。 ・ [自動] 100 M (全二重)、100 M (半二重)、10 M (全二重)、10 M (半二重)、1000 Mbps を自動的に切り替えます。 ・ [自動 (100Mbps 上限)] (初期値) 100 M (全二重)、100 M (半二重)、10 M (全二重)、10 M (半二重) を自動的に切り替えます。 ・ [100M (全二重)] 100 M (全二重) に固定して使う場合に選びます。 ・ [100M (半二重)] 100 M (半二重) に固定して使う場合に選びます。 ・ [10M (全二重)] 10 M (全二重) に固定して使う場合に選びます。 ・ [10M (半二重)] 10 M (半二重) に固定して使う場合に選びます。 ・ [1000 Mbps] 1000 Mbps に固定して使う場合に設置します。  補足 ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[自動 (100Mbps 上限)] は、プライマリーインターフェイスの設定にのみ表示されます。セカンダリーインターフェイスの初期値は、[自動] になります。 ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、セカンダリーインターフェイス設定の [1000 Mbps] は、ギガビットに対応しているときのみ表示されます。

[受付制限設定]



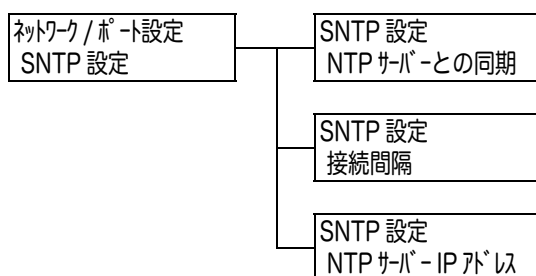
補足

- ・ 受信制限は、CentreWare Internet Services でも設定できます。
- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[受付制限 (IPv4) -1] と [受付制限 (IPv4) -2] が表示されます。
- ・ Wi-Fi Direct 経由の通信には適用されません。



設定項目	説 明
受付 IP アドレス制限	IP アドレスを使って受信制限をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
受付 IP アドレス設定	受け付ける IP アドレスを制限する場合に、プリントを受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。IP アドレス、フィルターアドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。 xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 196 の *2) たとえば、[IP アドレス] : 192.0.2.1、[フィルターアドレス] : 255.255.255.0 と設定した場合、プリントを受け付ける IP アドレスは、192.0.2.xxx です。xxx は 1 ～ 254 までの数値です。 💡 補足 ・ CentreWare Internet Services では、IP アドレスを 25 個まで登録できます。

[SNTP 設定]

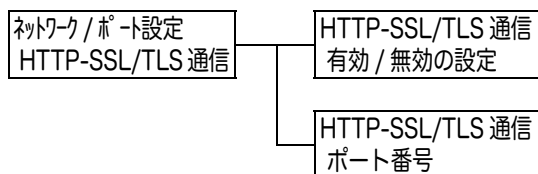


設定項目	説 明
NTP サーバーとの同期	NTP サーバーと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
接続間隔	NTP サーバーに接続する間隔を 1 ～ 500 時間の間で、1 時間単位に設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [168 時間] (初期値)
NTP サーバー IP アドレス	NTP サーバーの IP アドレスを設定します。 IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 196 の *2) ・ [000.000.000.000] (初期値)

[HTTP-SSL/TLS 通信]

補足

- ・ SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。
- ・ HTTP の通信の暗号化、および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 210)を参照してください。



設定項目	説 明
有効 / 無効の設定	SSL/TLS 通信を使用するかどうかを設定します。 ・ [無効] (初期値) SSL/TLS 通信を使用しません。 ・ [有効] SSL/TLS 通信を使用します。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [443] (初期値)  補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[IPsec 通信]

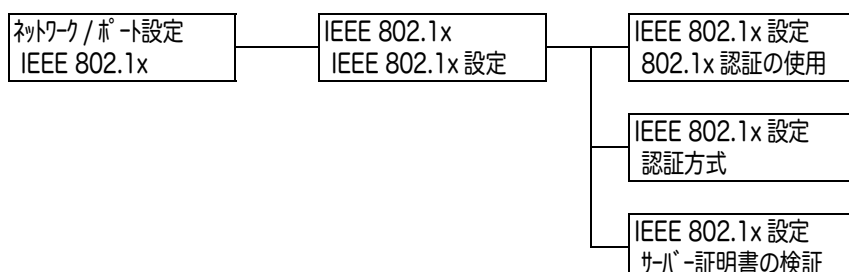
ネットワーク/ポート設定
IPsec 通信

設定項目	説 明
IPsec 通信	コンピューターからネットワーク上の本機へデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]  補足 ・ 次の OS をお使いの場合だけ使用できます。 - Windows® 7 - Windows® 8.1 - Windows® 10 - Windows Server® 2008 R2 - Windows Server® 2012 R2 - Windows Server® 2016 ・ IPsec の設定方法については、「IPSec を使用して暗号化するための設定」(P. 214) を参照してください。

[IEEE 802.1x]

 **補足**

- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] が表示されます。



設定項目	説 明
802.1x 認証の使用	IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。 ・ [使用しない] (初期値) ・ [使用する]
認証方式	IEEE 802.1x の認証方式を設定します。 ・ [EAP-TTLS/PAP] (初期値) ・ [EAP-TTLS/CHAP] ・ [EAP-TTLS/MS-CHAPv2] ・ [PEAP/MS-CHAPv2] ・ [EAP-TLS]
サーバ証明書の検証	サーバ証明書の検証をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]

[プライマリネット選択]

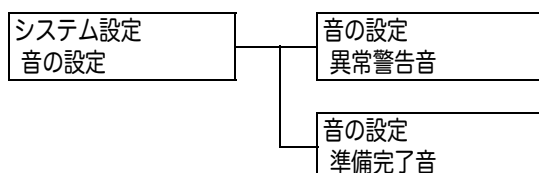
- ・ 無線 LAN キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目	説 明
プライマリネット選択	優先して接続するネットワーク接続の種類を設定します。 ・ [Ethernet]（初期値） ・ [Wi-Fi]

[システム設定]

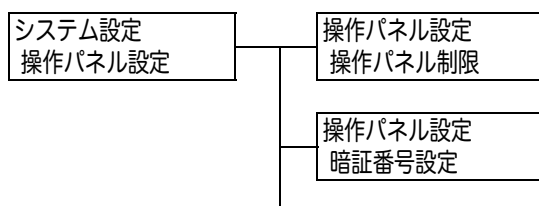
[システム設定] は、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[音の設定]



設定項目	説 明
異常警告音	紙づまりなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音の大きさを設定します。 ・ [なし] ・ [小]（初期値） ・ [中] ・ [大]
準備完了音	本機がプリントできる状態になったときに鳴る音の大きさを設定します。 ・ [なし] ・ [小]（初期値） ・ [中] ・ [大]  補足 ・ AirPrint を使用してプリントする場合、モバイルデバイスから使用可能なプリンターを検索し、その機械の準備完了音を鳴らすことができます。AirPrint を使用したプリントについては、「AirPrint」(P. 108) を参照してください。

[操作パネル設定]



操作パネル設定 認証エラーアクセス拒否
操作パネル設定 認証回数

設定項目	説 明
操作パネル制限	暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]  補足 ・ [する] に設定すると、暗証番号設定画面が表示されます。暗証番号として 12 桁の数字を、〈▲〉、〈▼〉 ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉 ボタンで桁を移動できます。 ・ 暗証番号として、[000000000000] は設定できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
暗証番号設定	操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。 新しい暗証番号を 12 桁の数字で入力してください。2 回入力した暗証番号が一致した場合に、暗証番号が変更されます。  補足 ・ [操作パネル制限] を [する] に設定しないと、暗証番号を変更できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
認証エラーアクセス拒否	認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する] (初期値)
認証回数	認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を 1 ～ 10 回の間で、1 回単位に設定します。 ・ [5 回] (初期値)  補足 ・ [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。

[自動リセット]

システム設定 自動リセット

設定項目	説 明
自動リセット	メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを、1 ～ 30 分の間で、1 分単位に設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [しない] (初期値) ・ [1 分後] ～ [30 分後]

【結露防止モード】

システム設定
結露防止モード

設定項目	説 明
結露防止モード	本機内の結露を防止または軽減する結露防止モードに移行するかどうかを設定します。 ・ [有効] ・ [無効] (初期値)  注記 ・ 結露防止モードを [有効] にするときは、CentreWare Internet Services の [節電モード設定] で [低電力モード移行時間] の [有効] にチェックを入れてください。 ・ 結露防止モードを [有効] に設定したときは、定着ユニットの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。  補足 ・ [低電力モード] および [結露防止モード] の両方を [有効] に設定したときは、[結露防止モード] に移行します。この場合、[スリープモード] には移行しません。

【節電移行時間短縮】



補足

- ・ 低電力移行時間については、「3.2 節電機能について」(P. 34) を参照してください。

システム設定
節電移行時間短縮

設定項目	説 明
節電移行時間短縮	他の設定に関わらず、30 秒後に、スリープモードに移行するかどうかを設定します。 ・ [有効] (初期値) ・ [無効]  補足 ・ スリープに移行できない場合は、低電力モードに移行します。

[低電力モード]

補足

- ・ 低電力モードについては、「3.2 節電機能について」(P. 34) を参照してください。

システム設定
低電力モード

設定項目	説 明
低電力モード	低電力モードは、一定の時間が経過すると、自動的に定着ユニットの温度を下げて機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。 ・ [有効] ・ [無効] (初期値)  補足 ・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[低電力モード] を [無効] にできません。 ・ [スリープモード] の設定が [無効] になっている場合は、[低電力モード] を [無効] に設定できません。

[低電力移行時間]

補足

- ・ 低電力移行時間については、「3.2 節電機能について」(P. 34) を参照してください。

システム設定
低電力移行時間

設定項目	説 明
低電力移行時間	低電力モードに移行するまでの時間を 1 ～ 60 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [1 分後] (初期値)  注記 ・ 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。低電力モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。  補足 ・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[低電力移行時間] を設定できません。

[スリープモード]

補足

- ・スリープモードについては、「3.2 節電機能について」(P. 34)を参照してください。

システム設定 スリープモード

設定項目	説 明
スリープモード	スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにし、消費電力を最低の値に下げる機能です。ただし、ウォームアップ時間は、低電力モードよりも長くなります。この機能を使用するかどうかを設定します。 ・ [有効] ・ [無効] (初期値)  補足 ・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[スリープモード] を [無効] にできません。 ・ [低電力モード] の設定が [無効] になっている場合は、[スリープモード] を [無効] に設定できません。

[スリープモード移行時間]

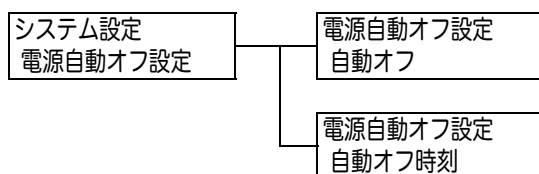
補足

- ・スリープモード移行時間については、「3.2 節電機能について」(P. 34)を参照してください。

システム設定 スリープモード 移行時間

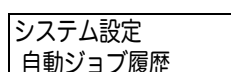
設定項目	説 明
スリープモード 移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を 1 ～ 60 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 196 の *2) ・ [1 分後] (初期値)  注記 ・ 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。スリープモードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。  補足 ・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[スリープモード移行時間] を設定できません。  参照 ・ 「操作例：スリープモードへの移行時間を変更する」(P. 117)

[電源自動オフ設定]



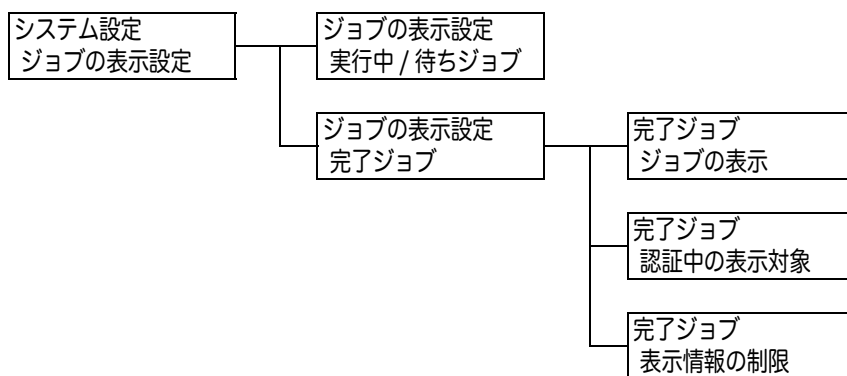
設定項目	説 明
自動オフ	本機では、設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。 ・ [する] 設定した時刻になると、本機の電源が自動的に切れます。 ・ [しない] (初期値) 本機の電源は自動的に切れません。  補足 ・ 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙づまりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は自動的に切れません。
自動オフ時刻	[システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。 時間は 1 ～ 12 時、または 00 ～ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ～ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。 ・ [12:00 AM] または [0:00] (初期値)  参照 ・ [時刻表示切り替え] の設定方法については、「時刻表示切り替え」(P.155) を参照してください。

[自動ジョブ履歴]



設定項目	説 明
自動ジョブ履歴	処理を行ったプリントデータに関する情報 (ジョブ履歴レポート) を、自動的にプリントするかどうかを設定します。 ・ [プリントしない] (初期値) ジョブ履歴レポートを自動的にプリントしません。 ・ [プリントする] 過去に自動で排出されていないプリントデータの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点 (50 件) で、古いものから自動的にプリントされます。実行中や実行待ちのプリントデータは記録されません。

[ジョブの表示設定]



設定項目		説 明
実行中 / 待ちジョブ		プリントを実行中、またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。 ・ [情報を制限しない] (初期値) ・ [情報を制限する]
完了ジョブ	—	完了ジョブの情報表示について設定します。
	ジョブの表示	完了したジョブの表示方法について設定します。 ・ [表示しない] ・ [認証中は表示する] ・ [常に表示する] (初期値)
	認証中の表示対象	完了したジョブについて、全てのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。 ・ [すべて] (初期値) ・ [認証ユーザーのジョブ]
	表示情報の制限	完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。 ・ [制限しない] (初期値) ・ [制限する]

[レポート両面プリント]

システム設定
レポート両面プリント

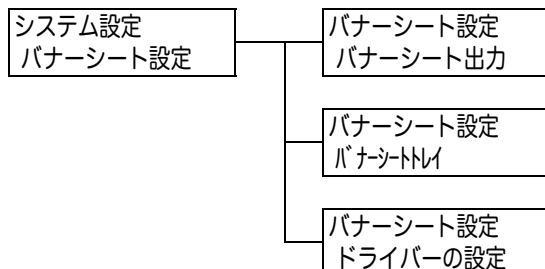
設定項目	説 明
レポート両面 プリント	レポート / リストをプリントするときに、片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。 ・ [片面] ・ [両面] (初期値)

[プリント可能領域]

システム設定
プリント可能領域

設定項目	説 明
プリント可能領域	プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。エミュレーション (PC-PR201H、HP-GL/2、ESC/P、PCL) や PostScript® でプリントする場合に有効です。 ・ [標準] (初期値) ・ [拡張]

[バナーシート設定]



設定項目	説 明
バナーシート出力	バナーシートを出力するかどうかを設定します。 ・ [出力しない] (初期値) バナーシートを出力しません。 ・ [スタートシート] 文書の始めに出力します。 ・ [エンドシート] 文書の終わりに出力します。 ・ [スタート + エンドシート] 文書の始めと終わりに出力します。
バナーシートトレイ	バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。 ・ [トレイ 1] (初期値) ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4]  補足 ・ トレイ 2 ~ 4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。

設定項目	説 明
ドライバーの設定	プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。 ・ [有効] (初期値) ・ [無効]

[セキュリティプリント操作]



補足

- ・ この項目は、セキュリティプリント機能が使用できる場合に表示されます。

システム設定 セキュリティプリント操作

設定項目	説 明
セキュリティプリント操作	セキュリティプリントのプリントを、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。 ・ [無効] 操作パネルからセキュリティプリントを実行できません。 ・ [有効] (初期値) 操作パネルからセキュリティプリントを実行できます。

[選択文書のプリント順]



補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが [有効] に設定されている場合に表示されます。

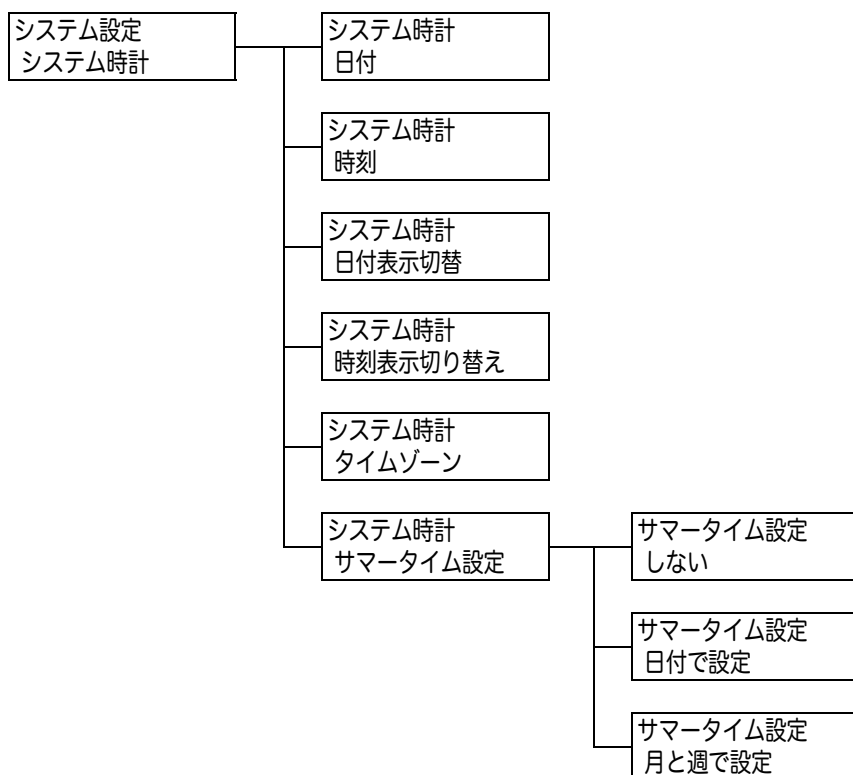
システム設定 選択文書のプリント順

設定項目	説 明
選択文書のプリント順	セキュリティプリント機能、プライベートプリント機能、および認証プリント機能を使ってプリントする場合に、選択文書のプリント順を設定します。 ・ [日時の古い順] (初期値) 日時の古い順にプリントします。 ・ [日時の新しい順] 日時の新しい順にプリントします。

[システム時計]

💡 補足

- ・ ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストにプリントされます。



設定項目	説 明
日付	[日付表示切替] で設定した形式に合わせて、年月日を設定します。
時刻	[時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。
日付表示切替	日付の表示順序を設定します。 ・ [yyyy/mm/dd] (初期値) 年 / 月 / 日の順で表示します。 ・ [mm/dd/yyyy] 月 / 日 / 年の順で表示します。 ・ [dd/mm/yyyy] 日 / 月 / 年の順で表示します。
時刻表示切り替え	時刻表示の方法を設定します。 ・ [12 時間制] (初期値) ・ [24 時間制]
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。

設定項目	説 明
サマータイム設定	サマータイムについて設定します。 ・ [しない] (初期値) サマータイムを設定しません。 ・ [日付で設定] サマータイムの開始日、終了日を日付 (月、日) で設定します。 ・ [月と週で設定] サマータイムの開始日、終了日を月と週で設定します。  補足 ・ 設定できない値を入力したときには「設定値が正しくありません」、開始日と終了日に同じ設定をしたときには「開始日と終了日が正しくありません」が表示されます。 ・ 開始日と終了日に同じ月は設定しないでください。同じ月を設定すると、サマータイムの設定が正しく動作しません。

[紙づまり時の処理]

システム設定
紙づまり時の処理

設定項目	説 明
紙づまり時の処理	プリント中に紙づまりが発生した場合の処理を設定します。 ・ [除去後にプリント再開] (初期値) 紙づまり解消後に、プリントを再開します。 ・ [プリント中止] 紙づまり解消後に、そのジョブをキャンセルします。

[ドラム寿命動作]

システム設定
ドラム寿命動作

設定項目	説 明
ドラム寿命動作	ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。 ・ [プリント停止しない] ドラムカートリッジの交換時期になっても、すぐにプリントは停止されず、ドラムカートリッジに異常が検知された段階で本機を保護するために強制的にプリントを停止します。 ただし、この場合はドラムカートリッジの寿命が過ぎているため、プリント画質など本機の性能に影響が出る場合があります。また短期間でプリントが停止してしまう可能性があるため、すぐに新しいドラムカートリッジをご用意のうえ、交換することをお勧めします。 ・ [プリント停止する] (初期値) ドラムカートリッジ交換のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまでプリントは停止されます。

*1 プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「10.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 341) を参照してください。

[ミリ/インチ切り替え]

システム設定
ミリ/インチ切り替え

設定項目	説 明
ミリ/インチ 切り替え	操作パネルで長さを表示 / 入力するときの単位を設定します。 ・ [ミリ (mm)] (初期値) ・ [インチ (")]

[データ暗号化]

! 注記

- ・ [データ暗号化] の設定を変更した場合、ハードディスクが初期化されます。

💡 補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ データの暗号化は、ハードディスクにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。

システム設定
データ暗号化

データ暗号化
暗号化処理

設定項目	説 明
暗号化処理	システム内部（ハードディスク）のデータの暗号化をするかどうかを設定します。 ・ [する] ・ [しない] (初期値)

[HDD の上書き消去]

補足

- ・この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定 HDD の上書き消去

設定項目	説 明
HDD の上書き消去	ハードディスク内のデータを上書き消去をするかどうか、上書き消去する場合は、その回数を設定します。 ・ [しない] ・ [1 回]（初期値） ・ [3 回]

[プリントジョブの追越]

補足

- ・この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定 プリントジョブの追越

設定項目	説 明
プリントジョブの追越	本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するか、禁止するかを設定します。 ・ [禁止]（初期値） ・ [許可]  補足 ・ セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。 ・ [許可] に設定した場合、[異常終了プリント処理] は設定できません。

[異常終了プリント処理]

補足

- ・この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられていて、[プリントジョブの追越] が [禁止] に設定されている場合に、表示されます。

システム設定 異常終了プリント処理

設定項目	説 明
異常終了プリント処理	実行中のジョブに何らかのエラーが発生し、ジョブのキャンセルが必要になった場合の動作について設定します。 ・ [自動的に再開]（初期値） エラーが発生したジョブを機械が自動的にキャンセルし、次のジョブを再開します。 ・ [ユーザー操作で再開] ジョブのキャンセルが必要なエラーが発生した場合は、操作パネルにエラーメッセージを表示します。本体側の操作によって、ジョブがキャンセルされます。

[ソフトウェアダウンロード]

システム設定 ソフトウェアダウンロード

設定項目	説 明
ソフトウェアダウンロード	ソフトウェアのダウンロードを許可するか、禁止するかを設定します。 ・ [許可]（初期値） ・ [禁止]

[RAM ディスク]

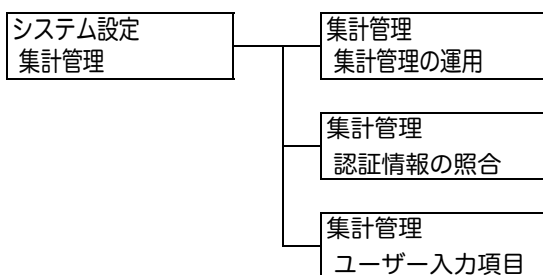
補足

- ・この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合には、表示されません。

システム設定 RAM ディスク

設定項目	説 明
RAM ディスク	RAM ディスクを使用するか、しないかを設定します。[有効] に設定すると RAM ディスクが使用できるようになります。 ・ [無効]（初期値） ・ [有効]  注記 ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

[集計管理]

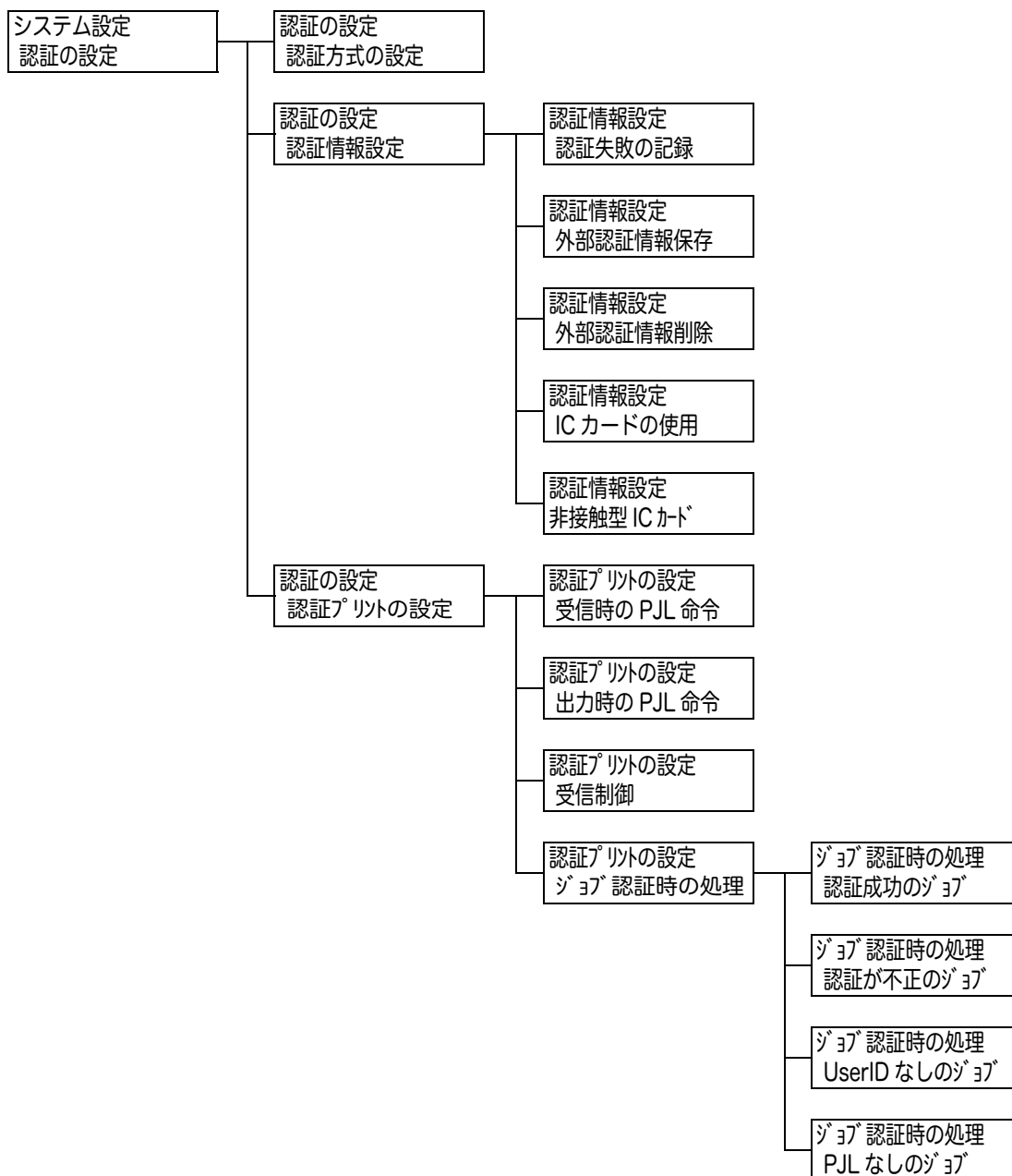


設定項目	説 明
集計管理の運用	集計管理の運用方法を設定します。[本体集計管理] に設定すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] がプリントされます。 ・ [しない] (初期値) ・ [認証サーバー] 認証サーバーで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。 ・ [本体集計管理] 本機にあらかじめ登録されている情報を利用して、集計管理をします。 ・ [ネット集計管理] 外部アカウントサービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。ユーザー情報は、外部アカウントサービスから登録します。
認証情報の照合	認証するときに、入力情報を照合するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]  補足 ・ [しない] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている場合に表示されます。 ・ [する] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] か [本体認証] に設定されている場合に表示されます。
ユーザー入力項目	認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。 ・ [User ID と Account ID] (初期値) 認証するときに、User ID と Account ID の両方を入力します。 ・ [User ID のみ] 認証するときに、User ID だけを入力します。 ・ [Account ID のみ] 認証するときに、Account ID だけを入力します。  補足 ・ [User ID と Account ID] および [User ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない]、[認証情報の照合] が [する] に設定されている場合は、表示されません。 ・ [Account ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [本体認証] に設定されている場合は、表示されません。

【認証の設定】

💡 補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが【有効】に設定されている場合に表示されます。



設定項目	説 明
認証方式の設定	認証の方法を設定します。 ・ 【認証しない】（初期値） 認証しません。 ・ 【本体認証】 本機にあらかじめ登録されているユーザー情報を、認証に使用します。 ・ 【外部認証】 外部認証サーバーを、認証に使用します。

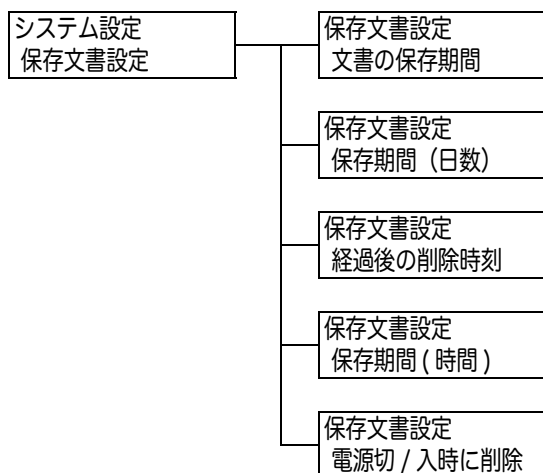
設定項目		説 明
認証情報設定	認証失敗の記録	不正なアクセスを検知するために、10 分間に設定した回数だけ認証に失敗したとき、[エラー履歴レポート] に認証失敗を記録するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する] (初期値) [する] にする場合は、認証失敗を記録する失敗回数を 1 ～ 600 の間で設定します。初期値は 10 回です。  補足 ・ 認証に失敗しても、[エラー履歴レポート] に記録が残るだけで、「[操作パネル設定]」(P. 146) のようなアクセス拒否は行われません。
	外部認証情報保存	外部認証情報を保存するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]  補足 ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されている場合に表示されます。
	外部認証情報削除	[外部認証情報保存] を [する] にして保存された外部認証情報を削除します。  補足 ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されている場合に表示されます。
	IC カードの使用	IC カードを使用するかについて設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する] ・ [する (PKI のみ)]
	非接触型 IC カード	非接触型 IC カードを使った認証について設定します。 ・ [離れても認証継続] (初期値) ・ [離れたら認証解除]
認証プリントの設定	—	認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。  補足 ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
	受信時の PJI 命令	PJI 命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない] を選んだとき、または PJI 命令がないときは、後述の [受信制御] の設定を使用します。 ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]
	出力時の PJI 命令	PJI 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。 ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]

設定項目	説 明
(認証プリントの設定) 受信制御	受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。 ・ [プリントの認証に従う] (初期値) ・ [プライベートプリント保存] 認証機能を利用しているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。 ・ [認証プリントに保存] 認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。  注記 ・ [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手動で削除してください。保存期間を設定する方法については、「[保存文書設定]」(P. 164) を参照してください。  補足 ・ この項目は、IC カード読み取り装置が接続されている場合に表示されます。 ・ [プライベートプリント保存] および [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
ジョブ認証時の処理	プリントジョブを受信した際の処理方法について設定します。 [認証成功のジョブ] 認証が成功したジョブを受信した際の処理方法について設定します。 ・ [プリント] (初期値) プリントします。 ・ [プライベートプリント保存] プライベートプリントに保存します。 [認証が不正のジョブ] 認証が不正のジョブを受信した際の処理方法について設定します。 ・ [ジョブを中止] (初期値) ・ [認証プリントに保存] [UserID なしのジョブ] UserID が無いジョブを受信した際の処理方法について設定します。 ・ [ジョブを中止] (初期値) ・ [プリント] ・ [認証プリントに保存] [PJM なしのジョブ] PJM が無いジョブを受信した際の処理方法について設定します。 ・ [User ID を利用しない] (初期値) ・ [User ID があれば利用] ・ [プリント] ・ [認証プリントに保存] ・ [プライベートプリント保存] (初期値) ・ [ジョブを中止]  補足 ・ この項目は、IC カード読み取り装置が接続されている場合に表示されます。

【保存文書設定】

💡 補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが【有効】に設定されている場合に表示されます。



設定項目	説 明
文書の保存期間	蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。 ・ 【設定しない】（初期値） 保存したままにします。 ・ 【日数と削除時刻】 日数と時刻で保存期間を設定します。 ・ 【時間】 削除するまでの時間を設定します。
保存期間（日数）	保存期間（日数）を 1 ～ 14 日の間で設定します。 ・ 【7 日】（初期値）
経過後の削除時刻	文書を削除する時刻を設定します。 ・ 【3:00AM】 または 【3:00】（初期値） 💡 補足 ・ 【システム設定】 > 【システム時計】 > 【時刻表示切り替え】 の設定によって、12 時間表示または 24 時間表示で設定します。
保存期間（時間）	保存期間（時間）を 0 時間 15 分～ 120 時間 00 分の間で設定します。 ・ 【4 時間 00 分】（初期値）
電源切 / 入時に削除	電源を切 / 入したとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。 ・ 【削除しない】（初期値） 電源を切 / 入したときに、保存時間を経過した蓄積文書だけを削除します。保存時間が経過していない蓄積文書は、削除しません。 ・ 【削除する】 電源を切 / 入したときに、すべての蓄積文書を削除します。

[ソフトウェアオプション]

💡 補足

- ・この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）または Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・セキュリティ拡張キットを取り付ける場合は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

システム設定
ソフトウェアオプション

設定項目	説 明
ソフトウェアオプション	機械に取り付けたソフトウェアオプションを有効にします。[有効化] を選ぶと、確認メッセージが表示されます。 OK ボタンを押してください。 💡 補足 ・一度、[有効化] に設定すると、取り付けているソフトウェアオプションの ROM は、他の機械で使用できません。 ・機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

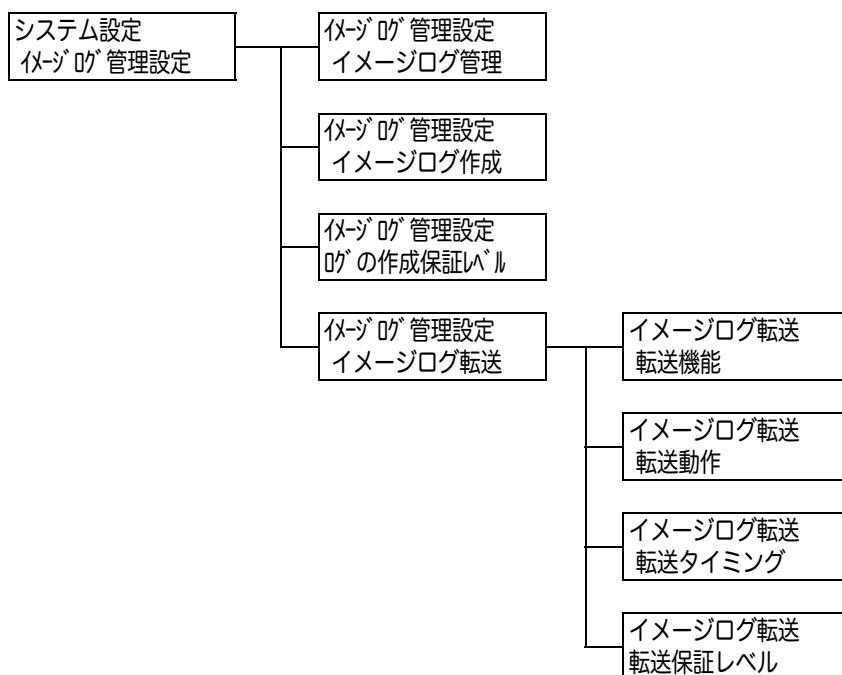
[イメージログ管理設定]

⚠ 注記

- ・イメージログ管理機能を使用したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

💡 補足

- ・この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目		説 明
イメージログ管理		イメージログ管理機能を使用するかどうかを設定します。通常は [しない] で固定されています。イメージログ管理機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
イメージログ作成		イメージログを作成するかどうかを設定します。 ・ [する] (初期値) ・ [しない]
ログの作成保証レベル		ジョブに対して、イメージログが確実に作成されるかどうかのレベルを設定します。 ・ [低] (初期値) 本機のパフォーマンスを優先し、可能な範囲で作成します。そのため、イメージログが抜けてしまうことがあります。 ・ [高] イメージログを漏れなく作成します。そのため、本機の動作・運用に影響が出ることがあります。
イメージログ 転送	転送機能	イメージログをログサーバーに転送するための機能について設定します。イメージログの転送機能を使用するかどうかを設定します。 ・ [使用しない] (初期値) ・ [使用する]
	転送動作	自動転送の設定をします。 ・ [まとめて転送] (初期値) ・ [一時停止] ・ [ジョブ単位で転送]  補足 ・ [ジョブ単位で転送] は、[ログの作成保証レベル] が [高] のときに表示されます。
	転送 タイミング	イメージログの転送タイミングを設定します。それぞれについて [無効] または [有効] を設定します。初期値は、すべて [有効] です。 ・ [ジョブ終了時] ・ [電源投入時] ・ [一定時間経過時] ・ [一定ログ数保存時] ・ [時刻指定] ・ [無効] (初期値) ・ [有効] ・ [12:00 AM] または [0:00] (初期値)  補足 ・ [時刻指定] を [有効] に設定した場合は、[システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時:分を設定します。 時間は 0 ～ 12 時、または 00 ～ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ～ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。
	転送保証 レベル	ログ管理サーバへデータを転送するときの保証レベルを設定します。 ・ [低] (初期値) ・ [高]  補足 ・ [高] に設定すると漏れなくデータを転送しますが、データ転送の間は本機のパフォーマンスの低下や、一時停止が発生することがあります。

[ソフトウェア手動更新]

補足

- ・この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

システム設定 ソフトウェア手動更新

設定項目	説 明
ソフトウェア手動更新	インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。  補足 ・ EP システムは、一部の地域で利用できない場合があります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[ソフトウェア日時更新]

補足

- ・この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

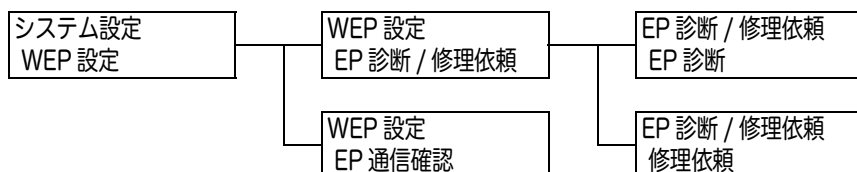
システム設定 ソフトウェア日時更新

設定項目	説 明
ソフトウェア日時更新	インターネットを使った EP システムを利用している場合、設定した日時に自動的に、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効] ・ 日付 [dd/mm] または [mm/dd] ・ 時刻 [0:00 AM] または [0:00]  補足 ・ [有効] に設定した場合は、[システム時計] > [日付表示切替] で設定した形式に合わせて、月と日を、[時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時 : 分を設定します。 時間は 1 ～ 12 時、または 00 ～ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ～ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。 ・ EP システムは、一部の地域で利用できない場合があります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[WEP 設定]

補足

- ・この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



設定項目		説 明
EP 診断 / 修理依頼	—	インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機の点検や修理が必要となったときに、本機を使って弊社プリンターサポートデスクに連絡できます。連絡を受けると、必要に応じてカスタマーエンジニアが訪問します。  補足 ・ EP システムは、一部の地域で利用できない場合があります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	EP 診断	EP 診断を依頼します。
	修理依頼	修理を依頼します。
EP 通信確認		EP システムを利用して弊社プリンターサポートデスクに連絡したときの通信状態を確認できます。 [EP 通信確認] を選ぶと、EP システムと通信確認を行い、確認メッセージが表示されます。 OK ボタンを押してください。

[GCP 登録]

補足

- ・この項目は、Google クラウドプリントポートが起動されている場合に表示されます。Google クラウドプリントポートの起動方法については、「本機で Google クラウド プリントを使うために必要な作業」(P.109) を参照してください。

システム設定
GCP 登録

設定項目	説 明
GCP 登録	CentreWare Internet Services を使用して、お使いのコンピューターから Google クラウドプリントへの本機の登録要求が済んでいる場合、次の画面が表示されます。 ・ [GCP 受付許可しますか？] ・ [はい] (初期値) ・ [いいえ]  補足 ・ Google クラウドプリントへの本機の登録が取り消されている場合、[登録は取り消されました]、既に登録されている場合は、[この機械は既に登録されています] というメッセージが表示されます。  参照 ・ Google クラウドプリントについて詳しくは、「Google クラウド プリント」(P. 109) を参照してください。

[静音モード設定]

システム設定
静音モード設定

設定項目	説 明
静音モード設定	プリント時の稼働音が気になる場合に稼働音を抑えることができます。 ・ [無効] (初期値) ・ [常に有効] ・ [時刻指定で有効]  補足 ・ DocuPrint 4400 d、DocuPrint 3500 d の場合に有効な機能です。 ・ [時刻指定で有効] に設定した場合は、開始時刻と終了時刻を [システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。時間は 1 ～ 12 時、または 00 ～ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ～ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。 ・ 静音モードにすると、プリント速度が遅くなります。

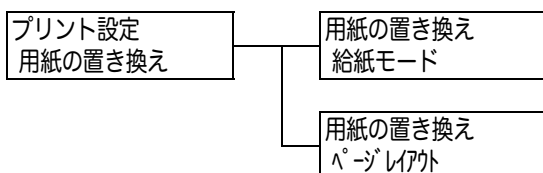
[プリント設定]

[プリント設定] では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

補足

- ・ 自動トレイ選択については、「自動トレイ選択について」(P. 55) を参照してください。

[用紙の置き換え]



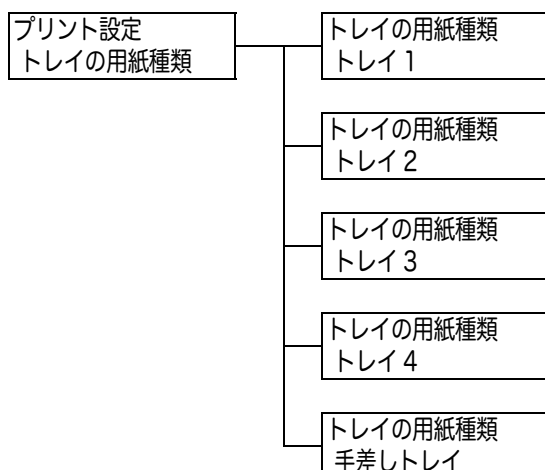
設定項目	説 明
給紙モード	自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。 ・ [しない] (初期値) 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。 ・ [大きいサイズを選択] 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。 ・ [近いサイズを選択] 選択されている用紙サイズにもっとも近いサイズの用紙に置き換えてプリントします。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。 ・ [近いサイズ (等倍)] 選択されている用紙サイズにもっとも近いサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。 ・ [手差しトレイを選択] 手差しトレイにセットされている用紙にプリントします。  補足 ・ コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。
ページレイアウト	用紙置き換えをする場合のレイアウトを指定します。 ・ [標準] (初期値) 置き換えた用紙に従ってプリントします。 ・ [中央] 置き換えた用紙の中央にプリントします。

[用紙種類エラーの処理]

プリント設定 用紙種類エラーの処理

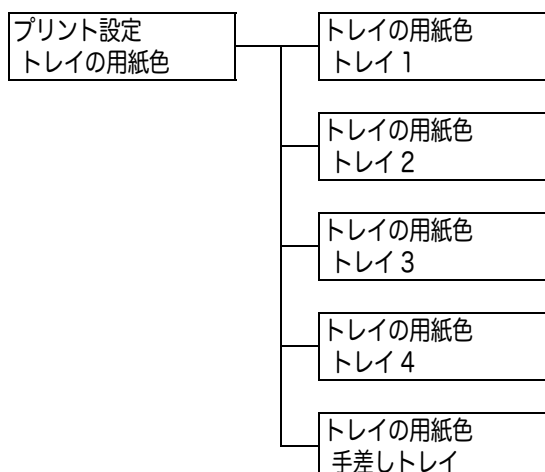
設定項目	説 明
用紙種類エラーの処理	プリントジョブで指定している用紙種類がセットされている用紙トレイがない場合にどうするかを設定します。 ・ [設定変更表示] 設定変更を促すメッセージを表示します。 ・ [確認画面表示] (初期値) 用紙種類の確認を促すメッセージを表示します。 ・ [プリントする] メッセージを表示しないで、現在セットされている用紙種類でプリントします。

[トレイの用紙種類]



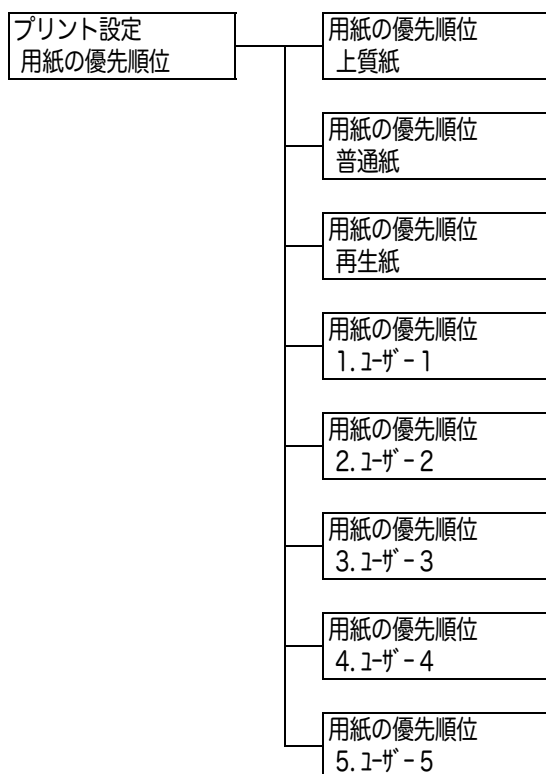
設定項目	説 明
トレイ 1 ～ 4	トレイ 1 ～ 4 にセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[上質紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[封筒]、[はがき]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5]  補足 ・ トレイ 2 ～ 4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
手差しトレイ	手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙]、[普通紙 (うら面)]、[再生紙]、[再生紙 (うら面)]、[上質紙]、[上質紙 (うら面)]、[厚紙 1]、[厚紙 1 (うら面)]、[厚紙 2]、[厚紙 2 (うら面)]、[ラベル紙]、[封筒]、[封筒 (うら面)]、[はがき]、[はがき (うら面)]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5]  補足 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。

[トレイの用紙色]



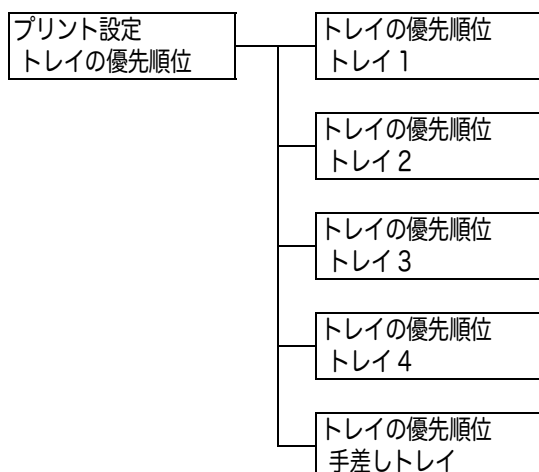
設定項目	説 明
トレイ 1～トレイ 4、 手差しトレイ	トレイにセットした用紙の色を設定します。 ・ [白] (初期値)、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[透明]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5]、[その他]  補足 ・ トレイ 2～4 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙色名称設定] で設定した名称が表示されます。

【用紙の優先順位】



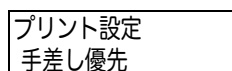
設定項目	説 明
上質紙、普通紙、再生紙、1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	自動トレイ選択によって選択されるトレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。初期値は、上質紙 [3 番目]、普通紙 [1 番目]、再生紙 [2 番目]、それ以外は [設定しない] です。 ・ [1 ～ 8 番目] 設定する優先順位を選びます。 ・ [設定しない] 優先順位を設定しません。この場合、自動トレイ選択の対象になりません。  補足 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。 ・ 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるトレイは、[トレイの優先順位] によって決定します。

【トレイの優先順位】



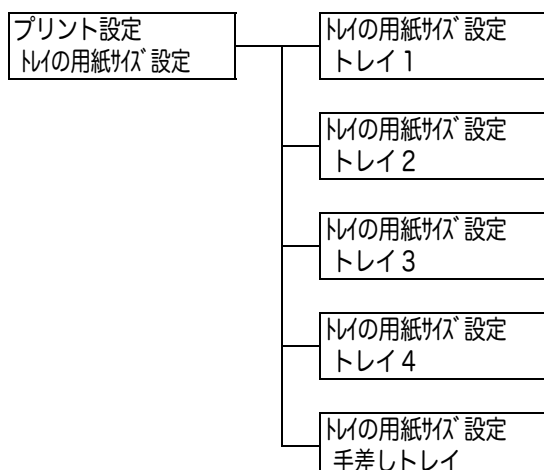
設定項目	説 明
トレイ 1～トレイ 4、 手差しトレイ	自動トレイ選択によって選択されるトレイの優先順位を設定します。初期値は、トレイ 1 が [1 番目]、トレイ 2 が [2 番目]、トレイ 3 が [3 番目]、トレイ 4 が [4 番目]、手差しトレイが [自動トレイ切替対象外] です。 ・ [1 番目] ～ [5 番目] 設定する優先順位を選びます。 ・ [自動トレイ切替対象外] 自動トレイ選択の対象になりません。  補足 ・ トレイ 2 ～ 4 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ 異なるトレイに同じ優先順位は設定できません。他のトレイと同じ優先順位を指定した場合は、指定したトレイ以外の優先順位が、自動的に変更されます。 ・ 手差しトレイには、もっとも低い優先度だけが設定できます。

【手差し優先】



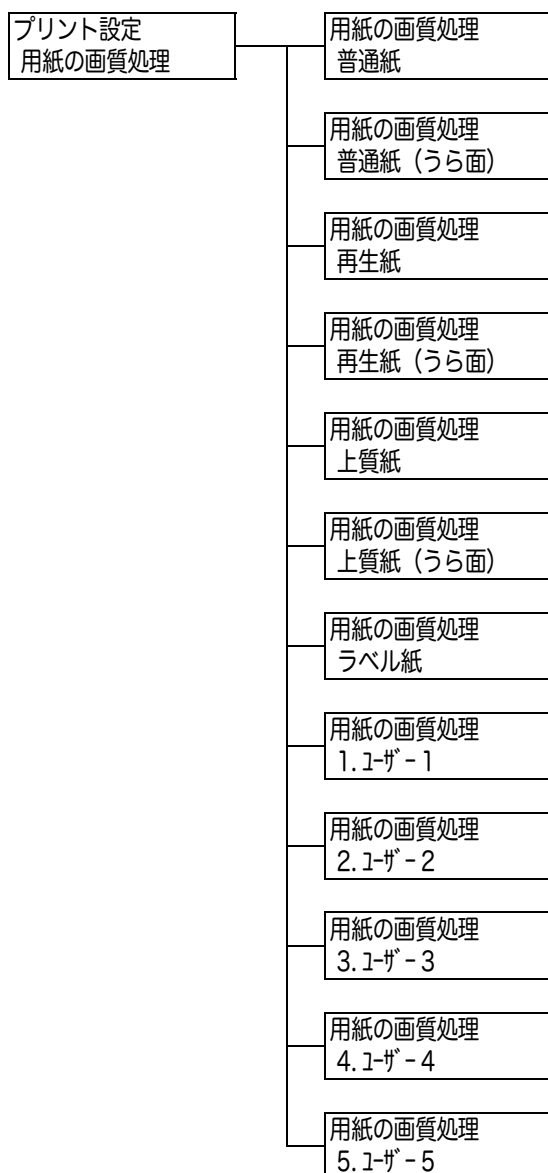
設定項目	説 明
手差し優先	プリントジョブで指定している用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙種類と一致する場合に、手差しトレイを最優先で選ぶかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) 手差しトレイを最優先で選びません。 ・ [する] 手差しトレイを最優先で選びます。

[トレイの用紙サイズ設定]



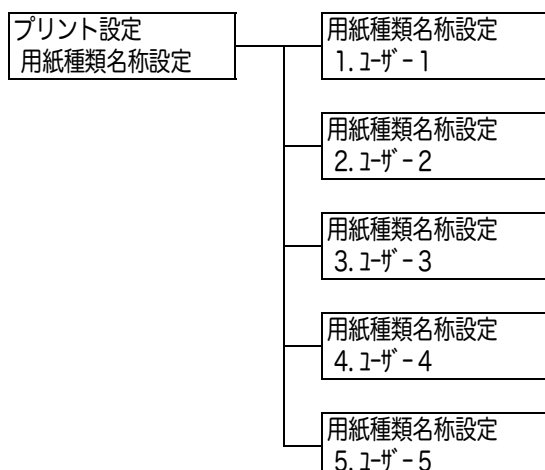
設定項目	説 明
トレイ 1～トレイ 4	各トレイの用紙サイズを設定します。 ・ [自動] (トレイ 1～4 の初期値) 用紙サイズ設定ダイアルで設定した用紙サイズと向きに設定します。 ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選んで表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。  補足 ・ トレイ 2～4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 50) を参照してください。
手差しトレイ	手差しトレイの用紙サイズを設定します。 ・ [A3□]、[A4□]、[A4□] (初期値)、[A5□]、[A6□]、[B4□]、 [B5□]、[B6□]、[7.25 x 10.5"□]、[8.5 x 11"□]、 [8.5 x 13"□]、[8.5 x 14"□]、[11 x 17"□]、[はがき□]、[往復はがき□]、 [長形 3□]、[長形 4□]、[洋長形 3□]、[封筒 C5□]、[洋形 3□]、[角形 2□]、 [角形 3□]、[角形 6□] ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選んで表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。  補足 ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 50) を参照してください。

【用紙の画質処理】



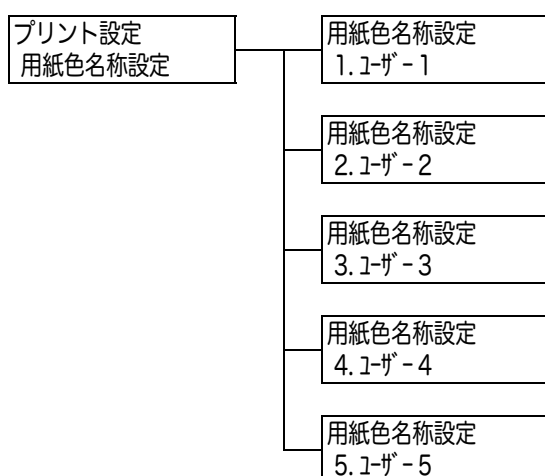
設定項目	説 明
普通紙、普通紙（うら面）、再生紙、再生紙（うら面）、上質紙、上質紙（うら面）、ラベル紙、1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	それぞれの用紙に対する画質処理（用紙種類）を設定します。 ・ [A]（[上質紙]、[上質紙（うら面）]）の初期値） 81 ～ 105 g/m² の上質紙に適した画質です。 ・ [B]（[普通紙]、[普通紙（うら面）]）の初期値、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] の初期値） 60 ～ 80 g/m² の一般的に使われているオフィス用紙（P 紙、C2（シーツ）紙など）に適した画質です。 ・ [C]（[再生紙]、[再生紙（うら面）]） 60 ～ 80 g/m² の再生紙（C2r（シーツアール）紙など）に適した画質です。 ・ [D] 白黒のみをプリントする場合に適した画質です。 ・ [ラベル 1]（初期値）、[ラベル 2] [ラベル紙] を選んだときに表示されます。通常は変更の必要ありません。

【用紙種類名称設定】



設定項目	説 明
1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	[用紙の優先順位]、[トレイの用紙種類]、[用紙の画質処理] などに表示される [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] を、任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 196*2、*4 の No.1、2、3、4)

【用紙色名称設定】



設定項目	説 明
1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	[トレイの用紙色] に表示される [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] を任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 196*2、*4 の No.1、2、3、4)

[ID 印字機能]

プリント設定
ID 印字機能

設定項目	説 明
ID 印字機能	特定の位置に、ユーザー ID をプリントします。 ・ [しない] (初期値) ユーザー ID をプリントしません。 ・ [左上] ユーザー ID を、用紙の左上部分にプリントします。 ・ [右上] ユーザー ID を、用紙の右上部分にプリントします。 ・ [左下] ユーザー ID を、用紙の左下部分にプリントします。 ・ [右下] ユーザー ID を、用紙の右下部分にプリントします。

[奇数ページの両面]

プリント設定
奇数ページの両面

設定項目	説 明
奇数ページの両面	両面プリント時の、奇数ページ原稿の最終ページに対するプリント方法を設定します。 ・ [両面] 最終ページは片面のみのデータですが、両面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作を行います。用紙に上下、または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）にプリントする場合は、プリントの向きをそろえることができます。 ・ [片面] (初期値) 片面分の最終ページを、片面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作をしないでプリントします。両面のプリント動作をしないため、高速にプリントできます。

[未登録フォームへ印字]

プリント設定
未登録フォームへ印字

設定項目	説 明
未登録フォームへ印字	プリント時に指定されたフォームが未登録だった場合に、プリントを中止するか、データのみプリントするかを設定します。 ・ [する (データのみ)] (初期値) ・ [しない]

[基本の用紙サイズ]

プリント設定
基本の用紙サイズ

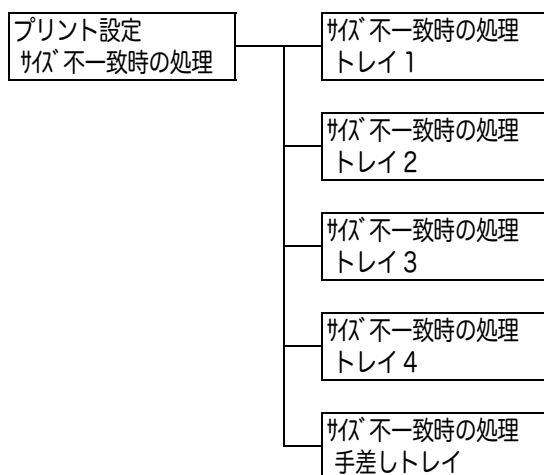
設定項目	説 明
基本の用紙サイズ	各プリントモードの【用紙サイズ】の初期値を設定します。 ・ [A4] (初期値) ・ [8.5x11"]

[OCR フォントのグリフ]

プリント設定
OCR フォントのグリフ

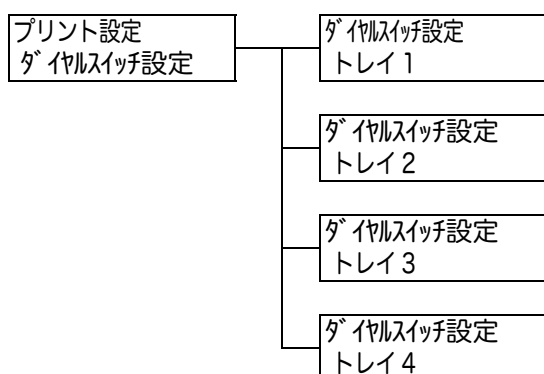
設定項目	説 明
OCR フォントのグリフ	ART IV、ESC/P、または PCL エミュレーションモードでの OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。 ・ [バックスラッシュ] (初期値) ・ [円記号]

[サイズ不一致時の処理]



設定項目	説 明
トレイ 1 ～ 4、手差しトレイ	〔トレイの用紙サイズ設定〕または用紙サイズ設定ダイヤルの設定と異なるサイズの用紙が、トレイにセットされている場合にプリントしたときの処理を設定します。手差しトレイの場合、〔トレイの用紙サイズ設定〕を設定していないときは、プリンタードライバで設定した用紙サイズと、トレイにセットされている用紙サイズが異なる場合の処理になります。 ・〔プリントする〕 設定が異なっても中止せずプリントします。 ・〔確認画面を表示する〕（初期値） プリントを中止し、エラーを表示します。  補足 ・トレイ 2 ～ 4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・本設定を〔プリントする〕に設定した場合は、次の現象が発生する可能性があります。 - 用紙サイズが原稿サイズより小さいときに用紙の裏面が汚れる。 - プリントに時間がかかる。 - 両面印刷したときに印字がずれる。 - 設定した用紙サイズと、セットした用紙のサイズが大きく異なる場合、紙づまりが発生する。

〔ダイヤルスイッチ設定〕



設定項目	説 明
トレイ 1 ～ 4	各トレイで、用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときに設定します。用紙サイズを設定した後は、トレイの用紙サイズ設定ダイヤルを回し、〔*〕にあわせてください。 ・〔A6□〕（トレイ 1 の初期値）、〔B6□〕、〔7.25 x 10.5"□〕、〔8.5 x 11"□〕（トレイ 2 ～ 4 の初期値）、〔8.5 x 13"□〕、〔8.5 x 14"□〕、〔11 x 17"□〕、〔はがき□〕、〔往復はがき□〕、〔長形 3□〕、〔長形 4□〕、〔角形 2□〕、〔角形 3□〕、〔角形 6□〕、〔封筒 C5□〕  補足 ・トレイ 2 ～ 4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。

[メモリー設定] (参照 P. 196 の *2)

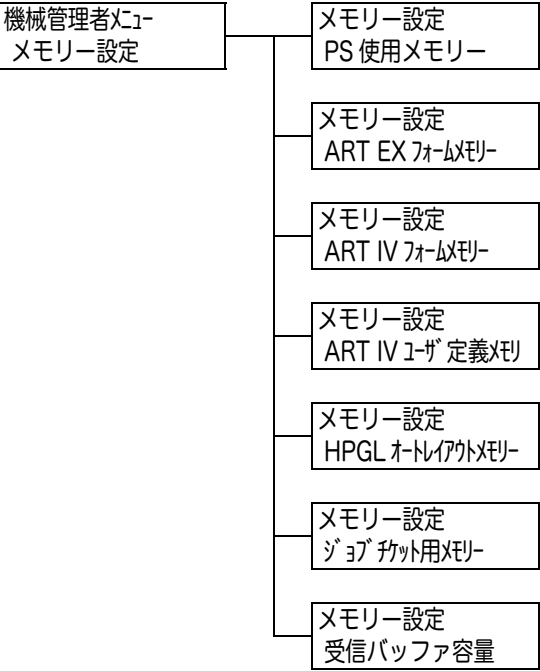
[メモリー設定] は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量を変更します。

 注記

- ・メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- ・メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ・ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、USB ポートは自動的に停止しません。

 補足

- ・メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。
- ・プリントページバッファは、実際のプリントイメージを描画する領域です。プリントページバッファの容量は、直接変更できません。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあと、残った領域が割り当てられます。
解像度の高い文書をプリントするときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。
実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、[機能設定リスト] で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。



設定項目	説 明
PS 使用メモリー	PostScript® の使用メモリー容量を指定します。 55.00 ～ 128.00 MB の間で、0.25 MB 単位でメモリー容量を設定します。 設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [55.00MB] (初期値)  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。

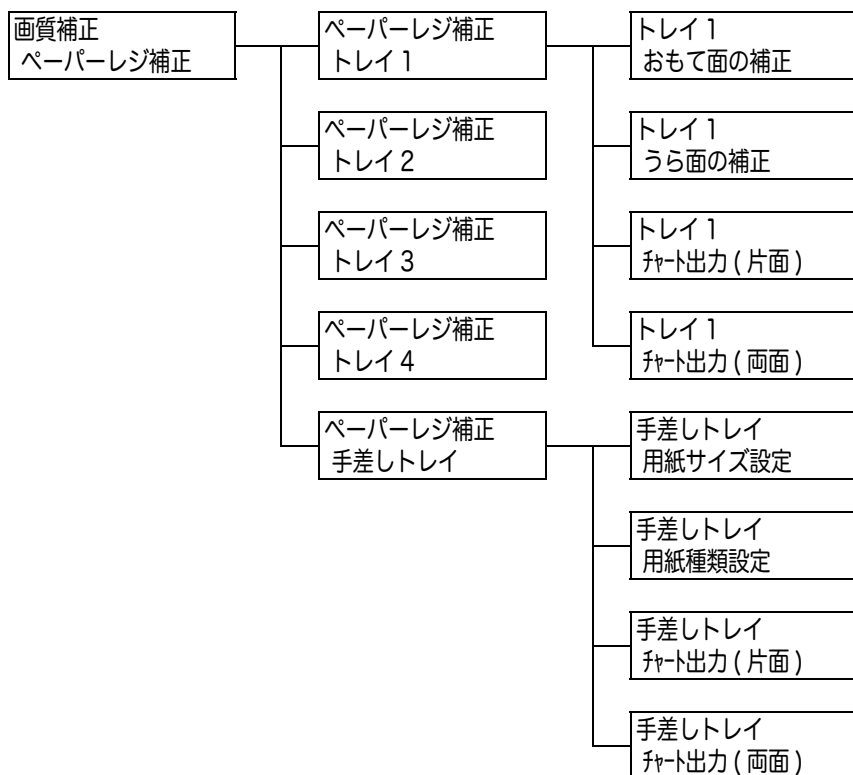
設定項目	説 明
ART EX フォーム メモリー	ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [128KB] (初期値) 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。  注記 ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV フォーム メモリー	ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [128KB] (初期値) 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。  注記 ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV ユーザ 定義メモリー	ART IV のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。 32 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [32KB] (初期値)  注記 ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
HPGL オート レイアウトメモリー	HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。 64 ～ 5120 KB の間で、32 KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [64KB] (初期値) 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。
ジョブチケット用メモリー	ジョブチケットに使用するメモリーの容量を指定します。 0.25 ～ 8.00 MB の間で、0.25 MB 単位でメモリー容量を設定します。 設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [0.25MB] (初期値)

設定項目	説 明
受信バッファ容量	インターフェイスごとに、受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。LPD、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。  補足 ・ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。 ・コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。
LPD スプール	・ [スプールしない]（初期値） スプール処理は行われません。あるコンピューターから LPD のプリント処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。 LPD 専用の受信バッファのメモリー容量を、1024 ～ 2048 KB の間で 32 KB 単位で設定します。初期値は [1024KB] です。 ・ [ハードディスクスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。 ・ [メモリスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選んだときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.5 ～ 32.00 MB の間で 0.25 MB 単位で設定します。初期値は [1.00MB] です。なお、設定したメモリー容量よりも大きいプリントデータは、受信できません。このようなときは、[ハードディスクスプール]、または [スプールしない] を選んでください。  注記 ・ LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。この場合には、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで [ポート] タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリスプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。
IPP メモリー、IPP スプール、USB メモリー、Port9100 メモリー	64 ～ 1024 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は USB は [64KB]、そのほかは [256KB] です。  補足 ・ [IPP メモリー] は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられていない場合に表示されます。ハードディスクが取り付けられている場合は、[IPP スプール] が表示されます。

[画質補正]

[画質補正] は、プリント画質が悪いときに本機を調整します。

[ペーパーレジ補正]



💡 補足

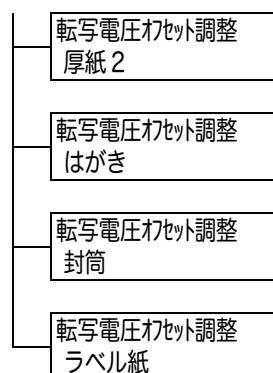
- ・トレイ 2～4 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。
- ・[おもて面の補正]、[うら面の補正]、[チャート出力 (片面)]、[チャート出力 (両面)] は、トレイ 1～手差しトレイの各々のトレイに対応して表示されます。
- ・ペーパーレジ補正については、「8.5 ペーパーレジを補正する」(P. 246) を参照してください。
- ・おもて面 / うら面の垂直方向 (リードレジ) の補正はトレイごとに設定でき、それぞれ個別の値になります。おもて面とうら面の直角度の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

設定項目	説 明
おもて面の補正	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置、および直角度を補正します。 ・リードレジ / サイドレジは -3.9 mm ～ +3.9 mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.1 mm 刻みで設定できます。 ・直角度補正は -1.0 mm ～ +1.0 mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.1 mm 刻みで設定できます。
うら面の補正	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置、および直角度を補正します。 ・リードレジ / サイドレジは -3.9 mm ～ +3.9 mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.1 mm 刻みで設定できます。 ・直角度補正は -1.0 mm ～ +1.0 mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.1 mm 刻みで設定できます。
チャート出力 (片面)	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置、および直角度を補正するときに使用するチャートを出力します。

設定項目	説 明
チャート出力（両面）	うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正するときに使用するチャートを出力します。
用紙サイズ設定	手差しトレイからチャートを出力するときの用紙サイズを設定します。 ・ [A3□]（初期値） ・ [11x17"□] ・ [A4□] ・ [8.5x11L"□]
用紙種類設定	手差しトレイからチャートを出力するときの用紙種類を設定します。 ・ [普通紙]（初期値） ・ [普通紙（うら面）] ・ [上質紙] ・ [上質紙（うら面）] ・ [再生紙] ・ [再生紙（うら面）] ・ [厚紙 1] ・ [厚紙 1（うら面）] ・ [厚紙 2] ・ [厚紙 2（うら面）] ・ [ラベル紙] ・ [はがき] ・ [はがき（うら面）] ・ [封筒] ・ [封筒（うら面）] ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5]

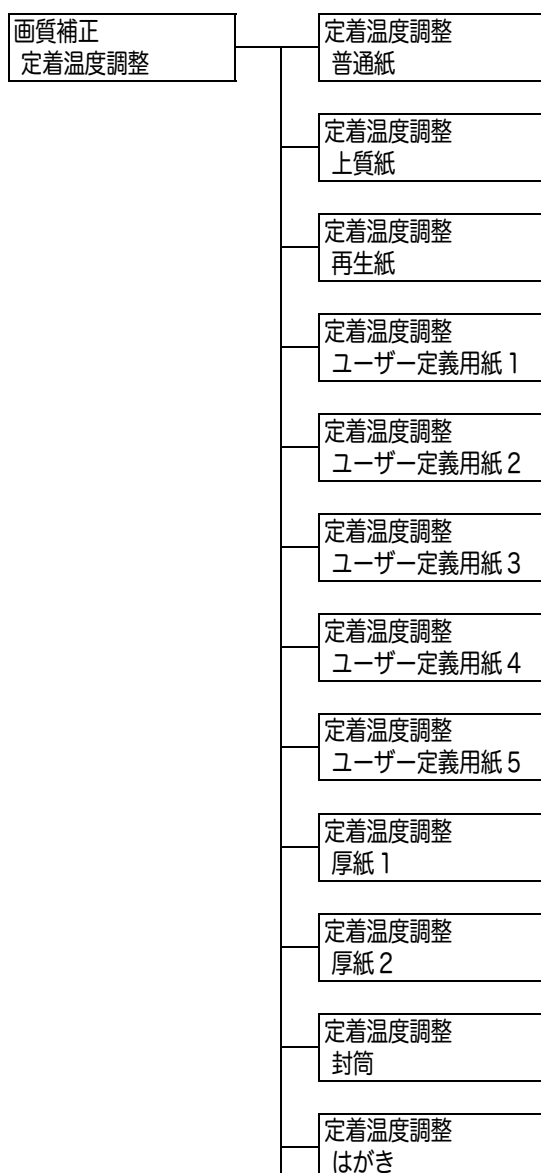
【転写電圧オフセット調整】





設定項目	説 明
普通紙、上質紙、再生紙、ユーザー定義用紙 1～5、厚紙 1～2、はがき、封筒、ラベル紙	画像の一部が白く抜ける、または白点になったり、画像の色がまだらになる、または画像周辺にトナーが飛び散ったりといった症状が頻繁に発生する場合は、転写電圧の設定を調整します。 ・ [1] ～ [16] (初期値 : [6])

[定着温度調整]



定着温度調整
ラベル紙

設定項目	説 明
普通紙、上質紙、再生紙、ユーザー定義用紙 1 ～ 5、厚紙 1 ～ 2、封筒、はがき、ラベル紙	定着ユニットの温度調整をします。用紙がカールする場合は、温度を下げます。用紙にトナーが定着しない場合は、温度を上げます。 ・ [-6] ～ [6] (初期値 : [0])

〔高地使用設定〕

画質補正
高地使用設定

設定項目	説 明
高地使用設定	本機の設置場所の高度を設定します。高度を正しく設定することで、印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。 ・ [海拔 0 ～ 999m] (初期値) ・ [海拔 1000m ～ 1999m] ・ [海拔 2000m ～ 2999m] ・ [海拔 3000m 以上]

〔画像濃度補正〕

画質補正
画像濃度補正

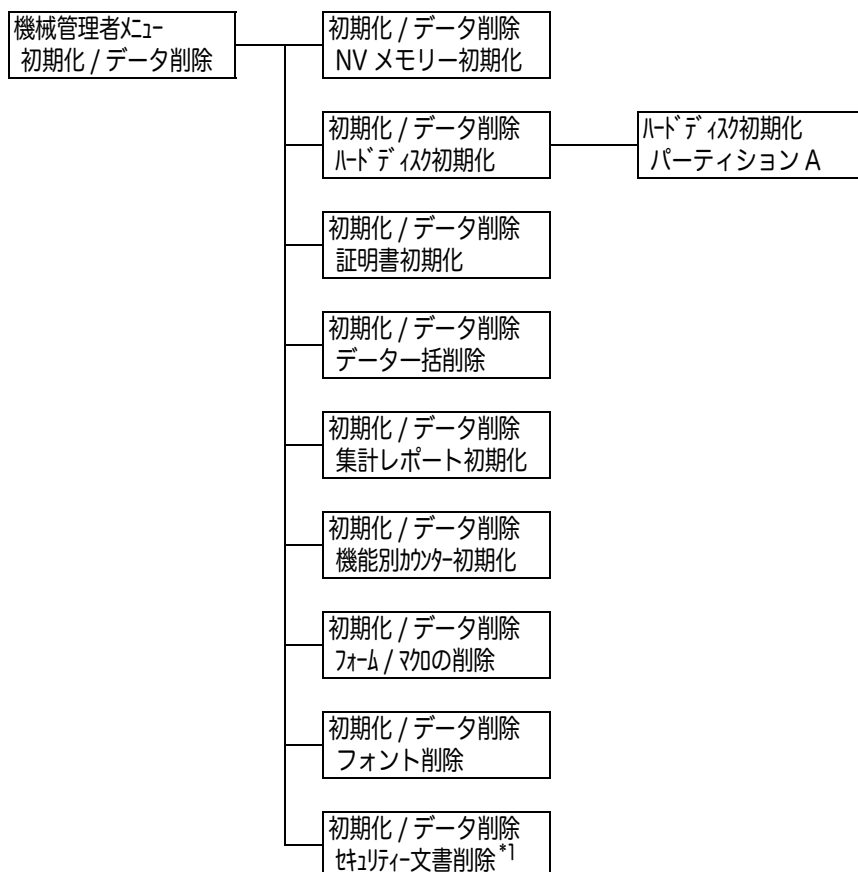
設定項目	説 明
画像濃度補正	補正濃度を -3 ～ 3 の間で設定します。 ・ [0] (初期値)

[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除] では、NV メモリーに記憶されている本機の設定値、ネットワークポート、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）の初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除します。

補足

- ・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。



*1 セキュリティプリントを使用している場合は [セキュリティ文書削除]、プライベートプリントを使用している場合は [プライベート文書削除] と表示されます。

設定項目	説 明
NV メモリー 初期化	NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。  補足 ・ NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。
ハードディスク 初期化	機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を初期化します。 初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PC-PR201H、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。  補足 ・ ハードディスクを初期化しても、セキュリティプリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。 ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目	説 明
証明書初期化	証明書を一括削除し、初期化します。 登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。
データ一括削除	NV メモリー、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ハードディスクを初期化すると、追加フォント、PC-PR201H、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。  注記 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が装着されている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。
集計レポート初期化	集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。  補足 「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 241) を参照してください。
機能別カウンター初期化	機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。
フォーム / マクロの削除	登録されているフォーム / マクロを削除します。 [ART EX フォーム削除] ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。 [ART IV フォーム削除] ART IV 用フォームを削除します。 [201H フォーム削除] エミュレーションの PC-PR201H 用フォームを削除します。 [ESC/P フォーム削除] エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。 [PCL マクロ削除] エミュレーションの PCL 用マクロを削除します。  補足 - 登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。 - 登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
フォント削除	登録されているフォントを削除します。 [PCL フォント削除] エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。  補足 - この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。 - 登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。
セキュリティー文書削除	セキュリティープリントやプライベートプリントとして蓄積されている文書を削除します。  補足 - セキュリティープリントを使用している場合には [セキュリティー文書削除]、プライベートプリントを使用している場合には [プライベート文書削除] の項目が表示されます。 - 文書がない場合は、[文書はありません] と表示されます。

[エンジンクリーニング]

プリント上にカブリがあったり、トナー汚れなどが連続してつくときに、本機の内部をクリーニングします。

[トナーリフレッシュ]

トナーと現像剤のバランスを適正にします。画像が薄かったり、出力結果がぼやけているときに実施します。

補足

- ・この機能はトナーを使用するため、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命が縮まることがあります。

[プリント言語の設定]

[プリント言語の設定] には、[201H]、[ESCP]、[HPGL]、[PDF]、[PCL]、[PostScript]、[XPS]、[XDW (DocuWorks)] のメニュー項目があります。

[201H]

このメニューで設定できる項目については、「10.9 PC-PR201H エミュレーションについて」(P. 368)を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、「10.8 ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P. 347)を参照してください。

[HPGL]

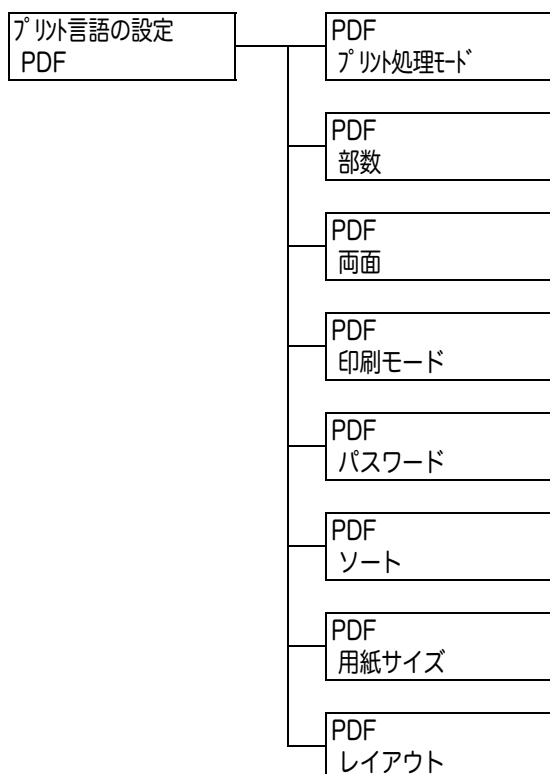
このメニューで設定できる項目については、「10.10 HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P. 389)を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

補足

- ・[部数]、[両面]、[印刷モード]、[パスワード]、[ソート]、[用紙サイズ]、[レイアウト] の設定は、ContentsBridge Utility (富士ゼロックス株式会社製のソフトウェア) を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合に有効になります。詳しくは、「4.11 PDF ファイルを直接プリントする」(P. 89)を参照してください。



設定項目	説 明
プリント処理モード	PDF ファイルのプリント処理モードを設定します。 ・ [PDF Bridge] (初期値) PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。 ・ [PS] PDF ファイルを PostScript® の機能を使用して処理します。  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ [PDF Bridge] を選んだ場合と [PS] を選んだ場合では、プリント結果が異なることがあります。
部数	プリントする部数を設定します。 ・ [1 部] ～ [999 部] (初期値: 1 部)  補足 ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
両面	両面プリントについて設定します。 ・ [しない] (初期値) 両面プリントをしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。

設定項目	説 明
印刷モード	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 ・ [高速] 速度を優先してプリントします。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質でプリントします。 ・ [高画質] プリント速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいにプリントします。
パスワード	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 196 の *4 No.1、3、4、5)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) してプリントするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 ・ [A4] または [8.5 x 11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5 x 11"] のどちらかが表示されます。 ・ [自動] (初期値) プリントする PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。
レイアウト	プリントするときのレイアウトについて設定します。 ・ [自動倍率] (初期値) プリントする用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されてプリントされます。 ・ [100% (等倍)] プリントする用紙サイズにかかわらず、等倍でプリントされます。 ・ [カタログ (小冊子)] プリントする PDF ファイルのページ構成に応じて、カタログのようにページを割り付けて両面プリントします。ただし、ページ構成によっては、カタログプリントができない場合があります。その場合は、[自動倍率] でプリントされます。また、[用紙サイズ] で [A4] を設定している場合は、A4 サイズの用紙にプリントされます。[用紙サイズ] で [自動] を設定している場合は、A3 または A4 サイズの用紙にプリントされます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。2 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5x11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。4 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5x11" になります。  補足 ・ この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられていて、[プリント処理モード] を [PS] に設定している場合は表示されません。

[PCL]

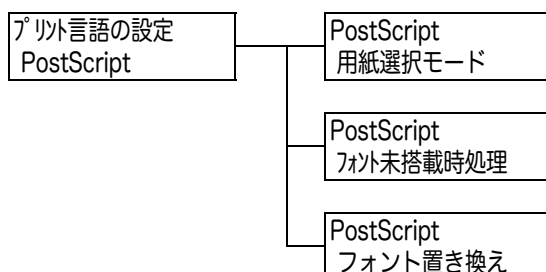
このメニューで設定できる項目については、「10.11 PCL エミュレーションについて」(P. 401) を参照してください。

[PostScript]

PostScript® に関する設定をします。

💡 補足

- ・この項目は、Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



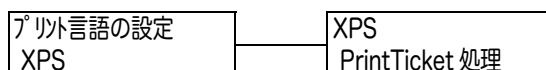
設定項目	説 明
用紙選択モード	PostScript® の DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ [トレイから選択] DMS（Deferred Media Selection）機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。 ・ [自動]（初期値） DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にします。
フォント未搭載時 処理	ジョブで指定された PostScript® フォントがなかった場合の処理を設定します。 ・ [プリントを中止] プリントを中止します。 ・ [フォントを置き換え]（初期値） ジョブで指定されたフォントを置き換えてプリントします。置き換えられるフォントは Courier です。置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [フォント置き換え] で [ATCx を使用する] を選んでください。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript® フォントに置き換えてプリントする機能です。
フォント置き換え	ジョブで指定された PostScript® フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript® フォントに置き換えてプリントする機能です。 ・ [ATCx を使用しない] ・ [ATCx を使用する]（初期値）

[XPS]

XPS に関する設定をします。

💡 補足

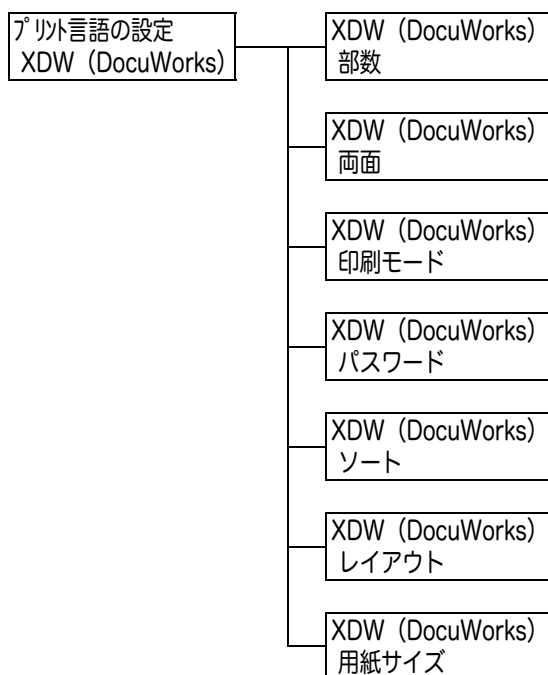
- ・ XPS とは、XML Paper Specification の略です。



設定項目	説 明
PrintTicket 処理	XPS PrintTicket^{*1} を読み込んだ時の本機の動作を設定します。 ・ [無効] PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS 文書を処理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できるようになります。 ・ [標準モード] (初期値) PrintTicket を処理します。本機用の他のプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。 ・ [準拠モード] 指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft® の仕様に準拠した処理を行います。本機以外の機種で XPS 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。 ^{*1} PrintTicket とは、Microsoft® 社が規定した XPS 文書内部に格納されているプリント設定です。

[XDW (DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。



設定項目	説明
部数	プリントする部数を設定します。 ・ [1 部] ～ [999 部] (初期値：1 部)  補足 ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。

設定項目	説明
両面	両面プリントについて設定します。 ・ [しない] (初期値) 両面プリントをしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。
印刷モード	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 ・ [高速] 速度を優先してプリントします。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質でプリントします。 ・ [高画質] プリント速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいにプリントします。
パスワード	DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 196 の *4 No.1、3、4、5)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) してプリントするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
レイアウト	プリントするときのレイアウトについて設定します。 ・ [100% 等倍] プリントする用紙サイズにかかわらず、等倍でプリントされます。 ・ [自動倍率] (初期値) プリントする用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されてプリントされます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。2 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。4 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。  補足 ・ [自動倍率] や [2 アップ]、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 ・ [A4] または [8.5 × 11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5 × 11"] のどちらかが表示されます。 ・ [自動] (初期値) プリントする DocuWorks ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。

[言語切り替え]

メニュー
言語切り替え

設定項目	説 明
言語切り替え	操作パネルの表示言語を設定します。 ・ [日本語] (初期値) 日本語で表示します。 ・ [English] 英語で表示します。

補足

- ・ [English] に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウェアは英語版を使用してください。なお、英語版のプリンタードライバー、ContentsBridge Utility は、「10.6 最新のソフトウェアを手する」(P. 345) を参照して弊社のホームページからダウンロードしてください。

- *1 [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。
- *2 <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
- *3 ダンププリントの各列は、次の項目がプリントされます。
- | | |
|------------|---|
| Count | ジョブの先頭データからのバイト数がプリントされます。 |
| 16 進数表記コード | プリントデータを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式でプリントされます。 |
| ASCII コード | プリントデータを JIS X0201 の 8 単位符号を使用してプリントされます。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD とプリントされます。 |

*4 文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	アアイウエオカキクケコサシスセソチツテトニヌネハヒフヘホミムメモヤユヨラリルロワヲン
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{ }

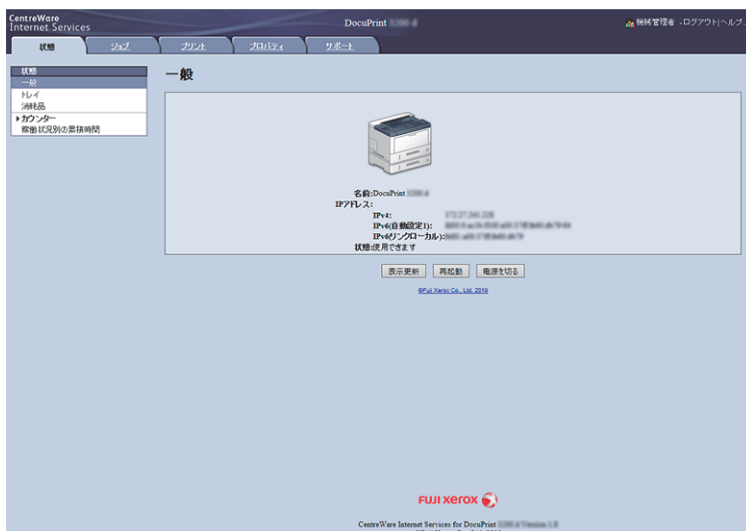
- *5 ・ [有効] の設定時、プリントモード指定が [HexDump] に設定されている場合、PJM コマンドも [HexDump] で出されます。
- ・ PJM コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。
- *6 WSD は、Web Services on Devices の略称です。

7 便利な使いかた

7.1 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。



各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	メニュー名	主な機能
状態	一般	本機の名前や IP アドレス、状態が表示されます。
	トレイ	用紙トレイにセットされている用紙の状態が表示されます。
	消耗品	各種消耗品の残量や状態が表示されます（目安）。 実際の交換作業は、操作パネルに表示されるメッセージを見て、行ってください。  参照 ・「9.7 エラーコード」(P. 287)
	カウンター	現在までのプリントページ数が表示されます。
	稼働状況別の累積時間	現在までの稼働時間、待機時間、節電中の時間などの累積が表示されます。
	組み込みプラグイン	本機に登録されているプラグインの一覧が表示されます。
ジョブ	ジョブ一覧	処理中のジョブの一覧が表示されます。
	履歴一覧	処理が終了したジョブの一覧が表示されます。
	エラー履歴	エラー・ログに保存されているエラー情報が表示されます。 表示されるエラーコードの意味については、「9.7 エラーコード」(P. 287) を参照してください。

タブ名	メニュー名	主な機能
プリント	プリント指示	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。[プリント] タブは、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
プロパティ	一般設定	本機全般にわたる設定が表示されます。また、それぞれの項目を設定できます。 ・ 設定項目：本体構成 / ジョブ管理 / 用紙トレイの設定 / 用紙設定 / 節電モード設定 / 保存文書設定 / メモリー設定 / Internet Services 設定 ^{*1} / オンデマンドプリントサービス設定 ^{*1} / 設定情報の複製 ^{*1} / メール通知設定 ^{*1}
	ネットワーク設定	各種ポートやプロトコルといったネットワーク関連の設定を確認、変更できます。
	サービス設定	プリントモードや各種エミュレーション、メール ^{*1} 、EP サービスについて設定できます。
	集計設定 ^{*1}	集計管理機能について設定できます。
	セキュリティ ^{*1}	セキュリティ関連の設定ができます。 ・ 設定項目：認証管理 / 認証情報の設定 / 権限グループ登録 / 外部認証サーバー設定 / 受付 IP アドレス制限 / 受付ポート / 監査ログ / 証明書の設定 / IP Sec / 証明書管理 / IEEE 802.1x / SSL / TLS 設定 / 複製管理 / 強制アノテーション / ジョブ表示の制限 / プラグイン設定 / ハードディスクの上書き消去設定 / セキュリティ警告設定 / 機械管理者情報の設定 ^{*2} / 操作パネル制限 / IC カード設定 ^{*3}

^{*1} CentreWare Internet Services でしか設定できない項目です。操作パネルでは設定できません。

^{*2} 機械管理者の ID とパスワードを設定できます。

^{*3} IC カード読み取り装置（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する前に、Web ブラウザーで次の設定をしてください。
Internet Explorer 11 を例に説明します。

インターネット一時ファイルの設定をする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [全般] タブで、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] から [Web サイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorer を開始するたびに確認する] を選びます。
4. [OK] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが閉じます。

5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

本機の IP アドレスについて、プロキシサーバーを使用しないように設定する

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [接続] タブで、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [LAN の設定] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
 - ・ [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークを外す。
 - ・ [詳細設定] をクリックし、[例外] に本機の IP アドレスを入力して [OK] をクリックする。
4. [OK] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

JavaScript を有効にする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [セキュリティ] タブで、[ローカル イントラネット] をクリックして、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
[セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン] ダイアログボックスが表示されます。
3. [スクリプト] までスクロールし、[アクティブ スクリプト] が有効化されていることを確認します。
4. [OK] をクリックします。
[セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン] ダイアログボックスが閉じます。
5. [インターネット オプション] 画面で [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

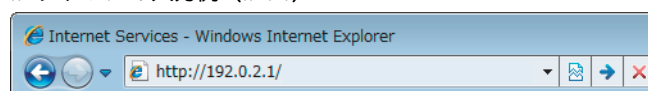
CentreWare Internet Services を起動する

本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

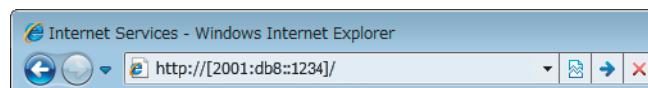
1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

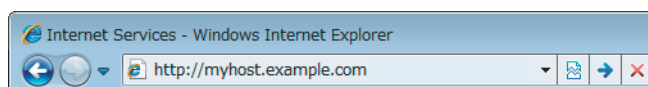
IP アドレスの入力例 (IPv4)



IP アドレスの入力例 (IPv6)

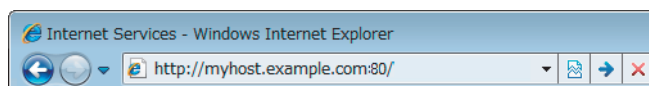


URL の入力例

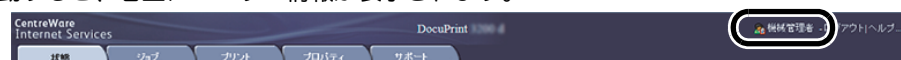


💡 補足

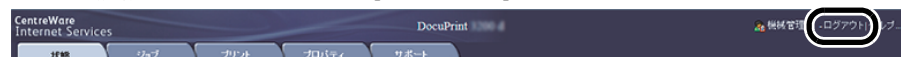
- ・ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。
- ・ポート番号は、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。



- ・本機で認証 / 集計管理機能を使用している場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードを入力してください。ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。CentreWare Internet Services を起動すると、右上にユーザー情報が表示されます。



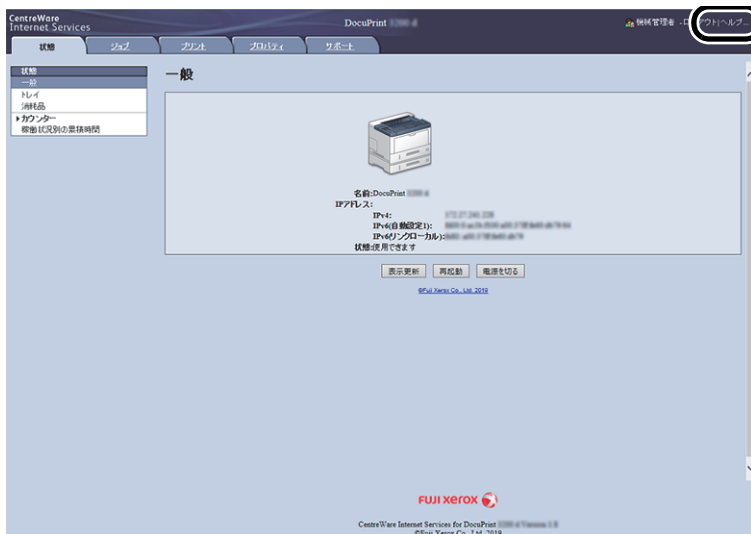
- ・機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードでログインして、設定や確認をしたあとは、情報漏洩を防ぐためにも [ログアウト] をクリックして、ログアウトしてください。



- ・通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
- ・認証 / 集計管理機能、および通信の暗号化については、「7.4 セキュリティー機能について」(P. 205)、「7.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 218)を参照してください。

ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



！ 注記

- ・ CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

送信を暗号化する

[セキュリティ] で証明書を作成して [HTTP-SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、本機と Web ブラウザーの間で送信するデータが暗号化されます。また、CentreWare Internet Services を使用するとき、証明書が必要になることがあります。

7.2 本機に付属するソフトウェアを使う

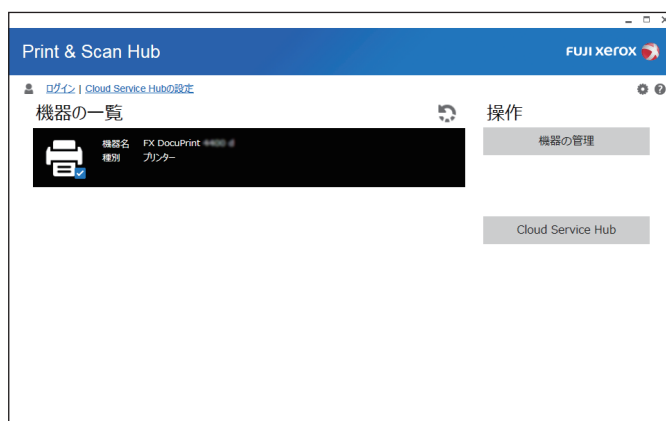
概要

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

Print & Scan Hub (Windows®)

Print & Scan Hub は、本機や本機の消耗品の状態を表示する機能を提供するソフトウェアです。

Print & Scan Hub を起動するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [Fuji Xerox Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows®)

PC 上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイルをプリントすることができます。

ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの [ContentsBridge] ショートカットをダブルクリックします。

Supply Monitor (Windows®)

ネットワーク上のプリンターや、USB 接続されたプリンターを監視し、プリンター情報や消耗品情報を取得するソフトウェアです。消耗品の残量が少なくなったときには、Supply Monitor をインストールしたコンピューターにアラート情報を表示したり、指定したメールアドレスにメールで通知したりできます。

ソフトウェアをアップデートする

最新版のソフトウェアおよびファームウェアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

7.3 RAM ディスクを使用するための設定

RAM ディスクを有効にすると、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けなくても、サンプルプリント / セキュリティプリント / 認証プリント / 時刻指定プリントが使用できます。

❗ 注記

- ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

💡 補足

- ・ RAM ディスクを使用して、大量のデータをプリントする場合、分割して送信されます。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[音の設定] が表示されます。

システム設定
音の設定

6. [RAM ディスク] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

システム設定
RAM ディスク

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。

RAM ディスク
・ 無効

8. 〈▼〉 ボタンを押します。

RAM ディスク
有効

9.  ボタンを押します。

10. これで、設定は終了です。
 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

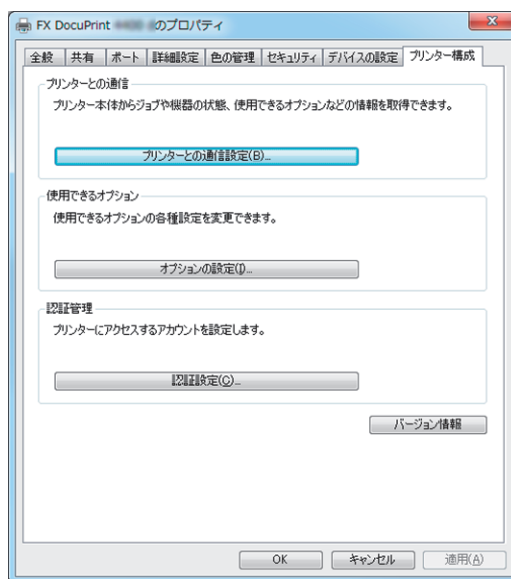
プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。[RAM ディスク] を [あり] に設定する必要があります。ここでは、Windows® 7 を例に説明します。

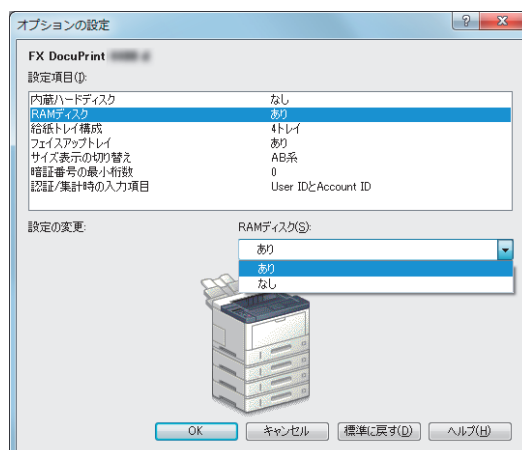
💡 補足

- ・ プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]）を選びます。
2. 本機のプリンターアイコンを選び、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [オプションの設定] をクリックします。



4. [オプションの設定] ダイアログボックスで、[RAM ディスク] を [あり] に設定し、[OK] をクリックします。



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

7.4 セキュリティー機能について

セキュリティ機能の概要

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティ機能とその設定方法を説明します。

機能	説明	参照先
通信の暗号化	本機とネットワーク上のコンピューターの間で通信する場合に、通信データを暗号化できます。 ・ クライアントコンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化 ・ 本機から LDAP サーバーへの HTTP 通信を暗号化 (SSL/TLS クライアント) ・ IPSec を使用して暗号化	「7.5 暗号化機能を設定する」 (P. 209)
セキュリティプリント	第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。  補足 ・ 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。	「4.6 機密文書をプリントする - セキュリティプリント -」 (P. 72)
IC カードによるプライベートプリント、オンデマンドプリント、認証プリント	本機に IC カード読み取り装置を接続して、IC カード認証によって出力します。出力データは、プライベートプリントと認証プリントの場合は本体内に、オンデマンドプリントの場合はサーバー内に一時的に蓄積されます。  補足 ・ プライベートプリントと認証プリントを利用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。 ・ オンデマンドプリントを利用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。 ・ IC カード読み取り装置については、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。	「4.9 プライベートプリント」 (P. 83) 「4.10 認証プリント」 (P. 86)
HDD 暗号化	システム内部（NV メモリー、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション））のデータを暗号化するための設定を行います。  注記 ・ この項目の設定を変更すると、ハードディスクが初期化されます。  補足 ・ 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「[データ暗号化]」 (P. 157)

機能	説明	参照先
HDD 上書き消去	機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）内のデータを上書き消去します。上書き消去を複数回行うことで、ハードディスクに記録されていた情報を、より確実に消去することができます。  補足 ・機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「[HDD の上書き消去]」 (P. 158)
HDD の初期化	ハードディスクに残っているデータを一括して消去できます（ハードディスク初期化）。また、NV メモリーとハードディスクのデータを一括して初期化することもできます（データ一括削除）。  補足 ・機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「ハードディスク 初期化」(P. 188) 「データ一括削除」 (P. 189)
IP アドレスによる受信制限	使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、プリントを受け付ける IP アドレスを制限できます。	「[受付制限設定]」 (P. 142)
操作パネルのロック	パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。	「[操作パネル設定]」 (P. 146)
ユーザー登録による利用制限	本機にユーザー情報を登録することによって、CentreWare Internet Services へのアクセスや、コンピューターからのプリントができるユーザーを限定できます。	「7.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」 (P. 218)
イメージログ機能	本機で実行されたジョブの文書を画像データとして保存し、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのデータとともに、ログとして蓄積 / 管理します。  補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	この機能を使用したい場合は弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 「[イメージログ管理設定]」(P. 165)
複製管理機能	ページ全体に日付や番号、複製制限コード（デジタルコード）を印字することによって、機密文書などの複写を抑止します。  補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「複製管理機能について」(P. 207)
強制アノテーション機能	ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、アノテーションが強制印字されます。  補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「強制アノテーション機能について」(P. 208)
監査ログ機能	いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったかを記録します。	「監査ログ機能について」(P. 208)
IC カード設定	IC カードの情報で認証、利用制限、利用状況を集計 / 管理します。	「IC カード読み取り装置を利用するための設定」(P. 224)

複製管理機能について

複製管理は、ページ全体に日付や文字、背景、隠し文字デジタル情報をプリントすることで、文書の複製を抑止したり、コピーの履歴を確認したりできる機能です。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- ・複製管理機能による文書の複製制限は、常に機能することを保証するものではありません。原稿や設定条件によっては、機能が有効に働かない場合があります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- ・複製管理機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

複製管理機能には、次の種類があります。

- ・複製管理
あらかじめ本機に登録されているパターンを使用して、原稿に日付や背景を隠しプリントします。この原稿をコピーすると、桜紙や VOID 紙のように隠しプリントが浮き上がります。
- ・ペーパーセキュリティ
隠し文字のほかに複製制限コード（デジタルコード）を埋め込むことで、出力した原稿のコピー / スキャン / FAX 送信を禁止したり、情報漏えい時に作業履歴を追跡したりすることができます。なお、コピー / スキャン / FAX 送信を禁止するには、対応した機器やソフトウェアが必要になります。
- ・UUID 印字
UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、原稿に識別 ID（UUID）をプリントして、特定の文書のプリントログを検索できます。

強制アノテーション機能について

強制アノテーションは、ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、透かし文字やユーザー ID を強制印字できる機能です。

詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。



補足

- ・複製管理、ペーパーセキュリティ、UUID 印字が指定されている場合は、それらと重なって印字されます。
- ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

監査ログ機能について

監査ログ機能は、いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったのかを確認することができる機能です。この機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。



注記

- ・監査ログ機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



補足

- ・最大 50 件までログを保存します。機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けると、最大 15000 件までログを保存します。最大保存数を超えると、古いログから自動的に削除されます。
- ・監査ログを取り出すには、HTTPS を設定しておく必要があります。設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 210) または、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

7.5 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要になります。
使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- ・ CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書（有効期限は 1 年）
- ・ 他の認証局で作成された証明書

他の認証局で作成された証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services で本機にインポートしてください。



・ 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

暗号化の種類	自己証明書	他の認証局で作成された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	×	○
IPSec を使用して暗号化する	×	○ ^{*1}

○：使用できる ×：使用できない

^{*1} [IKE 認証方法] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

本機では、ネットワーク上にあるほかのコンピューターと通信する場合に、通信データを暗号化できます。

■ クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

本機の HTTP サーバーを利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス (HTTP) ポート、IPP ポートがあります。

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL /TLS プロトコルを使用します。

通信を暗号化するには、自己証明書、または他の認証局で作成された証明書のいずれかのデバイス証明書を使用できます。



- ・ 作成済みの証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services を使って証明書をインポートしてください。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・ HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポート でプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。
- ・ 発行した証明書の有効期限は 1 年です。

■ 本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

LDAP サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、LDAP のサーバーが SSL クライアント認証を要求する設定の場合には、CentreWare Internet Services を使用して、本機に作成済みの SSL/TLS クライアント証明書をインポートし、設定する必要があります。

また、サーバー証明書の検証を有効にして LDAP サーバーの検証を行う場合には、LDAP サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証するために、そのルート証明書を CentreWare Internet Services から本機に登録する必要があります。

補足

- ・ CentreWare Internet Services を使って他の認証局で作成された証明書をインポートする方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

■ IPSec を使用して暗号化する

IPSec を使用して本機と暗号化通信ができます。

IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選べます。デジタル署名を選んだ場合は、本機に IPSec 用証明書が必要です。

CentreWare Internet Services を使用して、他の認証局で作成された証明書をインポートします。なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPSec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

補足

- ・ 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

HTTP の通信を暗号化するための設定

HTTP の通信を暗号化するための設定について説明します。

本機側の設定

本機に証明書を設定します。

ここでは、CentreWare Internet Services で自己証明書 (SSL サーバー用) を作成し、SSL/TLS 通信を有効にする手順を説明します。各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ CentreWare Internet Services で、作成済みの証明書をインポートして使用することもできます。作成済みの証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

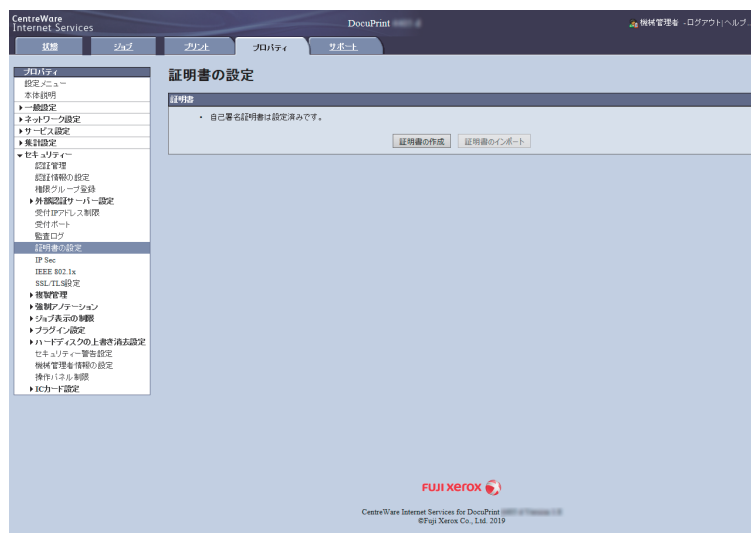
補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 18) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

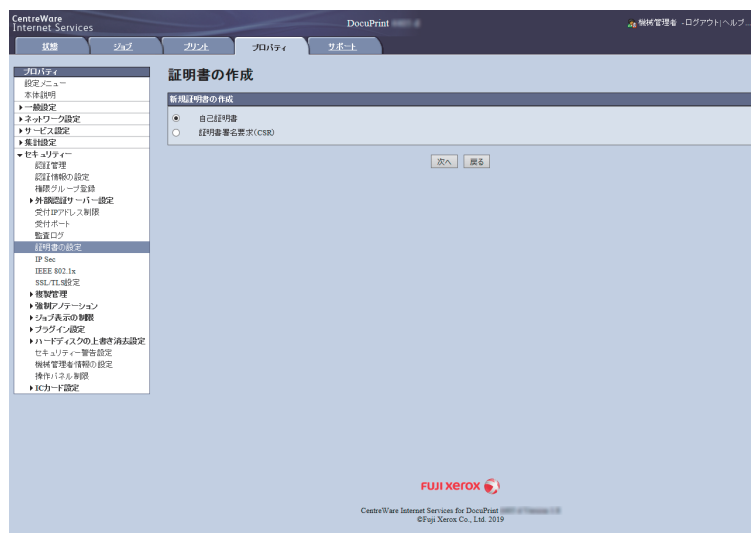
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。

〔証明書の設定〕画面が表示されます。



4. [証明書の作成] をクリックします。[証明書の作成] 画面が表示されます。

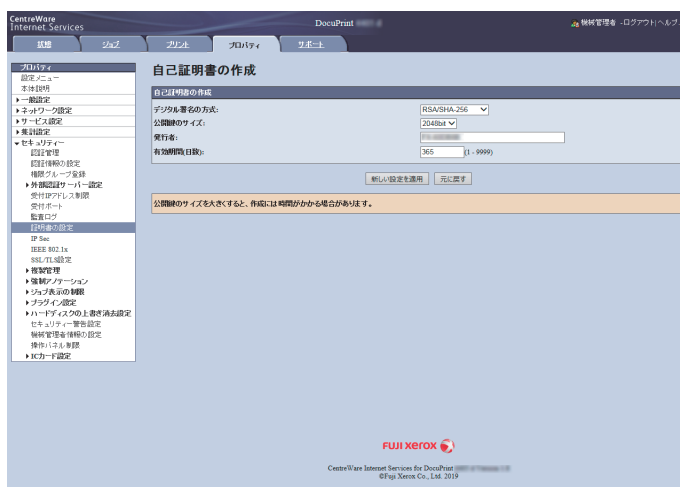
5. [自己証明書] を選び、[次へ] をクリックします。



- 表示された画面で、[公開鍵のサイズ] と [発行者]、[有効期間] を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。

💡 補足

- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。



- 設定が更新されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
- [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
- [HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付け、[新しい設定を適用] をクリックします。



- 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

💡 補足

- CentreWare Internet Services を起動すると、[プロパティ] の [セキュリティ] の下に [証明書管理] が表示されます。[証明書管理] では、証明書の情報の確認や選択、証明書のエクスポート、削除などを行うことができます。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

HTTP の通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- ・IP アドレスの入力例：https://192.168.1.100/
（「192.168.1.100」の部分は、お使いの機種の IP アドレスに置き換えてください。）
- ・インターネットアドレスの入力例：https://xxx.yyyy.zz.vvvv/

IPP ポートで通信データを暗号化してプリントするための設定

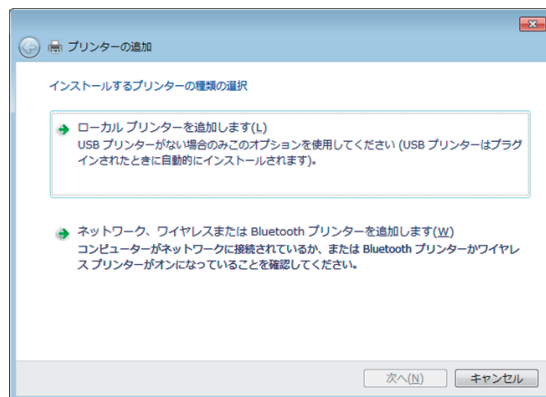
HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートでプリントするときに、通信データを暗号化できます。

本機側の設定で、IPP ポートを [起動] に設定してください。（初期値：[起動]）

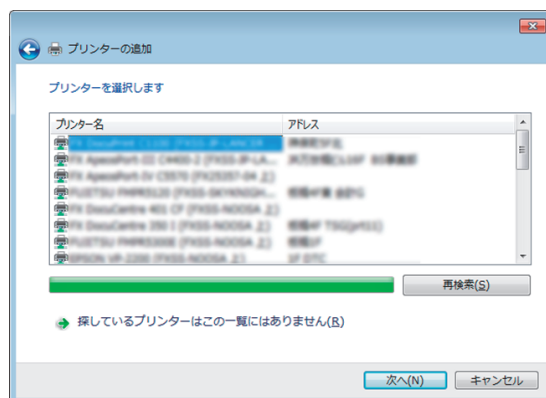
次に、コンピュータにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。

以下に、Windows® 7 の例で、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

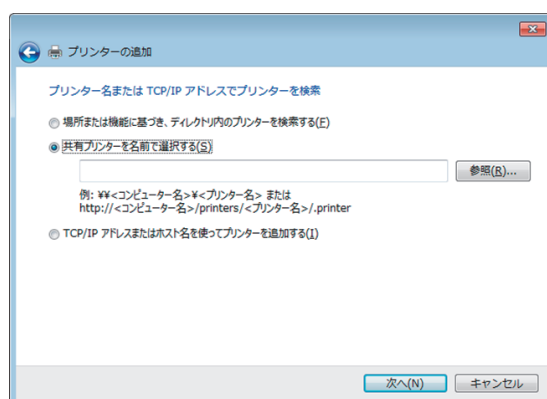
1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選びます。
2. [プリンターの追加] を選びます。
3. [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックします
ネットワーク上のプリンターが表示されます。



4. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。



5. [共有プリンターを名前で選択する] を選び、次の URL を入力して [次へ] をクリックします。
「https://（お使いの機種種の IP アドレス）/ipp/」



6. [ディスク使用] をクリックします。
7. 表示された画面で（メディアのドライブ名）：プリンタードライバーが格納されているフォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。
8. 本機のドライバーを選んで、[OK] をクリックします。
9. 通常使うプリンターに設定する場合は [はい] を、設定しない場合は [いいえ] を選んで、[次へ] をクリックします。
10. [完了] をクリックします。

IPSec を使用して暗号化するための設定

IPSec を使用して暗号化するための設定について説明します。



補足

- この機能は、次の OS でのみ使用できます。
 - Windows® 7
 - Windows® 8.1
 - Windows® 10
 - Windows Server® 2008 R2
 - Windows Server® 2012 R2
 - Windows Server® 2016

コンピューター側の設定

IPSec の設定をします。詳しくは、上記 OS のヘルプを参照してください。

本機側の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

本機では、IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選べます。デジタル署名を選ぶ場合は、本体の証明書が必要ですので、まず、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 210) を参照して証明書を設定してから、IPSec の設定をしてください。

事前共有鍵を選ぶ場合は、事前に事前共有鍵の発行が必要ですので、機械管理者にお問い合わせください。その後、IPSec の設定をしてください。

■ 証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPSec 用証明書として設定します。

なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPSec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

💡 補足

- ・ HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 210) を参照してください。
- ・ CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

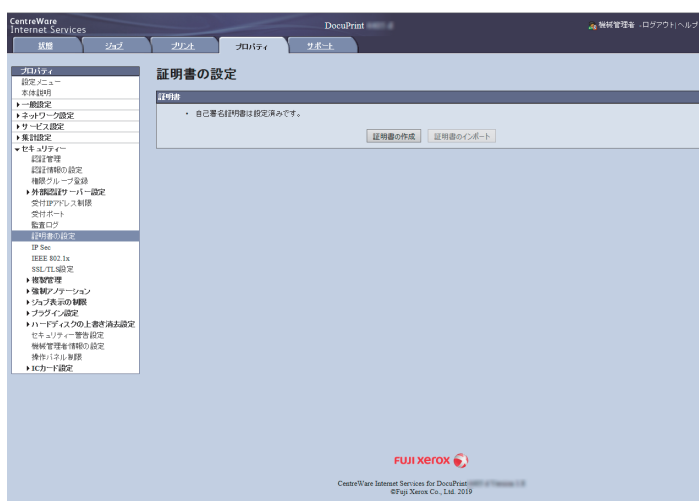
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 18) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。 [証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。

6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。 [証明書管理] 画面が表示されます。

8. [カテゴリー] を [本体]、[証明書の目的] を [IP Sec] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。

9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。

10. [証明書の選択] をクリックします。

11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。
これで、IPSec 用の証明書が設定されました。続けて、IPSec の設定をします。「IPSec の設定」の手順 3 に進んでください。

■ IPSec の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

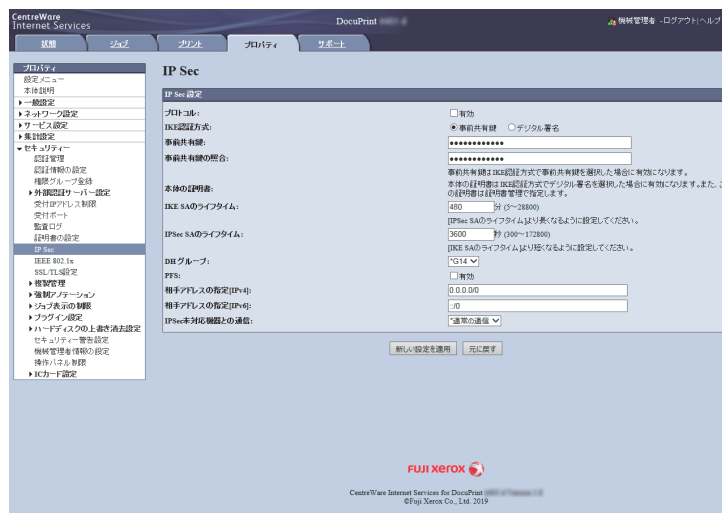
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 18) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから、[セキュリティ] > [IP Sec] をクリックします。
[IP Sec] 画面が表示されます。



4. [プロトコル] の [有効] にチェックを付けます。
5. [IKE 認証方式] で [事前共有鍵]、または [デジタル署名] を選びます。
6. [IKE 認証方式] を [事前共有鍵] に設定した場合は、[共有鍵] と [共有鍵の照合] に、IPsec 通信の共通鍵を入力します。
7. [IKE SA のライフタイム] (分単位) を 5 ~ 28800 の数値で入力します。
8. [IPSec SA のライフタイム] (秒単位) を 300 ~ 172800 の数値で入力します。

💡 補足

- ・ [IKE SA のライフタイム] より短い時間になるように入力します。

9. [DH グループ] で [G14]、[G19]、[G20]、または [G24] を選びます。

10. [PFS] で、[有効] にチェックを付けると、PFS 機能を起動できます。
11. [相手アドレスの指定 [IPv4]] または [相手アドレスの指定 [IPv6]] に、通信する相手先の IP アドレスを入力します。

 補足

- ・ すべての相手先と IPSec で通信する場合は、[0.0.0.0/0] (IPv4 のとき) または [::/0] (IPv6 のとき) を設定します。

12. [IPSec 未対応機器との通信] で、IPSec 未対応機器と通信するかどうかを選びます。
13. 各項目の設定ができたら、[新しい設定を適用] をクリックします。

 補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

14. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

7.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

注記

- ・ 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべてプリント、または削除してください。

認証 / 集計管理機能の概要

制限される機能

認証 / 集計管理機能を利用することによって制限される機能は、次のとおりです。

■ CentreWare Internet Services へのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要になります。本機に登録されているユーザー、または機械管理者以外は、CentreWare Internet Services を使用できません。

■ コンピューターからのプリント

ジョブの種類によって、次のようにプリントが制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用したプリント	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、プリントできます。 プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降のプリントはできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（BMLinkS 利用時や、メール受信プリントなど）	本機で、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けた場合だけ、プリントできます。初期値ではチェックは付いていません。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が出力されます。

ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

参照

- ・ プリント方法：「レポート / リストをプリントする」(P. 238)
- ・ データの初期化：「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 241)

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証 / 集計管理機能を有効にするには、操作パネルの【機械管理者メニュー】で、次の設定をします。

- ・ [システム設定] > [集計管理] > [集計管理の運用] を [本体集計管理] にする
- ・ [システム設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を [本体認証] にする

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、利用ユーザーを登録できるようになります。



補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

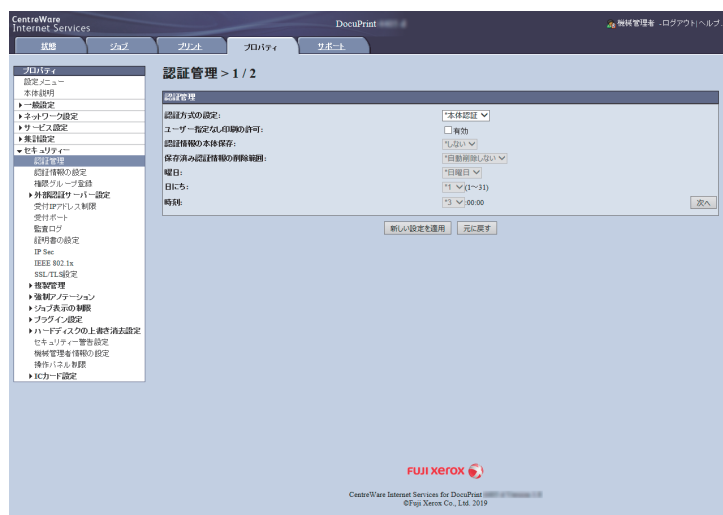


補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 18) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

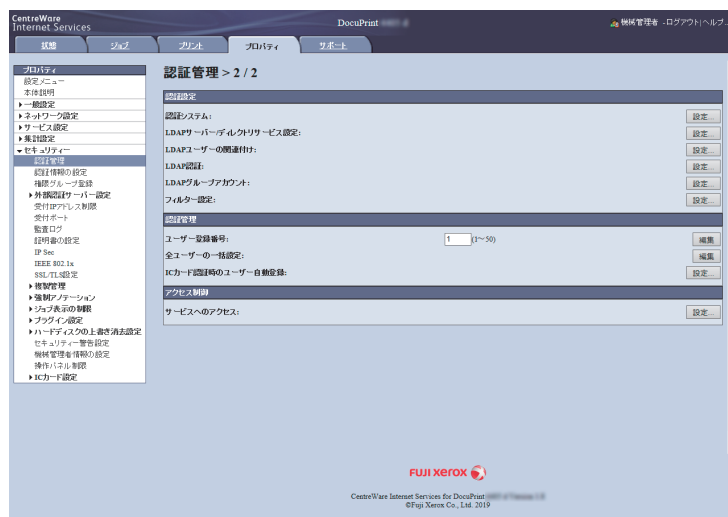
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。 [認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。



4. ユーザー名や暗証番号がないジョブに対して、プリントを許可する場合は、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けます。

5. [次へ] をクリックします。

[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



6. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。

7. 表示された画面で各項目を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。



💡 補足

- ・ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。
- ・設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

8. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

権限グループの登録とユーザーとの関連づけ

操作パネルで「本体集計管理」および「本体認証」の設定をすると、CentreWare Internet Servicesで、権限グループを登録し、ユーザーと関連づけることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連づけることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。

💡 補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

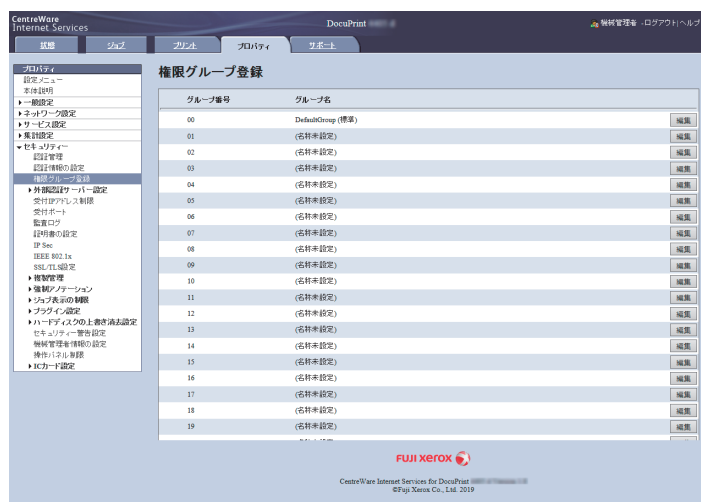
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

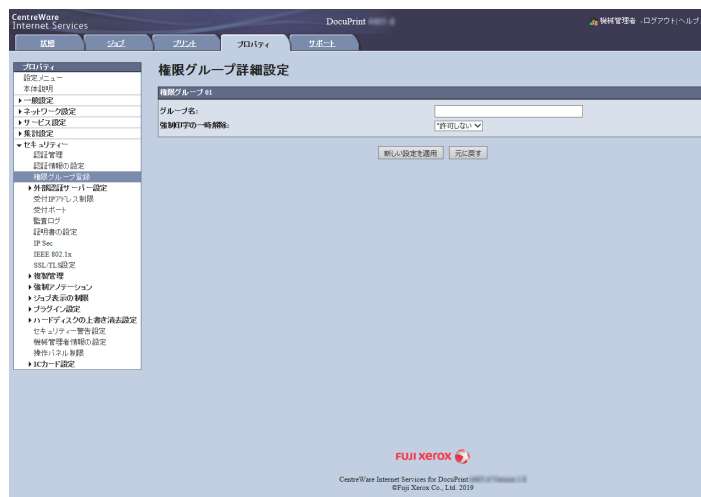
- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 18)を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから「セキュリティ」>「権限グループの登録」をクリックします。 「権限グループ登録」画面が表示されます。



4. 未登録のグループの「編集」ボタンを押します。 「権限グループ詳細設定」画面が表示されます。



5. [グループ名] にグループの名称を入力します。
6. [強制印字の一時解除] を [許可する] に設定します。
7. [新しい設定を適用] を押します。
強制印字の一時解除権限を持つ権限グループが作成されます。
8. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。
9. [次へ] をクリックします。
[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



10. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
11. [権限の追加設定] で、手順 7 で登録した権限グループを選び、[新しい設定を適用] をクリックします。



補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

12. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10 ~ 11 を繰り返します。

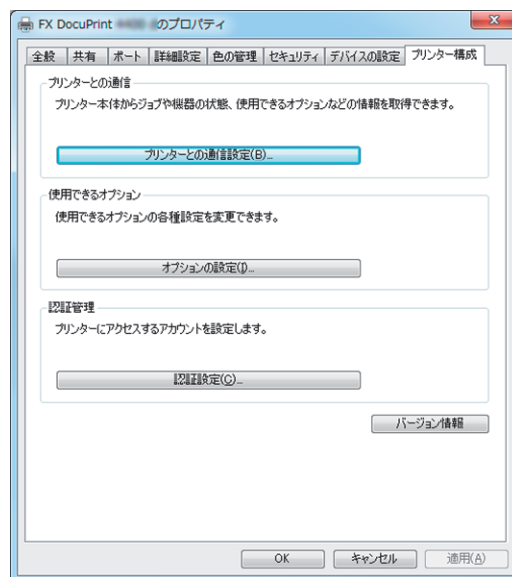
プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。このユーザー ID とパスワードが、本機に登録されている認証情報と一致しないとプリントできません。ここでは、Windows® 7 を例に説明します。

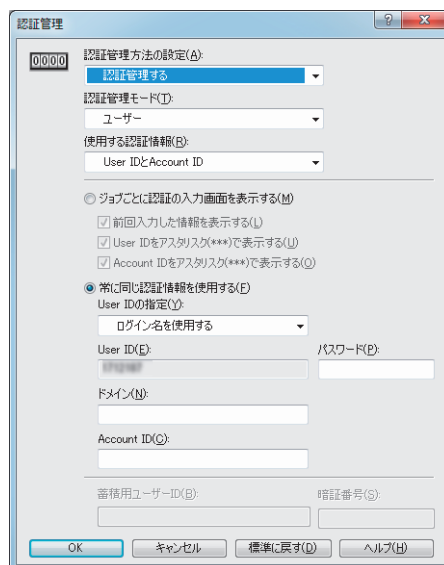
💡 補足

- ・ プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]）を選びます。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。



4. [認証管理] ダイアログボックスで各項目を設定し、[OK] をクリックします。



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

IC カード読み取り装置を利用するための設定

オプションの IC カード読み取り装置を設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかけたり、利用状況を集計管理することができます。

❗ 注記

- Dispenser 2 (CopyLyzer モード設定) を利用している場合、IC カード読み取り装置は設置できません。

💡 補足

- IC カード読み取り装置を設置するには、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が必要です。

利用できる IC カード

利用できる IC カードについては、装着している IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

IC カードの設定

CentreWare Internet Services で、IC カードの設定をします。

💡 補足

- 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

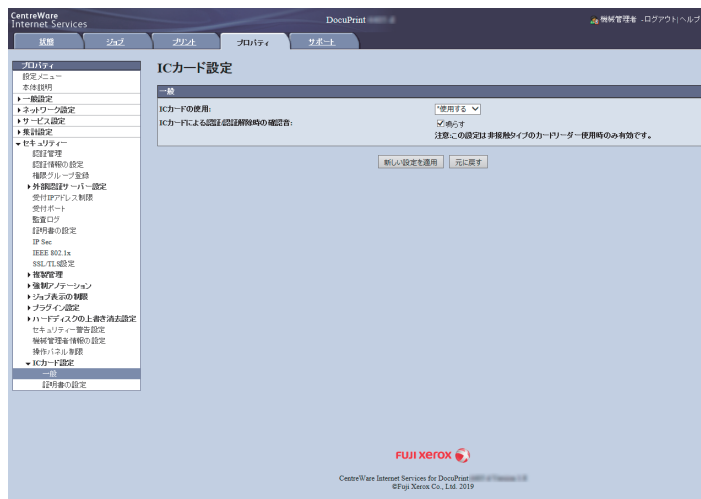
- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 18) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [IC カード設定] をクリックします。

4. [一般] をクリックします。

5. [IC カードの使用] を [使用する] に設定します。



6. IC カードによる認証および認証解除時に確認音を鳴らす場合は、[鳴らす] にチェックを付けます。
7. [新しい設定を適用] をクリックします。

8 日常管理

8.1 消耗品を交換する

警告

- ・床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

注意

- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- ・次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

消耗品の取り扱いについて

- ・消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- ・消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- ・消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- ・消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできます ■ トナー予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、次のとおりです。 ^{*1} ・ お買い上げ時のトナーカートリッジ：約 750 枚 ・ トナーカートリッジ (6K)：約 1500 枚 ・ トナーカートリッジ (10K)：約 2500 枚 ・ トナーカートリッジ (15K) (DocuPrint 3500 d/4400 d 専用)：約 3750 枚
■ トナーカートリッジを交換してください	トナーがなくなりました。本機は停止し、プリントできなくなります。「交換手順」(P. 227) を参照し、新しいトナーカートリッジに交換してください。

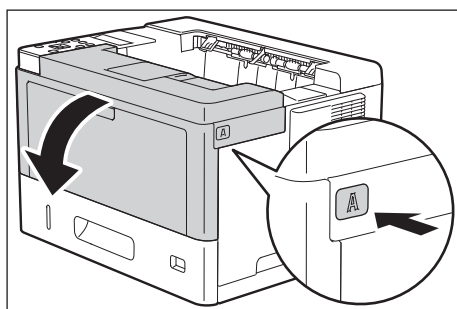
^{*1} プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「10.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 341) を参照してください。

！ 注記

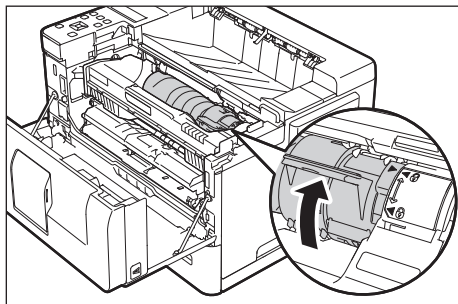
- ・ トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- ・ 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- ・ 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- ・ トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをお勧めします。

交換手順

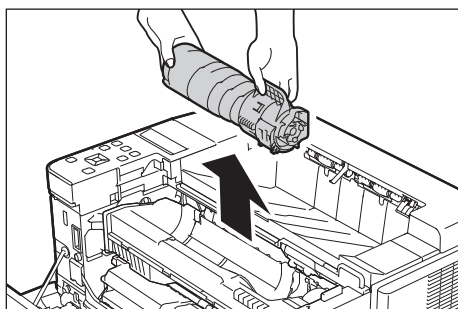
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



2. トナーカートリッジの取っ手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除します。



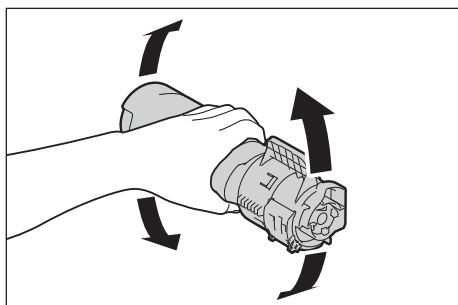
3. トナーカートリッジをゆっくり取り出します。



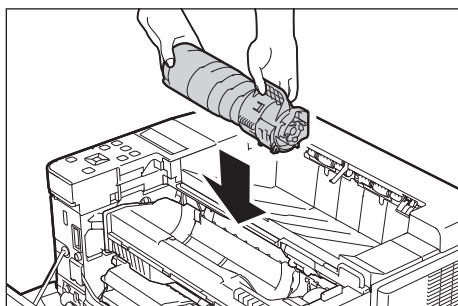
❗ 注記

- ・ 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

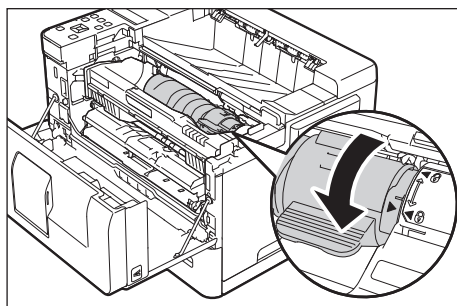
4. 新しいトナーカートリッジを用意し、10回振ります。



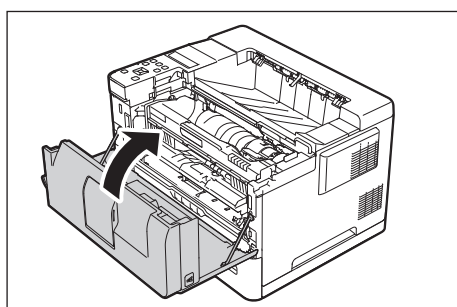
5. トナーカートリッジを本機にしっかり押し込みます。



6. トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックします。



7. フロントカバーを閉じます。



ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできます ■ドラム予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、約 8000 ページ ^{*1} です。
プリントできます ■ドラム交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数は、約 4000 ページ ^{*1} です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
■ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、プリントできなくなります。「交換手順」(P. 230) を参照して、新しいドラムカートリッジに交換してください。
プリントできます ■ドラム交換	操作パネルで、[ドラム寿命動作] を [プリント停止しない] に設定 ^{*2} しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくはプリントを継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

^{*1} プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「10.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 341) を参照してください。

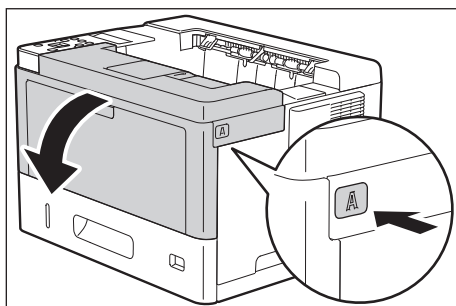
^{*2} この場合は、[プリントできます ■ドラム交換] のまま、メッセージは移行しません。設定については、[機械管理者メニュー] の「[ドラム寿命動作]」(P. 156) を参照してください。

交換手順

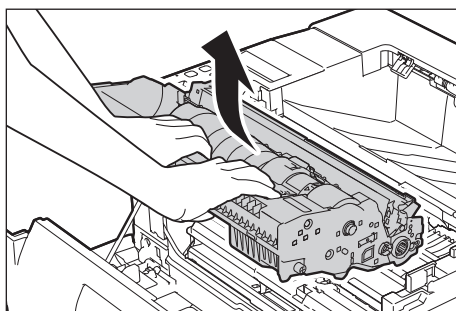
❗ 注記

- ・ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ドラムカートリッジは強い光にさらさないでください。印字品質が低下するおそれがあります。

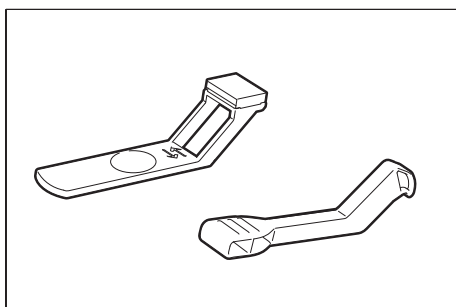
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



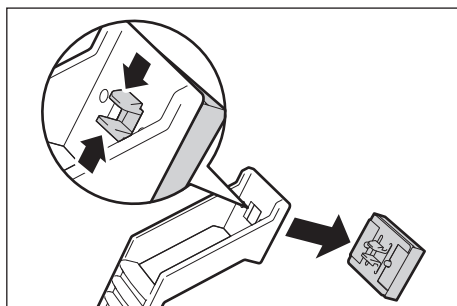
3. 本機に付属の清掃棒と昇降レバーを用意します。



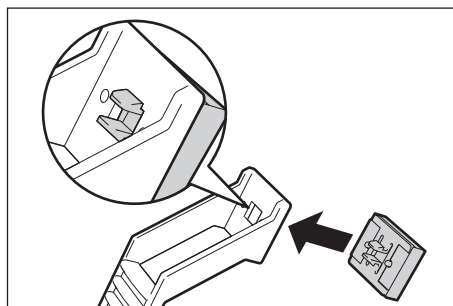
💡 補足

- ・使用後は、無くさないよう大切に保管してください。

4. 清掃棒の清掃パッドを交換します。



取り外し

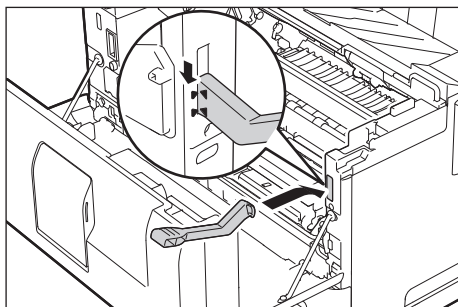


取り付け

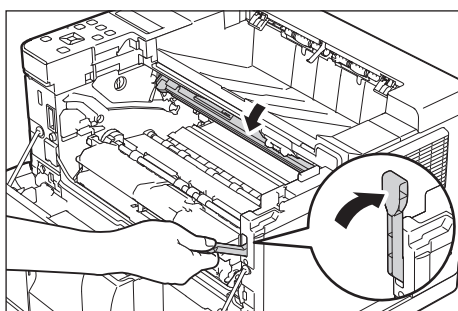
 補足

- ・ 清掃パッドは交換用のドラムカートリッジに同梱されています。

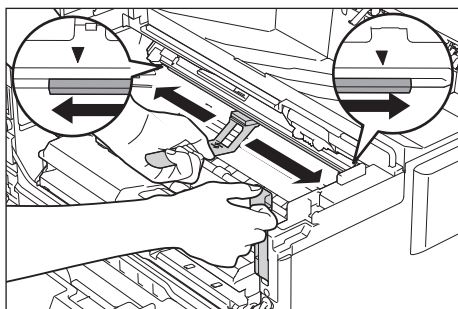
5. 本機の▲マークと合わせながら、昇降レバーを挿入します。



6. 昇降レバーを上げて、プリントヘッド部を下げます。

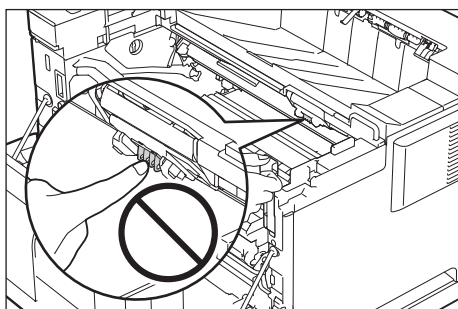


7. 清掃棒のパッド部分を LED プリントヘッド（黒いガラス部の下側）にあて、左右に一往復させて軽く拭きます。
清掃後は、昇降レバーを取り外します。

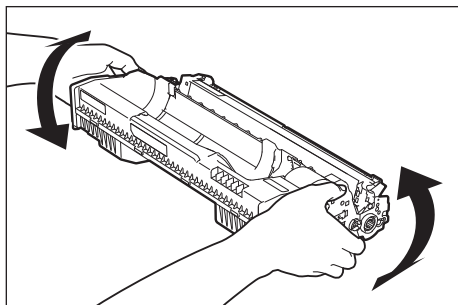


 注記

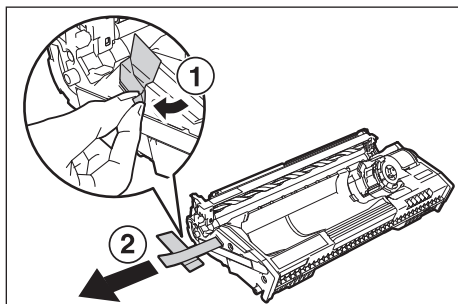
- ・ 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



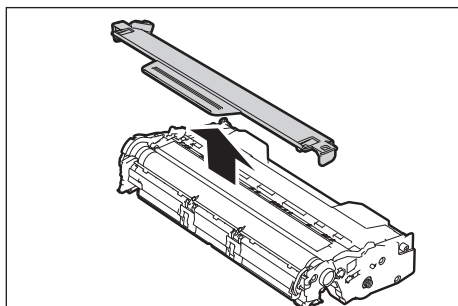
8. 新しいドラムカートリッジを用意し、8 回振ります。



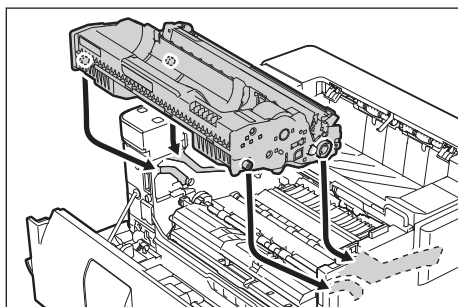
9. テープをはがし (①)、ヒートシールをまっすぐ引き抜きます (②)。



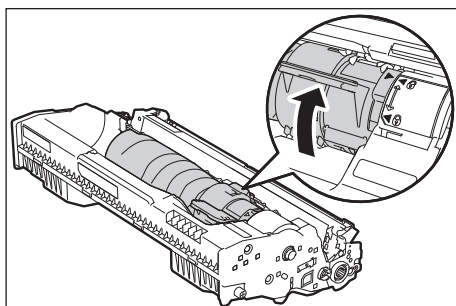
10. ドラムカートリッジを裏返し、オレンジ色の保護カバーを取り外します。



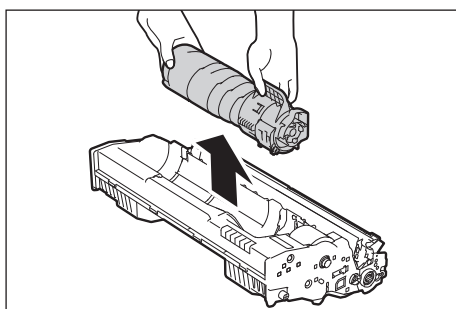
11. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。



- 12.** 古いドラムカートリッジにセットされたトナーカートリッジの取っ手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除します。



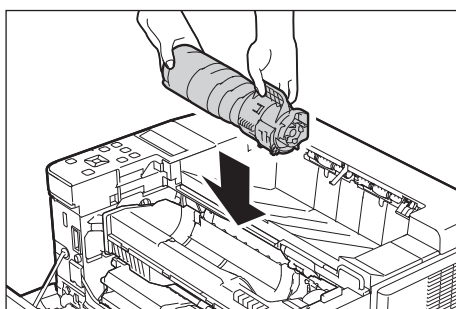
- 13.** トナーカートリッジをゆっくり取り出します。



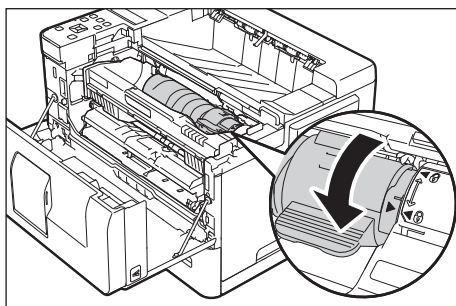
！ 注記

- ・ 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

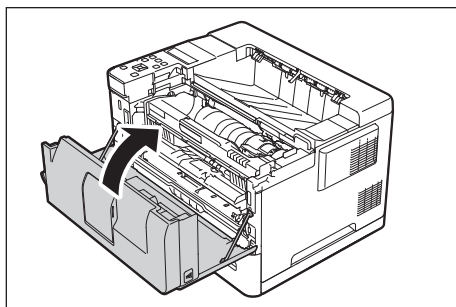
- 14.** トナーカートリッジを本機にしっかり押し込みます。



- 15.** トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックします。



16. フロントカバーを閉じます。



8.2 レポート / リストをプリントする

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからのプリントデータをプリントするほかに、次のレポート / リストをプリントする機能があります。

補足

- ・ レポート名が操作パネルでの表示名と異なる場合は、括弧内に操作パネルでの表示名を記載しています。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
機能設定リスト	—	本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態がプリントされます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどにプリントします。
ジョブ履歴レポート	—	コンピューターから送られたプリントデータが、正しくプリントされたか、実行結果をプリントします。[ジョブ履歴レポート] には、最新の 50 件までのプリントジョブがプリントされます。 この [ジョブ履歴レポート] は、50 件を超えるごとに自動的にプリントさせるかどうかを、操作パネルで設定できます。「[自動ジョブ履歴]」(P. 151) を参照してください。
エラー履歴レポート	—	本機に発生したエラーに関する情報がプリントされます。
プリンター集計レポート (集計レポート)	—	コンピューター別 (ジョブオーナー別) に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。 集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。  参照 ・ 「8.3 プリントページ数を確認する」(P. 240)
プリンター集計管理レポート (集計レポート)	—	集計機能を使用している場合は [集計レポート] を選ぶと、本レポートがプリントされます。 登録ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。  参照 ・ 集計機能について : 「7.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 218)
フォントリスト	—	ART EX、ART IV、ESC/P、PDF Bridge、PC-PR201H、HP-GL/2、DocuWorks Bridge で使用できるフォントの一覧がプリントされます。
PCL フォントリスト	—	PCL で使用できるフォントの一覧がプリントされます。 また、PCL で使用できるバーコードのサンプルも確認できます。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
PostScript® フォントリスト (PS フォントリスト)	Adobe® PostScript® ソ フトウェアキッ ト	PostScript® で使用できるフォントの一覧がプリントされま す。
ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト (ユーザー定義リスト)	—	ART IV、ESC/P および PC-PR201H プリントモードで登 録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントさ れます。
ART EX フォーム登録リスト (ART EX フォームリスト) *1	—	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一 覧がプリントされます。  参照 ・ フォームの登録：プリンタードライバーのヘル プ
PostScript® 論理プリンター 登録リスト (PS 登録リスト) *1	Adobe® PostScript® ソ フトウェアキッ ト	登録されている 1 ～ 20 までの PostScript® 論理プリンター の設定がプリントされます。  補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目につい ては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PC-PR201H 設定リスト (201H 設定リスト) *1	—	PC-PR201H プリントモードでの設定がプリントされます。 詳細は、「10.9 PC-PR201H エミュレーションについて」 (P. 368) を参照してください。
PC-PR201H 論理プリン ター・メモリー登録リスト (201H 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ～ 5 までの PC-PR201H 論理プリンター の設定がプリントされます。  補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメ モリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、 CentreWare Internet Services のヘルプを参 照してください。
ESC/P 設定リスト *1	—	ESC/P プリントモードの設定がプリントされます。 詳細は、「10.8 ART IV、ESC/P エミュレーションについ て」(P. 347) を参照してください。
ESC/P 論理プリンター・メ モリー登録リスト (ESC/P 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ～ 20 までの ESC/P 論理プリンターの設 定がプリントされます。  補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメ モリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、 CentreWare Internet Services のヘルプを参 照してください。
HP-GL/2 設定リスト *1	—	HP-GL、HP-GL/2 プリントモードでの設定値がプリントさ れます。 詳細は、「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」 (P.389) を参照してください。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
HP-GL/2 論理プリンター・ メモリー登録リスト (HP-GL/2 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ～ 20 までの HP-GL、HP-GL/2 論理プリンターの設定がプリントされます。  補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
TIFF/JPEG 設定リスト *1	—	TIFF/JPEG プリントモードでの各設定がプリントされます。
TIFF/JPEG 論理プリンター 登録リスト *1	—	登録されている 1 ～ 20 までの TIFF/JPEG 論理プリンターの設定がプリントされます。  補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PDF 設定リスト *1	—	PDF ダイレクトプリントの操作パネルでの設定がプリントされます。
PCL 設定リスト *1	—	PCL プリントモードでの設定値がプリントされます。詳細は、「PCL エミュレーションについて」(P.401) を参照してください。
PCL マクロ登録リスト (PCL マクロリスト) *1	機能拡張キット (ハードディスク)	登録したマクロやフォームなどがプリントされます。
DocuWorks 設定リスト *1	—	DocuWorks ダイレクトプリントの操作パネルでの設定がプリントされます。
蓄積文書リスト	機能拡張キット (オプション) または、有効にした RAM ディスク	セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧がプリントされます。  参照 ・ 「4.6 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P. 72) ・ 「4.7 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P. 76) ・ 「4.8 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」(P. 80) ・ 「7.3 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 203)
送受信ドメイン制限リスト (ドメイン制限リスト)	機能拡張キット (オプション) または、有効にした RAM ディスク	送受信を許可 / 拒否するドメインの登録状況がプリントされます。  補足 ・ 送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
使用済み製品回収情報シート (製品回収シート)	—	使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートがプリントされます。お客様から弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に本機の情報をご通知いただくことによって、本機の回収経路が決定します。  参照 使用済み製品回収情報シートの記入欄は、お客様にご記入いただく必要はありません。
機能別カウンターレポート	—	機能別、用紙サイズ別の出力枚数やレディー時間、低電力モード時間、スリープモードなどの時間の累計がプリントされます。
隠し印刷サンプルリスト (隠し印刷サンプル)	セキュリティ拡張キット 機能拡張キット (ハードディスク)	複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルがプリントされます。
ペーパーセキュリティサンプルリスト (ペーパーセキュリティサンプル)	セキュリティ拡張キット 機能拡張キット (ハードディスク)	複製管理機能のペーパーセキュリティで作成するデータのサンプルがプリントされます。
バーコードサンプル	—	GS1-128 バーコードのサンプルがプリントされます。 [A3 バーコードモード ON]、[A3 バーコードモード OFF]、 [A4 バーコードモード ON]、[A4 バーコードモード OFF] の4種類あります。
メーター確認レポート	—	メーターカウントがプリントされます。 本機能を利用するには、カスタマーエンジニアによる設定が必要です。
ネットワークプロトコルレポート	—	ネットワークプロトコルの設定がプリントされます。

*1 [レポート / リスト] メニューで [プリント言語] を選ぶと表示されます。

*2 RAM ディスクを有効に設定する必要があります。

レポート / リストをプリントする

レポート / リストは、操作パネルからプリントを指示します。ここでは、[機能設定リスト] をプリントする場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様の手順でプリントできます。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

[レポート / リスト] が表示されます。

仕様設定
レポート / リスト

2. <▶> または  ボタンを押します。
[機能設定リスト] が表示されます。

レポート / リスト
機能設定リスト

補足

- ・ほかのレポート / リストをプリントする場合は、該当するレポート / リストが表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

3. <▶> または  ボタンを押します。
プリントを開始させる画面が表示されます。

機能設定リスト [OK] でプリント開始

4.  ボタンでプリントします。
レポートがプリントされます。

5. プリントが終わったら、 <仕様設定> ボタンを押して、
プリント画面に戻ります。

8.3 プリントページ数を確認する

これまでにプリントしたページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総プリントページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、プリントしたページ数を確認できます。

メーター 1	白黒プリント
メーター 2	通常は表示されません。

補足

- ・両面プリントで出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [メーター確認] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
メーター確認

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[現在のカウント] が表示されます。

メーター確認
現在のカウント

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[メーター 1] が表示されます。

メーター 1
1234567

5. 〈▲〉 または 〈▼〉 ボタンを押して、確認したいメーターを表示します。

メーター 2
222

6. 確認が終わったら、 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

コンピューター別にプリントページ数を確認する（[プリンター集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[プリンター集計レポート] で確認できます。[プリンター集計レポート] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[プリンター集計レポート] のプリントやデータの初期化は、操作パネルから行います。



補足

- ・認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[プリンター集計レポート] はプリントできません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] がプリントされます。[プリンター集計管理レポート] に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。



参照

- ・プリント方法：「レポート / リストをプリントする」(P. 238)

[プリンター集計レポート] のプリント結果について

[プリンター集計レポート] には、次の項目がプリントされます。

ジョブオーナー名	最大 50 ユーザーまでのオーナー名がプリントされます。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 51 人め以降のユーザーのプリントジョブの場合は、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
総ページ数	実際にプリントした総ページ数です。1 つのプリントジョブが終了するたびにカウントされます。
総枚数	プリントに使用した用紙の総枚数です。1 つのプリントジョブが終了するたびにカウントされます。

[プリンター集計レポート] のデータを初期化する

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [初期化 / データ削除] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
初期化 / データ削除

5. <▶> または  ボタンを押します。
[NV メモリー初期化] が表示されます。

初期化 / データ削除 NV メモリー初期化

6. [集計レポート初期化] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

初期化 / データ削除 集計レポート初期化

7. <▶> または  ボタンを押します。
処理を開始させる画面が表示されます。

集計レポート初期化 [OK] で初期化開始

8.  ボタンを押します。
データが初期化されます。

9. 処理が終わったら、 <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]）

両面プリントなどの機能別、および用紙サイズ別に、プリントページ数やプリント枚数を確認できます。



- ・ プリント方法：「レポート / リストをプリントする」(P. 238)

8.4 電子メールで本機の状態を確認する

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピューターからプリントを指示したジョブの終了をメールで知らせたり、消耗品や用紙などの状況などを、指定したメールアドレスに通知したりするように設定できます。

この機能を、メール通知サービスといいます。

メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のものがあります。

情報の種類	説明
ジョブの終了通知	コンピューターからプリントが指示されたジョブの結果（正常終了、中止、要確認）を通知します。
消耗品などの状態通知	あらかじめ設定した内容（消耗品の状態、用紙の状態など）を指定されたあて先へメールで通知します。 トナーやドラムカートリッジの状態を定期的に通知するので、タイムリーに交換時期を把握できます。

メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。

ネットワーク環境

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、[プロパティ] の次の項目を設定します。



補足

- ・設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックして本機の電源を切り、入れ直します。
- ・[メール通知フォルダ] が表示されない場合は、[ポート起動] で [メール通知] の [起動] にチェックを付けて、本機の電源を切り、入れ直してください。

項目	設定項目	説明
本体説明	管理者メールアドレス（設定推奨）、 本体メールアドレス	「メール受信プリントをするための環境設定」 (P. 93) の「本体説明」(P. 94) を参照してください。

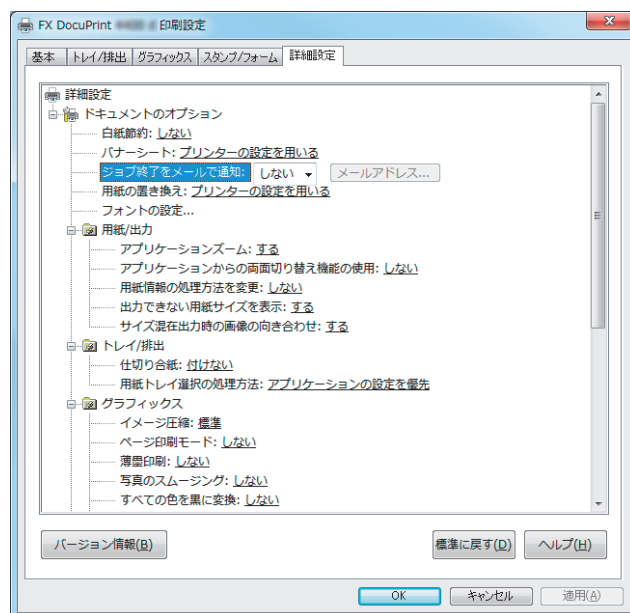
項目	設定項目	説明
一般設定>メール通知フォルダ* > ジョブ終了時のメール通知設定 (*: メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128 バイト以内で説明します。
	通知対象ジョブ	通知する対象のジョブを設定できます。 ・プリンター ・レポート
	通知条件	通知する条件を設定できます。 ・すべての場合 ・異常終了時のみ
	本文	ジョブ終了時の通知メールの本文を設定できます。
一般設定>メール通知フォルダ* > 機械状態のメール通知設定 (*: メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128 バイト以内で説明します。
	通知状態設定	通知する内容をあて先別に設定できます。 ・消耗品の状態 ・交換部品の状態 ・用紙の状態 ・排出先の状態 ・ジャム状態 ・インターロック状態 ・フォルトの通知
	定期通知設定	メール通知を行う間隔などについて設定します (設定任意)。
ネットワーク設定 > ポート起動	メール通知	チェックを付けます。
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > TCP/IP	ホスト名、ドメイン名、DHCP からアドレスを取得 /DHCPv6-lite からアドレスを取得、DNS サーバーアドレス 1 ~ 3、DNS の動的更新 (IPv4/IPv6)、ドメイン検索リストの自動生成、検索ドメイン名 1 ~ 3、タイムアウト、DNS の名前解決の IPv6 優先	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 93) の「ネットワーク設定>プロトコル設定>TCP/IP」(P. 94) を参照してください。
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > SMTP	SMTP サーバー IP アドレス (ホスト名)、送信ポート番号 (メール)、受信ポート番号、SMTP-SSL/TLS 通信、本体メールアドレス、SMTP 送信の認証、SMTP AUTH- ログイン名、SMTP AUTH- パスワード	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 93) の「ネットワーク設定>プロトコル設定>SMTP」(P. 96) を参照してください。

プリンタードライバーのプロパティでの設定 (コンピューター側)

プリントを指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART EX プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。ここでは、Windows® 7 を例に説明します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選びます。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから、[印刷設定] を選びます。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [詳細設定] タブをクリックします。

4. [ジョブ終了をメールで通知] で [する] を指定します。



5. [メールアドレス] に、通知先のメールアドレスを半角英数字で入力し、[OK] をクリックします。

6. [OK] をクリックします。

8.5 ペーパーレジを補正する

プリント位置がずれる場合、垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置と直角度を操作パネルから補正します。

補足

- ・ペーパーレジを補正するためのチャートをプリントするときは、A3（）、A4（）、11x17"（）、8.5x11"（）の用紙を用紙トレイまたは手差しトレイにセットしてください。[トレイの用紙サイズ設定] は、定形サイズを設定してください。
- ・垂直方向（リードレジ）と水平方向（サイドレジ）の補正は、トレイごとに設定でき、それぞれ個別の値になります。おもて面とうら面の直角度の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

ここでは、用紙トレイ 2 のおもて面（片面）のペーパーレジ補正と直角度補正をする例で説明します。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
画質補正

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ペーパーレジ補正] が表示されます。

画質補正
ペーパーレジ補正

6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

ペーパーレジ補正
トレイ 1

7. [トレイ 2] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ペーパーレジ補正
トレイ 2

8. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[おもて面の補正] が表示されます。

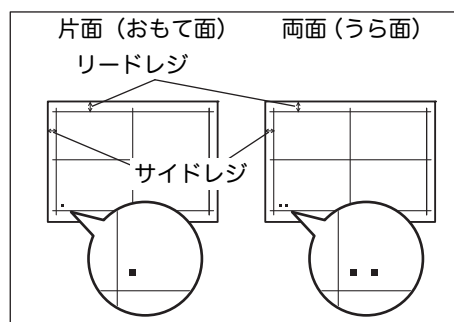
トレイ 2
おもて面の補正

9. [チャート出力 (片面)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
10. ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。
11. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。
12. ボタンを押します。
プリントが開始されます。
13. 出力されたチャートには■（黒い四角のマーク）がプリントされます（表面は■が1箇所、うら面は■が2箇所）。
用紙に対するプリント位置のずれ（垂直方向 / 水平方向）を確認します。
14. [おもて面の補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
15. 〈▶〉または ボタンを押します。
[リードレジ補正] が表示されます。
16. 〈▶〉または ボタンを押します。
現在の垂直方向の補正值（リードレジ）が表示されます。
17. 現在の設定値に、手順 13 で確認した垂直方向にずれた量を加えた値を設定し、 ボタンを押します。
プリント画像を下方方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、上方方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。
18. 〈◀〉または ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。
19. [サイドレジ補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイ 2
チャート出力 (片面)

チャート出力 (片面)
1 部

チャートを出力します
[OK] でプリント開始



トレイ 2
おもて面の補正

おもて面の補正
リードレジ補正

リードレジ補正
•0.0mm

リードレジ補正
•0.0mm

おもて面の補正
リードレジ補正

おもて面の補正
サイドレジ補正

20. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の水平方向の補正值（サイドレジ）が表示されます。

サイドレジ補正
• 0.0mm

21. 現在の設定値に、手順 13 で確認した水平方向にずれた量を加えた値を設定し、**OK** ボタンを押します。
プリント画像を左方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、右方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。

サイドレジ補正
• 0.0mm

22. <◀> または **↶**（戻る）ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。

おもて面の補正
リードレジ補正

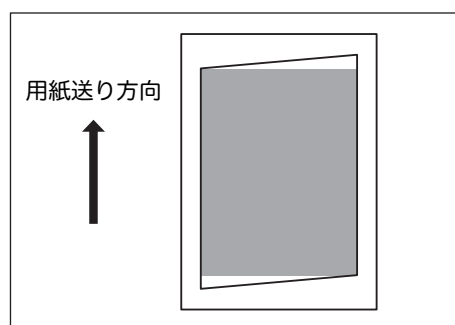
23. [直角度補正] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

おもて面の補正
直角度補正

24. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の直角度の補正值が表示されます。

直角度補正
• 0.0mm

25. 用紙に対するプリント位置のずれ（直角度）を確認します。



26. 現在の設定値に、手順 25 で確認したプリント位置のずれた量を加えた値を設定し、**OK** ボタンを押します。
用紙送り方向を上にした時に、右上がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は正の値を、左上がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は負の値を指定します。

27. 必要に応じて、チャートを再度プリントして、正しく設定されているかを確認します。

28. 設定が終わったら、**i**（仕様設定）ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

8.6 清掃する

警告

- ・機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

注意

- ・機械の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

注記

- ・電源を切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

本体外部を清掃する

注記

- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

注記

- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

用紙送りローラーを清掃する

用紙送りが正しくないと、紙詰まりが起こります。トラブルを防ぐため、手差しトレイ、用紙トレイ 1、トレイモジュール（用紙トレイ 2～4）（オプション）の用紙送りローラーを、定期的に清掃します。

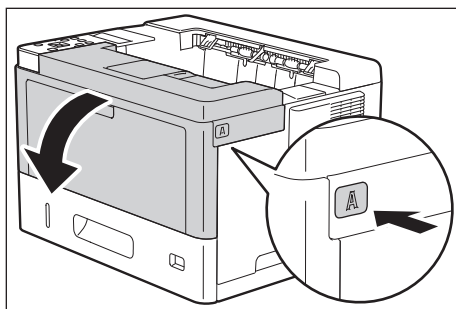
手差しトレイの用紙送りローラーとリタードローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

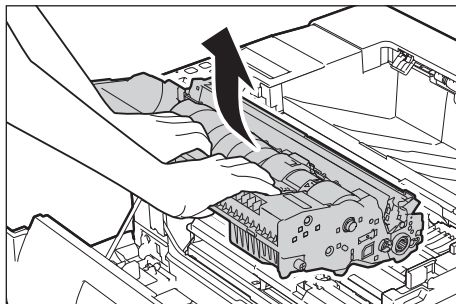
参照

- ・電源を切る方法については、「電源を切る」(P. 18) を参照してください。

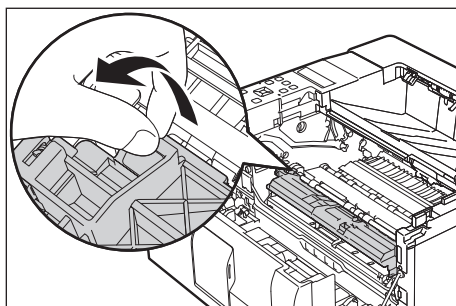
2. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



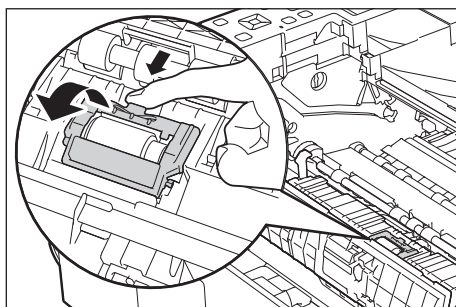
3. ドラムカートリッジの取手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



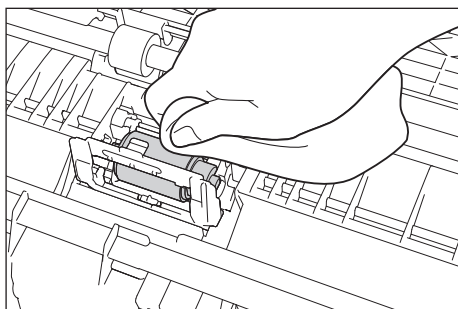
4. A1 部を手前に開きます。
A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



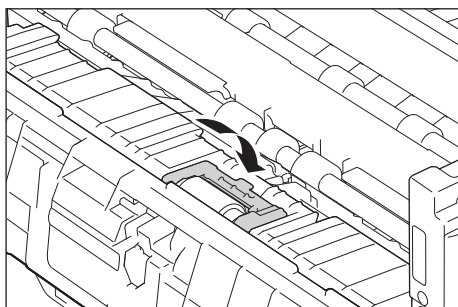
5. リタードロローラーのカバーの突起を押しながら手前に開きます。



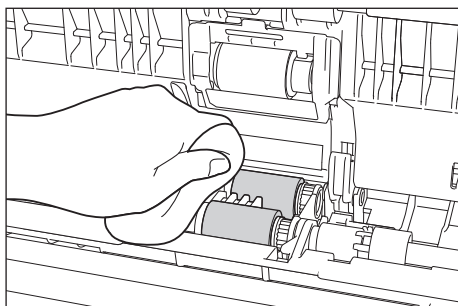
6. リタードロローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。



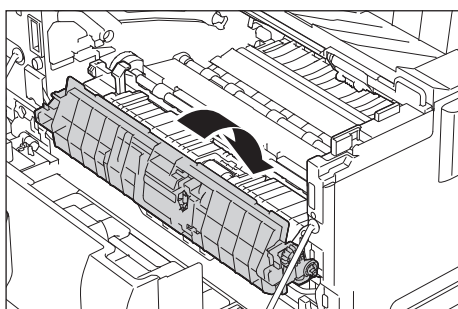
7. リタードロローラーのカバーを閉じます。



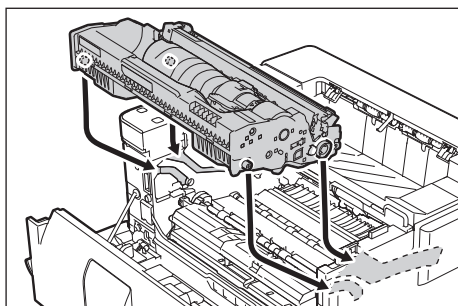
8. 水で湿らせた柔らかい布で A1 部の裏側にあるゴム部分を拭きます。



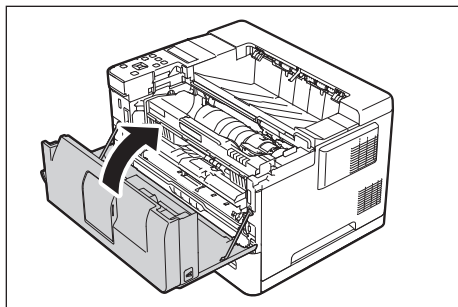
9. A1 部を閉じます。



10. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。



11. フロントカバーを閉じます。



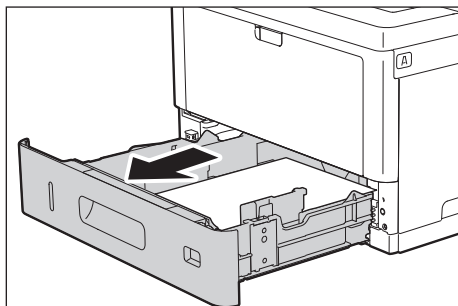
用紙トレイ 1 の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

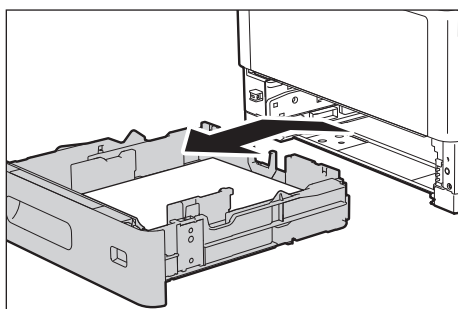


・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P. 18) を参照してください。

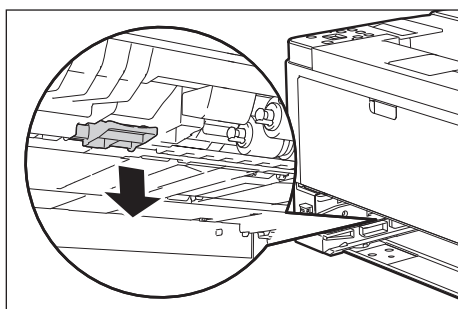
2. 用紙トレイ 1 を引き出します。



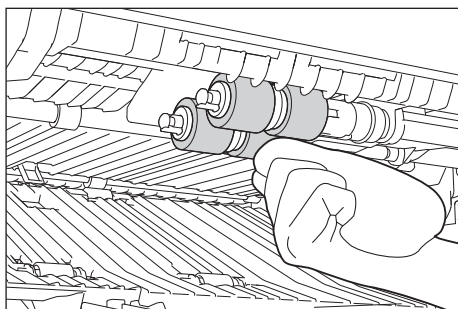
3. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



4. 図の位置にある緑色のレバーを押し下げ、両面シュートを下ろします。



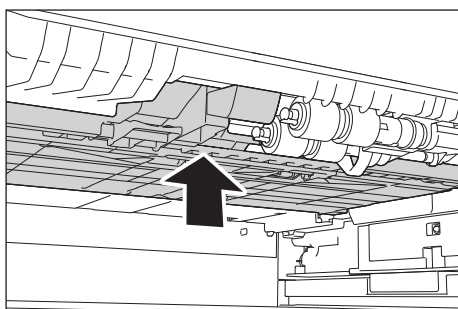
5. 水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を拭きます。



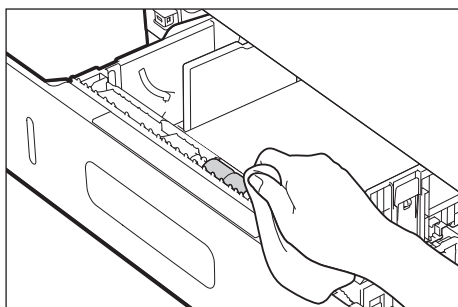
💡 補足

- ・ 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ 本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。

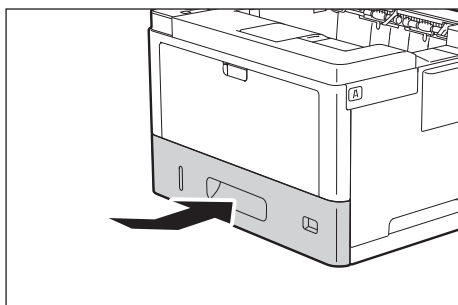
6. 両面シュートを戻します。



7. トレイ内側の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。



8. 奥に突き当たるところまで、トレイ 1 をゆっくりと押し込みます。



トレイモジュール（用紙トレイ 2 ～ 4）（オプション）の用紙送りローラーの清掃

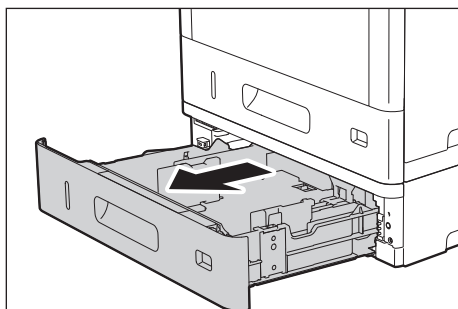
ここでは、用紙トレイ 2 を例に説明します。

1. 本機の電源を切ります。

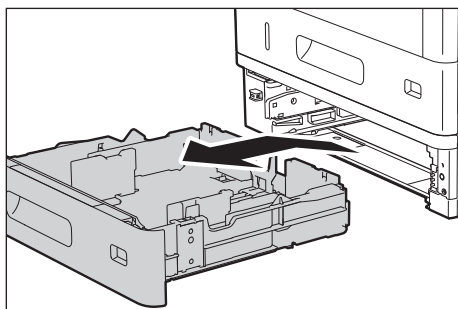


・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P. 18) を参照してください。

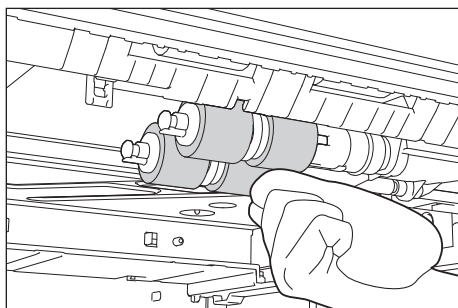
2. 用紙トレイ 2 を引き出します。



3. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。

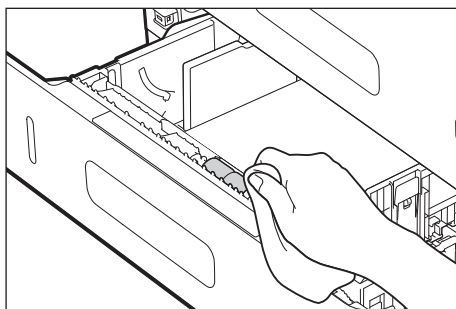


4. 水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を拭きます。

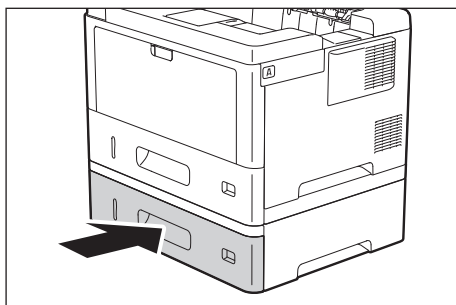


- ・ 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ 本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。

5. トレイ内側の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。



6. 奥に突き当たるまで、用紙トレイ 2 をゆっくりと押し込みます。



9 困ったときには

9.1 紙づまりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの[!]〈エラー〉ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置を操作パネルの左上にある概観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

概観図の表示	メッセージに表示されている紙づまりの位置	紙づまりの処置	参照ページ
A	カバー A	フロントカバー [A] 内での紙づまり	P. 256
B	カバー B	リアカバー [B] 内での紙づまり	P. 263
1～4	用紙トレイ 1～4	用紙トレイ 1～4 での紙づまり	P. 264
5	手差しトレイ	手差しトレイでの紙づまり	P. 267

警告

- ・ 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻きついているときは無理にとらないでください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。ただちに電源を切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

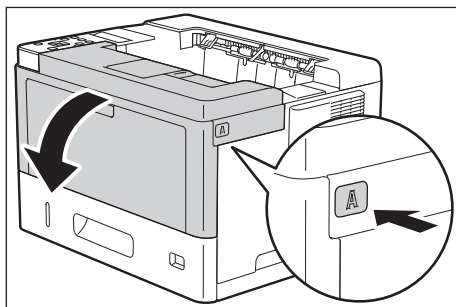
注記

- ・ 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- ・ 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- ・ 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

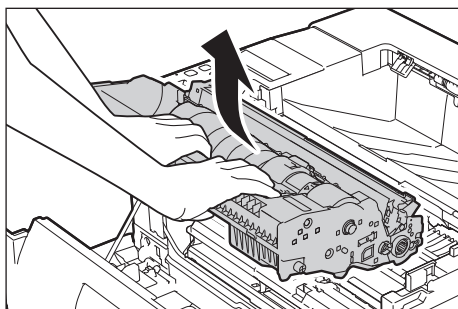
フロントカバー [A] での紙づまり

奥側に用紙が詰まっている場合

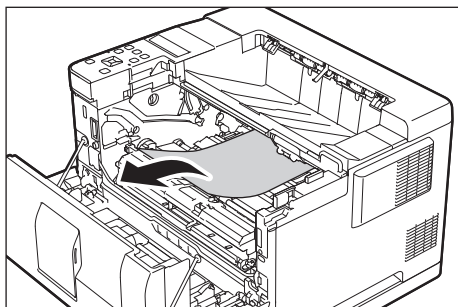
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



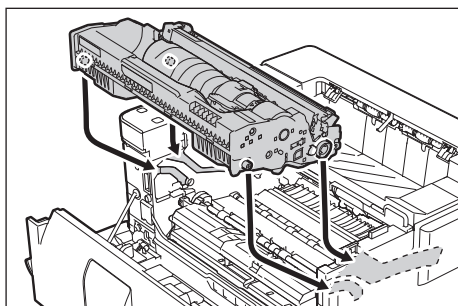
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



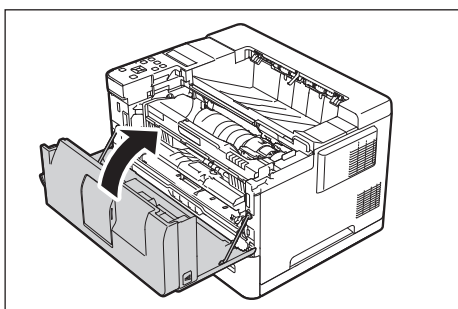
3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

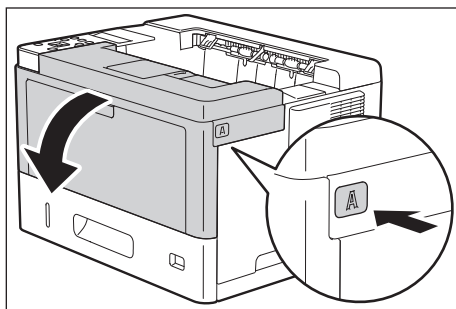


5. フロントカバーを閉じます。

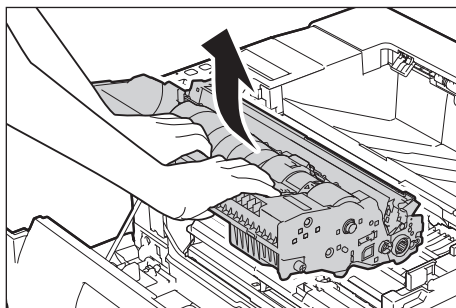


A1 部に用紙が詰まっている場合

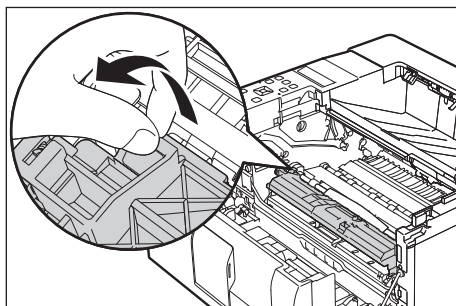
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



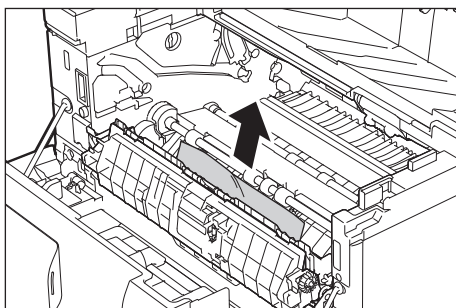
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



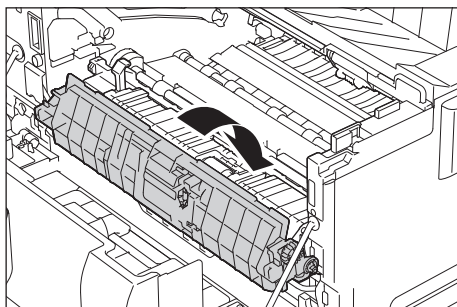
3. A1 部を手前に開きます。
A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



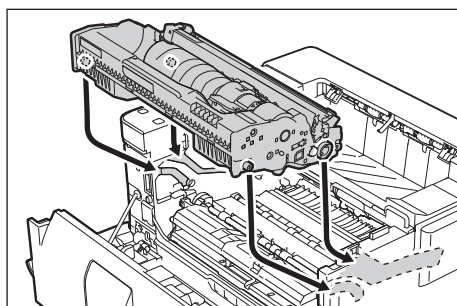
4. 詰まっている用紙を取り除きます。



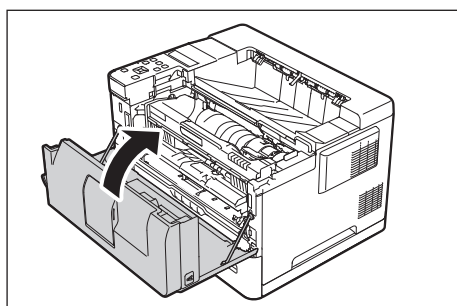
5. A1 部を閉じます。



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

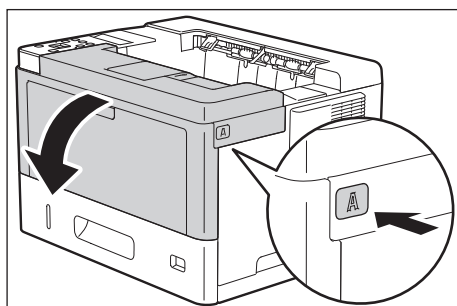


7. フロントカバーを閉じます。

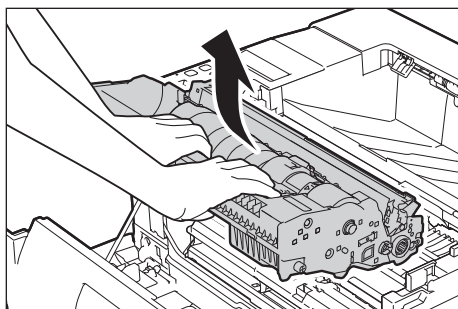


A2 部の下に用紙が詰まっている場合

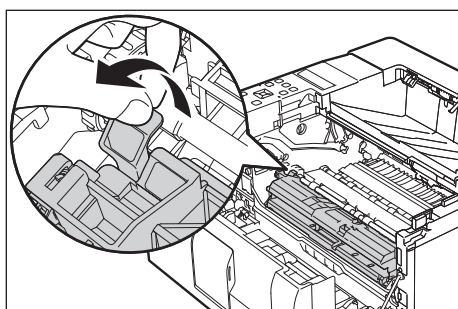
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



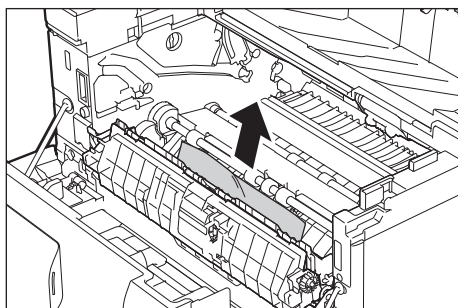
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



3. A2 部を手前に開きます。
A2 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

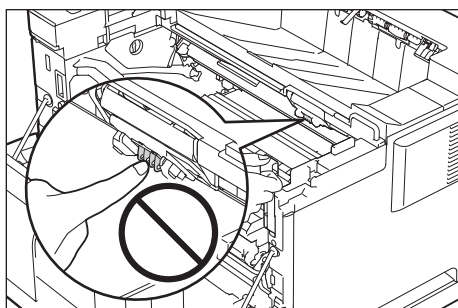


4. 詰まっている用紙を取り除きます。

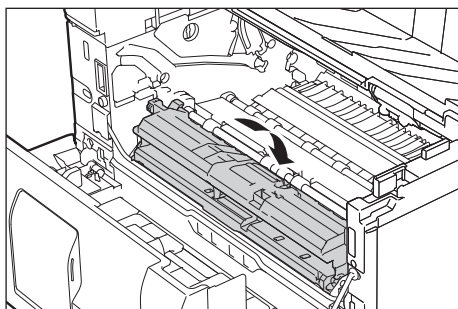


❗ 注記

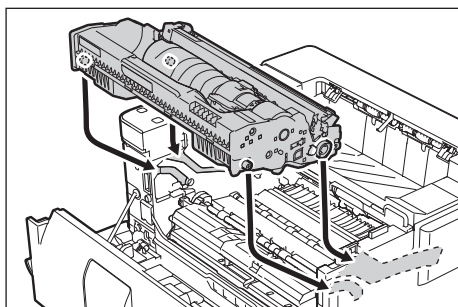
- ・ 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



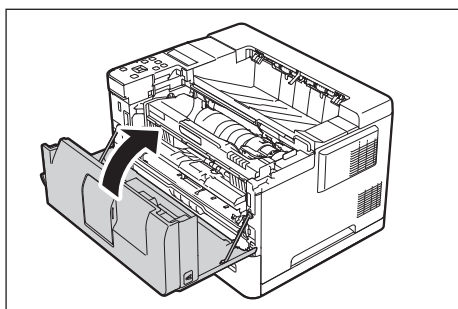
5. A2 部を閉じます。



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

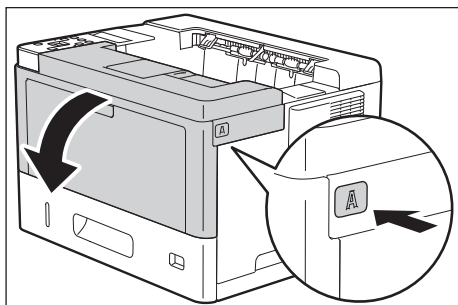


7. フロントカバーを閉じます。

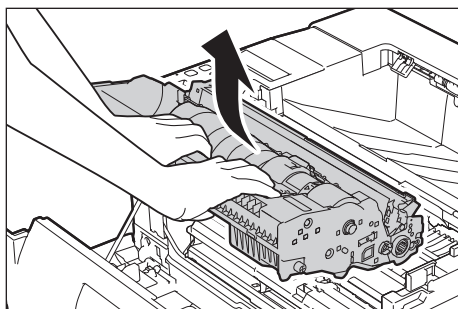


用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合

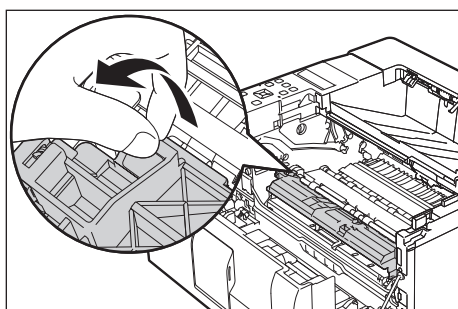
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



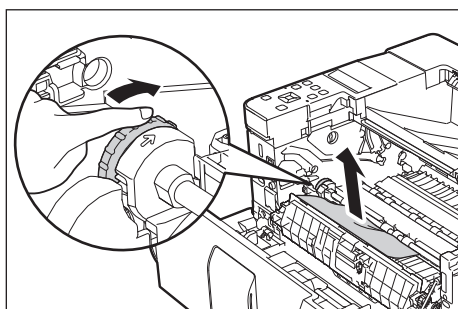
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



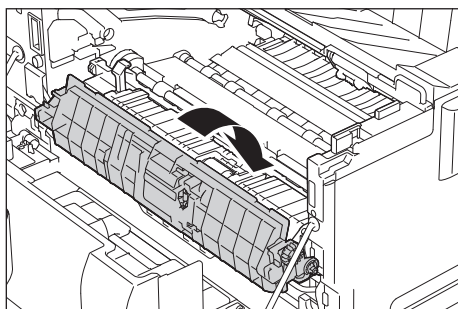
3. A1 部を手前に開きます。
A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



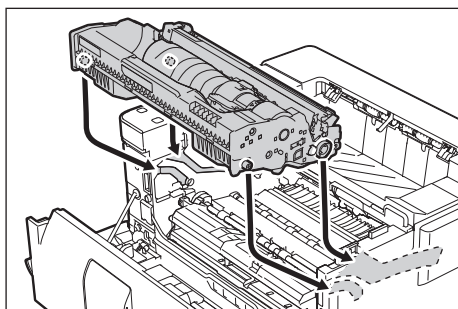
4. 図の位置にある緑色のホイールを奥側に回し、詰まっている用紙を引き出して取り除きます。



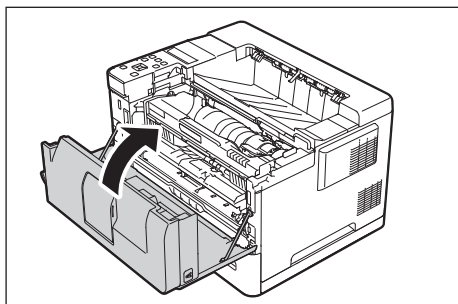
5. A1 部を閉じます。



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

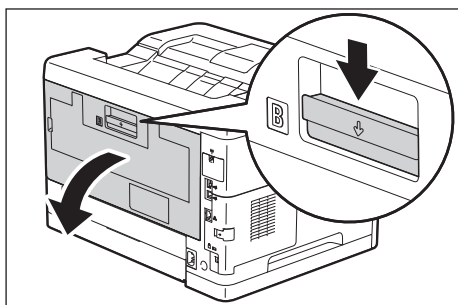


7. フロントカバーを閉じます。



リアカバー [B] での紙づまり

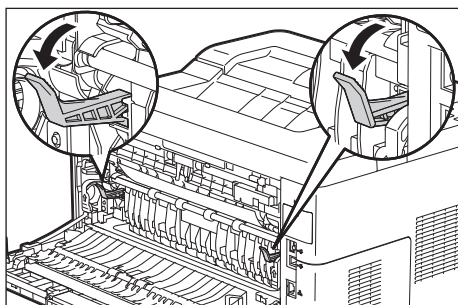
1. B レバーを押して、リアカバーを開きます。



！ 注記

・ フェイスアップトレイ（オプション）を装着している場合は、リアカバーを開ける前に取り外してください。詳しくは、「10.14 フェイスアップトレイ（オプション）の取り付け」（P. 415）を参照してください。

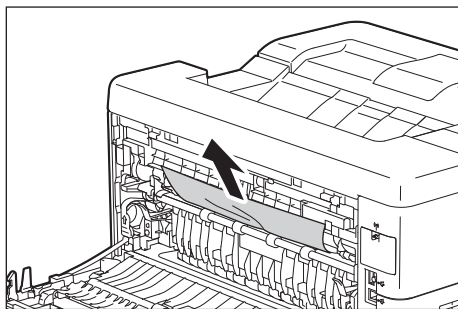
2. 定着ユニットの両端にある緑色のレバーを下げます。



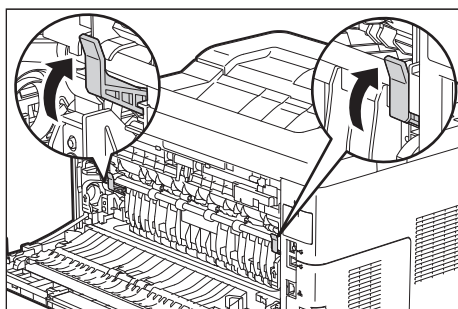
注記

- ・ 定着ユニットは高温になっています。触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. 緑色のレバーを戻します。



5. リアカバーを閉じます。

用紙トレイ 1 ～ 4 での紙づまり

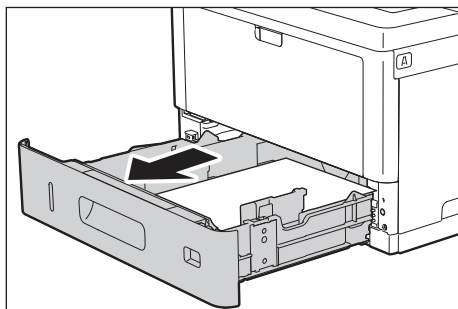
補足

- ・ 用紙トレイ 2 ～ 4 はオプションです。

両面シュートに用紙が詰まっている場合

1. 用紙トレイ 1 を引き出します。

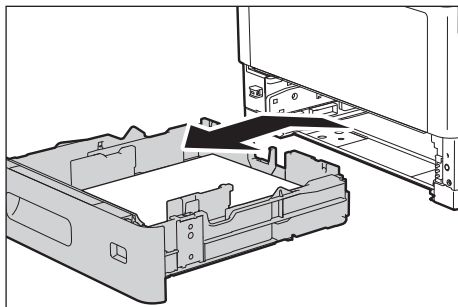
メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから順に確認してください。



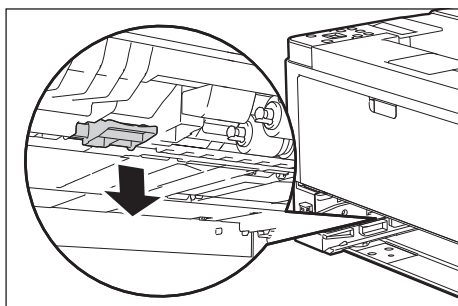
注記

- ・ 2 つ以上のトレイを同時に引き出さないでください。本機が転倒する可能性があります。

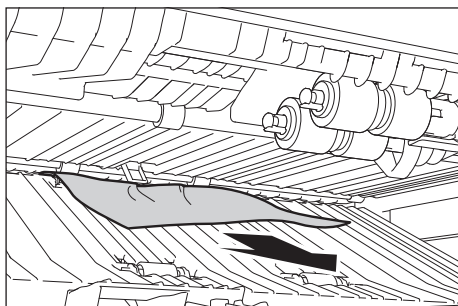
2. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



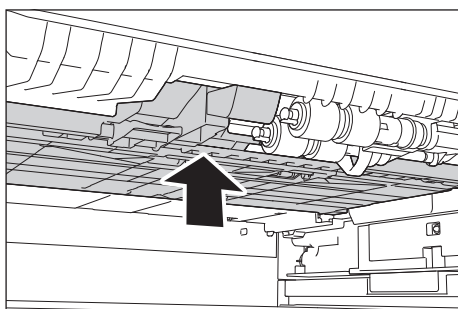
3. 図の位置にある緑色のレバーを押して両面シュートを下ろします。



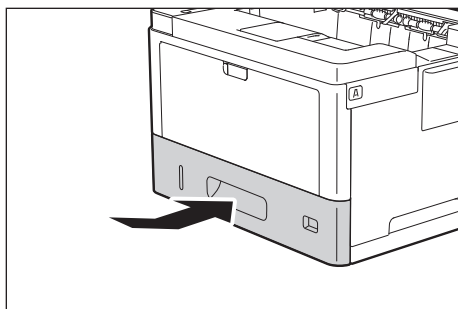
4. 詰まっている用紙を取り除きます。



5. 両面シュートを戻します。

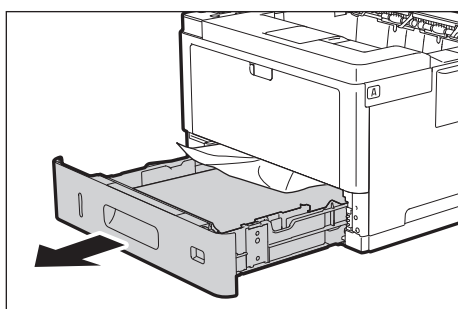


6. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ 1 をゆっくりと押し込みます。



用紙トレイ内に用紙が詰まっている場合

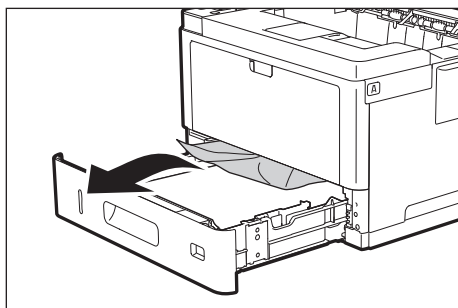
1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。



⚠ 注記

- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。

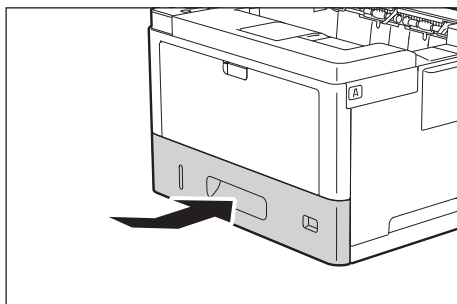
2. 詰まっている用紙を取り除きます。



💡 補足

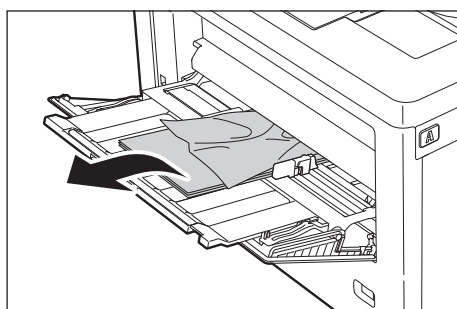
- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。



手差しトレイでの紙づまり

1. 手差しトレイから、詰まっている用紙とセットしてある用紙を取り除きます。



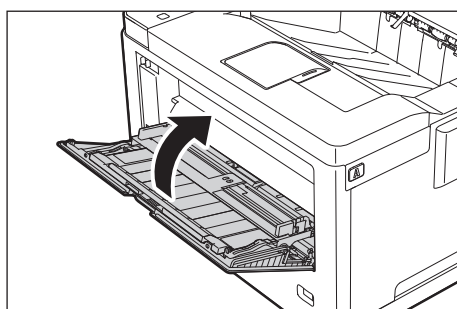
注記

- ・ 用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

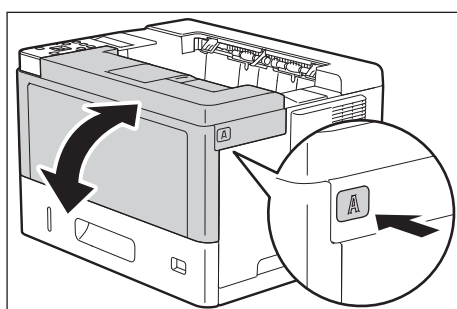
補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

2. 手差しトレイを閉じます。

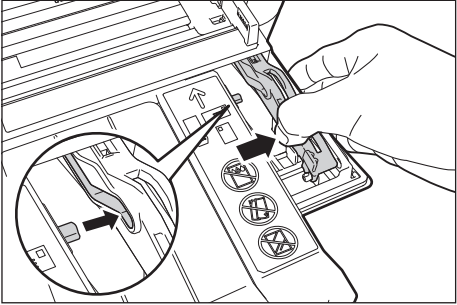


3. A ボタンを押してフロントカバーを開け、閉じます。



9.2 機器本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか？ 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。 正しい電圧のコンセントに接続していますか？ 本機は、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。
パネルに何も表示されない	節電モードに入っている可能性があります。操作パネルの 「電源」 ボタンを押して、節電モードを解除してください。 節電モードが解除できない場合は、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認し、電源を入れ直してください。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
異常な音がる	本機の設置場所は、水平ですか？ 安定した平面の上に移動してください。 トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。 本機内部に異物が入っていませんか？ 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
本機内部に結露が発生した	操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま約 1 時間放置してください。機械内部に水滴がない（ローラー、金属部分など）ことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで【結露防止モード】を【有効】に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。  注記 ・ 結露防止モードを【有効】にするときは、CentreWare Internet Services で【低電力モード移行時間】の【有効】にチェックを入れてください。  参照 ・ スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 150) ・ 結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 148)
節電モードに移行しない	次のようなときには、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 ・ 操作パネルで何らかの操作をしているとき ・ トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうちいずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき ・ 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき ・ 紙づまり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき ・ 故障などによりエラーが発生しているとき ・ 結露防止モードが有効に設定されているとき  参照 ・ 結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 148)

症状	原因 / 処置
手差しトレイの延長トレイが外れた	手差しトレイの延長トレイは、斜めに力を加えると外れる場合があります。外れた場合は、手差しトレイのレール部分を外側に押しながら、延長トレイの突起部分を溝に入れてください。 

9.3 プリントのトラブル

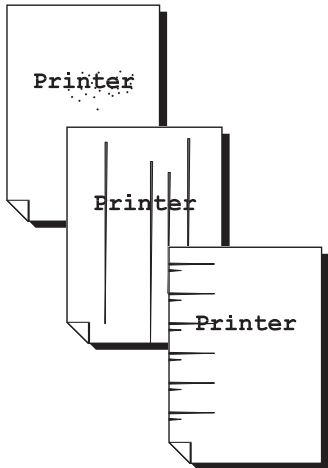
症状	原因 / 処置
❗〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。  参照 ・「9.7 エラーコード」(P. 287)
❗〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処してください。  参照 ・「9.7 エラーコード」(P. 287)
プリントを指示したのに ○〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスクーブルが抜けていませんか？いったん電源を切り、インターフェイスクーブルの接続を確認してください。
	本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっていませんか？ オフライン状態の場合は〈オンライン〉ボタンを、メニュー画面が表示されているときは〈仕様設定〉ボタンを押して、解除してください。
	使用するプロトコルが正しく設定されていますか？使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。  参照 ・「[ネットワーク / ポート設定]」(P. 119) ・CentreWare Internet Services のヘルプ
○〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	コンピューターの環境が正しく設定されていますか？プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。
	データが本機内部に残っています。プリントの中止、または残っているデータの強制排出をします。 〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、プリントを中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、ボタンを押してください。中止または強制排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。  補足 ・USB ポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによっては、ジョブデータの受信が途切れることがあります。ジョブデータの受信が途切れた場合、それ以降のプリントデータはボタンを押したあとに、新しいプリントジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとにプリントされません。またそのとき、正常にプリントされないことがあります。

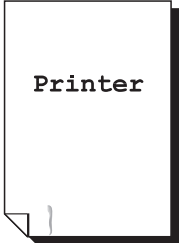
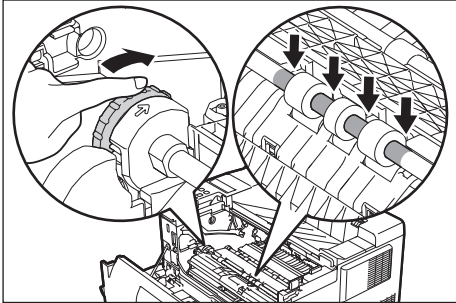
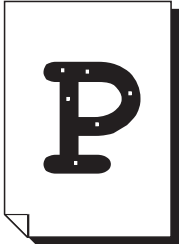
症状	原因 / 処置
プリントできない	ネットワークプリンターの場合、本機の IP アドレスは正しく設定されていますか？ また、受信制限の設定が間違っている可能性もあります。 本機の設定が正しいかどうか確認し、必要であれば変更してください。  参照 ・「IP アドレスを設定する」(P. 25)
	1 度のプリント指示で送信されるプリントデータの容量が、受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファの設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 1つのプリントファイルでメモリーの上限を超えてしまう場合には、プリントファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割してプリントを指示します。 プリントするデータファイルが複数ある場合には、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。
プリントに時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの［メモリー設定］で使用しない項目のメモリー容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなることがあります。プリントするデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。  参照 ・「［メモリー設定］」(P. 181)
	プリンタードライバーの［印刷モード］の設定で、［高精細］が選択されていますか？［グラフィックス］タブの［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
	TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
プリントを指示していないのに、［プリントしています］が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？ 〈プリント中止〉ボタンを押して、プリントを中止してください。  補足 ・本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。

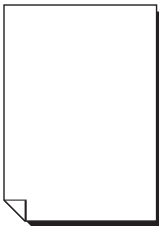
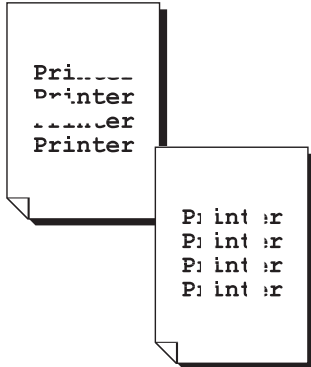
症状	原因 / 処置
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 39)
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ

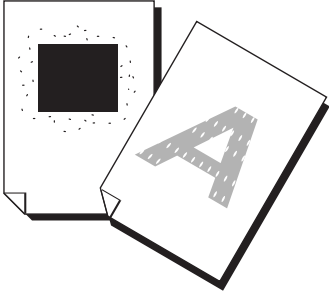
9.4 印字品質や画質のトラブル

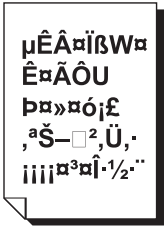
症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明)  	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。  参照 ・「弊社が推奨する用紙」(P. 35)
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。
	トナーセーブ機能が有効になっていませんか？ プリンタードライバーの [グラフィックス] タブの [トナー節約] で、[しない] を選んでください。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
	もっと濃くプリントしたい場合は、プリント時にプリンタードライバーで [グラフィックス] タブの [画質調整] または [トーンバランス] を選び、各設定を変更してプリントしてみてください。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更してプリントしてみてください。
	手差しトレイを使用してプリントした場合で、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。手差しトレイに、正しい種類とサイズの用紙をセットしてください。
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 39)
	用紙が斜めにセットされています。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。  参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P.227)
	LED プリントヘッドが汚れています。LED プリントヘッドを清掃してください。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する」(P. 229) の手順 1 から 6 を参照してください。

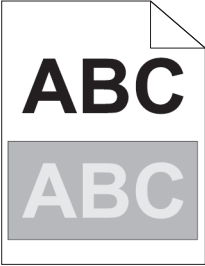
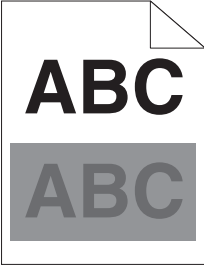
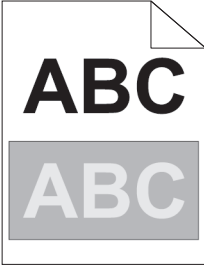
症状	原因 / 処置
	正しい用紙が設定されていることを確認してください。
	 参照 ・「3.3 用紙について」(P. 35)
	「エンジンクリーニング」を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。
	 参照 ・「[エンジンクリーニング]」(P.190)
	[トナーリフレッシュ] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。
	 参照 ・詳しくは、「[トナーリフレッシュ]」(P.190) を参照してください。
	 補足 ・この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が早くなることがあります。 ・出力結果が十分に改善されていない場合は、繰り返し実施することをお勧めします。
	新しいドラムカートリッジと交換してください。
黒点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが起きる	用紙搬送路に汚れが付着している場合もあります。数枚プリントしてください。
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。

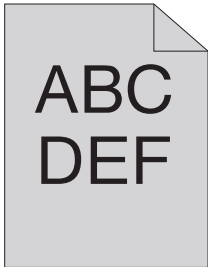
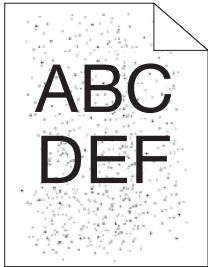
症状	原因 / 処置
用紙の後端あたりが汚れる 	機械内部が汚れています。機械内部を清掃してください。 1. 清掃するときは、「用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合」(P. 261)の手順 1～2 を実行します。 2. 緑色のホイールを奥側に回しながら、図で示した部分をやわらかい布で拭いてください。  3. 清掃が終わったら、「用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合」(P. 261)の手順 6～7 を実行します。
黒くぬりつぶされた部分に白点が見れる 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 39) 「転写電圧オフセット調整」にて転写電圧を変更して、出力結果を確認してみてください。  参照 ・「[転写電圧オフセット調整]」(P. 185) ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更してプリントしてみてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。  参照 ・「弊社が推奨する用紙」(P. 35) 定着ユニットが劣化、または損傷しています。定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。
用紙全体がぬりつぶされてプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。 高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
白抜けや白筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
	 参照 ・「弊社が推奨する用紙」(P. 35)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 227)
	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットし直してください。
	本機内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたためり、約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで【結露防止モード】を【有効】に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。  注記 ・結露防止モードを【有効】にするときは、CentreWare Internet Services で【低電力モード移行時間】の【有効】にチェックを入れてください。  参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 150) ・結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 148)
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	現像器が劣化、または損傷しています。現像器ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	LED プリントヘッドが汚れている場合があります。LED プリントヘッドを清掃してください。  参照 ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する」(P. 229) の手順 1 から 6 を参照してください。

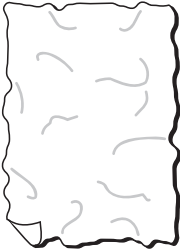
症状	原因 / 処置
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかかっている 	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更してプリントしてみてください。
	転写電圧を調整してください。白点になる / 白く抜ける場合は、転写電圧の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写電圧の値を上げます。  参照 ・「[転写電圧オフセット調整]」(P. 185)
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。  参照 ・「弊社が推奨する用紙」(P. 35)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	本機内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたためられ、約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで「結露防止モード」を「有効」に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。
	 注記 ・結露防止モードを「有効」にするときは、CentreWare Internet Services で「低電力モード移行時間」の「有効」にチェックを入れてください。
	 参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 150) ・結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 148)
	用紙の継ぎ足しをしています。
	トナーカートリッジを純正品に交換してください。
	トレイの用紙ガイドを確認してください。用紙ガイドが用紙に接触するようにセットしてください。
	用紙を未開封の用紙に交換してください。用紙が湿っていないか、損傷していないかを確認してください。
	新しいドラムカートリッジと交換してください。

症状	原因 / 処置
文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない 	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバの、[詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を [常に TrueType フォントを使う] に設定してください。  参照 ・プリンタードライバのヘルプ
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 39)
はがき、封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがき、封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。  参照 ・「弊社が推奨する用紙」(P. 35)
	プリンタードライバのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。  参照 ・「[トレイの用紙種類]」(P. 171) ・プリンタードライバのヘルプ
	プリンタードライバで、トナー節約や、解像度が低く設定されています。それぞれ、プリンタードライバの [グラフィックス] タブ、[詳細設定] タブで、設定を変更してください。  参照 ・プリンタードライバのヘルプ
斜線が入る 	トナーカートリッジの残量が少ないか、交換の必要がある可能性があります。トナーカートリッジの残量を確認してください。  参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 227)
	エンジンクリーニングを実行してください。  参照 ・「[エンジンクリーニング]」(P. 190)

症状	原因 / 処置
文字や画像の残像が写る 	1. 残像の種類を特定します。 濃い残像が写る場合  薄い残像が写る場合  残像の種類が特定できない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 2. 残像の種類に合わせて、転写電圧を調整します。 a.  〈仕様設定〉 ボタンを押します。 b. 〈▲〉 または 〈▼〉 ボタンを押して、[機械管理者メニュー] を選び、 ボタンを押します。 c. 〈▲〉 または 〈▼〉 ボタンを押して、[画質補正] を選び、 ボタンを押します。 d. 〈▲〉 または 〈▼〉 ボタンを押して、[転写電圧オフセット調整] を選び、 ボタンを押します。 e. 使用している用紙を選択し、濃い残像が写る場合は値を上げ、薄い残像が写る場合は、値を下げます。
	正しい用紙が使用されていることを確認します。  参照 ・「3.3 用紙について」(P. 35)
	ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 229)

症状	原因 / 処置
ぼやけている 	全体が薄く印字される場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
	「エンジンクリーニング」を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「[エンジンクリーニング]」(P.190)
	[トナーリフレッシュ] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「[トナーリフレッシュ]」(P.190)  補足 ・この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が早くなることがあります。
	弊社製以外のトナーカートリッジを使用してる場合は、[カスタムモード] を[オン] にします。  参照 ・「10.5 カスタムモードについて」(P. 344)
	弊社製のトナーカートリッジを使用してる場合は、ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 229)
	弊社製のトナーカートリッジに交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P.227)
ビーズ状の小さな点がある 	本機が高度（標高）の高い場所に設置されている場合は、設置場所の高度を設定し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「[高地使用設定]」(P.187)
	ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。  参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 229)
Windows® 用の PostScript® プリンタードライバーを使用してプリントしたときに、文字または図形と背景の境界が目立つことがある	プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [イメージ] タブにある [ハーフトーン] の設定を、[自動] および [原稿要素ごとに設定する] 以外を選んでプリントしてみてください。

9.5 トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく 	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがき、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？ 新しい用紙と交換してください。
	適切な用紙を使用していますか？ 使用できる用紙をセットしてください。ただし、用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。  参照 ・「弊社が推奨する用紙」(P. 35)
	トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機は水平な場所に設置されていますか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 39)
用紙トレイ 1 ～ 4 からトレイが正しく選択されない	用紙の継ぎ足しをしていませんか？ トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドの位置がずれていると、本機は正しくセットされている用紙のサイズを検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。  参照 ・「[プリント設定]」(P. 170) ・プリンタードライバーのヘルプ
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで [用紙トレイ選択] を [自動] にしていませんか。[トレイ 5 (手差し)] に設定してください。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ

9.6 ネットワーク関連のトラブル

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
無線 LAN 接続が設定できない	[Wi-Fi 設定] が有効になっていることを確認してください。
	 参照 ・「[Wi-Fi 設定]」(P. 123)
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にしてください。
無線 LAN アクセスポイントが IEEE 802.11b/g/n に準拠し、2.4 GHz 帯で使用可能か確認してください。	
WPS (Wi-Fi Protected Setup) で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。WEP は、WPS では対応していません。
WPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration) で無線 LAN 接続が設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。  参照 ・無線 LAN アクセスポイントの操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
WPS-PIN (Wi-Fi Protected Setup-Personal Identification Number) で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。  参照 ・PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない	Wi-Fi Direct のポートが起動しているときは設定できません。設定する場合は、Wi-Fi Direct のポートを停止してください。

Wi-Fi Direct 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
モバイル機器から本機を検出できない	本機が Wi-Fi Direct を使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。
モバイル機器と本機を接続できない	Android 機器の Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続する場合は、本機の [グループロール] を [自動] にしてください。  参照 ・設定については、「[Wi-Fi Direct]」(P. 125) を参照してください。
本機からモバイル機器を切断できない	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。Wi-Fi Direct のパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断してください。

症状	原因 / 処置
Wi-Fi Direct のポートを起動できない	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認してください。
	[IP 動作モード] が [IPv6] 以外のモードに設定されていることを確認してください。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ [機能設定リスト] をプリントして確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	HTTP のポート番号は正しいですか？ HTTP のポート番号をもう一度確認してください。ポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) http://printer1.example.com:80/
	SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、アドレス欄に正しく入力していますか？ SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合は、Web ブラウザーのアドレス欄に「http」ではなく、「https」から始まるアドレスを入力します。また、SSL/TLS のポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) https://printer1.example.com:80/
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。  参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ
Web ブラウザーに [しばらくお待ちください] などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。 状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
最新の情報が表示されない	[更新] をクリックしてください。
[表示更新] が機能しない 左側のメニューを選んでも、画面が切り替わらない 表示が遅い	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？
	プロキシサーバーを使用していると、状態が正しく表示されなかったり、表示が遅くなったりする場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。
	使用している Web ブラウザーに古い状態がキャッシュされている可能性があります。 Web ブラウザーのキャッシュをすべてクリアしてください。
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズ、または表示フォントサイズを変更してください。

症状	原因 / 処置
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用] をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 入力した値を確認してください。

メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
メール受信プリントができない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	[メール受信] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選んでいる場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services で、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	[メール通知] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選んでいる場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、正しい送信先を入力してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services で、SSL を有効に設定している場合に、http:// [IPv6 アドレス] を指定しても https:// [IPv6 アドレス] サイトヘリダイレクトされない	SSL を有効に設定している場合、https:// [IPv6 アドレス] サイトを指定してください。
IPv6 ネットワークを介してプリントした場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティは正しく動作しません。
IPv6 が利用できる Windows® OS と通信できない	IPv6 が利用できる Windows® OS で固定アドレスを設定してください。 通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。
リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない	リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。 たとえば Windows® 7、Windows Server® 2008 R2 の Internet Explorer® 7 を利用して、fe80::203:baff:fe48:9010 を指定してアクセスする場合には、Windows® 7、Windows Server® 2008 R2 のイーサネットアダプタローカルエリア接続の番号（例：8）をスコープ識別子として付加し、fe80::203:baff:fe48:9010%8 と入力します。
ルーターを越える検索が正しく動作しない	SMB を使った検索でルーターを越える場合、宛先アドレスを直接入力してください。 マルチキャストに応答するのは、ローカルリンク内でのマルチキャスト（FF02::1）のみです。

IPv6 環境でのプリント時のトラブル

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 が利用できる Windows® OS から Windows® 共有プリンターが使用できない	IPv6 が利用できる Windows® OS 上の hosts ファイルに本機のコンピューター名を登録してください。 格納先例： C:\Windows\system32\driver\etc\hosts ファイルに登録します。

その他 IPv6 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
DocuShare など外部アクセス接続サービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスで指定すると正しく動作しない 例： http:// [ipv6:2001:db8::1]	IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境において、SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する	認証サーバーのコンピューター名に、IPv6 アドレスを直接指定してください。
UPnP で IPv6 機器を検索できない	IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリ機能を使用してください。
出力されたジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されない	IPv4 で運用してください。

9.7 エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合に、本機の操作パネルに表示される 6 桁の数字です。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
010-328 010-331	本機にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-338	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-340	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
010-344 010-345 010-346 010-355	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-210 016-211 016-212 016-213 016-215 016-217 016-218 016-219 016-229 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239	本機の認証機能でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-242	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-244	自己署名証明書が自動更新できませんでした。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-310 016-322 016-325 016-326 016-327 016-330 016-331 016-332 016-335 016-336 016-337 016-338 016-339 016-340 016-341 016-342 016-345 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351 016-353 016-354 016-355 016-356 016-357 016-358 016-359 016-360 016-361 016-362 016-363 016-364 016-365 016-366 016-367 016-368 016-370 016-371 016-372 016-373 016-374 016-375 016-376 016-377 016-378 016-379 016-380 016-381 016-382 016-383	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-400	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet1 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-402	Ethernet1 で認証接続がタイムアウトになりました。 本機の Ethernet1 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-403	Ethernet1 側のルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet1 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。
016-404	Ethernet1 で 802.1x の認証エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。 証明書の初期化を実行してください。
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次の方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選ぶ。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。 カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-421	本機から給紙トレイが取り外されました。 取り外した給紙トレイを本機に装着してください。
016-422 016-423	オフライン状態です。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ほかのメッセージが表示されている場合には、その処置をしてください。 ・メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。 ・リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。 状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-424 016-425	節電モード中です。 節電モードを解除してください。状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 で認証接続がタイムアウトになりました。 本機の Ethernet2 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-430	Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。
016-431	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次の方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAPTLS」以外のものを選ぶ。
016-450	SMB のホスト名が重複しています。 ホスト名を変更してください。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。 SNTP サーバーの設定を確認してください。
016-500 016-502	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-503	メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。  参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-504	メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。  参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-505	メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。  参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

エラーコード	原因 / 処置
016-514	XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中にエラーが発生しました。 XPS 対応ドライバーからのプリントでエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用してプリントしてください。 XPS 文書をダイレクトプリント (ContentsBridge Utility、E-Mail、メディアリーダー等) した際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用してプリントしてください。  補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-515	XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中に、メモリー不足が発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ [印刷モード] を [標準] にする ・ XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用してプリントする  補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-516	XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していないプリント設定が含まれています。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。  補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-517	PostScript® ファイルに記述されている内容に誤りがあります。 PostScript® ドライバーでプリントしてください。または、PostScript® ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。
016-518	PostScript® ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。 PostScript® ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。
016-519	設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。 機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。
016-522	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。 LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。
016-523	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
016-524	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-525	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-526	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。 SSL 認証内部エラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-529	Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間（45 秒内）にサーバーから応答がありませんでした。次の項目を確認してください。 ネットワーク接続を確認してください。Remote Download サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。
016-535	Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。 ファイルを確認してください。
016-536	Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。 DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	Remote Download サーバーに接続できませんでした。接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。 ネットワーク設定のポートを確認してください。
016-538	Remote Download ファイルをハードディスクへ書き込む際に、エラーが発生しました。Remote Download サーバーから取得したファイルをハードディスクに書き込めません。 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ハードディスクを交換してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Management Suite から削除されました。 [認証先] 画面にある [最新情報に更新] を押して、認証先情報を更新するか、ApeosWare Management Suite にドメインを追加してください。
016-545	ApeosWare Management Suite とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。ApeosWare Management Suite をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。ApeosWare Management Suite がインストールされたコンピューターの Windows® のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとした。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-548	本機が ApeosWare Management Suite に登録されていません。 本機を ApeosWare Management Suite に登録してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-553	ApeosWare Management Suite が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。 ApeosWare Management Suite のバージョンを上げる必要があります。本機が、バージョンを上げる ApeosWare Management Suite に対応している商品であることを確認してください。
016-554	ApeosWare Management Suite のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。 ApeosWare Management Suite のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	ApeosWare Management Suite がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。 ApeosWare Management Suite からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-556	ApeosWare Management Suite が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。 サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。 それでも改善されないときは、ApeosWare Management Suite を確認してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-557	ApeosWare Management Suite の内部エラーです。 ApeosWare Management Suite を確認してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-558	本機が ApeosWare Management Suite から不明なエラーを受信しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-559	Remote Download パラメーターエラーが発生しました。 必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。 必要なシステムデータの設定を確認してください。
016-560	本機と ApeosWare Management Suite 間で通信エラーが発生しました。 ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Management Suite の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「ApeosWare Management Suite」の「サーバー名 /IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。
016-562	ApeosWare Management Suite に同じ IC カードの情報を持つユーザーが重複しています。 ApeosWare Management Suite で IC カードの情報を正しく設定してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-564	Remote Download Server で認証エラーが発生しました。 正しいユーザー名、パスワードを使用してください。
016-567	バックアップ先の容量不足、またはバックアップ時のデータ暗号化用メモリー不足です。 バックアップファイル、その他不要なファイルを削除して容量を増やしてください。
016-568	HDD アクセスエラーまたはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。 バックアップファイルを削除してください。
016-569	ApeosWare Management Suite のエラーです。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-700	プリンタードライバで設定した、セキュリティープリントまたは認証プリントの暗証番号の桁数が、本機に設定してある [暗証番号の最小桁数] よりも少なかったため、処理を中断しました。 プリンタードライバで設定する暗証番号は、本機に設定してある [暗証番号の最小桁数] よりも大きい桁数を設定してください。
016-701	メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。 プリンタードライバで解像度を低くしたり、両面プリントやN アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-702	プリントページバッファが不足したため、プリントデータを処理できませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ プリンタードライバで [印刷モード] を [標準] にする ・ プリンタードライバで [ページ印刷モード] を利用する (ART EX のみ) ・ プrintページバッファを増やす
016-703	時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 時刻指定プリント機能を使用するには、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効に設定する必要があります。
016-705	次の原因が考えられます。 1. 本機用のプリンタードライバを使用していない 2. 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が装着されていない状態で、セキュリティープリント、認証プリント、プライベートプリントのどれかのジョブを受信した 1. の場合: 本機用のプリンタードライバを使用してください。 2. の場合: 本機にハードディスクが装着されているか確認してください。 ハードディスクが装着されていない場合: ・ 機能を利用しない場合は、プリンタードライバで、[プリンター構成] タブ> [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [なし] 設定する ・ 機能を利用する場合は、ハードディスクを装着する ハードディスクが装着されている場合: ・ プリンタードライバで、[プリンター構成] タブ> [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [あり] に設定する それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-706	セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度プリントを指示してください。
016-707	ハードディスクが故障しているため、サンプルプリントができませんでした。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-708	ハードディスクの領域が不足しているため、プリントできませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	ART EX 処理でエラーが発生しました。 プリントジョブを一度削除して、プリントし直してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-710	ハードディスクが故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
016-715	ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。 ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。
016-716	機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）の容量が不足したため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-718	メモリーが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面プリントや N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-719	プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 プリントページバッファを増やしてください。
016-720	PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。 プリントデータを確認して、プリントし直してください。
016-721	プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 1. 操作パネルで [プリント設定] の [用紙の優先順位] が、すべての用紙で [設定しない] に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントを指示している 2. ESC/P のコマンドエラー 1. については、自動トレイ選択でプリントをする場合は、[用紙の優先順位] で、用紙のどれかを [設定しない] 以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選ぶと、自動的に [用紙の優先順位] が [設定しない] に設定されてしまうので、注意してください。 2. については、プリントデータを確認してください。  参照 ・ 用紙の優先順位の設定：「[用紙の優先順位]」(P. 173)
016-726	操作パネルで [プリントモード指定] が [自動] に設定されている場合に、プリント言語を自動的に設定できませんでした。 Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが必要です。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 プリントデータを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、プリントできませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度プリントを指示してください。
016-730	ART IVでサポートされていないコマンドを検知しました。 プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れていてプリントできませんでした。 もう一度プリントを指示してください。
016-732	エミュレーションで、指定されたフォームが登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度プリントを指示してください。
016-733	次の原因が考えられます。 1. メール送信時、宛先メールアドレスの@の右側の文字列から IP アドレスを取得できませんでした。 2. メール送信時、@の右側のインターネットアドレスを DNS で解決できませんでした。 1. については、宛先メールアドレスが正しく入力されているか確認してください。 2. については、DNS サーバーアドレスを正しく設定してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-738	PostScript® で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。 製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-739	PostScript® で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っていない。 製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-740	PostScript® で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。 製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本体の更新処理にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-746	PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、プリントできませんでした。 Adobe® Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] からプリントを指示してください。
016-747	コピーの画像繰り返し機能とアノテーション機能を同時に使用しているときに、メモリー不足が発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ アノテーションのイメージのサイズを大きくする ・ 画像繰り返しの個数指定を少なくする
016-748	ハードディスクの領域が不足しているため、プリントできません。 プリントデータを分割するか、複数部プリントしている場合は 1 部ずつプリントするなど、プリントデータのページ数を少なくしてください。 また、ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
016-749	プリンタードライバーから受信したプリント言語は、本機でプリントできません。 本機用のプリンタードライバーを使用してプリントしてください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。  補足 ・ PostScript® などプリントしたいプリント言語によっては、オプションが必要になります。
016-750	ContentsBridge Utility などの PDF や XML Paper Specification (XPS)、DocuWorks ファイルを直接送信するアプリケーションでプリントを指示しましたが、PDF または XML Paper Specification (XPS) とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していない文法、または本機で対応していないプリント指示が含まれていました。 ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、プリント指示内容に問題がないかを確認してください。問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、機能設定リスト、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-751	次の原因が考えられます。 1. PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。 2. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 3. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。 1. については、プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 2. については、次のどれかの方法で対処してください。 ・プリンタードライバーを使用してプリントする ・PostScript® 使用メモリーを増やす 3. については、OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。  参照 ・「[メモリー設定]」(P. 181)
016-752	メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。 プリントモードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。
016-753	パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
016-755	プリントが許可されていない PDF ファイルはプリントできません。 Adobe® Acrobat を使用して、PDF ファイルのプリント禁止の指定を解除してから、もう一度プリントを指示してください。  参照 ・ Adobe® Acrobat に付属のマニュアル
016-756	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機にプリントできるユーザーとして登録されていません。機械管理者に確認してください。
016-757	入力した暗証番号が間違っている。もしくは、ユーザー認証できません。暗証番号や認証情報 (User ID) を確認してください。
016-758	サービスを利用できる部門として登録されていません。 集計管理者にご相談ください。
016-759	サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 集計管理者にご相談ください。
016-760	PostScript® の処理中にエラーが発生しました。次のどちらかの方法で処置してください。 ・ PostScript® プリンタードライバーで、[印刷モード] の [高画質] が選択されていた場合は、[高速] に変更する ・ PS 使用メモリーを増やす  参照 ・ [印刷モード] : プリンタードライバーのヘルプ ・ PS 使用メモリー : 「[メモリー設定]」(P. 181)
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。 [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細] の場合は [標準] にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、[詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] に設定してプリントしてください。  参照 ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード] : プリンタードライバーのヘルプ

エラーコード	原因 / 処置
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。 本機の [ネットワーク / ポート設定] の [プリントモード指定] で正しいプリント言語を指定してください。
016-764	SMTP サーバーに接続できませんでした。 サーバーの管理者にご相談ください。
016-765	SMTP サーバーのハードディスクの容量がいっぱいのため、メール送信ができませんでした。 サーバーの管理者にご相談ください。
016-766	SMTP サーバーでエラーが発生しました。 サーバーの管理者にご相談ください。
016-767	メールアドレスが間違っているため、メール送信ができませんでした。 メールアドレスを確認し、もう一度送信してください。
016-768	本機のメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバーに接続できませんでした。 本機のメールアドレスを確認してください。
016-769	SMTP サーバーが配信確認 (DSN) に対応していません。 配信確認 (DSN) の設定をしないで、メールを送信してください。
016-772	DNS サーバーアドレスが設定されていません。 DNS サーバーアドレスを設定してください。
016-781	次の原因が考えられます。 1. メール送信時に、メールサーバーが見つかりませんでした (TCP/IP のセッション確立失敗)。 2. メール送信時に、メールサーバーから本機へ SMTP サーバーエラーを受信しました。 1. 次のどれかの方法で処置してください。 ・ ネットワークケーブルを確認する ・ SMTP サーバーを IP アドレスで指定している場合は、IP アドレスが正しいか確認する 2. 本機のホスト名を、ASCII 文字で指定してください。 使用できる文字 ・ アルファベット (a ~ z、A ~ Z) ・ 数字 (0 ~ 9) ASCII 文字を使用しているかどうかは、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で確認してください。
016-792	プリンター集計レポートをプリントする場合に、ジョブの履歴が取得できませんでした。 ジョブの履歴は存在しません。
016-798	機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。 ハードディスクの装着が必要です。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。 たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、給紙トレイ、両面指定などが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。 設定を変更してから、もう一度プリントを指示してください。 また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。
017-700	ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。 ThinPrint .print Engine のエラーの可能性があります。再度プリント処理を行うと成功する場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
017-703	ThinPrint .print Engine から送信されたプリントデータが本機で扱える最大サイズを超えました。 ジョブを分割して、再度プリント処理をやり直してください。
017-704	内部エラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。 ThinPrint .print Engine に登録しているサーバ証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください。
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。 本機の設定を確認してください。
017-713	SMTP サーバーが [STARTTLS 接続] に対応していません。 SSL/TLS 通信の設定を [STARTTLS 接続] 以外に変更してください。
017-714	SMTP サーバとの SSL 接続に失敗しました。 SMTP サーバが SSL 接続に対応しているか確認してください。対応している場合、SMTP サーバのポート番号を確認してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-715	SMTP サーバーの SSL サーバー認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 本機が SMTP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。SMTP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
017-716	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-717	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-718	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-719	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。 もう一度、同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（ART EX プリンタードライバーなど）を使用してプリントしてください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 もう一度、本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名をご確認ください。
017-729	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、受け付けられるジョブの数が上限を超えているか、ジョブのスプール領域不足により、ジョブが一時的に送信できませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、プリントデータのスプール先をハードディスクに設定してください。CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [一般設定] > [メモリー設定] > [IPP] で [ハードディスク] を選びます。 ・ しばらく待ってから、再度ジョブを送信してください。

エラーコード	原因 / 処置
017-730	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ネットワークエラーが発生しました。 次の確認を行ってください。 ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する。 ・ プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の電源が入っていることを確認する。 ・ プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の IPP ポートが起動していることを確認する。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか。 ・ ネットワークケーブルが接続されているか。
017-732	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）がオフライン状態になっているため送信できませんでした。 プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、〈オンライン〉 ボタンを押してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-733	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ソフトウェアの内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-734	AirPrint の処理中に、内部エラーが発生しました。 AirPrint 以外のプリンタードライバやソフトウェアを使用して、もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。 機械管理者に相談してください。
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [サービス設定] > [Machine Software] > [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[許可] にチェックが付いているかを確認してください。
017-756	本機にエラーが発生しました。 本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善しないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 1. TLS モードで POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 2. それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。 1. については、POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 2. については、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。 本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。

エラーコード	原因 / 処置
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-780	プリントジョブの追い越しを「許可」に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。 特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、設定を「禁止」にするか、自動解除までの時間を適切な値（1 分～120 時間）に設定し直してください。
017-787	Google クラウドプリントのプリントデータ処理中にエラーが発生しました。 Google クラウドプリント以外の方法でプリントしてください。
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。 認証方式を「事前共有鍵」に設定した場合はパスワード、認証方式を「デジタル署名」に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止に設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-407	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。
018-409	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-412 018-413	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-424	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。 本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-425	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。 証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-426	WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。 サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-427	Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。 Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-428	無線 LAN キットが正しく接続されていません。 本機の電源を切り、無線 LAN キットが取り付けられていることを確認してください。
018-429	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-430	Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-431	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-432	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-433	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-434	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-435	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-436	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-439	[Wi-Fi 設定] の SSID が [アドホック] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 本機の [ネットワーク / ポート設定] > [Wi-Fi 設定] の SSID を [インフラストラクチャ] に変更してください。
018-440	[IP 動作モード] が [IPv6] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 本機の [ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] > [IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4] に変更してください。
018-441	[Wi-Fi 設定] の [帯域] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 [ネットワーク / ポート設定] > [Wi-Fi 設定] > [帯域] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。
018-443	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-444	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-500	認証サーバーに証明書がありません。 サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。 ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。 認証サーバーの状態を確認してください。
018-511	DNS サーバーのアドレスが設定されていません。 本機に DNS サーバーのアドレスを設定してください。または、転送先の BMLinkS ストレージサービスのアドレスを IP アドレスで設定してください。
018-512	BMLinkS サーバーに接続できませんでした。 サーバーの検索を行い、最新のサーバーリストを取得してください。それでも接続できない場合は BMLinkS サーバーが起動しているか確認してください。
018-513	BMLinkS サーバーが見つかりません。 サーバーの検索を行い、最新のサーバーリストを取得してください。それでも接続できない場合は BMLinkS サーバーが起動しているか確認してください。
018-514	BMLinkS サーバーにログインできませんでした。 ユーザー名、またはパスワードが正しいか確認してください。
018-515	何らかの理由で、本機が BMLinkS サービスから該当エラーコードを受信しました。 指定したファイル名が保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。また、指定したファイル名が別のユーザーによって使用されていないかを確認してください。
018-516	BMLinkS サーバーにデータが保存できませんでした。 保存するファイル名に、BMLinkS サーバーで使えない文字が使われていないか確認してください。また、BMLinkS サーバーに、同じファイル名のファイルが存在したり、保存先のフォルダー名やファイル名が制限文字数を超えていないか確認してください。
018-517	BMLinkS サーバーにデータが保存できませんでした。 BMLinkS サーバーのディスク空き容量が不足しています。不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。

エラーコード	原因 / 処置
018-518	BMLinkS サーバーでエラーが発生しました。 しばらく待ってから、操作してください。
018-519	BMLinkS サーバーでエラーが発生しました。 サーバーの検索を行い、最新のサーバーリストを取得してください。また、BMLinkS サーバーが利用可能な状態が確認してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご 連絡ください。
018-520 018-521 018-522 018-523	BMLinkS サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリ ンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-533	不正な形式のメールを受信しました。 メールは破棄されました。POP3 からメールを受信した場合、POP サーバーにそのメール が残っている可能性があるため、コンピューターのメールクライアントなどでメールを受 信するか、削除してください。
018-565	DNS サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定されているプロキシサーバー名が DNS に登録されているか ・ DNS サーバーと接続されているか ・ DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか
018-571	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリン ターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-572	内部エラーが発生しました。 指定したコンテキスト名が正しいか確認してください。
018-573	内部エラーが発生しました。 指定した接続名が正しいか確認してください。
018-574	内部エラーが発生しました。 指定したボリューム名が正しいか確認してください。
018-576	内部エラーが発生しました。 指定したパス名が正しいか確認してください。
018-577	内部エラーが発生しました。 指定したファイル名が正しいか確認してください。
018-590	サーバー上で同名のファイルやフォルダーを検知しました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. 複数の機械から同じサーバーの同じフォルダーにアクセスしていない状態で、もう一 度同じ操作をしてください。 2. 再発する場合は、弊社プリンターサポートデスクに連絡してください。
018-595	LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエント リーが複数見つかりました。 LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持た ないように修正してください。
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリン ターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 ・ 本機の IPv4 アドレスを確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 ・ 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 Kerberos サーバーに、本機で利用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで利用できる認証方式と一致するものはありません。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ Kerberos サーバーの認証方式を設定し直してください。 ・ 本機の FIPS 認証モードを解除してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-722	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-723	Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-724	Google クラウドプリントとの通信で、SSL 通信エラーが発生しました。 SSL の設定が正しいかを確認してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。 パスワードの使用期限を延長してください。
018-726	IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。 IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。
018-727	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録してください。 ・ KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新してください。 ・ 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認してください。
018-729	Google クラウドプリントとの接続がタイムアウトになりました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-730	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。それでも状態が改善されないときは、内部エラーが発生している可能性があります。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-731	ハードディスクの容量が不足しているため、ジョブを中止しました。 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-737	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-738	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-739	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-740	Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-741	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-743	Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-744	Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
018-745	Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-746	Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
021-210 021-211 021-212	USB IC カードリーダーにエラーが発生しました。 USB IC カードリーダーの接続を確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、USB IC カードリーダーが故障している可能性があります。壊れていない USB IC カードリーダーを取り付けて、もう一度電源を入れ直してください。
021-213	インターネットを使用する EP システムの単価テーブルの設定に問題があります。 機械管理者が CentreWare Internet Services を使用し、単価テーブルを読み出して、修正してください。1 ～ 9,999,999 の範囲で任意の値を設定して、書き込みを行ってください。
021-214	USB メモリーまたはメモリーカードリーダーとの暗号通信中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-360 021-361	エラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-401	設定した数より多い USB IC カードリーダーなどの認証機器が差し込まれました。 差し込んだ認証機器を抜いてください。

エラーコード	原因 / 処置
021-402	プロキシサーバー名のアドレス解決に失敗しています。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-403	EP 運用センター、または EP 通信集約サーバーソフトウェアのアドレス解決に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-404	サーバーの電源が切れていた等の理由により、サーバーまたはプロキシサーバーに接続できませんでした。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-405	外部サーバーとの SSL 通信でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
021-406	外部サーバーの SSL 証明書が正しくありません。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
021-407	インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシサーバーの認証に失敗しました。(HTTP ステータスコード 407 を受信) 次の項目を確認してください。 ・ EP プロキシサーバーの認証ユーザーを確認する。 ・ EP プロキシサーバーの認証パスワードを確認する。 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
021-408	インターネットを使用する EP システムとの通信で通信タイムアウトが発生しました。次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 また EP 通信集約サーバー構成で、EP 通信集約サーバーの FQDN が変更されていた場合も弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-409	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
021-410 021-411	インターネットを使用する EP システムとの通信で認証局（CA）との通信時（EP 証明書取得時）に通信エラーが発生しました。次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 また EP 通信集約サーバー構成で、EP 通信集約サーバーの FQDN が変更されていた場合も弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-412	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。 インターネットを使用する EP システムとの通信で認証局（CA）との通信時（EP 証明書取得時）に通信エラーが発生しました。次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ EP プロキシサーバー URL 設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-413	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
021-414	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP クライアント証明書発行局または EP プロキシサーバーから応答を受信できませんでした。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-415	インターネットを使用する EP システムとの SSL/TLS 通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-416	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ EP プロキシサーバー設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-417	インターネットを使用する EP システムとの通信で EP プロキシサーバーの認証に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ EP プロキシサーバー URL 設定 ・ EP プロキシサーバーの認証ユーザー ・ EP プロキシサーバーの認証パスワード 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-418	プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。 HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-419	EP システムとの通信に使用する、プロキシ設定ファイルの書式にエラーがありました。 HTTP サーバーに登録されているプロキシ設定ファイルの書式に不正がある可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
021-420	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイル取得通信時に通信タイムアウトが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定 ・ プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシサーバーの稼働状況 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-421	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの取得通信時にエラーが発生しました。このためプロキシ設定ファイルを取得できませんでした。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定 ・ プロキシ設定ファイルが登録されている HTTP プロキシサーバーの稼働状況 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-422	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルが見つかりませんでした。 CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。 設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、HTTP サーバーにプロキシ設定ファイルが登録されていない可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-423	プロキシ設定ファイルのサイズが大きすぎたため、プロキシ設定ファイルを取得できませんでした。 CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。 設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、プロキシ設定ファイルのサイズを確認してください。64 KB を超えている場合は、この大きさに収まるように修正してください。 プロキシ設定ファイルが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-424	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシサーバーと通信するための、プロキシ設定ファイルの URL 情報が間違っています。 CentreWare Internet Services の EP プロキシサーバー設定画面を確認してください。 設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク管理者に確認し、プロキシ設定ファイルの URL が正しいか確認する。または、DHCP サーバーか DNS サーバーのプロキシ設定ファイルの下記 URL 情報を確認します。 ・ DHCP オプションが 252 になっているか ・ "wpad. (ドメイン名) " ホストの SRV レコードが正しいか それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。

エラーコード	原因 / 処置
021-425	インターネットを使用する EP システムとの通信で、プロキシ設定ファイルの URL 情報 (CURL) を取得する通信時に DHCP サーバー、もしくは DNS サーバーと通信タイムアウトしました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ EP プロキシサーバー設定 (CURL) ・ プロキシ設定ファイルの URL 情報を登録した DHCP または DNS サーバーの稼働状況 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-426	インターネットを使用する EP システムとの通信でプロキシ設定ファイル URL 情報 (CURL) を取得するための通信時に DHCP サーバー、もしくは DNS サーバー上に URL 情報 (CURL) が見つかりませんでした。 次の項目を確認してください。 ・ EP プロキシサーバー設定 ・ DHCP サーバー、もしくは DNS サーバーにプロキシ設定ファイルの URL 情報 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-501	インターネットを使用する EP システムとの通信に失敗しました。 電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-502	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-503	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-504	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。"

エラーコード	原因 / 処置
021-505	EP サーバーとの SSL/TLS 通信に失敗しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-506	EP サーバーのサーバーの SSL 証明書が正しくありません。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-507	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 ・ EP プロキシサーバーの認証ユーザー ・ EP プロキシサーバーの認証パスワード 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-508	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-509	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-510	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 EP システムの契約期間を確認してください。 EP システムの契約期間中にこのエラーコードが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-511 021-512 021-513 021-514	EP サーバーで、本機がすでに設定されています。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-515 021-516	EP サーバーでの本機の設定が正しくありません。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-517 021-518 021-519	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
021-520 021-521 021-522	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 ・ EP プロキシサーバー設定 これらの設定を確認しても状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくは DNS サーバー障害の可能性があります。 ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-523	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 SOAP ポートが起動して、電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-524 021-525 021-526 021-527 021-528	EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-529	ソフトウェア更新サーバーでは、本機のすべてのソフトが最新という設定になっています。 最新バージョンでない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-530 021-531	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-532 021-533 021-534 021-535	インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、ソフトウェアバージョンアップができません。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-536	ソフトウェアに最新の設定が反映されていません。 本機を再起動してソフトウェアを最新の状態にしてから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-538	操作パネルからソフトウェアバージョンアップを指示しましたが、すでに予約されていたバージョンアップの処理中だったため、実行できませんでした。 機械管理者に相談してください。予約者が機械管理者でない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-539	ソフトウェアバージョンアップの予約日時に本機を使用中だったため、バージョンアップを実行できませんでした。 機械管理者に相談してください。予約者が機械管理者でない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-540	ソフトウェア更新ファイルのダウンロード中に本機の電源が切られたため、ソフトウェアの更新処理に失敗しました。 必要に応じ、再度操作してください。
021-541	本機の動作設定不正のため、ソフトウェアの更新機能を実行できませんでした。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-542 021-543	本機にエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
021-545	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 EP システムの契約期間を確認してください。EP システムの契約期間中にこのエラーコードが表示された場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-582	ソフトウェアのバージョンアップが、何らかの一括設定 / 取得処理と干渉することを検知しました。 [保守] 画面を閉じてから、本機の画面を操作せずに最大 5 分程度待ち、[リモート保守] 画面が消えてから、再度ソフトウェアのバージョンアップを行ってください。状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-700	USB ケーブルが外れているか、USB インターフェイスが壊れている可能性があります。 USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-701	USB インターフェイスにエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-732	カード抜け、料金不足（電子マネーを含む）または、度数不足になっています。あるいは認証されていません。 カードを挿入または料金（電子マネー）を入れて、料金 / 度数の不足がないようにしてください。または認証（例えば IC カードかパネルにより）してください。

エラーコード	原因 / 処置
024-316 024-317 024-318 024-319 024-320 024-321 024-340 024-341 024-342 024-343 024-345 024-346 024-347 024-348 024-349 024-350 024-351 024-352 024-353 024-354 024-355 024-356 024-357 024-358 024-359 024-360 024-361 024-362 024-363 024-364 024-365 024-366 024-367 024-368 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
024-700	オプション機能を利用するために必要なメモリー容量、またはハードディスクが装着されていません。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
024-701	指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。 組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。
024-702	〔システム設定〕で〔紙づまり時の処理〕を〔プリント中止〕に設定しているときに、紙づまりが発生しました。 詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。
024-705	指定された強制アノテーションのテンプレートが本機内にありません。 本機に登録されているテンプレートを選択してください。
024-746	指定した紙質と組み合わせができない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、両面プリントのどれか）が指定されました。 プリントデータを確認してください。
024-747	プリンターパラメーターの組み合わせが不正です。原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面プリントなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度、プリントを指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
024-748	アノテーションで設定した [ページ桁数] と、[開始番号] で設定したページの桁数が合っていない。 [ページ桁数] に、[開始番号] で指定したページの桁数を設定するか、[自動] を選択してください。
025-596 025-597	ハードディスクにエラーが発生しました。 ハードディスクを交換してください。
026-400	USB ポートに 3 つ以上の機器が接続されています。 接続機器が最大 2 つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバ（ART EX、PCL など）を使用してプリントしてください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。 プリントモードが「高画質」になっている場合には、「標準」に、「標準」の場合には「高速」に変更してください。
026-706	プリント禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしてしました。 DocuWorks Viewer を使用してプリント禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書を処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ メール送信者に暗号方式（3DES）で暗号化したメールの送信を依頼してください。 ・ 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-712	CentreWare Internet Services からの操作中にエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面プリントなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-724 026-725	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
026-726	プリントジョブの指定時に機器構成情報が、実際の機器構成と一致していません。 プリンタードライバ画面で機器構成情報と、実際の機器構成を合わせてください。
026-727	次の原因が考えられます。 1. 保存先のパス名に、使用できない文字（①など）が使われています。 2. 保存先のパス名（拡張子を含む）が利用できる文字数を超えています。 次のいずれかを実行してください。 1. については、保存先のパス名を変更してください。 2. については、保存先のパス名を 1 ～ 255 バイト以内で設定してください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
026-735	認証成功時または認証解除時に、一時停止中のプリントジョブがあったため、プリント待ちのすべてのジョブが中止されました。
027-442 027-443 027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の手動設定 IP アドレス、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。 SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-501	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。
027-503	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-504	SMTP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-700	宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されています。 宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されていないことを確認してください。
027-701	ネットワークケーブルが抜けています。 ネットワークケーブルを本機に差し込み直してください。
027-702	指定した宛先用証明書がありません。 宛先用証明書を本機に登録してください。
027-703	指定した宛先用証明書の有効期限が切れています。 有効期限が切れていない宛先用証明書を本機に登録してください。
027-704	指定した宛先用証明書の CA 証明書がありません。 宛先用証明書の証明書パスを確認して、必要な CA 証明書を本機に登録してください。
027-705	指定した宛先用証明書が、廃棄対象になっています。 廃棄対象ではない宛先用証明書を指定してください。
027-706	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられた S/MIME 証明書が存在しませんでした。 メールアドレスに対応した S/MIME 証明書を、本機にインポートしてください。
027-707	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられた S/MIME 証明書の有効期限が過ぎていました。 新しく S/MIME 証明書を発行してもらい、本機にインポートしてください。
027-708	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられている S/MIME 証明書が、信頼できない証明書でした。 信頼できる証明書を本機にインポートしてください。
027-709	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられている S/MIME 証明書が、廃棄されていました。 新しい S/MIME 証明書を本機にインポートしてください。

エラーコード	原因 / 処置
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。
027-717	メール送信で使用する SMTP サーバーのアドレスを DNS サーバーから取得できませんでした。 DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。
027-718	CSB プリントモジュールの処理中に、内部エラーが発生しました。 設定を確認して、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。 DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション（ApeosWare Management Suite）がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。 連携するアプリケーション（ApeosWare Management Suite）が正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携（ApeosWare Management Suite）に失敗しました。 ApeosWare Management Suite が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。 連携するアプリケーション（ApeosWare Management Suite）が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先（ApeosWare Management Suite）のステータスが不明になりました。 ApeosWare Management Suite が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-728	外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-730	SMTP メールで、分割可能なページ数の上限を超えました。 ページ分割に設定してあるページ数を大きくするか、原稿のページ数を少なくしてください。
027-735	SSL を使った転送指定に対して、本機の SSL 設定が無効になっています。 本機の SSL 設定を有効にしてください。または、転送プロトコルを HTTP に指定してください。
027-736	サーバー証明書検証指定に対して、本機のサーバー証明書検証が無効になっています。 本機のサーバー証明書検証設定を有効にしてください。または、転送時のサーバー証明書検証指定を無効にしてください。
027-757	次の原因が考えられます。 1. サーバーとの通信でエラーが発生しました。 2. 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 3. SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 4. 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。 5. SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 6. サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。 1. については、ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。 2. については、本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。 3. については、本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないか確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。 4. については、本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているか確認してください。対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。 5. については、本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。 6. については、本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。
027-760	XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。 指定したパラメーターを確認してください。
027-761	本機に外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントを指示しましたが、プリント要求をしてから実際にプリント処理を開始するまでの時間が、本機に設定されている時間を超えました。 複数文書を外部アクセス機能を使ってオンデマンドプリントした場合は、文書数を減らして再度実行してください。 それでも改善されない場合は、CentreWare Internet Services の [外部アクセス設定] > [オンデマンド印刷の実行可能時間] で、時間を長くするか、0 に設定してください。 外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントで複数の文書を指示した場合、最後の文書を受け付けるまでのプリント処理時間は考慮されません。そのため、大量の文書の場合やデータ処理時間がかかる複雑な文書の場合は、最後の文書を受け付ける前にタイムアウトする可能性があります。プリント指示する文書の形態に合わせて、制限時間を設定してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-762	外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントジョブが本機に指示されましたが、指示されたジョブチケットが次のように不正でした。 ・ 本機ソフトウェア不具合によるジョブチケット異常書き換え ・ 送信元の外部サーバーのバグによるジョブチケット異常書き換え ・ ネットワークトラブルによるジョブチケット異常書き換え ・ 意図的なジョブチケットの改ざん もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
027-763	外部のアカウントिंगサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ 外部アカウントINGサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているか確認する ・ ネットワークに障害がないか確認する ・ ネットワークケーブルを正しく接続する ・ 本機の設定を確認する
027-772	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] でホスト名を、ASCII 文字で設定してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。
027-773	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
027-774	指定したメールアドレスに使用できない文字が含まれています。 宛先のメールアドレスは、ASCII 文字だけで設定してください。
027-775	送信する宛先数が多すぎます。 宛先数を減らしてください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが EHLO コマンドに対応しているか確認してください。
027-776	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] でホスト名を、ASCII 文字で設定してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。
027-777	送信先の SMTP サーバーが SMTP-AUTH に対応していません。 CentreWare Internet Services で [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [SMTP] > [SMTP 送信の認証] を [利用しない] に設定してください。
027-778	送信先の SMTP サーバーが、本機に設定してある SMTP-AUTH の認証方式に対応していません。 ネットワーク管理者に、SMTP サーバーに認証方式を確認してください。 本機が対応している認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 です。
027-779	SMTP サーバーの認証に失敗しました。 SMTP-AUTH に設定してあるログイン名とパスワードを確認してください。
027-796	メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 メール本文やメールヘッダー情報などもプリントしたい場合は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
041-340 041-362 041-388	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
042-325 042-348 042-398	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
043-344	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
044-329	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
045-311	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
058-310 058-311 058-315 058-316	本機にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
058-318 058-319	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
058-320 058-321	本機にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
059-314 059-315	本機にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
059-316	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
059-324 059-326	本機にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
060-344 060-348 060-352 060-356 060-360 060-361	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
061-310 061-321 061-357 061-365 061-369 061-373	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
071-452	用紙トレイ 1 が開いています。 用紙トレイ 1 をしっかりと閉じてください。
071-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
072-310 072-311	用紙トレイ 2 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
072-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
072-452	用紙トレイ 2（オプション）が開いています。 用紙トレイ 2（オプション）をしっかりと閉じてください。
072-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
073-310 073-311	用紙トレイ 3（オプション）が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
073-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
073-452	用紙トレイ 3（オプション）が開いています。 用紙トレイ 3（オプション）をしっかりと閉じてください。
073-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
074-310 074-311	用紙トレイ 4（オプション）が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
074-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
074-452	用紙トレイ 4（オプション）が開いています。 用紙トレイ 4（オプション）をしっかりと閉じてください。
074-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
077-316 077-317 077-319 077-322 077-327	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
092-315	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
091-407 091-442	ドラムカートリッジにエラーが発生しました。 ドラムカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。
093-426	トナーカートリッジにエラーが発生しました。 トナーカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。

エラーコード	原因 / 処置
093-430	トナーカートリッジが装着されていません。 トナーカートリッジを装着してください。
099-398 099-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
102-356	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
103-314	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-220	ダウンロードモードへの移行に失敗しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-310 116-311 116-312 116-313 116-314 116-315 116-316 116-317 116-318 116-319 116-321 116-322 116-323 116-324 116-325 116-328 116-329 116-330 116-331 116-333 116-334 116-336 116-337 116-338	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-339	ハードディスク未装着のまま、Job Based Accounting システムを起動しました。 Job Based Accounting システムを利用する場合は、ハードディスクが必要です。本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れて操作をリセットしてください。

エラーコード	原因 / 処置
116-340 116-341 116-342 116-343 116-345 116-347 116-348 116-349 116-350 116-351 116-352 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-360 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-367 116-368 116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-380 116-382 116-383 116-384 116-385 116-387 116-388 116-389	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-390	本機にエラーが発生しました。 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、本機のメモリーを初期化してください。
116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396 116-397 116-398 116-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-701	メモリーが不足したため、両面プリントができません。 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を装着してください。ハードディスクの装着については、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-702	代替フォントでプリントされました。 プリントデータを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-703	PostScript® でエラーが発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. プリントデータを確認してください。 2. PostScript® 使用メモリーの割り当て量を増やしてください。
116-710	受信データが HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていない。 用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	ハードディスクがいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-725	本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。 もう一度、ジョブを実行してください。 それでも、同じエラーが発生する場合は、次のどれかの方法で処置してください。 ・ 不要なイメージログを削除する ・ イメージログの [ログの作成保証レベル] を [低] に変更する この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていない。 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリー、またはハードディスク（オプション）の容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	プリントデータにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したため、ロゴデータが登録できません。 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。
116-748	HP-GL、HP-GL/2 のプリントデータに描画データがありません。 プリントデータを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの給紙トレイに不具合があります。 バナーシートの給紙トレイを正常な状態にもどるか、バナーシートの給紙トレイを変更してください。
116-751	ハードディスクの容量がいっぱいで処理が中止されました。 蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	データに含まれるパラメーターに不正なものがあり、それを自動的に修正しました。 ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 添付文書を確認してください。
117-311 117-312 117-326 117-331 117-332 117-333	本機に異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
117-334	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
117-343	次の原因が考えられます。 1. [イメージログ管理] が [しない] で、かつ [イメージログ転送] の [転送機能] が [使用する] の場合に、[転送動作] が [ジョブ単位で転送] に設定されている。 2. [イメージログ転送] が無効（ハードディスク未装着）の場合に、[転送機能] が [使用する] に設定されている。 1. については、[転送動作] を [ジョブ単位で転送] 以外に設定してください。 2. 本体にハードディスクを装着してください。または、[転送動作] を [一時停止] に設定してください。
117-345	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 EP システムの関連機器を接続しないで本機を起動し、[認証の設定] で [認証方式の設定] を [外部認証] 以外の設定にしてください。

エラーコード	原因 / 処置
117-347	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
117-357	本機 TPM チップにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
117-360	日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
117-364	暗号鍵情報は無効です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
118-210	Print Server にエラーが発生しました。 Print Server の電源を切り、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
118-211	Print Server がサービスエラーを検知しました。 エラー表示に従い対応を実施し、Print Server を再起動してください。
118-311	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
118-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
121-310	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
121-311	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 IC カードリーダーを接続している場合は、[システム設定] > [認証の設定] > [認証情報設定] > [IC カードの使用] が [する] に変更されます。必要に応じて、設定を変更してください。
121-312 121-313	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 関連機器を接続しないで本機を起動し、[システム設定] > [認証の設定] で [認証方式の設定] を [外部認証] 以外の設定にしてください。
121-314 121-316 121-317 121-318 121-322 121-323 121-325	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。

エラーコード	原因 / 処置
124-310 124-311 124-312 124-313 124-314 124-315 124-316 124-317 124-318 124-319 124-320 124-321 124-322 124-323 124-324 124-325	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
124-326	本機にエラーが発生しました。 画面の指示にしたがって情報を入力してください。
124-327 124-329 124-330 124-331 124-332 124-333 124-334 124-335 124-337 124-338 124-339 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352 124-353 124-354 124-355 124-360 124-361 124-362 124-363 124-364 124-372 124-373 124-374 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。

エラーコード	原因 / 処置
124-701	サイドトレイが装着されている、ほかの機種のパリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。
124-702	スタッカーが装着されている、ほかの機種のパリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。
124-708	用紙が、指定したトレイとは別のトレイに排出されました。 両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた可能性があります。 指定したサイズの用紙が、トレイにセットされているかを確認してください。
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。 操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選んで排出されます。正しい用紙サイズや紙質を指定しても、指定した排出先から排出されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
125-311	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。
127-310 127-311 127-312 127-313 127-314 127-315 127-320 127-353 127-354 127-396 127-398 127-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。

10 付 録

10.1 主な仕様

本体

項 目		内 容
商品コード		DocuPrint 4400 d : N3300052 DocuPrint 3500 d : N3300051 DocuPrint 3200 d : N3300050
形式		デスクトップ
プリント方式		LED ゼログラフィー  注記 ・ LED + 乾式電子写真方式。
定着方式		ヒートローラー（オイルレス）
ウォームアップ時間		DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d 19 秒以下（電源投入時、室温 23℃）（スリープモード時は 16 秒以下） DocuPrint 3200 d 19 秒以下（電源投入時、室温 23℃）（スリープモード時は 19 秒以下）  注記 ・ 当社測定基準による測定値。
連続プリント速度	片面印刷時	DocuPrint 4400 d A4 ヨコ : 45 枚 / 分 A3 : 25.7 枚 / 分 DocuPrint 3500 d A4 ヨコ : 38 枚 / 分 A3 : 23 枚 / 分 DocuPrint 3200 d A4 ヨコ : 32 枚 / 分 A3 : 18.2 枚 / 分
	両面印刷時	DocuPrint 4400 d A4 ヨコ : 31.5 ページ / 分 A3 : 15.4 ページ / 分 DocuPrint 3500 d A4 ヨコ : 30.5 ページ / 分 A3 : 15.4 ページ / 分 DocuPrint 3200 d A4 ヨコ : 22.4 ページ / 分 A3 : 10.8 ページ / 分
	 注記 ・ 同一原稿連続印刷時。郵便はがき（日本郵便製）等の用紙種類、サイズや印刷条件によっては速度が低下します。また、画質調整のため、速度が低下する場合があります。	

項 目		内 容
ファーストプリント時間		DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d 6.0 秒 (A4 ヨコ) DocuPrint 3200 d 7.5 秒 (A4 ヨコ)  注記 ・ 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
解像度	標準	ART EX ドライバー： 標準：600 x 600 dpi、高精細：1200 x 1200 dpi
	オプション	Adobe® PostScript® 3™ ドライバー： 標準：600 x 600 dpi、高精細：1200 x 1200 dpi
階調		256 階調
用紙サイズ	標準トレイ	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11×17"、 7.25×10.5"、8.5×13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、C5）* ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）* * Mac OS X プリンタードライバーでは対応していません。オプションの Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが必要です。
	手差しトレイ	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11×17"、 5.5×8.5"、7.25×10.5"、8.5×13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形 3 号、長形 4 号、洋長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号、COM-10、モナーク、DL、C5）* ユーザー定義用紙（幅 70 ～ 297 mm× 長さ 98 ～ 508 mm、幅 210× 長さ 900 mm、幅 297× 長さ 900 mm、幅 297× 長さ 1200 mm）* * Mac OS X プリンタードライバーでは対応していません。オプションの Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが必要です。
	オプション	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11×17"、 7.25×10.5"、8.5×13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、C5）* ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）* * Mac OS X プリンタードライバーでは対応していません。オプションの Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが必要です。
	両面印刷	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11×17"、 7.25×10.5"、8.5×13" ユーザー定義用紙（幅 100 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）* * Mac OS X プリンタードライバーでは対応していません。オプションの Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが必要です。
	像欠け幅	先端 / 後端 / 左右端：4.1 mm
		 注記 ・ 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しくプリントできない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じる場合がありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、販売店もしくはプリンターサポートデスク（0120-66-2209）までお問い合わせください。

項 目		内 容
用紙坪量	標準トレイ	60 ～ 220 g/m ²
	手差しトレイ	60 ～ 220 g/m ²
	オプション	トレイモジュール (250) : 60 ～ 220 g/m ² トレイモジュール (550) : 60 ～ 220 g/m ²
	両面印刷	60 ～ 163 g/m ²
		 注記 ・推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しくプリントできない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じる場合がありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、販売店もしくはプリンターサポートデスク（0120-66-2209）までお問い合わせください。
給紙容量	標準	DocuPrint 4400 d 標準トレイ : 550 枚 手差しトレイ : 100 枚 DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d 標準トレイ : 250 枚 手差しトレイ : 100 枚
	オプション	トレイモジュール (250) : 250 枚 トレイモジュール (550) : 550 枚
	最大	DocuPrint 4400 d 2300 枚 [標準 + トレイモジュール (550) × (3 段)] DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d 2000 枚 [標準 + トレイモジュール (550) × (3 段)]
		 注記 ・当社 P 紙 (64 g/m ²) 使用時の値。
出力トレイ容量	標準	DocuPrint 4400 d 550 枚 (フェイスダウン) DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d 250 枚 (フェイスダウン)
	オプション	フェイスアップトレイ : 100 枚
		 注記 ・当社 P 紙 (64 g/m ²) 使用時の値。
両面機能		標準
CPU		ARM 1100 MHz
メモリー容量		2 GB (最大 2 GB)
内蔵ハードディスク		オプション : 44 GB  注記 ・表記されたハードディスク容量の全てを利用できるわけではありません。

項 目		内 容
搭載フォント	標準	日本語 2 書体（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5）、欧文 21 書体、OCR-B フォント *¹、バーコードフォント *¹ *² *¹ OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。 *² バーコードフォントの種類は、CODE39、JAN、NW-7 (CODABAR)、CODE128、ITF (Interleaved 2 of 5) ペアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマバーコード、QR コードに対応。OCR-B フォント、バーコードフォントは ART IV、ESC/P エミュレーションで対応。
	オプション	Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（平成 3 書体） 日本語 3 書体（平成明朝体 W3、平成丸ゴシック体 W4、平成角ゴシック体 W5）、欧文 136 書体、OCR-B フォント * Adobe® PostScript® ソフトウェアキット（モリサワ 2 書体） 日本語 2 書体（モリサワ：リュウミン L-KL、中ゴシック BBB）、欧文 136 書体、OCR-B フォント * * OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。
ページ記述言語	標準	ART-EX
	オプション	Adobe® PostScript® 3™
エミュレーション		ART IV、ESC/P、PCL5、PCL6、PC-PR201H、HP-GL*、HP-GL/2*、HP RTL*（HP DesignJet 750C Plus）、TIFF、PDF、XPS (XML Paper Specification)、DocuWorks 文書 (XDW) * HP-GL は HP7586B を、HP-GL/2、HP RTL は HP Designjet 750C Plus を、それぞれエミュレーションしていますが、全てのコマンドには対応していませんので事前の出力検証を推奨します。

項 目		内 容
対応 OS	標準	ART EX ドライバー : Windows® 10 (32 ビット) Windows® 10 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows Server® 2016 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) Mac OS X ドライバー : macOS 10.13/10.12、OS X 10.11/10.10/10.9
	オプション	Adobe® PostScript® 3™ ドライバー : Windows® 10 (32 ビット) Windows® 10 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows Server® 2016 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) macOS 10.13/10.12、OS X 10.11/10.10/10.9
	 注記 ・最新の対応 OS については当社公式サイトをご覧ください。	
インターフェイス	標準	Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、USB3.0
	オプション	Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、802.11a/b/g/n
対応プロトコル		TCP/IP (IPv4/IPv6、Ipd、Port9100、IPP、BMLinkS、ThinPrint、WSD)
電源		DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d AC 100 V±10%、15 A、50/60 Hz 共用  注記 ・推奨コンセント容量。機械側最大電流は、14 A。 DocuPrint 3200 d AC 100 V±10%、12 A、50/60 Hz 共用  注記 ・推奨コンセント容量。機械側最大電流は、11 A。

項 目		内 容
騒音	稼働時 (本体のみ)	DocuPrint 4400 d 7.31 B、53 dB (A)* DocuPrint 3500 d 7.22 B、53 dB (A)* DocuPrint 3200 d 7.02 B、50 dB (A) * 静音モード時：50 dB (A)
	レディー時 (本体のみ)	5.30 B、16 dB (A)
		 注記 ・ ISO7779 に基づいた測定 単位 B：音響パワーレベル (L _{wAd}) 単位 dB (A)：放射音圧レベル (バイスタンダ位置)
最大消費電力		DocuPrint 4400 d 最大：1320 W* ¹ 、スリープモード時 0.8 W* ² 平均：レディー時 77 W、稼働時 615 W DocuPrint 3500 d 最大：1320 W* ¹ 、スリープモード時 0.8 W* ² 平均：レディー時 77 W、稼働時 593 W DocuPrint 3200 d 最大：970 W* ¹ 、スリープモード時 0.8 W* ² 平均：レディー時 60 W、稼働時 475 W * ¹ 本体標準構成での測定値は、DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d：1300 W、 DocuPrint 3200 d：950 W。 * ² 標準構成時。  注記 ・ 最大消費電力はフル構成時。
エネルギー消費効率		DocuPrint 4400 d 112 kWh/年 区分：プリンター C DocuPrint 3500 d 102 kWh/年 区分：プリンター C DocuPrint 3200 d 79 kWh/年 区分：プリンター C  注記 ・ 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。
外形寸法		DocuPrint 4400 d 幅 499.4× 奥行 388.0× 高さ 320.0 mm DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d 幅 499.4× 奥行 388.0× 高さ 262.6 mm  注記 ・ 奥行は A4 使用時の値。A3 使用時は、517.8 mm
質量		DocuPrint 4400 d 約 20.2 kg (消耗品含む) 約 18.2 kg (消耗品含まず) DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d 約 18.6 kg (消耗品含む) 約 16.6 kg (消耗品含まず)

項 目		内 容
使用環境	使用時	温度：10～32℃ 湿度：15～85%（結露による障害は除く）
	非使用時	温度：-20～40℃ 湿度：5～85%（結露による障害は除く）
	！ 注記 ・使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。	
商品寿命		DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d 180万ページ、または5年の早い方 DocuPrint 3200 d 120万ページ、または5年の早い方 ！ 注記 ・プリント可能ページ数は、A4サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。

トレイモジュール（オプション）

項 目	内 容
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11x17"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形3号、長形4号、角形2号、角形3号、角形6号）*、ユーザー定義用紙（幅75～297mm、長さ148～432mm）* * Mac OS X プリンタードライバーでは対応していません。オプションの Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが必要です。
用紙坪量	60～220 g/m ²
給紙容量 / 給紙段数	トレイモジュール（250）：250枚。組み合わせて3段まで装着可能 トレイモジュール（550）：550枚。組み合わせて3段まで装着可能 ！ 注記 ・当社P紙。 ・トレイモジュール（550）の下段にトレイモジュール（250）は設置できません。
大きさ	トレイモジュール（250）：幅485 x 奥行388 x 高さ95 mm トレイモジュール（550）：幅485 x 奥行388 x 高さ122.6 mm
質量	トレイモジュール（250）：5.6 kg トレイモジュール（550）：6.5 kg

内蔵フォント

標準で次のフォントを内蔵しています。



補足

- ・ PCL で使用できるフォントについては、「使用できるフォント」(P. 402) を参照してください。

ストロークフォント (HP-GL/2 専用)

- ・ 日本語ストロークフォント
- ・ 欧文+カタカナストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript® では使用できません。

●：装備

	名称	ART-EX	ART IV	ESC/P、PC-PR201H	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
和文	平成明朝体 W3	●	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 W5	●	●	●	●	●	●

	名称	ART-EX	ART IV	ESC/P、PC-PR201H	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
欧文	平成明朝体 W3 (ローマン)			●	●		
	平成角ゴシック体 W5 (サンセリフ)			●	●		
	ITC Zapf Dingbats					●	
	Arial	●	●	●		●	●
	Arial Bold	●	●	●		●	●
	Arial Italic	●	●	●		●	●
	Arial Bold Italic	●	●	●		●	●
	Courier	●	●	●		●	●
	Courier Bold	●	●	●		●	●
	Courier Italic	●	●	●		●	●
	Courier Bold Italic	●	●	●		●	●
	Times New Roman	●	●	●		●	●
	Times New Roman Bold	●	●	●		●	●
	Times New Roman Italic	●	●	●		●	●
	Times New Roman Bold Italic	●	●	●		●	●
	Century	●					●
	Symbol	●	●	●		●	●
	Wingdings	●					●
	OCRBLetM		●	●			
	GoldSEMM					●	
	GoldSAMM					●	

💡 補足

- ・ ART IVでは、次の対応で指定します。
 Arial : CS Triumvirate
 Arial Bold : CS Triumvirate Bold
 Arial Italic : CS Triumvirate Italic
 Arial Bold Italic : CS Triumvirate Bold Italic
 Courier : CSCourier Medium
 Courier Bold : CSCourier Bold
 Courier Italic : CSCourier Oblique
 Courier Bold Italic : CSCourier Bold Oblique
 Times New Roman : CSTimes
 Times New Roman Bold : CSTimes Bold
 Times New Roman Italic : CSTimes Italic
 Times New Roman Bold Italic : CSTimes Bold Italic
 Symbol : CSSymbol

ビットマップフォント（ESC/P、PC-PR201H のみ）

和文

- ・ ESC/P ビットマップフォント（平成角ゴシック体、24x24 ドット）

欧文

- ・ ESC/P ビットマップフォント（平成角ゴシック体、24x24 ドット）

10.2 オプション製品について

商品名	商品コード	備考	
無線 LAN キット	EC103438	無線 LAN に接続する機能を追加します。 本製品は、2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の両方を使用できます。	
機能拡張キット（ハードディスク）	E3100068	ハードディスクを必要とする機能については、「機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）の取り付け」（P. 421）を参照してください。	
セカンダリーイーサネットキット	E3100080	Ethernet インターフェイスを 2 回線利用できるようになるキットです。	
トレイモジュール（250）	E3100059	標準紙（P 紙）を 250 枚までセットできる用紙トレイです。	
トレイモジュール（550）	E3100060	標準紙（P 紙）を 550 枚までセットできる用紙トレイです。	
フェイスアップトレイ	E3100061	プリント面を上に向けて排出できるトレイです。標準紙（P 紙）を 100 枚まで収容できます。	
Adobe® PostScript® ソフトウェア キット（モリサワ 2 書体）	E3300220	本機を PostScript® 対応プリンターとして利用できます。	
Adobe® PostScript® ソフトウェア キット（平成 3 書体）	E3300219		
多言語フォントキット	EC101145	SAP などの基幹システム向け、PCL 言語用の Unicode フォントキットです。	
セキュリティ拡張キット	E3300221	次の機能を使用する場合に必要です。 ・ イメージログ機能 ・ 複製管理機能 ・ 強制アノテーション機能 セキュリティ拡張キットの機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）が必要です。	
IC カードリーダー D（外付け型）	EC103580	IC カードの情報を読み込む、外付け型の装置です。	
IC カードリーダー B（外付け型）	EC103320	IC カードの情報を読み込む、外付け型の装置です。	
Authentication Adapter with Touch Panel	Q9100018	Authentication Adapter の本体です。認証サーバー不要で認証機能を提供し、プライベートプリントのジョブ選択 / 変更 / 削除ができます。	セットの 商品コード L9100014
IC Card Reader D for Authentication Adapter(1.2M)	E9100168	Authentication Adapter の読み取り部です。	
AC コード	E9100154	Authentication Adapter 専用の AC コードです。	
専用キャスター台	E3100062	本機を専用キャスター台の上に置いて使用できます。	
地震対策キット（スティックタイプ）	E3300217	地震による本機の移動を防止します。	
地震対策キット（バンドタイプ）	E3300218		
地震対策キット（ゲルタイプ）	E3300222		

- ・ 商品の種類や商品コードは、予告なく変更されることがあります。
- ・ 最新の情報については、当社公式サイト（www.fujixerox.co.jp）をご覧ください。

10.3 消耗品、定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

品名	商品コード	プリント可能ページ数 (参考値)
トナーカートリッジ (6K)	CT203090	約 6000 ページ
トナーカートリッジ (10K)	CT203091	約 10000 ページ
トナーカートリッジ (15K) (DocuPrint 4400 d/ DocuPrint 3500 d 専用)	CT203092	約 15000 ページ
ドラムカートリッジ (DocuPrint 3200 d 専用)	CT351166	約 40000 ページ
ドラムカートリッジ (DocuPrint 4400 d/ DocuPrint 3500 d 専用)	CT351167	約 40000 ページ

❗ 注記

- ・ トナーカートリッジについて
JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ・ ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は、A4□、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 4 枚 (DocuPrint 4400 d の場合、DocuPrint 3500 d は 3 枚、DocuPrint 3200 d は 2 枚) として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になる場合があります。
- ・ 弊社が推奨していないトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジおよびドラムカートリッジをご使用ください。

💡 補足

- ・ 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は、約 3000 ページです。

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお渡しください。

定期交換部品の寿命について

部品名	交換寿命
定着ユニット (DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d 専用)	約 100000 ページ
定着ユニット (DocuPrint 3200 d 専用)	約 100000 ページ
用紙搬送ロールキット (トレイ用)	約 100000 ページ

部品名	交換寿命
用紙搬送ロールキット（本体手差し用）	約 100000 ページ
転写ユニット	約 100000 ページ
60 万枚定期交換キット（DocuPrint 4400 d 専用）	約 600000 ページ
60 万枚定期交換キット（DocuPrint 3200d/3500d 専用）	約 600000 ページ

❗ 注記

- ・プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。
交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境、などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因のある仮定に基づきプリントページ数に置き換えて表示しているためです。
定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。
保守サービスの種類によっては、定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。
無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

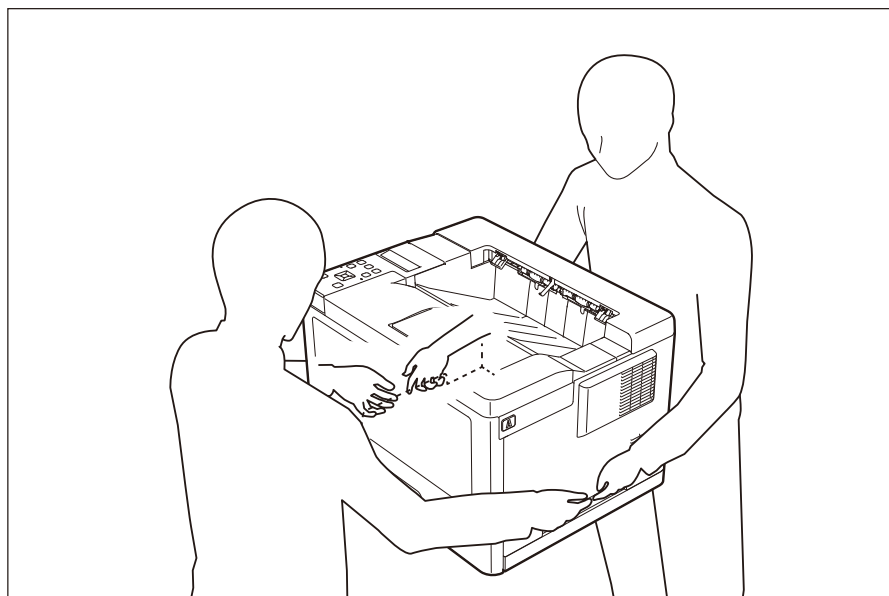
10.4 本機を移動するときは

本機を移動するときは、次の手順で行ってください。

1. 本機の電源を切ります。
2. 電源コード、インターフェースケーブルなど、すべての接続コードを外します。
3. トレイを引き出し、トレイにセットされている用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やほこりに触れない場所に保管します。
4. トレイを、本機の奥までしっかり押し込みます。
5. 本機を持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、本機を梱包して運送してください。

❗ 注記

- ・ 機械の重さは、DocuPrint 4400 d : 約 20.2 kg、DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d : 約 18.6 kg（本体のみ、消耗品を含む）です。必ず 2 人で持ち運んでください。



💡 補足

- ・ 本機を移動するときは、トナーカートリッジなどの消耗品を取り外す必要はありません。

10.5 カスタムモードについて

やむをえず、トナーカートリッジを交換しないで、継続して使用しなければならない場合は、「カスタムモード」を選択することで、継続使用が可能となります。

カスタムモードでプリンターを使用したい場合は、次の手順に従って、カスタムモードに設定してから、対応したトナーでご使用ください。なお、このモードを使用したとしても、完全に空になったトナーはご使用できません。

❗ 注記

- ・ カスタムモードは品質保証外のモードであり、所定の機能、性能は保たれないことがあります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。
- ・ カスタムモードでは、「[ドラム寿命動作]」(P. 156) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

💡 補足

- ・ カスタムモードから通常モードに戻すには、次の手順 4 で [オフ] を選びます。
- ・ カスタムモードが [オフ] のときに、これまでにカスタムモードを一度でもオンにしたことがある場合は、「機能設定リスト」の [カスタムモード] の項目に [＊] が表示されます。

1. 操作パネルの〈▼〉と **OK** ボタンを同時に押します。
消耗品メニューが表示されます。

消耗品メニュー シリアル番号

2. [カスタムモード] が表示されるまで 〈▼〉を押します。

消耗品メニュー カスタムモード

3. 〈▶〉または **OK** ボタンを押します。
現在の設定が表示されます。

カスタムモード •オフ

4. 〈▼〉 ボタンを押して、[オン] を表示します。

カスタムモード オン

5. 〈▶〉または **OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

カスタムモードの設定を [OK] で変更します

6. **OK** ボタンを押します。
カスタムモードへの変更が開始されます。

変更完了 電源を切 / 入する

7. 電源を切り、ディスプレイの表示が消えた後、10 秒
待ってから、電源を入れます。
起動後にカスタムモードに切り替わります。

プリントできます カスタムモード

10.6 最新のソフトウェアを入手する

最新のソフトウェアは弊社公式サイトからダウンロードできます。
ここでは、Windows® 7 および Windows® 10 を例に手順を説明します。

補足

・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
3. [プリンター構成] タブ > [バージョン情報] をクリックします。
4. [Fuji Xerox ホームページ] をクリックします。
Web ブラウザーが起動し、弊社公式サイトが表示されます。
5. 表示されるサイト上の指示に従って、必要なソフトウェアをダウンロードします。

補足

- ・ ダウンロードサイトのアドレス（URL）は次のとおりです。
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>
- ・ ソフトウェア機能の最新情報については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

10.7 本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）をお使いのコンピューターから更新できるツールを提供しています。最新のファームウェアおよび更新ツールは、次のURLからダウンロードできます。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。



補足

- ・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

10.8 ART IV、ESC/P エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の ESC/P エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード（ESC/P モード）	VP-1000

補足

- ・ ART IV（Advanced Rendering Tools）は、富士ゼロックス株式会社が開発したページ記述言語です。

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。ART IV、ESC/P に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・ LPD ポート
- ・ IPP ポート
- ・ USB ポート
- ・ Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。ESC/P のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定]で[ESCP]を選択してください。ESC/P のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

ESCP
プリント機能メニュー

補足

- ・ ART IV には、モードメニュー画面はありません。

フォントについて

使用できるフォント

各エミュレーションでは、次のフォントが使用できます。

参照

- ・ 使用できるフォントと、その印字見本は、[フォントリスト]で確認できます。

ART IV エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- ・ 明朝（平成明朝体 W3）
- ・ 明朝（平成明朝体 W3 拡張部）
- ・ ゴシック（平成角ゴシック体 W5）
- ・ ゴシック（平成角ゴシック体 W5 拡張部）

欧文

- ・ 平成明朝体 W3（ローマン）
- ・ 平成角ゴシック体 W5（サンセリフ）
- ・ 平成角ゴシック体 W5（FMT）
- ・ CS Times Roman（Times New Roman）
- ・ CS Times Italic（Times New Roman Italic）
- ・ CS Times Bold（Times New Roman Bold）
- ・ CS Times Bold Italic（Times New Roman Bold Italic）
- ・ CS Triumvirate Regular（Arial）
- ・ CS Triumvirate Italic（Arial Italic）
- ・ CS Triumvirate Bold（Arial Bold）
- ・ CS Triumvirate Bold Italic（Arial Bold Italic）
- ・ CS Courier（Courier New）
- ・ CS Courier Oblique（Courier New Italic）
- ・ CS Courier Bold（Courier New Bold）
- ・ CS Courier Bold Oblique（Courier New Bold Italic）
- ・ CS Symbol（Symbol）
- ・ OCR-BLetM

補足

- ・ CS 書体が指定された場合、本機では（ ）内のフォントでプリントされます。

ESC/P エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- ・明朝（平成明朝体 W3）
- ・明朝（平成明朝体 W3 拡張部）
- ・ゴシック（平成角ゴシック体 W5）
- ・ゴシック（平成角ゴシック体 W5 拡張部）
- ・TBMM（プロポーショナル用）
- ・TBGB（プロポーショナル用）

欧文

- ・平成明朝体 W3（ローマン）
- ・平成角ゴシック体 W5（サンセリフ）
- ・OCR-BLetM

ユーザー定義文字（外字）

ART IV および ESC/P エミュレーションモードでは、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。

ユーザー定義文字はメモリーに格納され、電源を切ると消去されます。

ユーザー定義文字を格納する容量は、操作パネルから設定できますが、ART IV のユーザー定義データの容量と合わせた値です。ESC/P エミュレーションモードでのユーザー定義文字の容量は変更されません。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

ESC/P エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろって、データは排出されません。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、[自動排出時間]で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには[データ待ちです]が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

💡 補足

- ・ディスプレイに「データ待ちです」が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされることがあります。
次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

🔧 参照

- ・自動排出時間については「自動排出時間」(P. 131)を参照してください。

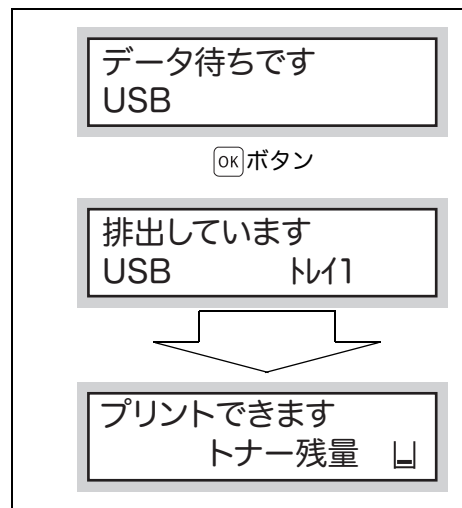
1. ディスプレイに右図の「データ待ちです」が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、「プリントできます」が表示されます。

⚠ 注記

- ・共通メニュー項目の「プリントモード指定」が「自動」の場合、「データ待ちです」と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

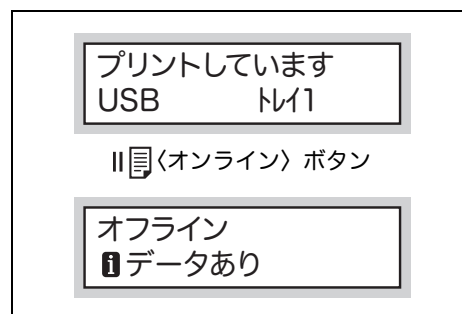
プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

1. ディスプレイに右図の「プリントしています」が表示されている状態で、**||| (オンライン)** ボタンを押します。

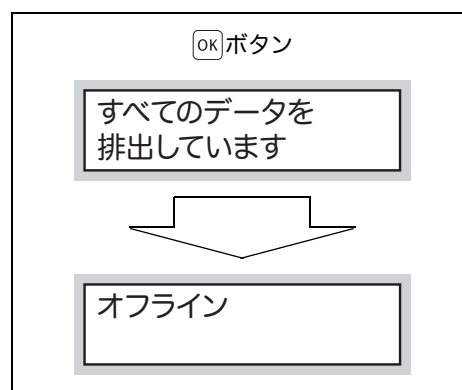
💡 補足

- ・**||| (オンライン)** ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。



2. **OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

すべてのジョブを実行してプリントすると、「オフライン」の表示になります。



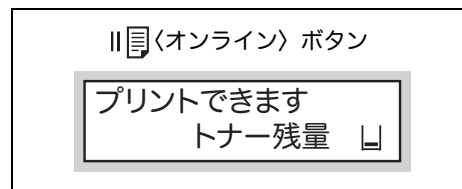
補足

- ・ USB インターフェイスを使用している場合、手順 1 の 〈オンライン〉 ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは  ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順 3 のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3. 〈オンライン〉 ボタンを押します。 [プリントできます] の表示になります。

補足

- ・ [プリントできます] 表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の [プリントモード指定] で [自動] が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。



エミュレーションモードでのプリント機能

ART IV または ESC/P エミュレーションモードで利用できる、本機のプリント機能について説明します。

N アップ (ESC/P)

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。
ESC/P エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。ESC/P エミュレーションモードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

バーコード

ESC/P および ART IV エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- ・ Code39
- ・ JAN-8
- ・ JAN-13
- ・ Code 128
- ・ NW7 (CODABAR)
- ・ ITF (Interleaved 2 of 5)
- ・ IDF (Industrial 2 of 5)
- ・ Post (Japanese postal Customer Code)
- ・ QR Code
- ・ Matrix 2of5

フォームについて

本機では、ART IV、または ESC/P を使用して定形のフォームに登録できます。

登録できるフォームの数は、次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ハードディスクなし	64	64
ハードディスクあり	2048	64

補足

- ・フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。

参照

- ・フォームが登録されたかどうかは、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

ART IV、および ESC/P に関連する共通メニュー

ART IV および ESC/P に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

■ ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100)
エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- ・プリントモード指定 (LPD/IPP/USB/Port9100)
各ポートのプリントモード指定を、ART IV、または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [ART IV] や [ESC/P]、[HexDump]などを指定できます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- ・[プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [ART IV] や [ESC/P] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 347) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■ メモリー設定

[機械管理者メニュー] > [メモリー設定] で、ART IV のフォーム、およびユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- ・ART IV フォームメモリー
128 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [128KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。オプションの機能拡張キット (ハードディスク) が取り付けられている場合は、[ハードディスク] と表示されます。
- ・ART IV ユーザー定義メモリー
32 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [32KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

■ フォームの削除

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

- ・ART IV フォーム削除
ART IV 用のフォームを削除します。

- ・ESC/P フォーム削除
ESC/P 用のフォームを削除します。

ESC/P 設定項目一覧

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用するトレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[自動]
[トレイ 1] (初期値)
[トレイ 2]
[トレイ 3]
[トレイ 4]
[手差しトレイ]

補足

- ・ [トレイ 1] ~ [トレイ 4] を選択した場合、トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため [用紙サイズ] の設定はできません。
- ・ [自動] に設定すると、[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。
- ・ [自動] を選択した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、トレイモジュール (オプション) が装着されている場合にのみ表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動]、または [手差しトレイ] の場合に設定できます。また、設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は、次のとおりです。

[A4] (初期値)
[A3] [A5]
[B4] [B5]
[11×17"] (タブロイド)
[8.5×14"] (リーガル)
[8.5×13"] (フォリオ)
[8.5×11"] (レター)
[はがき] ([用紙トレイ] が [手差しトレイ] の場合だけ)

補足

- ・ [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動的に設定されます。
また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで倍率が自動設定されます。
- ・ [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ~ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、[用紙サイズ] を設定できません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[用紙□] (初期値)

[用紙□]

[A4□] [A4□] [A3□] [A3□] [A5□] [A5□] [B4□]

[B4□] [B5□] [B5□] [はがき□] [はがき□]

[11×17"□] [11×17"□] (タブロイド)

[8.5×14"□] [8.5×14"□] (リーガル)

[8.5×13"□] [8.5×13"□] (フォリオ)

[8.5×11"□] [8.5×11"□] (レター)

[R15×12"□] (連続紙 15×12 印字保証桁 136 桁 /72 行)

[R15×11"□] (連続紙 15×11 印字保証桁 136 桁 /66 行)

[R10×12"□] (連続紙 10×12 印字保証桁 80 桁 /72 行)

[R10×11"□] (連続紙 10×11 印字保証桁 80 桁 /66 行)

補足

- ・ [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動設定されます。
また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで、倍率が自動設定されます。
- ・ ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- ・ [用紙□]、[用紙□] を選択した場合は、[用紙サイズ] で指定したサイズと同じになります。

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1 (初期値) ～ 250 部です。

補足

- ・ クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- ・ <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■ 部数の優先指定

プリント部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル]

[メモリー登録設定]

[コマンド] (初期値)

倍率

■ 固定倍率 (初期値)

設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100% (等倍) 印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ 任意倍率

任意の倍率値を設定します。縦および横について、それぞれ独立して 45 ～ 210% の間で 1% 単位で設定できます。初期値は、[たて 100% よこ 100%] です。

■ カット紙全面

カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

補足

- ・ [原稿サイズ] で連続紙が設定されている場合、[固定倍率] または [カット紙全面] は同じ印字結果になります。
- ・ [任意倍率] の縦と横は、〈▶〉または〈◀〉ボタンでカーソルを移動し、指定してください。また、〈▼〉または〈▲〉ボタンで倍率値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

両面

両面プリントを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

両面プリントを行いません。

[左右開き]

左右開きになるようにプリントします。

[上下開き]

上下開きになるようにプリントします。

補足

- ・ [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き]、[上下開き] は選択できません。

2 アップ

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。用紙方向によって、上下、または左右のいずれかに印字されます。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

2 アップ印字を行いません。

[順方向]

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の左側、または上側に印字します。

[逆方向]

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の右側、または下側に印字します。

注記

- ・ [原稿サイズ] で横向きを指定している場合、[順方向] と [逆方向] のどちらを設定しても、同じ結果となります。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)

[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できます。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 (OK ボタンを押す) によって、プリントを開始する機能です。[する] または [しない] (初期値) から選択します。

フォント

■ 漢字書体

2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]（初期値）、または [ゴシック] から選択します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

■ 英数字書体

1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ローマン]（初期値）、または [サンセリフ] から選択します。



補足

- ・ 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。



参照

- ・ 「フォントについて」(P. 348)

用紙位置

カットシートフィーダー設定の有無による用紙位置を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[CSF なし]（初期値）

カットシートフィーダー設定をなしに設定し、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、ページ長設定に従って、紙送りをします。

[CSF あり]

カットシートフィーダー設定をありに設定し、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、用紙を排出します。

位置補正

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ 上下方向

-250 ～ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。

インチ表示の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は、[0.0"] です。

■ 左右方向

-250 ～ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。

インチ表示の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は、[0.0"] です。



補足

- ・ 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- ・ 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

罫線

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[イメージ]（初期値）

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

印字制御

■ 漢字コード表

使用する漢字コード表（2121 ～ 287E）を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[エプソン]（初期値）

セイコーエプソン株式会社の VP-1000 のコード体系に設定します。

[東芝]

株式会社東芝の J-3100 のコード体系に設定します。

■ 白紙節約

改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[する]（初期値）

白紙のページは、排出されません。

[しない]

白紙のページも、排出されます。



補足

- ・ [する] に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。
- ・ [する] が設定され、2 アッププリントまたは両面プリントの指示がされている場合は、白紙になるページはスキップして処理されます。

■ イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

[しない]

イメージエンハンス機能を使用しないで、プリントします。

[する]（初期値）

イメージエンハンス機能を使用して、プリントします。

■ 印字桁範囲

右マージンの位置を拡張できます。

候補値は、次のとおりです。

[標準]（初期値）

右マージン位置を 10dpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]

印字倍率の設定によって、10dpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。



補足

- ・ [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- ・ コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

■ 文字コード

日本語表記に使用する文字コードを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[JIS]（初期値）

JIS コードに設定します。

[Shift-JIS]
Shift-JIS コードに設定します。

■ キャラクター モード

キャラクターモードとは、通常 16 進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターへ送信して制御する機能です。IBM のホストコンピューターから、キャラクターモード対応のコンピューターを経由して、プリンター制御コマンドを直接送る場合は、開始宣言文字列に「&%%\$」、「\$?!#」のどちらかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[オフ] (初期値)

キャラクターモードを設定しません。

[&%%\$Entry]

開始宣言文字列に「&%%\$」を使用します。

[\$?!#Entry]

開始宣言文字列に「\$?!#」を使用します。

ESCP スイッチ

補足

- ・ [文字品位]、[縮小文字]、[文字コード表]、[ページ長] および [1 インチミシン目スキップ] の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■ 文字品位

文字の印字品質モードを [高品位] (初期値)、または [ドラフト] から選択します。

補足

- ・ 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。
- ・ 本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。
文字品位選択コマンドについては、商品マニュアルの『リファレンスマニュアル (ESC/P 対応)』を参照してください。

■ 縮小文字

1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字することができます。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

英数字を等倍で印字します。

[する]

英数字を縮小して印字します。

■ 文字コード表

1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。国内版アプリケーションをお使いの場合は [カタカナ] (初期値) に、海外版アプリケーションをお使いの場合は [拡張グラフィックス] に設定してください。

■ ページ長

1 ページの長さ (印字エリア) を [11 インチ] (初期値)、または [12 インチ] から選択します。

■ 1 インチミシン目スキップ

ページとページの間を、1 インチ空けるか空けないかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

ページとページの間を空けません。

[する]

ページとページの間を、1 インチ空けます。1 インチ空けるように設定すると、連続紙使用時のミシン目スキップのように、カット紙の場合でもページの間隔を 1 インチ空けて印字できます。

補足

- ・ [用紙位置] でカットシートフィーダーがなしに設定されている場合に、実行されます。

■ 給紙位置

印字開始位置を、用紙の上端からの長さで設定します。[8.5mm] (初期値)、または [22mm] から選択します。インチ表示の場合は、[0.3"] (初期値)、または [0.9"] から選択します。

■ CR の機能

CR コマンド受信時の動作を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[復帰] (初期値)

印字復帰だけを行います。

[復帰 / 改行]

印字復帰し、直後に改行を行います。

■ 0 の字体

数字の 0 の字体を、[斜線なし] (初期値) または [斜線あり] のどちらかに設定します。

■ バーコードモード

バーコードをプリントするときは、バーコードモードに設定することで、よりバーコードに適したプリントができます。

[無効] (初期値) または [有効] から選択します。

拡張子指定

指定した拡張子を有効にするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足

- ・ 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

拡張子文字

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ~ 0x7d です。初期値は、[&%] です。

補足

- ・ 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

フォーム合成

ESC/P および ART IV モードで登録されているフォーム名 (各モード No.01 ~ 64) を選択すると、常にフォーム合成を行います。初期値は、[しない] です。

補足

- ・ この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- ・ フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときには、そのフォーム名が表示されます。ただし、その表示状態から〈▼〉または〈▲〉ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
- ・ フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選択した場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージが表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー（No.01 ～ 20）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は、［工場出荷時］です。工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は、［工場出荷時］です。工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容を、ひとまとめにして登録します。

登録しておく、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

メモリー削除

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。



補足

- ・メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ～ [No.20] は表示されません。[メモリー登録はありません] というメッセージが表示されます。

エミュレーションモードのリストについて



参照

- ・その他のレポート / リストについては、「レポート / リストの種類」(P. 235) を参照してください。

ESC/P 設定リスト

ESC/P エミュレーションモードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [ESC/P 設定リスト] を選択し、プリントします。

フォントリスト

本機で利用できるフォントの一覧がプリントされます。ART IV、ESC/P で利用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [フォント リスト] を選択し、プリントします。

ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト

登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況などを確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [ユーザー定義リスト] を選択し、プリントします。

ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている No.01 ~ 20 の各設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [ESC/P 登録リスト] を選択し、プリントします。

ART-EX フォーム登録リスト

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [ART EX フォームリスト] を選択し、プリントします。

ESC/P モード関連資料

倍率値一覧表

固定倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	100	70	49	86	60	103	84	78	66	100
	短辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
A4	長辺	143	100	70	123	86	147	120	112	94	48
	短辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
A5	長辺	204	143	100	177	123	210	172	160	135	69
	短辺	207	145	100	178	124	195	149	149	149	65
B4	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
B5	長辺	164	116	81	143	100	171	140	130	109	56
	短辺	164	116	81	143	100	156	120	120	120	53
11×17	長辺	97	68	48	84	59	100	82	76	64	100
	短辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
8.5×14	長辺	119	83	58	102	72	122	100	93	78	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5×13	長辺	128	90	63	111	77	132	108	100	84	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5×11	長辺	152	106	74	131	92	156	128	119	100	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
ハガキ	長辺	100	100	145	100	178	100	100	100	100	100
	短辺	100	100	153	100	190	100	100	100	100	100

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
15×11	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
15×12	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
10×11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×12	長辺	135	95	66	117	81	139	114	105	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：[%]

① 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

固定倍率値（2 アップ指定時）

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	70	49	100	60	100	66	50	50	50	100
	短辺	70	48	100	60	100	72	59	54	45	100
A4	長辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
	短辺	100	69	48	86	59	103	84	78	65	100
A5	長辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
	短辺	145	100	69	124	86	149	121	112	94	47
B4	長辺	81	57	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	81	56	100	70	48	83	68	63	53	100
B5	長辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
	短辺	116	80	55	100	69	120	98	90	76	100
11×17	長辺	68	48	100	59	100	64	49	49	49	100
	短辺	74	51	100	64	100	77	62	58	48	100
8.5×14	長辺	83	58	100	72	50	78	60	60	60	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5×13	長辺	90	63	100	77	54	84	64	64	64	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5×11	長辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
	短辺	97	67	46	84	57	100	82	75	63	100
ハガキ	長辺	100	145	100	178	124	100	149	149	149	65
	短辺	100	153	105	190	131	100	185	172	144	71

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
15×11	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	60	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
15×12	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	100	100
	短辺	66	46	100	57	100	68	55	51	100	100
10×11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

💡 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	98	69	48	85	59	101	83	77	64	100
	短辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
A4	長辺	138	97	68	120	84	142	117	108	91	100
	短辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
A5	長辺	196	137	96	169	118	201	165	153	129	66
	短辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
B4	長辺	113	79	55	98	68	116	95	88	74	100
	短辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
B5	長辺	160	112	78	138	97	165	135	125	105	54
	短辺	158	110	76	136	95	149	114	114	114	50
11×17	長辺	95	67	47	82	57	98	80	74	63	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
8.5×14	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5×13	長辺	125	87	61	108	75	128	105	97	82	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5×11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
ハガキ	長辺	100	195	136	100	168	100	100	100	183	94
	短辺	100	201	139	100	173	100	100	100	207	91

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
15×11	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
15×12	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×11	長辺	147	103	72	127	89	151	115	124	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×12	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：[%]

① 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値（2 アップ指定時）

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	69	48	100	59	100	64	49	49	100	100
	短辺	68	47	100	58	100	70	57	53	100	100
A4	長辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
	短辺	96	66	46	82	57	99	80	74	62	100
A5	長辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
	短辺	136	84	65	117	80	140	114	106	88	100
B4	長辺	79	55	100	68	48	74	57	57	57	100
	短辺	78	54	100	67	46	81	66	61	51	100
B5	長辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
	短辺	110	76	53	95	65	114	93	86	72	100
11×17	長辺	67	47	100	57	100	63	48	48	48	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
8.5×14	長辺	81	47	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	93	50	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5×13	長辺	87	61	100	75	52	82	63	63	63	100
	短辺	93	64	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5×11	長辺	103	89	100	89	72	97	74	74	74	100
	短辺	93	80	100	80	55	96	78	72	61	100
ハガキ	長辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
	短辺	201	139	96	173	119	207	169	156	131	65

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
15×11	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
15×12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×12	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

💡 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

用紙サイズと印字可能桁数

給紙位置 22 mm の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	92	161	63
B4	97	78	139	53
A4	79	63	113	42
B5	68	53	97	35
A5	54	42	79	27
はがき	35	30	54	19
11×17	106	94	166	58
8.5×14	81	76	136	43
8.5×13	81	70	126	43
8.5×11	81	58	106	43

給紙位置 8.5 mm の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	95	161	66
B4	97	82	139	56
A4	79	66	113	45

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
B5	68	56	97	39
A5	54	45	79	31
はがき	35	30	54	19
11×17	106	98	166	62
8.5×14	81	80	136	47
8.5×13	81	74	126	47
8.5×11	81	62	106	47



補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ・ 縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。

カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	116	99	165	70
B4	101	85	143	60
A4	82	70	116	49
B5	71	60	101	42
A5	58	49	82	34
はがき	39	34	58	23
11×17	110	102	170	66
8.5×14	85	84	140	51
8.5×13	85	78	130	51
8.5×11	85	66	110	51



補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

15 インチ連続紙モード（横固定 / 左置き）の場合

用紙サイズ	15 x 11		15 x 12	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	136	66	136	72

 補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

10 インチ連続紙モード（縦固定 / 中央置き）の場合

用紙サイズ	10×11		10×12	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	80	66	80	72

 補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

10.9 PC-PR201H エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PC-PR201H エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
201H エミュレーションモード（201H モード）	PC-PR201H

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・LPD ポート
- ・IPP ポート
- ・USB ポート
- ・Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

PC-PR201H エミュレーション固有の項目を設定する画面です。PC-PR201H のモードメニュー画面を表示するには、**[1]〈仕様設定〉** ボタンを押し、**[プリント言語の設定]** で **[201H]** を選択してください。**[201H]** モードメニューの画面の最初は、次の画面が表示されます。

フォントについて

使用できるフォント

PC-PR201H エミュレーションでは、次のフォントが使用できます。

アウトラインフォント

和文

- ・明朝（平成明朝体 W3）
- ・明朝（平成明朝体 W3 拡張部）
- ・ゴシック（平成角ゴシック体 W5）
- ・ゴシック（平成角ゴシック体 W5 拡張部）
- ・TBMM（プロポーショナル用）
- ・TBGB（プロポーショナル用）

欧文

- ・平成明朝体 W3（ローマン）
- ・平成角ゴシック体 W5（サンセリフ）
- ・OCRBLetM

ユーザー定義文字（外字）

PC-PR201H エミュレーションモードでは、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。

ユーザー定義文字はメモリーに格納され、電源を切ると消去されます。

ユーザー定義文字を格納する容量は、操作パネルから設定できますが、ART IV のユーザー定義データの容量と合わせた値です。PC-PR201H エミュレーションモードでのユーザー定義文字の容量は変更されません。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

PC-PR201H エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろって、排出されます。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまったり、改ページコマンドが無いデータを受信すると、[自動排出時間] で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになってしまったりします。ディスプレイには [データ待ちです] が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たずに、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

💡 補足

- ・ ディスプレイに [データ待ちです] が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

📖 参照

- ・ 自動排出時間については「自動排出時間」(P. 131) を参照してください。

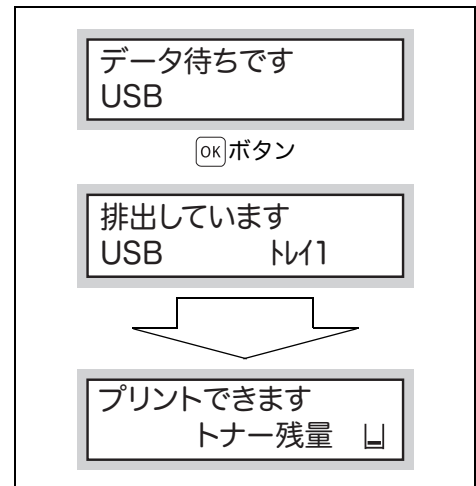
1. ディスプレイに右図の [データ待ちです] が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、[プリントできます] が表示されます。

❗ 注記

- ・ 共通メニュー項目の [プリントモード指定] が [自動] の場合、[データ待ちです] と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

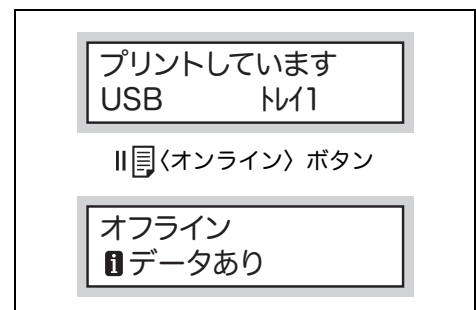
プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

1. ディスプレイに右図の [プリントしています] が表示されている状態で、**II (オンライン)** ボタンを押します。

💡 補足

- ・ **II (オンライン)** ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。



2.  ボタンを押します。
プリントが開始されます。

すべてのジョブを実行してプリントすると、[オフライン] の表示になります。

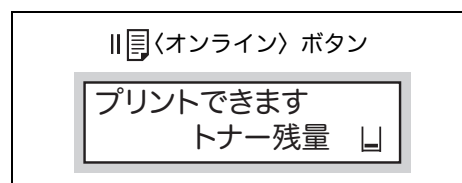
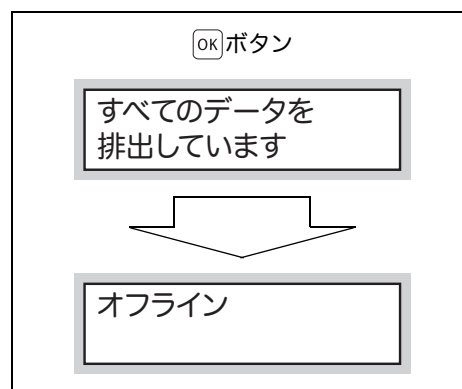
 補足

- ・ USB インターフェイスを使用している場合、手順 1 の  〈オンライン〉 ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは  ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順 3 のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3.  〈オンライン〉 ボタンを押します。
[プリントできます] の表示になります。

 補足

- ・ [プリントできます] 表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の [プリントモード指定] で [自動] が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。



エミュレーションモードでのプリント機能

PC-PR201H エミュレーションモードで利用できる、本機のプリント機能について説明します。

N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

PC-PR201H エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

PC-PR201H エミュレーションモードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。PC-PR201H、および ART IV のフォームが使用できます。

操作パネルから、合成するフォームを指定できます。

バーコード

PC-PR201H モードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- ・ Code39
- ・ JAN-8
- ・ JAN-13
- ・ NW-7 (CODEBAR)
- ・ ITF (Interleaved 2 of 5)
- ・ IDF (Industrial 2 of 5)
- ・ Matrix 2 of 5

フォームについて

本機では、PC-PR201H を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。

補足

- ・ フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
フォームが登録されたかどうかは、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

PC-PR201H に関連する共通メニュー

PC-PR201H に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

補足

■ ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100)
201H エミュレーションを使用するポートを起動します。
- ・ プリントモード指定 (LPD/IPP/USB/Port9100 (初期値: [自動]))
各ポートのプリントモード指定を、PC-PR201H エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [201H] や [HexDump] を指定できます。初期値はすべてのポートで [自動] です。

補足

- ・ [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [201H] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 368) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

■ フォームの削除

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

- ・ 201H フォーム削除
201H 用のフォームを削除します。

201H 設定項目一覧

補足

- ・ 装着されているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

候補値は次のとおりです。

[トレイ 1] (初期値)

[トレイ 2]
[トレイ 3]
[トレイ 4]
[手差しトレイ]
[自動]

補足

- ・ [トレイ 1] ～ [トレイ 4] を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため [用紙サイズ] の設定はできません。
- ・ [自動] に設定すると、[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。
- ・ [自動] を選択した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- ・ [トレイ 2] ～ [トレイ 4] は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動]、または [手差しトレイ] の場合に設定できます。設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は次のとおりです。

[A4] (初期値)
[A3] [A5]
[B4] [B5]
[はがき] (用紙トレイが [手差しトレイ] の場合だけ)
[11x17"] (タブロイド) [8.5x14"] (リーガル)
[8.5x13"] (フォリオ) [8.5x11"] (レター)

補足

- ・ [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動的に設定されます。ただし、45 ～ 210% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張 / 縮小されず等倍でプリントされます。
また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで倍率が自動設定されます。
- ・ [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

候補値は次のとおりです。

[用紙 ☐] (初期値)
[用紙 ☐]
[A4 ☐] [A4 ☐] [A3 ☐] [A3 ☐] [A5 ☐] [A5 ☐] [B4 ☐] [B4 ☐] [B5 ☐] [B5 ☐] [はがき ☐]
[はがき ☐]
[11x17" ☐] [11x17" ☐] (タブロイド)
[8.5x14" ☐] [8.5x14" ☐] (リーガル)
[8.5x13" ☐] [8.5x13" ☐] (フォリオ)
[8.5x11" ☐] [8.5x11" ☐] (レター)
[R15x12" ☐] (連続紙 15x12 印字保証桁 136 桁 /72 行)
[R15x11" ☐] (連続紙 15x11 印字保証桁 136 桁 /66 行)
[R10x12" ☐] (連続紙 10x12 印字保証桁 80 桁 /72 行)
[R10x11" ☐] (連続紙 10x11 印字保証桁 80 桁 /66 行)

補足

- ・ [原稿サイズ] で連続紙を選択した場合、[用紙位置] の設定はできません。
- ・ [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動設定されます。
また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで、倍率が自動設定されます。
- ・ ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- ・ [用紙□]、[用紙□] を選択した場合は、[用紙サイズ] で指定したサイズと同じになります。

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1 (初期値) ～ 250 部です。

補足

- ・ クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- ・ <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■ 部数の優先指定

プリント部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル]

[メモリー登録設定]

[コマンド] (初期値)

倍率

■ 固定倍率 (初期値)

設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら 100% (等倍) 印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ 任意倍率

任意の倍率値を設定します。縦および横について、それぞれ独立して 45 ～ 210% の間で 1% 単位で設定できます。初期値は [たて 100% よこ 100%] です。

■ カット紙全面

カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

補足

- ・ [原稿サイズ] で連続紙が設定されている場合、[固定倍率] または [カット紙全面] は同じ印字結果になります。
- ・ [任意倍率] の縦と横は、<▶> または <◀> ボタンでカーソルを移動し、指定してください。また、<▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

両面

両面プリントを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない] (初期値)

両面プリントを行いません。

[左右開き]

左右開きになるようにプリントします。

[上下開き]

上下開きになるようにプリントします。

補足

- ・ [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き] と [上下開き] は選択できません。

2 アップ

2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。用紙方向によって、上下、または左右のいずれかに印字されます。

候補値は次のとおりです。

[しない] (初期値)

2 アップ印字を行いません。

[順方向]

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の左側、または上側に印字します。

[逆方向]

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の右側、または下側に印字します。

注記

- ・ [原稿サイズ] で横向きを指定している場合、[順方向] と [逆方向] のどちらを設定しても、同じ結果となります。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)

[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できます。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 ( ボタンを押す) によって、プリントを開始する機能です。[する] または [しない] (初期値) から選択します。

フォント

■ 漢字書体

2 バイト系文字 (漢字) の書体を、[明朝] (初期値)、[ゴシック] のどちらかに設定します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

■ 英数字書体

1 バイト系文字 (ANK) の書体を、[ローマン] (初期値)、[サンセリフ] のどちらかに設定します。

補足

- ・本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には、反映されません。

参照

- ・「フォントについて」(P. 369)

用紙位置

用紙位置、およびシートフィーダー設定の有無を設定します。

候補値は次のとおりです。

[左] (初期値)

カットシートフィーダー設定をなしにし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[中央]

カットシートフィーダー設定をなしにし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

[S 左]

カットシートフィーダー設定をありにし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[S 中央]

カットシートフィーダー設定をありにし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

補足

- ・[原稿サイズ] で連続紙を選択している場合は、各原稿サイズによって [用紙位置] の値は固定となり、変更できません。
[R15x12"□]、[R15x11"□] の場合：[左]
[R10x12"□]、[R10x11"□] の場合：[中央]

位置補正

データをプリントする位置を上下、または左右方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ 上下方向

-250 ～ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。

インチ設定の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。

■ 左右方向

-250 ～ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。

インチ設定の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。

補足

- ・印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

罫線

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[イメージ] (初期値)

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。

罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。

選択した書体と統一した罫線が印字されます。

印字制御

■ 白紙節約

改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

[する] (初期値) または [しない] から選択します。

補足

- ・ [する] に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。
- ・ [する] が設定され、2 アッププリントまたは両面プリントの指示がされている場合は、白紙になるページはスキップして処理されます。

■ イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[する]

イメージエンハンス機能を使用して、プリントします。

[しない] (初期値)

イメージエンハンス機能を使用しないで、プリントします。

■ 印字桁範囲

右マージンの位置を拡張できます。

候補値は次のとおりです。

[標準] (初期値)

右マージン位置を 10dpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]

印字倍率の設定によって、10dpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- ・ [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- ・ コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

201H スイッチ

■ 国別文字

使用する文字を [日本] (初期値)、[アメリカ]、[イギリス]、[ドイツ]、[スウェーデン] の中から設定します。

■ 自動改行

右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。

候補値は次のとおりです。

[CR]

印字復帰だけを行います。

[CR/LF] (初期値)

印字復帰後に改行を行います。

■ 印字指令

印字指令のコマンドを設定します。

候補値は次のとおりです。

[CR] (初期値)

印字指令のコマンドを CR のみとします。

[すべて]

印字指令のコマンドを CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b とします。

■ CR の機能

CR コマンド受信時の動作を設定します。

候補値は次のとおりです。

[復帰] (初期値)

印字復帰だけを行います。

[復帰 / 改行]

印字復帰し、直後に改行を行います。

■ 0 の字体

数字の 0 の字体を、[斜線なし] (初期値) または [斜線あり] のどちらかに設定します。

■ グラフィックドット数

ドット対応のグラフィックドット数の種類を [ネイティブ] (初期値) か [コピー] に設定します。

補足

- ・ 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- ・ この設定は、8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。

■ データサイズ

データのビットサイズを [7 ビット] (初期値) か [8 ビット] に設定します。

■ ページ長

1 ページの長さ (印字エリア) を [11 インチ] (初期値) か [12 インチ] に設定します。

補足

- ・ 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

拡張子指定

指定した拡張子を有効にするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

- ・ 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

拡張子文字

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ~ 0x7d です。初期値は、[&%] です。

補足

- ・ 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

フォーム合成

201H および ART IV モードで登録されているフォーム名 (各モード No.01 ~ 64) を選択すると、常にフォーム合成を行います。初期値は、[しない] です。

補足

- ・この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- ・フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。ただし、その表示状態から〈▼〉または〈▲〉ボタン表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
- ・フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選択した場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージが表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー（No.01 ～ 05）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 05）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は [工場出荷時] です。工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は [工場出荷時] です。工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 05）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 05）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておくことで、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

メモリー削除

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足

- ・メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ～ [No.05] は表示されません。

201H モードのリストについて

PC-PR201H 設定リスト

201H モードでの設定を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [201H 設定リスト] を選択し、プリントします。

PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [201H 登録リスト] を選択し、プリントします。

フォントリスト

本機で利用できるフォントの一覧がプリントされます。201H で利用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [フォントリスト] を選択し、プリントします。

ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト

[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト] では、登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [ユーザー定義リスト] を選択し、プリントします。

201H モード関連資料

倍率値一覧表

固定倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
A3	長辺	100	86	70	60	49	100	103	84	78	66
	短辺	100	86	70	60	48	100	94	72	72	72
B4	長辺	116	100	81	70	57	100	119	98	90	76
	短辺	116	100	81	70	56	100	109	83	83	83
A4	長辺	143	123	100	86	70	48	147	120	112	94
	短辺	143	123	100	86	69	45	135	103	103	103
B5	長辺	164	143	116	100	81	56	171	140	130	109
	短辺	164	143	116	100	80	53	156	120	120	120
A5	長辺	204	177	143	123	100	69	210	172	160	135
	短辺	207	178	145	124	100	65	195	149	149	149
ハガキ	長辺	100	100	100	178	145	100	100	100	100	100
	短辺	100	100	100	190	153	100	100	100	100	100
11×17 (DL)	長辺	97	84	68	59	48	100	100	82	76	64
	短辺	106	92	74	64	51	100	100	77	77	77
8.5×14 (LG)	長辺	119	102	83	72	58	100	122	100	93	78
	短辺	139	120	97	84	67	100	131	100	100	100
8.5×13 (GG)	長辺	128	111	90	77	63	100	132	108	100	84
	短辺	139	120	97	84	67	100	131	100	100	100
8.5×11 (LT)	長辺	152	131	106	92	74	100	156	128	119	100
	短辺	139	120	97	84	67	100	131	100	100	100

単位：[%]

 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

固定倍率値（2 アップ指定時）

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ / 2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
A3	長辺	70	60	49	100	100	100	66	50	50	50
	短辺	70	60	48	100	100	100	72	59	54	45
B4	長辺	81	70	57	49	100	100	76	58	58	58
	短辺	81	70	56	48	100	100	83	68	63	53
A4	長辺	100	86	70	60	48	100	94	72	72	72
	短辺	100	86	69	59	48	100	103	84	78	65
B5	長辺	116	100	81	70	56	100	109	83	83	83
	短辺	116	100	80	69	55	100	120	98	90	76
A5	長辺	143	123	100	86	69	45	135	103	103	103
	短辺	145	124	100	86	69	47	149	121	112	94
ハガキ	長辺	100	178	145	124	100	65	100	149	149	149
	短辺	100	190	153	131	105	71	100	185	172	144
11×17 (DL)	長辺	68	59	48	100	100	100	64	49	49	49
	短辺	74	64	51	100	100	100	77	62	58	48
8.5×14 (LG)	長辺	83	72	58	50	100	100	78	60	60	60
	短辺	97	84	67	57	100	100	100	82	75	63
8.5×13 (GG)	長辺	90	77	63	54	100	100	84	64	64	64
	短辺	97	84	67	57	100	100	100	82	75	63
8.5×11 (LT)	長辺	106	92	74	64	51	100	100	77	77	77
	短辺	97	84	67	57	46	100	100	82	75	63

単位：[%]

 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

カット紙全面倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
A3	長辺	98	85	69	59	48	100	101	83	77	64
	短辺	97	84	68	58	47	100	91	70	70	70

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
B4	長辺	113	98	79	68	55	100	116	95	88	74
	短辺	112	97	78	67	54	100	105	81	81	81
A4	長辺	138	120	97	84	68	100	142	117	108	91
	短辺	137	118	96	82	66	100	129	99	99	99
B5	長辺	160	138	112	97	78	54	165	135	125	105
	短辺	158	136	110	95	76	50	149	114	114	114
A5	長辺	196	169	137	118	96	66	201	165	153	129
	短辺	195	168	136	117	94	62	183	140	140	140
ハガキ	長辺	100	100	195	168	136	94	100	100	100	183
	短辺	100	100	201	173	139	91	100	100	100	207
11×17 (DL)	長辺	95	82	67	57	47	100	98	80	74	63
	短辺	103	89	72	62	50	100	97	74	74	74
8.5×14 (LG)	長辺	116	100	81	70	57	100	119	98	90	76
	短辺	133	115	93	80	64	100	125	96	96	96
8.5×13 (GG)	長辺	125	108	87	75	61	100	128	105	97	82
	短辺	133	115	93	80	64	100	125	96	96	96
8.5×11 (LT)	長辺	147	127	103	89	72	100	151	124	115	97
	短辺	133	115	93	80	64	100	125	96	96	96

単位：[%]

💡 補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

カット紙全面倍率値（2 アップ指定時）

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ /2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
A3	長辺	69	59	48	100	100	100	64	49	49	100
	短辺	68	58	47	100	100	100	70	57	53	100
B4	長辺	79	68	55	48	100	100	74	57	57	57
	短辺	78	67	54	46	100	100	81	66	61	51
A4	長辺	97	84	68	58	47	100	91	70	70	70
	短辺	96	82	66	57	46	100	99	80	74	62
B5	長辺	112	97	78	67	54	100	105	81	81	81
	短辺	110	95	76	65	53	100	114	93	86	72

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ /2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
A5	長辺	137	118	96	82	66	100	129	99	99	99
	短辺	136	117	94	80	65	100	140	114	106	88
ハガキ	長辺	195	168	136	117	94	62	183	140	140	140
	短辺	201	173	139	119	96	65	207	169	156	131
11×17 (DL)	長辺	67	57	47	100	100	100	63	48	48	48
	短辺	72	62	50	100	100	100	74	60	56	47
8.5×14 (LG)	長辺	81	70	57	49	100	100	76	58	58	58
	短辺	93	80	64	55	100	100	96	78	72	61
8.5×13 (GG)	長辺	87	75	61	52	100	100	82	63	63	63
	短辺	93	80	64	55	100	100	96	78	72	61
8.5×11 (LT)	長辺	103	89	72	62	100	100	97	74	74	74
	短辺	93	80	64	55	100	100	96	78	72	61

単位：[%]



補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

連続紙全面倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
10×11"	長辺	147	127	103	89	72	50	151	124	115	97
	短辺	142	122	99	85	68	45	133	102	102	102
10×12"	長辺	135	117	95	81	66	46	139	114	105	89
	短辺	142	122	99	85	68	45	133	102	102	102
15×11"	長辺	119	103	83	72	58	100	122	100	93	78
	短辺	103	89	72	62	50	100	97	74	74	74
15×12"	長辺	119	103	83	72	58	100	122	100	93	78
	短辺	95	81	66	57	46	100	89	68	68	68

単位：[%]



補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

連続紙倍率値（2 アップ指定時）

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ / 2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
10×11"	長辺	103	89	72	62	50	100	97	74	74	74
	短辺	99	85	68	59	47	100	102	83	77	64
10×12"	長辺	95	81	66	57	46	100	89	68	68	68
	短辺	99	85	68	59	47	100	102	83	77	64
15×11"	長辺	83	72	58	100	100	100	78	60	60	60
	短辺	72	62	50	100	100	100	74	60	56	47
15×12"	長辺	83	72	58	100	100	100	78	60	60	100
	短辺	66	57	46	100	100	100	68	55	51	100

単位：[%]

補足

- ・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

用紙サイズと印字可能桁数

左置き、シートフィーダー設定なしの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	1	113	89	1	161	60
B4	1	97	76	1	139	51
A4	1	79	60	1	113	40
B5	1	68	51	1	97	33
A5	1	54	40	1	79	25
ハガキ	1	35	29	1	54	18
DL (11×17)	1	106	92	1	166	56
LG (8.5×14)	1	81	74	1	136	41
GG (8.5×13)	1	81	68	1	126	41
LT (8.5×11)	1	81	56	1	106	41

左置き、シートフィーダー設定ありの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	1	113	96	1	161	67
B4	1	97	83	1	139	58
A4	1	79	67	1	113	47
B5	1	68	58	1	97	40
A5	1	54	47	1	79	32
ハガキ	1	35	29	1	54	18
DL (11×17)	1	106	99	1	166	63
LG (8.5×14)	1	81	81	1	136	48
GG (8.5×13)	1	81	75	1	126	48
LT (8.5×11)	1	81	63	1	106	48

補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ・ 縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。
- ・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

中央置き、シートフィーダー設定なしの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	13	112	89	1	148	60
B4	21	96	76	1	137	51
A4	30	78	60	13	112	40
B5	35	68	51	21	96	33
A5	42	54	40	30	78	25
ハガキ	48	35	29	48	54	18
DL (11×17)	16	106	92	1	151	56
LG (8.5×14)	29	80	74	1	136	41
GG (8.5×13)	29	80	68	6	126	41
LT (8.5×11)	29	80	56	16	106	41

中央置き、シートフィーダー設定ありの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	13	112	96	1	148	67
B4	21	96	83	1	137	58
A4	30	78	67	13	112	47
B5	35	68	58	21	96	40
A5	42	54	47	30	78	32
ハガキ	48	35	29	48	54	18
DL (11×17)	16	106	99	1	151	63
LG (8.5×14)	29	80	81	1	136	48
GG (8.5×13)	29	80	75	6	126	48
LT (8.5×11)	29	80	63	16	106	48

💡 補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ・ 縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。
- ・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。
- ・ 中央置きの場合は、68 桁めと 69 桁めが用紙の中央になります。このため、印字桁数が 136 桁を超える場合（A3 横置きなど）、左端が 1 桁めよりも左になります。この場合、開始桁は 1 桁めになります。1 桁めよりも左側（0 桁めや -1 桁めなど）は印字できません。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

左置き、カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	1	116	99	1	165	70
B4	1	101	85	1	143	60
A4	1	82	70	1	116	49
B5	1	71	60	1	101	42
A5	1	58	49	1	82	34
ハガキ	1	39	34	1	58	23
DL (11×17)	1	110	102	1	170	66
LG (8.5×14)	1	85	84	1	140	51
GG (8.5×13)	1	85	78	1	130	51
LT (8.5×11)	1	85	66	1	110	51

 補足

・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

中央置き、カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	11	116	99	1	164	70
B4	19	100	85	1	142	60
A4	28	82	70	11	116	49
B5	34	70	60	19	100	42
A5	40	58	49	28	82	34
ハガキ	46	39	34	46	58	23
DL (11×17)	14	110	102	1	170	66
LG (8.5×14)	27	84	84	1	140	51
GG (8.5×13)	27	84	78	4	130	51
LT (8.5×11)	27	84	66	14	110	51

 補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。このため、印字桁数が 136 桁を超える場合（A3 横置きなど）、左端が 1 桁めよりも左になります。この場合、開始桁は 1 桁めになります。1 桁めよりも左側（0 桁めや -1 桁めなど）は印字できません。
- ・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

15 インチ連続紙モード（横固定 / 左置き）の場合

用紙サイズ	15×11			15×12		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	1	136	66	1	136	72

 補足

・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

10 インチ連続紙モード（縦固定 / 中央置き）の場合

用紙サイズ	10×11			10×12		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	29	80	66	29	80	72

補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。

リセット時の状態一覧

電源投入時や操作パネルからのシステムリセット時は、すべて立ち上げメモリーの設定内容になります。

参照

- ・ 立ち上げメモリー：「メモリーメニュー」(P. 379)

10.10HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
HP-GL エミュレーションモード（HP-GL モード）	7586B または DJ750C Plus
HP-GL/2 エミュレーションモード（HP-GL/2 モード）	DJ750C Plus

HP-GL モードの場合は、送られてくるデータによって、HP-GL モード、HP-GL/2 モードと HP-RTL を切り替えます。

HP-GL/2 モードの場合は、HP-GL/2 および HP-RTL 固定となります。

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・LPD ポート
- ・IPP ポート
- ・USB ポート
- ・Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

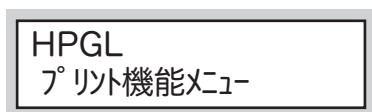
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

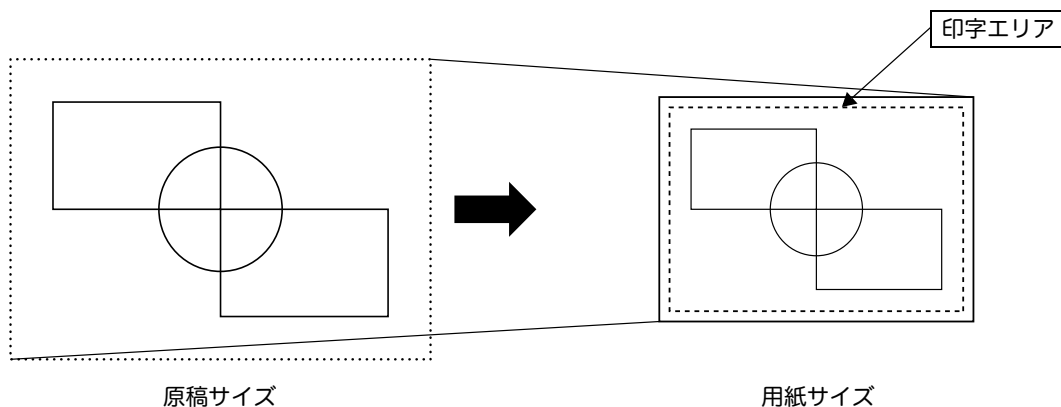
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。HP-GL、HP-GL/2 のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [HPGL] を選択してください。HP-GL のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



工場出荷時の設定

工場出荷時の、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定では、次のようにプリントされます。用紙サイズに合わせて、原稿データを縮小拡大し、プリント（オートレイアウト）するように設定されています。

原稿：自動、スケールモード：用紙サイズ、スケール：する



ペーパーマージン

工場出荷時は用紙サイズが [Aサイズ] に設定されています。少しでもプリントデータが有効座標エリアからはみ出す場合は、次の大きさの A 系列サイズに（例：A5 サイズの次は A4）プリントされます。ペーパーマージンを設定すると、エリア判定モードで求めた有効座標エリアから、ペーパーマージンで設定した領域を差し引いたエリアを有効座標エリアとします。希望の用紙サイズより大きいサイズにプリントされるような場合は、本設定を行ってください。設定範囲は、0 ～ 99 mm です。初期値は [0mm] です。インチ表示の場合、0 ～ 3.9" で、初期値は [0.0"] です。

フォントについて

使用できるフォント

HP-GL/2 エミュレーションでは、次のフォントが使用できます。

和文

- ・平成明朝体 W3
- ・平成角ゴシック体 W5

欧文

- ・平成明朝体 ローマン
- ・平成角ゴシック体サンセリフ

また、ストロークフォントでは、「欧文 + カタカナ」と日本語が使えます。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、ある期間、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードでは、送信データに排出コマンドに相当するコマンドが含まれなければ、データは排出されません。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、[自動排出時間] で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには [データ 待ちです] が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たずに、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

① 補足

- ・ディスプレイに [データ待ちです] が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

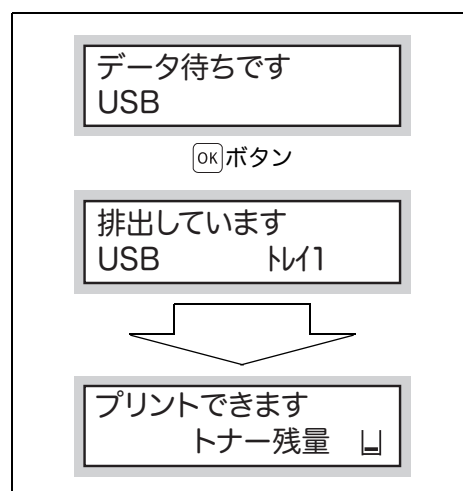
1. ディスプレイに右図の [データ待ちです] が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、[プリントできます] が表示されます。

② 注記

- ・共通メニュー項目の [プリントモード指定] が [自動] の場合、[データ待ちです] と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

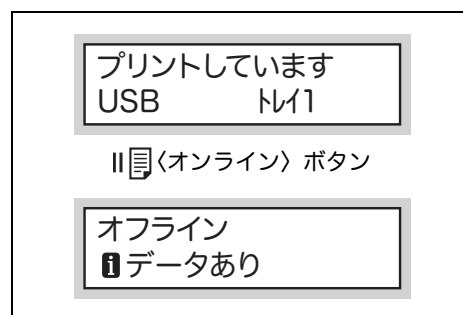
プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

1. ディスプレイに右図の「プリントしています」が表示されている状態で、「オンライン」ボタンを押します。

 補足

- ・ 「オンライン」ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

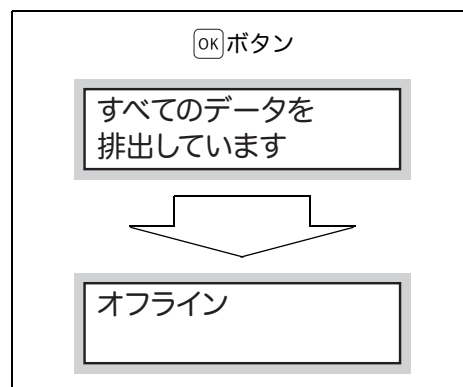


2.  ボタンを押します。
プリントが開始されます。

すべてのジョブを実行してプリントすると、「オフライン」の表示になります。

 補足

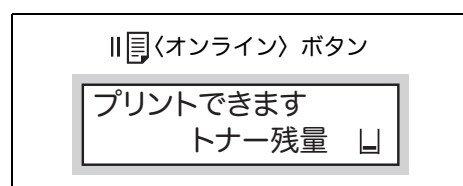
- ・ USBインターフェイスを使用している場合、手順1の 「オンライン」ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは  ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。



3. 「オンライン」ボタンを押します。
「プリントできます」の表示になります。

 補足

- ・ 「プリントできます」表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の「プリントモード 指定」で「自動」が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。



HP-GL、HP-GL/2 に関連する共通メニュー

HP-GL、HP-GL/2 に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

■ ネットワーク / ポート設定

「機械管理者メニュー」 > 「ネットワーク / ポート設定」で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）
エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- ・ プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100（初期値：[自動]））
各ポートのプリントモード指定を、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして「HP-GL/2」や「HexDump」を指定できます。初期値は、すべてのポートで「自動」です。

 補足

- ・ 「プリントモード指定」では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで「HP-GL/2」を設定すると、「プリント言語の切り替え」（P. 389）で説明している「自動切り替え」はできません。

■ メモリー設定

〔機械管理者メニュー〕 > 〔メモリー設定〕で、HP-GL/2 のオートレイアウトメモリーで使用するメモリー容量を指定します。

- ・HPGL オートレイアウトメモリー
オートレイアウト実行時、プリントデータを格納するメモリーの容量を設定できます。



- ・HPGL オートレイアウトメモリーについては、「HPGL オート レイアウトメモリー」(P. 182) を参照してください。

HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧



- ・装着されているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

候補値は次のとおりです。

〔自動〕(初期値)

〔用紙サイズ〕で設定した用紙がセットされている用紙トレイから自動給紙します。

〔トレイ 1〕

〔トレイ 2〕

〔トレイ 3〕

〔トレイ 4〕

〔手差しトレイ〕



- ・〔トレイ 1〕～〔トレイ 4〕を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、〔用紙サイズ〕の設定はできません。
- ・〔自動〕を選択した場合、同じサイズの用紙が、同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って、給紙されます。
- ・〔トレイ 2〕～〔トレイ 4〕は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。〔用紙トレイ〕の設定が〔自動〕、または〔手差しトレイ〕の場合に設定できます。また、設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は次のとおりです。

■ 〔用紙トレイ〕が〔自動〕のとき

〔A サイズ〕(初期値) 〔A4〕 〔A3〕 〔A5〕 〔B4〕 〔B5〕 〔自動〕



- ・〔原稿サイズ〕を〔自動〕以外に設定すると、〔自動〕、〔A サイズ〕は選択できません。

■ 〔用紙トレイ〕が〔手差しトレイ〕のとき

〔A4〕(初期値) 〔A3〕 〔A5〕 〔B4〕 〔B5〕

■ [用紙トレイ] が [トレイ 1] ~ [トレイ 4] のとき

設定しているトレイに、セットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。

補足

- ・ セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された、原稿のサイズを設定します。

候補値は次のとおりです。

[自動] (初期値)

[用紙]

この場合、[用紙サイズ] で設定したサイズになります。

[A0] [A1] [A2] [A3] [A4] [A5]

[B0] [B1] [B2] [B3] [B4] [B5]

この場合、[印字制御] の [スケールモード]、[エリア判定モード]、[ペーパーマージン] の設定が有効になります。

補足

- ・ [自動] 以外を選択すると、[オートレイアウト] の設定は、[しない] に変更されます。
- ・ [自動] 以外を選択すると、[スケールモード] の設定は、[用紙サイズ] に変更されます。

座標回転

プリントするときの用紙方向を設定します。

候補値は次のとおりです。

[0°] (初期値)

用紙方向を横長に設定します。

[90°]

用紙方向を縦長に設定します。

階調モード

階調モードを設定します。

候補値は次のとおりです。

[グレースケール] (初期値)

[黒ペン]

オートレイアウト

オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[する] (初期値)

[しない]

補足

- ・ [する] は、[原稿サイズ] で [自動] が選択されている場合にだけ表示されます。
- ・ [しない] を選択すると、[スケールモード] の設定は、[用紙サイズ] に変更されます。

パレット優先指定

使用するパレットを設定します。

候補値は次のとおりです。

[コマンド] (初期値)

[メモリー登録設定]

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1 ～ 250 部です。初期値は [1 部] です。

補足

- ・ クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

■ 部数の優先指定

プリントする部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル] (初期値)

[メモリー登録設定]

[コマンド]

両面

両面プリントを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない] (初期値)

両面プリントを行いません。

[左右開き]

左右開きになるようにプリントします。

[上下開き]

上下開きになるようにプリントします。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)

[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できます。

よこ原稿 180 度回転

よこ原稿を 180 度回転してプリントします。

候補値は次のとおりです。

[する]

180 度回転してプリントします。

[しない] (初期値)

180 度回転を行いません。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 ( ボタンを押す) によってプリントを開始します。[する] または [しない] (初期値) から選択します。

フォント

■ 漢字書体

2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]、[ゴシック]、[ストローク]（初期値）の中から設定します。

■ 英数字書体

1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ストローク]（初期値）、[ローマン]、[サンセリフ]の中から設定します。



・「フォントについて」(P. 390)

位置補正

ハードクリップエリアを移動します。

■ 上下方向

-250 ～ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。
インチ表示の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。

■ 左右方向

-250 ～ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。
インチ表示の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。



補足

- ・ 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- ・ 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

印字制御

■ HP-GL モード

グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GL コマンドの IW、OW、UC コマンドに影響します。

候補値は次のとおりです。

[HP-GL]（初期値）

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL を使用できます。送られてくるプリントデータによって自動で各言語を切り替えます。

[HP-GL/2]

HP-GL/2、HP-RTL を使用できます。



補足

- ・ BP コマンドがない HP-GL/2 データをプリントする場合は、[HP-GL/2] に設定してください。

■ ハードクリップ

印字可能領域を設定します。

HP-GL モードでは、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域は、ハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて、描画することはできません。

候補値は次のとおりです。

[標準]

A4、A3、レター、レジャーのハードクリップエリアは、日本ヒューレット・パッカード株式会社の HP7550A と同じです。

ほかの用紙サイズのハードクリップエリアは、本プリンターの印字可能エリアと同じです。

[用紙] (初期値)

用紙と同じサイズをハードクリップエリアとします。ただし、実際に印字できる範囲は、プリンターの印字可能エリアと同じです。

■ 排出コマンド

描画の終了を示すコマンド (SP、SP0、NR、FR、PG、AF、AH) について、[有効] または [無効] に設定します。ここで [有効] に指定したコマンドを受信すると、描画を終了し、用紙が排出されます。工場出荷時は、SP0 以外のコマンドは [無効] に設定されています。

補足

- ・複数のコマンドが指定された場合は、どれか 1 つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。

■ スケール

原稿サイズが用紙サイズに合うように、原稿サイズを拡大 / 縮小 (スケーリング) するかしないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない]

スケーリングしません。プリントデータは、等倍 (100%) でプリントされます。この場合、用紙サイズ内に、プリントデータが入りきらないことがあります。

[する] (初期値)

スケーリングします。

■ スケールモード

オートスケール実行時の原稿サイズを、A 系列の用紙サイズ (A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類) とするか、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアとするかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[用紙サイズ] (初期値)

原稿サイズは、A 系列の用紙サイズ (A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類) の中から自動的に選択されます。

[座標エリア]

原稿サイズは、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアから、ペーパーマージンを差し引いたエリアとします。

補足

- ・[原稿サイズ] で [自動] 以外が選択されている場合、[座標エリア] は選択できません。
- ・[座標エリア] は、[オートレイアウト] が [しない] の場合だけ設定できます。[する] の場合は、[用紙サイズ] になります。

■ エリア判定モード

オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[自動] (初期値)

有効座標エリア判定方法を、IW、IP、Adapted、PS の中から自動的に選択します。このときの優先順位は、PS > IW > IP > Adapted となります。

[IW]

データ中の最後の IW コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に IW コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[IP]

データ中のすべての IP コマンドで指定された領域を含むエリアを、有効座標エリアとします。データ中に IP コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[Adapted]

次の条件から、有効座標エリアを決定します。

- ・描画を行うコマンドがプロットする最大と最小の位置座標
- ・そのページ内に指定された最大の文字サイズ
- ・最大の線幅

[PS]

データ中の最初の PS コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に PS コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

■ ペーパーマージン

オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。

0 ～ 99 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。

インチ表示の場合、0 ～ 3.9" の範囲で、0.1" 刻みに設定できます。初期値は [0.0"] です。

補足

- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

参照

- ・「ペーパーマージン」(P. 390)

■ イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない]

[する] (初期値)

補足

- ・[スケールモード]、[エリア判定モード]、[ペーパーマージン] の設定は、[原稿サイズ] が [自動] の場合に有効となります。

■ エミュレーション対象

エミュレートするプリンターを設定します。

候補値は次のとおりです。

[HP750C] (初期値)

HP750C をエミュレートします。

[FX4036]

FX4036 をエミュレートします。

ペン属性

16 本のペン ([No.00] ～ [No.15]) の属性を設定します。

作図する線の太さや色を設定できます。

パレット優先設定でメモリー登録設定をしたときに有効になります。

■ 幅

ペンの幅 (太さ) を設定します。

0.0 ～ 25.5 mm の範囲で、0.1 mm 単位で設定できます。初期値は [0.3mm] です。

インチ表示の場合、0.00 ～ 1.00" の範囲で、0.01" 単位で設定できます。初期値は [0.01"] です。

補足

- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

- ・ 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小 0.1 mm (0.01") まで縮小します。
- ・ 線の幅は線の中心から太くなります。
- ・ 太さが 0.0 mm (0.00") の場合は、何も描画されません。

■ 先端

ペンの先端を設定します。

候補値は次のとおりです。

[切断] (初期値)

 ・ : 座標指定位置

[丸め]

 ・ : 座標指定位置

[矩形]

 ・ : 座標指定位置

■ 連結

ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

候補値は次のとおりです。

[なし] (初期値):  [切断]: 

[丸め]:  [交差]: 

💡 補足

- ・ [なし] は、処理時間がもっとも短く、確認用に適しています。
- ・ シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HP-GL コマンドです。

■ 濃度

ペンの濃度を設定します。0 ~ 100 の範囲で 5% 単位で設定します。No.00 ~ No.15 それぞれの初期値は、No.00 は 0、それ以外は 100 となります。

数値が小さくなるほど、濃度が薄くなります。

💡 補足

- ・ ペン属性と文字書体の関係は次のとおりです。

書体 ペン属性	ストローク	明朝、ゴシック、 ローマン、サンセリフ
幅	有効	無効
先端	有効	無効
連結	無効	
濃度	有効	

- ・ 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー (No.01 ~ 20) に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は［工場出荷時］で、工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は［工場出荷時］で、工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容を記憶している ROM と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておく、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

メモリー削除

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。



補足

- ・メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ～ [No.20] は表示されません。
- ・登録中、クライアントからのコマンドによって設定値が異なってしまうことがあるため、登録は 〈オフライン〉 ボタンを押してオフライン状態にしてから行うことをお勧めします。

HP-GL、HP-GL/2 モードのリストについて

HP-GL/2 設定リスト

HP-GL、HP-GL/2 モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [HP-GL/2 設定リスト] を選択し、プリントします。

HP-GL/2 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [HP-GL/2 登録リスト] を選択し、プリントします。

フォントリスト

本機で利用できるフォントの一覧がプリントされます。HP-GL/2 で利用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで [レポート / リスト] > [フォントリスト] を選択し、プリントします。

10.11 PCL エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PCL エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
PCL エミュレーションモード (PCL モード)	HP-CLJ5500

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。PCL に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・LPD ポート
- ・IPP ポート
- ・USB ポート
- ・Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。PCL のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [PCL] を選択してください。PCL のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

フォントについて

使用できるフォント

PCL エミュレーションで使用できるフォントは、PCL フォントリストをプリントすることで確認できます。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、再起動したりすると、消去されます。なお、PCL エミュレーションモードの場合は、ジョブの処理中以外はデータは保存されません。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

PCL エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまで、データは排出されません。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、[自動排出時間] で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには [データ待ちです] が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

補足

- ・ディスプレイに [データ待ちです] が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

参照

- ・自動排出時間については「自動排出時間」(P. 131) を参照してください。

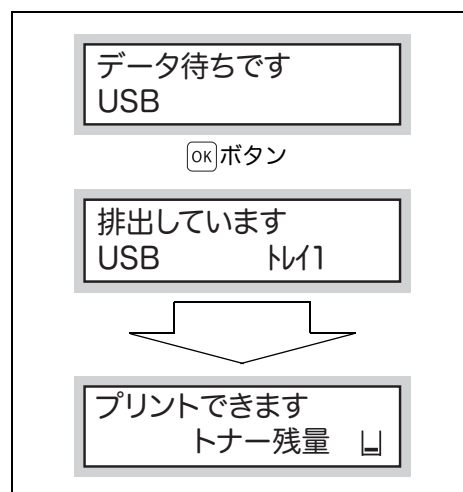
1. ディスプレイに右図の「データ待ちです」が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、「プリントできます」が表示されます。

注記

- ・ 共通メニュー項目の「プリントモード指定」が「自動」の場合、「データ待ちです」と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

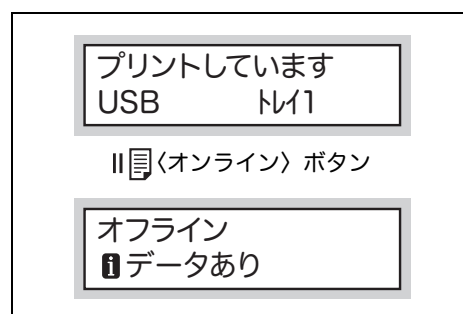
プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。操作手順は、次のとおりです。

1. ディスプレイに右図の「プリントしています」が表示されている状態で、**|||**〈オンライン〉 ボタンを押します。

補足

- ・ **|||**〈オンライン〉 ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

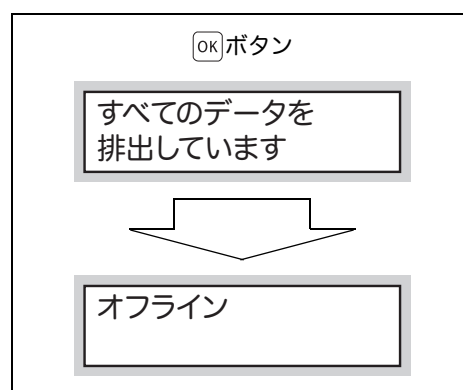


2. **OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

すべてのジョブのプリントが終了すると、「オフライン」が表示されます。

補足

- ・ USB インターフェイスを使用している場合、手順1の **|||**〈オンライン〉 ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは **OK** ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。



3. 〈オンライン〉 ボタンを押します。 [プリントできます] が表示されます。

補足

- ・ [プリントできます] 表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の [プリントモード指定] で [自動] が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。

〈オンライン〉 ボタン

プリントできます
トナー残量 

エミュレーションモードでのプリント機能

PCL エミュレーションモードで利用できる、本機のプリント機能について説明します。

バーコード

PCL エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- ・ Code39
- ・ JAN-8
- ・ JAN-13
- ・ NW7 (CODEBAR)
- ・ Code 128
- ・ ITF (Interleaved 2 of 5)
- ・ Post (Japanese postal Customer Code)
- ・ QR Code
- ・ OCR-B

PCL に関連する共通メニュー

PCL に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

■ ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、PCL エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100)
PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- ・ プリントモード指定 (LPD/IPP/USB/Port9100)
各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [PCL]、または [自動] を選択します。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- ・ [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [PCL] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 401) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■ 初期化 / データ削除

- ・ PCL マクロ削除
[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] > [PCL マクロ削除] で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
- ・ PCL フォント削除
[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォント削除] > [PCL フォント削除] で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。

PCL 設定項目一覧

補足

- ・ 装着されているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[自動] (初期値)

[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイから自動給紙します。

[トレイ 1]

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[手差しトレイ]

補足

- ・ [自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- ・ [トレイ 2] ～ [トレイ 4] は、オプショントレイが装着されている場合にのみ表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[A4] (初期値)

[A3] [A5] [B4] [B5]

[8.5×11"] (レター)

[8.5×13"] (フォリオ)

[8.5×14"] (リーガル)

[7.25×10.5"]

[11×17"]

[定形外]

補足

- ・ [定形外] を選択した場合は、さらに [たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。

用紙サイズ (手差し)

手差しトレイを使ってプリントする用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[A4] (初期値)

[A3] [A5] [A6] [B4] [B5] [B6]

[はがき] [往復はがき] [封筒長型 3]

[8.5×11"] (レター)

[8.5×13"] (フォリオ)

[8.5×14"] (リーガル)

[5.5×8.5"] [7.25×10.5"] [8×10"]

[11×17"] (タブロイド)

[12x18"]
[八開 (267x388mm)]
[十六開 (194x267mm)]
[封筒モナーク] [封筒 #10] [封筒 DL] [封筒 C5] [定形外]

補足

- ・ [定形外] を選択した場合は、[たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)
[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できます。

印刷方向

用紙のプリント方向を [たて] (初期値)、または [よこ] から選択します。

両面

両面プリントをするかしないかを、[する]、または [しない] (初期値) で設定します。

両面プリントを [する] に設定した場合は、とじ方向を [長辺とじ] (初期値)、または [短辺とじ] から選択できます。

補足

- ・ [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き] と [上下開き] は選択できません。

フォント

使用するフォントを設定します。初期値は、[Courier] です。

シンボルセット

使用する記号用フォントを設定します。初期値は、[ROMAN-8] です。

フォントサイズ

フォントサイズを設定します。初期値は、[12.00] です。4.00 ～ 50.00pt の範囲で 0.25pt 刻みに設定できます。

フォントピッチ

文字間を設定します。初期値は、[10.00] です。6.00 ～ 24.00cpi の範囲で 0.01cpi 単位で設定できます。

フォームライン

フォームライン (1 フォームあたりの行数) を設定します。初期値は、[64] です。5 ～ 128 行の範囲で、1 行単位で設定できます。

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1 ～ 999 部です。初期値は [1 部] です。

補足

- ・ クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- ・ 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■ 部数の優先指定

プリント部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル] (初期値)

[メモリー登録設定]

[コマンド]

ImageEnhancement (イメージエンハンス)

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うかどうかを、[有効] (初期値)、または [無効] で設定します。

HexDump

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを、16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントする機能です。HexDump でのプリントをするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。

ドラフトモード

ドラフトモードでは、トナーを節約してプリントします。品質は低下しますが、高速でプリントできます。ドラフトモードでのプリントをするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。

Line Termination

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

候補値とその動作は、次のとおりです。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない (初期値)	CR	LF	FF
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

PCL モードのリストについて

参照

- ・ その他のレポート / リストについては、「8.2 レポート / リストをプリントする」(P. 235) を参照してください。

PCL 設定リスト

PCL モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [PCL 設定リスト] を選択し、プリントします。

PCL フォントリスト

PCL で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [PCL フォント リスト] を選択し、プリントします。

PCL マクロ登録リスト

本機の機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）にダウンロードされた、PCL マクロに関する情報がプリントされます。マクロ名、マクロ ID、バイト数が確認できます。

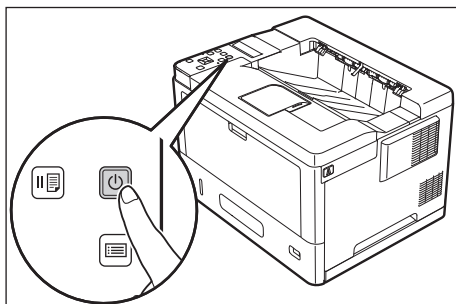
操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [PCL マクロ リスト] を選択し、プリントします。

10.12無線 LAN キット（オプション）の取り付け

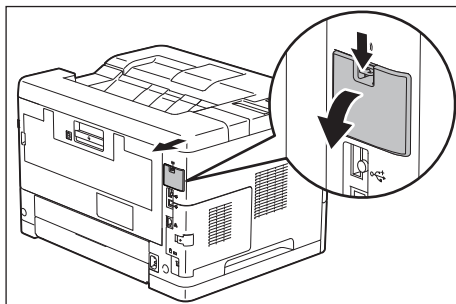
1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

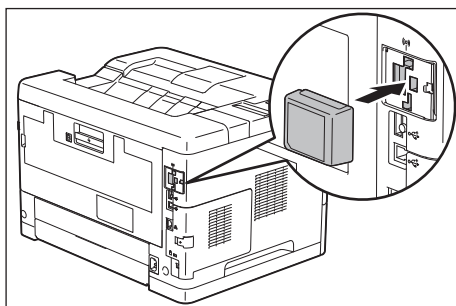
- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



2. 無線 LAN キットソケットのカバーを取り外します。

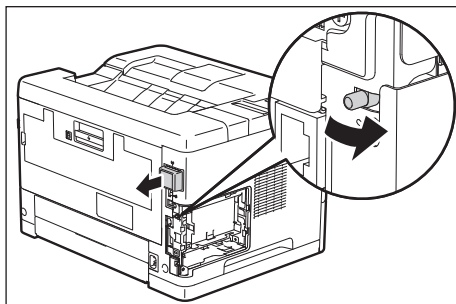


3. 無線 LAN キットのコネクターを無線 LAN キットソケットに差し込みます。



💡 補足

- ・ 無線 LAN キットを取り外す場合は、左カバーを外し、ロックレバーを引いて、無線 LAN キットを取り外してください。



10.13トレイモジュール（オプション）の取り付け

ここでは、トレイモジュールを3段（用紙トレイ2～4）取り付ける場合を例に説明します。

注記

- ・ 本機の設置後にトレイモジュールを取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

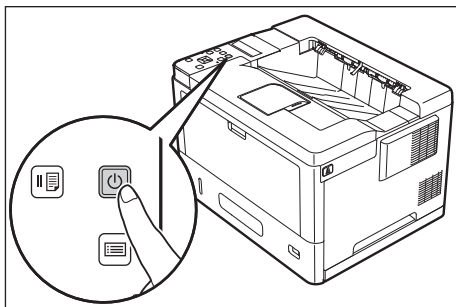
補足

- ・ トレイモジュールは3台まで本機に取り付けられます。必要に応じて複数のモジュールを準備してください。
- ・ トレイモジュール（550）の下段に、トレイモジュール（250）は設置できません。

1. 本機の電源を切ります。

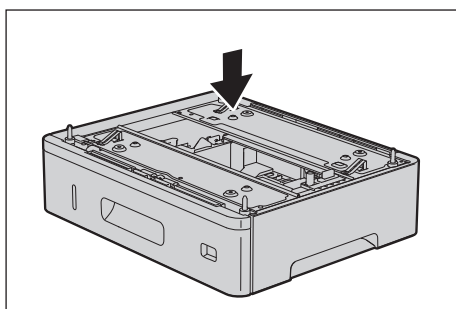
補足

- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18)を参照してください。

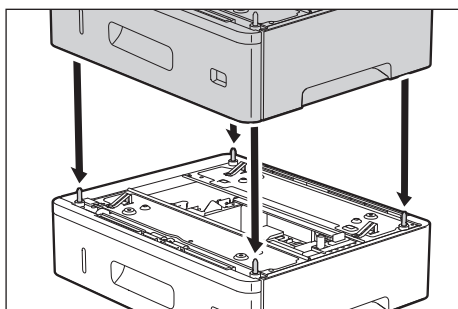


2. 一番下になるトレイモジュールを設置場所に置きます。

トレイモジュールを1台だけ取り付ける場合は、手順11に進みます。

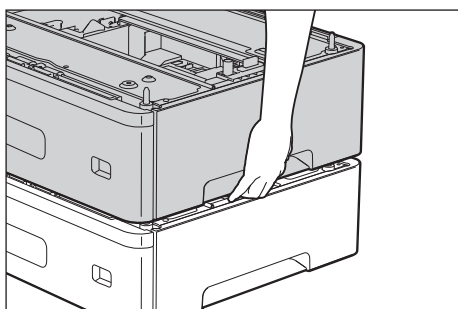


3. 上下のトレイモジュールの角を合わせ、下のトレイモジュールのガイドピン 4 箇所が上のトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。

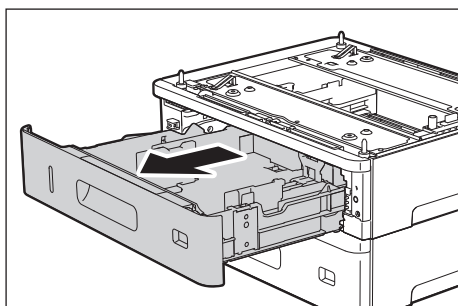


注記

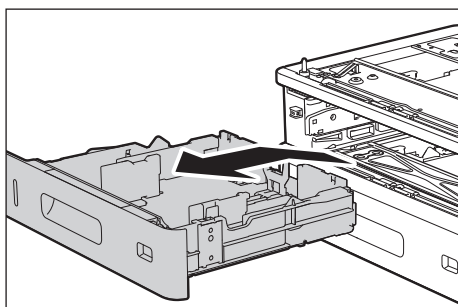
- ・トレイモジュールを下ろすときに、指をはさまないようご注意ください。



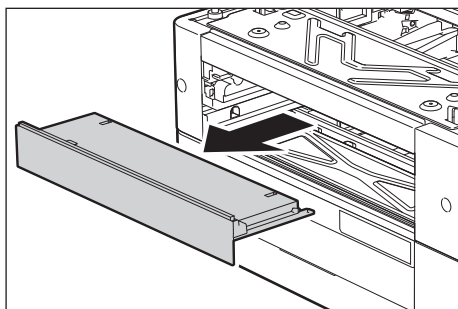
4. 上のトレイモジュールからトレイを引き出します。



5. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



6. 上のトレイモジュールからダストカバーを取り外します。



7. トレイモジュールに付属のネジ 4 本をコインなどで締め、上のトレイモジュールを下のトレイモジュールに固定します。

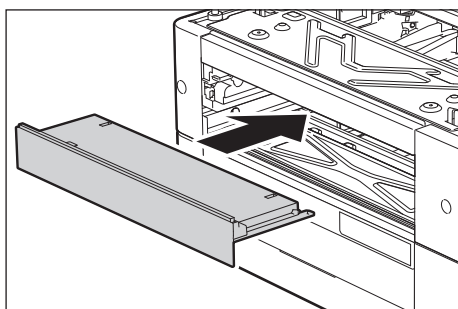


正面側

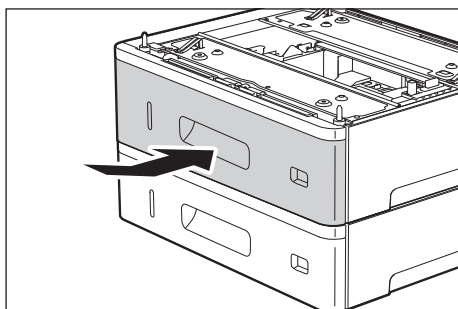


背面側

8. ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。



9. トレイモジュールにトレイを差し込み、止まるまで押し込みます。



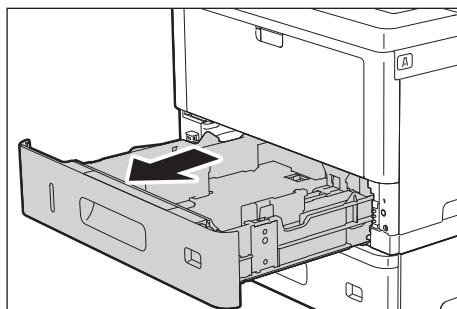
10. さらにトレイモジュールを取り付ける場合は、手順 3 ～ 9 を繰り返します。

11. 本機を持ち上げ、トレイモジュールのガイドピン 4 箇所が本機底面の穴に入るように、ゆっくりと下ろします。

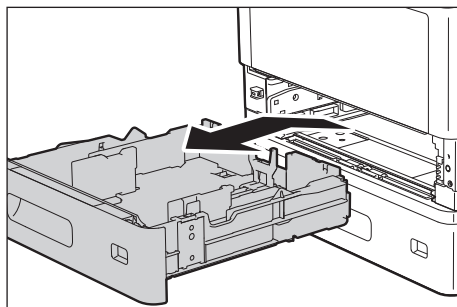
❗ 注記

・ 本機を下ろすときに、指をはさまないようご注意ください。

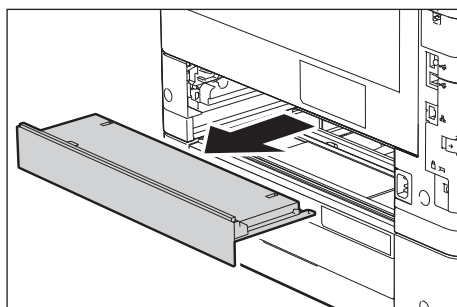
12. 用紙トレイ 1 を引き出します。



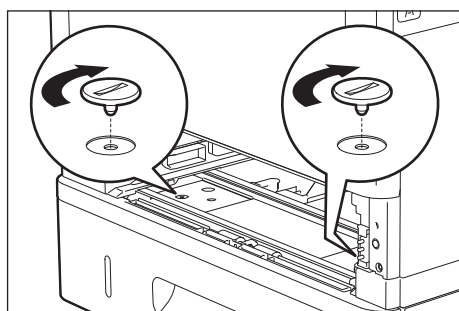
13. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



14. ダストカバーを取り外します。



15. トレイモジュールに付属のネジ 4 本をコインなどで締め、本機をトレイモジュールに固定します。

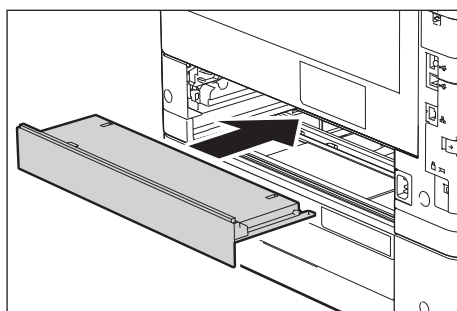


正面側

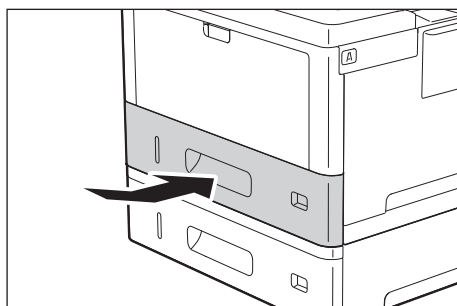


背面側

16. ダストカバーを本機に取り付けます。



17. 本機に用紙トレイ 1 を差し込み、止まるまで押し込みます。

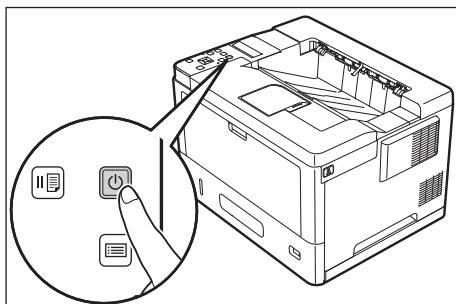


10.14フェイスアップトレイ（オプション）の取り付け

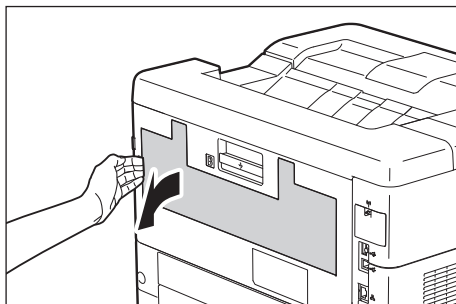
1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

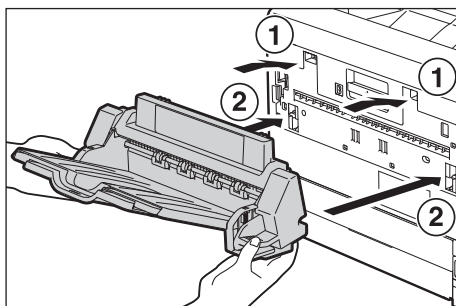
- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



2. 本機背面の背面排出カバーを取り外します。

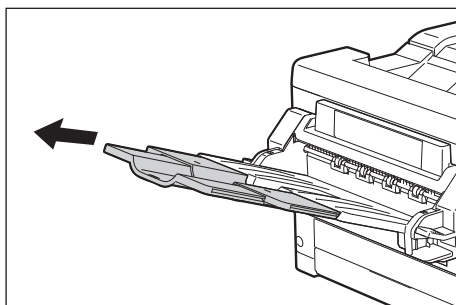


3. フェイスアップトレイの両端のグリップを持ち、本機の背面の穴に上側のツメから差し込み (①)、下側のツメもカチッと音が鳴るまで差し込みます (②)。



💡 補足

- ・ 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは2段階に引き出せます。



10.15専用キャスター台（オプション）の取り付け

ここでは、トレイモジュール（オプション）を取り付ける場合を例に説明します。本機の直下に取り付ける場合の手順も同じです。次の手順の「トレイモジュール」を「本機」に読み替えてください。

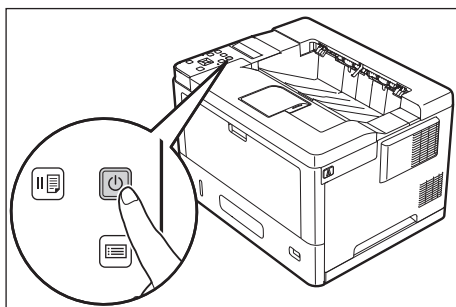
❗ 注記

- ・ 本機の設置後に専用キャスター台を取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



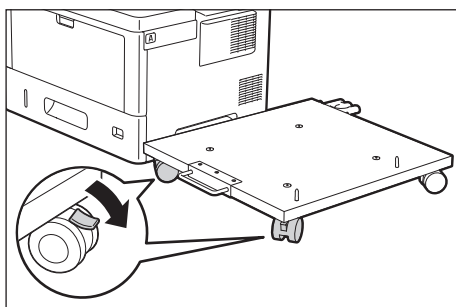
2. 専用キャスター台を平らな場所に置き、前方 2 箇所にある移動防止用ストッパーをロックします。

❗ 注記

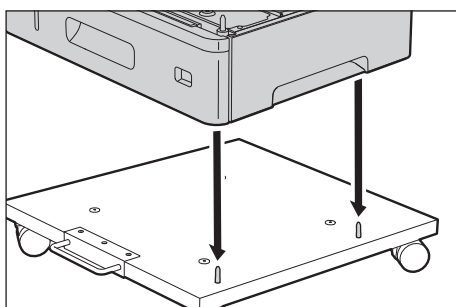
- ・ ストッパーをロックしないと、思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

💡 補足

- ・ 専用キャスター台は、取っ手が付いているほうを前面にしてください。



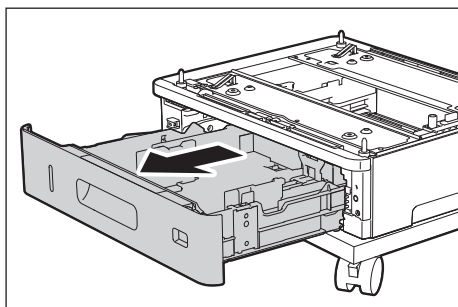
3. 専用キャスター台の位置合わせラベルとトレイモジュールの前面の角を合わせ、専用キャスター台の 2 箇所のガイドピンがトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。



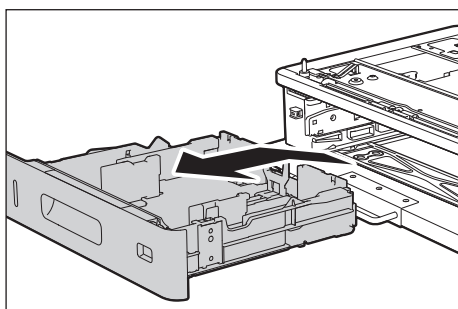
注記

- ・トレイモジュールを下ろすときに、指をはさまないようご注意ください。

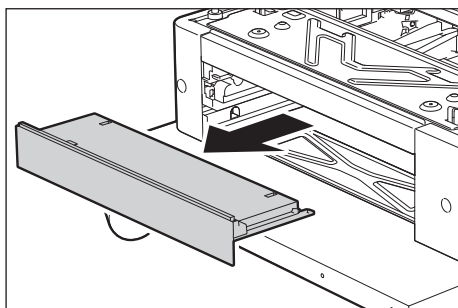
4. トレイモジュールからトレイを引き出します。



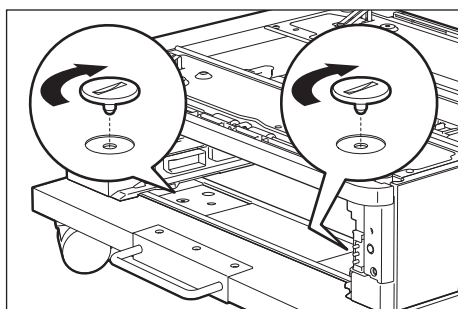
5. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



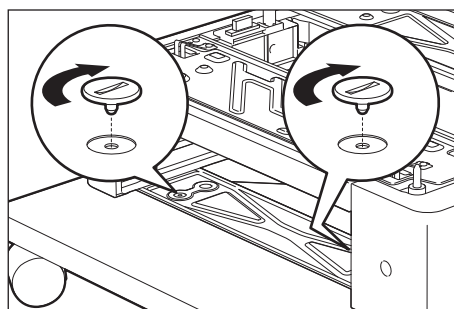
6. トレイモジュールからダストカバーを取り外します。



7. 専用キャスター台に付属のネジ 4 本をコインなどで締め、トレイモジュールを専用キャスター台に固定します。

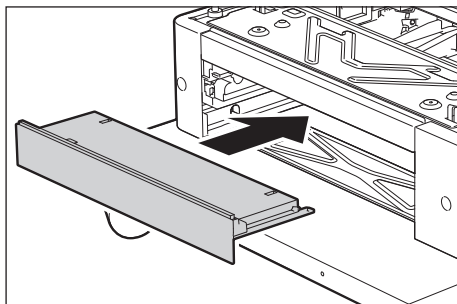


正面側

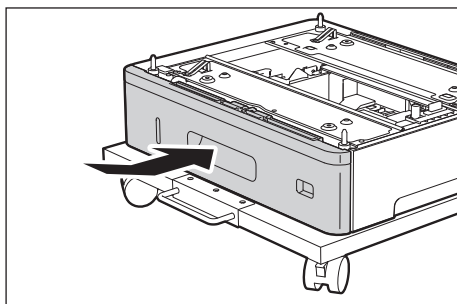


背面側

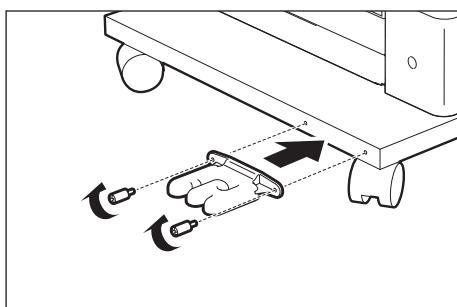
8. ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。



9. トレイモジュールにトレイを差し込み、止まるまで押し込みます。

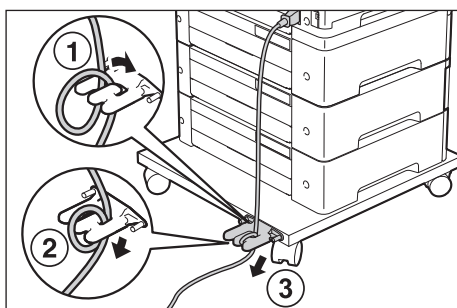


10. ケーブルフックを付属のネジで専用キャスター台の背面に取り付けます。



💡 補足

- ・ ケーブルフックの使いかた
電源コードをケーブルフックに図のように巻き付けます (①、②)。電源コードはたるみのないように下に引っ張ります (③)。



⚠ 注記

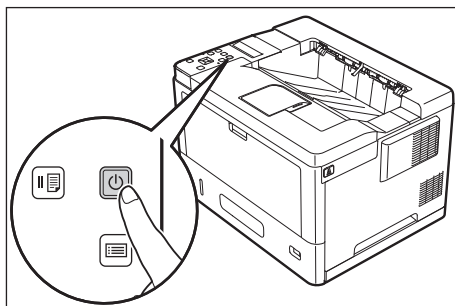
- ・ 本機を移動するときは、電源コードを踏まないように注意してください。

10.16 Adobe® PostScript® ソフトウェア キット（オプション）のインストール

1. 本機の電源を切ります。

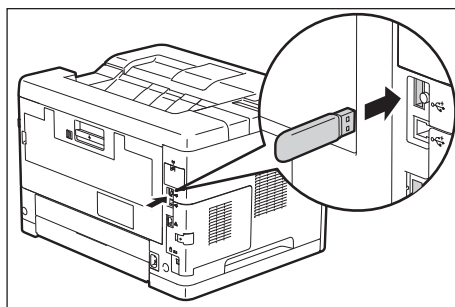
💡 補足

- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



2. Adobe® PostScript® ソフトウェアキットを用意します。

3. キャップを外し、本機背面の USB インターフェイスコネクタ（上側）に挿入します。



4. 本機の電源を入れます。

これで、Adobe® PostScript® ソフトウェアキットのインストール準備は完了です。

続けて、操作パネルで、Adobe® PostScript® ソフトウェアキットの機能を有効に設定します。

5. 操作パネルの 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

6. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

7. 〈▶〉 または ボタンを押します。 [ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

8. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
9. 〈▶〉または ボタンを押します。
[音の設定] が表示されます。
10. [ソフトウェアオプション] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
11. 〈▶〉または ボタンを押します。
[有効化] が表示されます。
-  **補足**
- ・ [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、正しく Adobe® PostScript® ソフトウェアキットが取り付けられていません。Adobe® PostScript® ソフトウェアキットを取り付け直してください。
12. ボタンを押します。
[[OK] で有効化開始] が表示されます。
13. ボタンを押します。
有効化処理が開始されます。
14. [有効化しました] と表示されたら、 〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。
15. Adobe® PostScript® ソフトウェアキットを取り外します。

機械管理者にユー
システム設定

システム設定
音の設定

システム設定
ソフトウェア オプション

ソフトウェア オプション
有効化

ソフトウェア オプション
[OK] で有効化開始

ソフトウェア オプション
有効化処理中です

ソフトウェア オプション
有効化しました

10.17機能拡張キット（ハードディスク） （オプション）の取り付け

機能拡張キット（ハードディスク）を取り付けると、次の機能が利用できます。

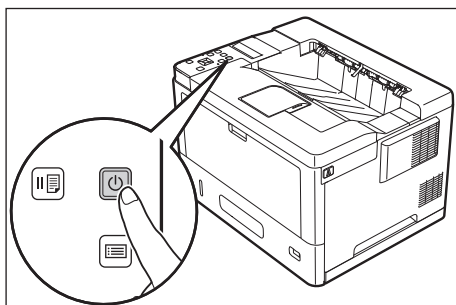
サンプルプリント / セキュリティープリント / メール受信プリント / 認証プリント / 時刻指定プリント / オンデマンドプリント / フォントダウンロード / フォーム、ロゴ登録 / 電子ソート / セキュリティ拡張キットの機能 / IEEE 802.1x 認証機能 / IPsec の証明書機能 / ThinPrint 機能 / IC カード読み取り装置の機能*

* IC カード読み取り装置（オプション）が必要です。

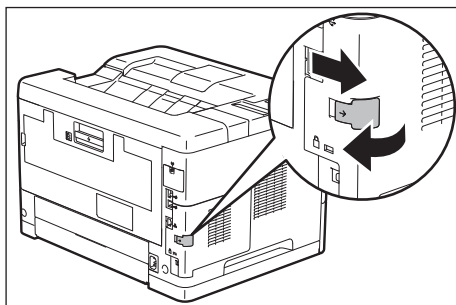
1. 本機の電源を切ります。



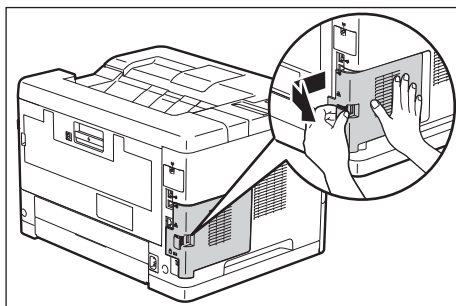
- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



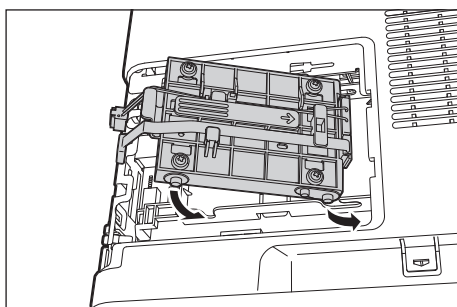
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



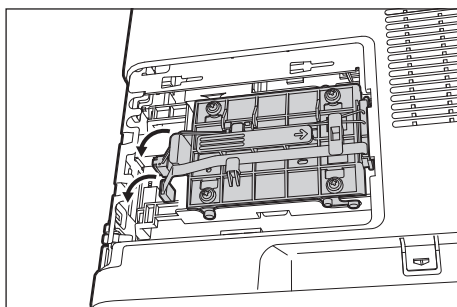
3. 左カバーを片方の手で押さえながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、左カバーを取り外します。



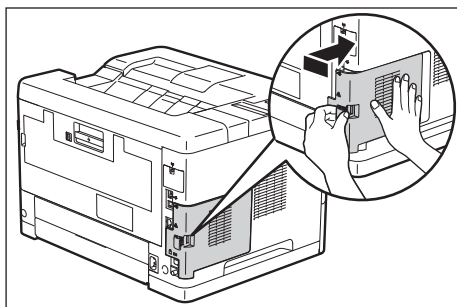
4. ハードディスクをコントローラーボード上のフレームに差し込みます。ハードディスクの突起部をフレームのくぼみに正しくはめてください。



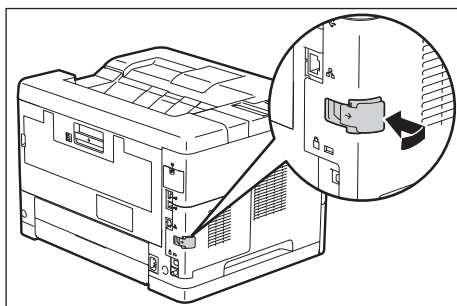
5. ハードディスクのコネクターケーブルを、コントローラーボード上のコネクターに接続します。



6. 左カバーを取り付け、左カバーを本機の前方向にスライドさせます。



7. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。

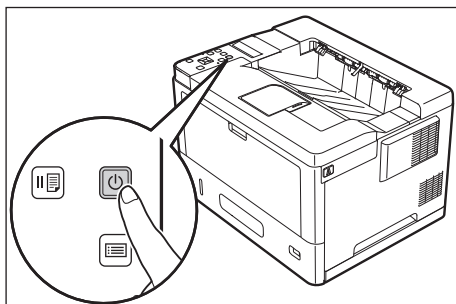


10.18セキュリティ拡張キット（オプション）のインストール

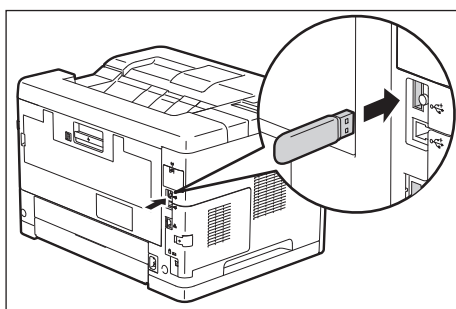
1. 本機の電源を切ります。

補足

- ・電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18)を参照してください。



2. セキュリティ拡張キットを用意します。
3. キャップを外し、本機背面の USB インターフェイスコネクタ（上側）に挿入します。



4. 本機の電源を入れます。

これで、セキュリティ拡張キットのインストール準備は完了です。
続けて、操作パネルで、セキュリティ拡張キットの機能を有効に設定します。手順 5 に進みます。

5. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定 レポート / リスト

6. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定 機械管理者メニュー

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー ネットワーク / ポート設定

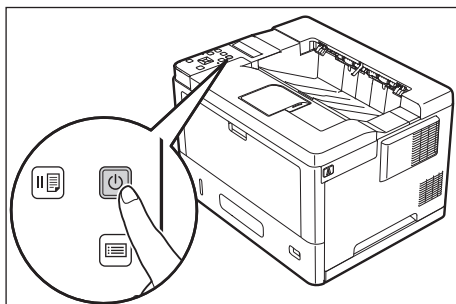
8. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
- 機械管理者メニュー
システム設定
9. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[音の設定] が表示されます。
- システム設定
音の設定
10. [ソフトウェアオプション] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
- システム設定
ソフトウェア オプション
11. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[有効化] が表示されます。
- ソフトウェア オプション
有効化
-  **補足**
- ・ [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、正しくセキュリティ拡張キットが取り付けられていません。セキュリティ拡張キットを取り付け直してください。
12. ボタンを押します。
[[OK] で有効化開始] が表示されます。
- ソフトウェア オプション
[OK] で有効化開始
13. ボタンを押します。
有効化処理が開始されます。
- ソフトウェア オプション
有効化処理中です
14. [有効化しました] と表示されたら、 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。
- ソフトウェア オプション
有効化しました
15. セキュリティ拡張キットを取り外します。

10.19 セカンダリーイーサネットキット（オプション）の取り付け

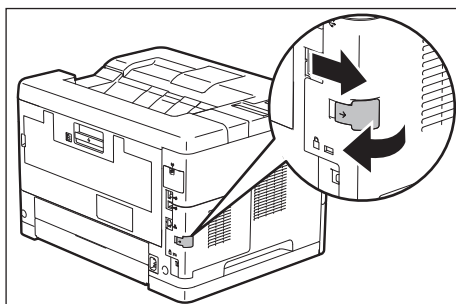
1. 本機の電源を切ります。

補足

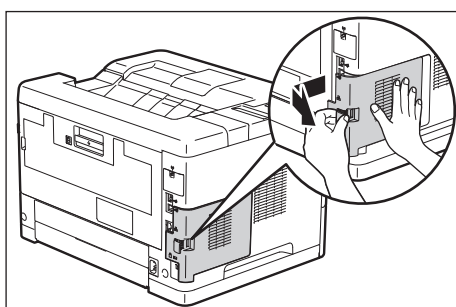
- ・電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18)を参照してください。



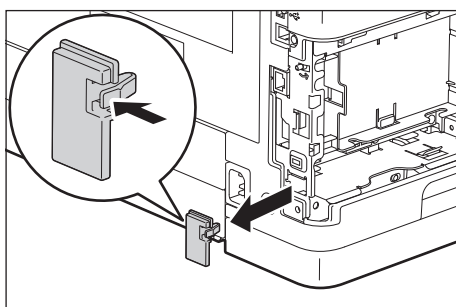
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



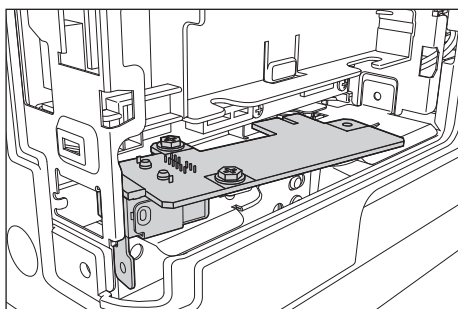
3. 左カバーを片方の手で押さえながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、左カバーを取り外します。



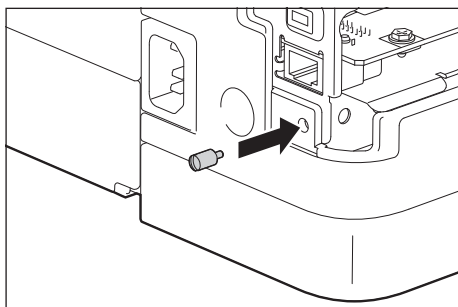
4. つまみを押しながら、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



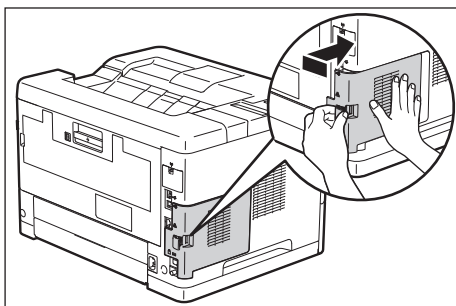
5. コネクターを本機背面のフレームに合わせてから、右側の端子をコントローラーボードのコネクターに差し込みます。



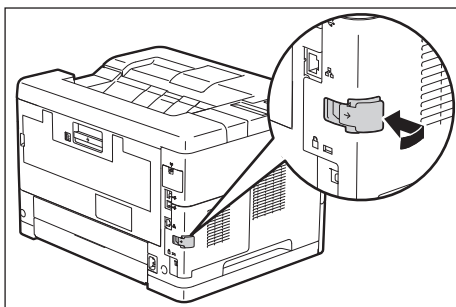
6. 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットキットを固定します。



7. 左カバーを取り付け、左カバーを本機の前方向にスライドさせます。



8. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



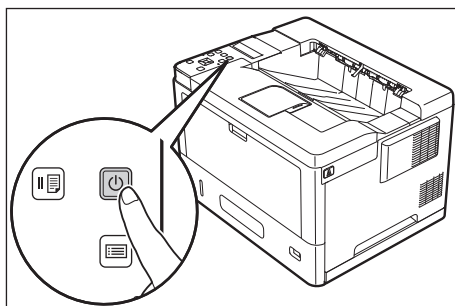
10.20地震対策キット（バンドタイプ）（オプション）の取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。

2. 本機の電源を切ります。

💡 補足

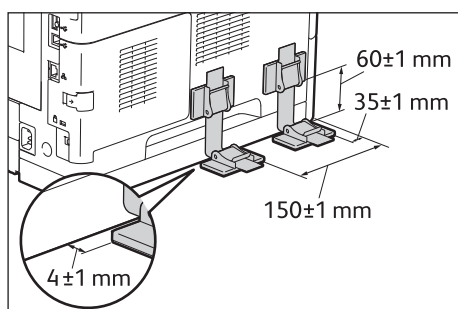
・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



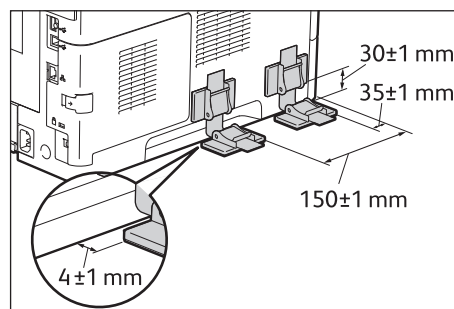
3. 本機と接地面の、留め具を取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。

4. 留め具の粘着パッドの剥離紙をはがします。

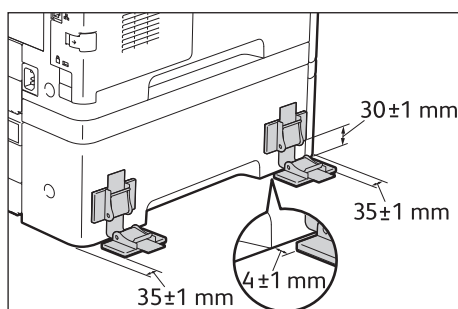
5. 接地面側に留め具を貼り付けます。



DocuPrint 4400 d
トレイモジュール（オプション）非装着時



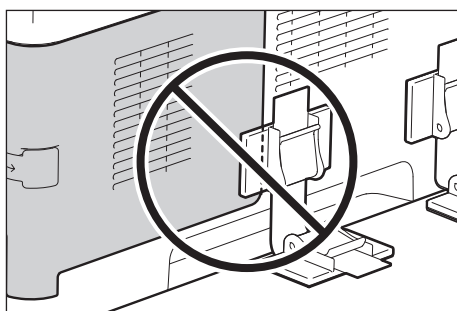
DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d
トレイモジュール（オプション）非装着時



トレイモジュール（オプション）装着時

注記

- ・ 左カバーをふさがないように貼り付けてください。



6. ベルトがたるまないようにして、本機側にもう一方の留め具を貼り付けます。

補足

- ・ ベルトがたるんだ場合は、本機側の留め具のロックレバーを解除してベルトを引っ張り、再度留め具を固定します。

7. 手順 4 ～ 6 を繰り返し、本機の左側面と右側面の合計 4 箇所で固定します。

8. 留め具を強く押してしっかり接着し、24 時間放置します。

補足

- ・ 留め具の使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

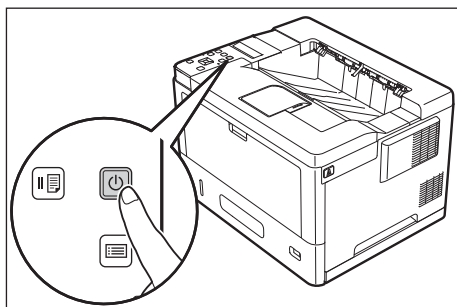
10.21地震対策キット（ゲルタイプ）（オプション）の取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。

2. 本機の電源を切ります。

💡 補足

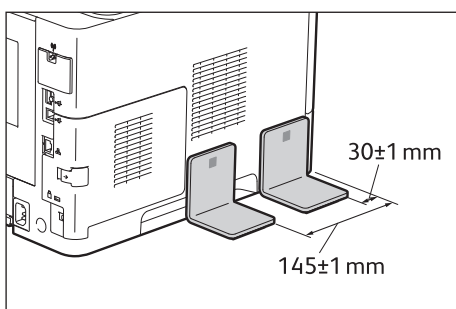
- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.18) を参照してください。



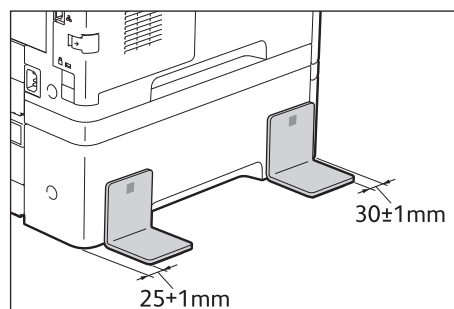
3. 本機と接地面の、ゲルを取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。

4. ゲルの剥離紙をはがします。

5. 次の位置にゲルを貼り付けます。マークがあるほうを本機側に貼り付け、本機の左側面と右側面の合計 4 箇所で固定します。



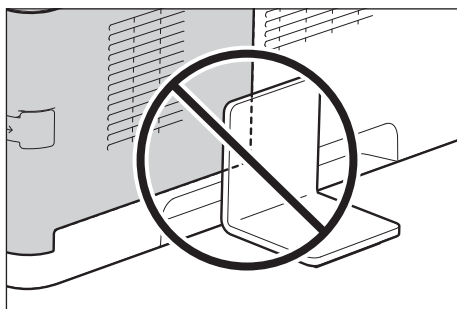
トレイモジュール（オプション）非装着時



トレイモジュール（オプション）装着時

⚠ 注記

- ・ 左カバーをふさがないように貼り付けてください。



6. ゲルを強く押してしっかり接着し、24 時間放置します。

💡 補足

- ・ ゲルの使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

10.22 シリアル番号（機械番号）を確認する

本機のシリアル番号を確認する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈▼〉と  ボタンを同時に押します
[消耗品メニュー] が表示されます。

消耗品メニュー シリアル番号

2.  ボタンを押します。
本機のシリアル番号が表示されます。

シリアル番号 123456

3.  〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリントできます トナー残量 

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

メニューの上下を切り替えるには : <▲>または<▼>ボタン
 メニューを選択、右に進むには : <▶>または<OK>ボタン
 選択を取り消し、左に戻るには : <◀>または<戻る>ボタン
 値を確定するには : <OK>ボタン
 メニューを終了するには : <仕様設定>ボタン
 プリントメニューを始めるには : <プリントメニュー>ボタン
 ⓘの詳しい表示を見るには : <インフォメーション>ボタン

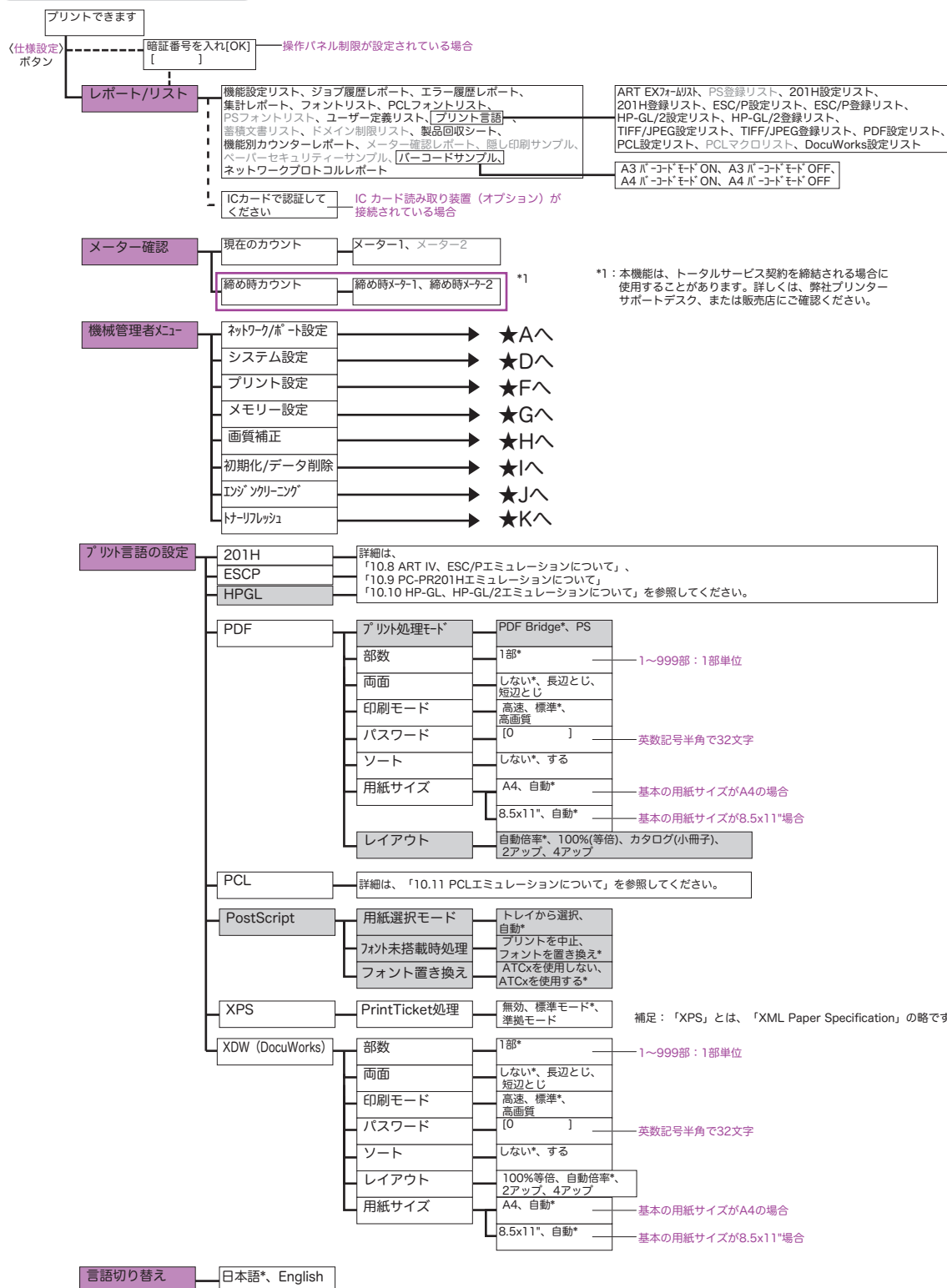
数値や文字の入力のしかた

値を切り替え(増減)は : <▲>または<▼>ボタン
 桁やフィールドの移動は : <▶>または<◀>ボタン
 初期値に戻すには : <▲>と<▼>ボタンを同時に押す

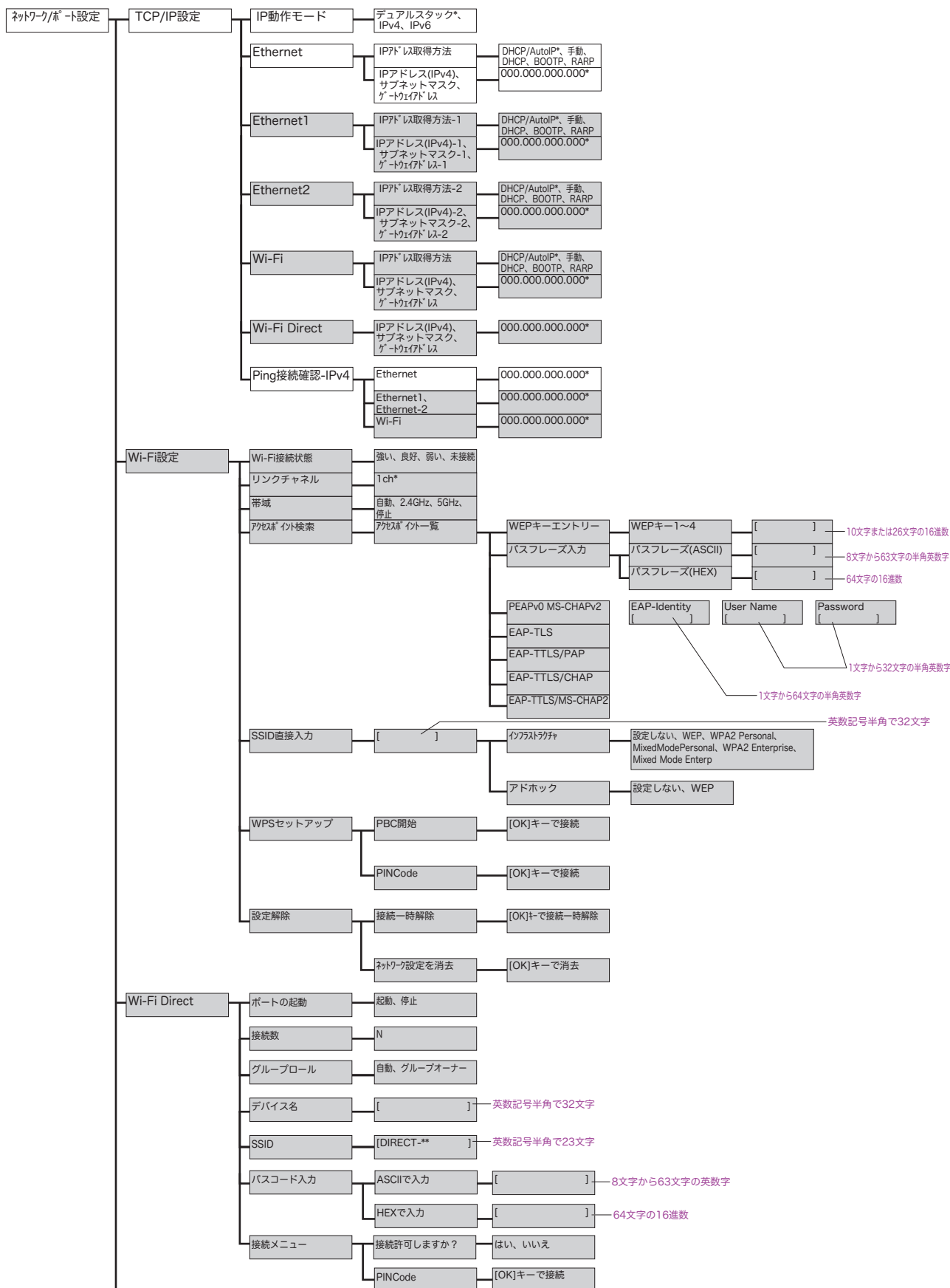
管理者メニューでの表記について

■ : メインメニュー
 ■ : 本機のオプション構成によって、表示/非表示される項目
 * : 初期値

管理者メニュー

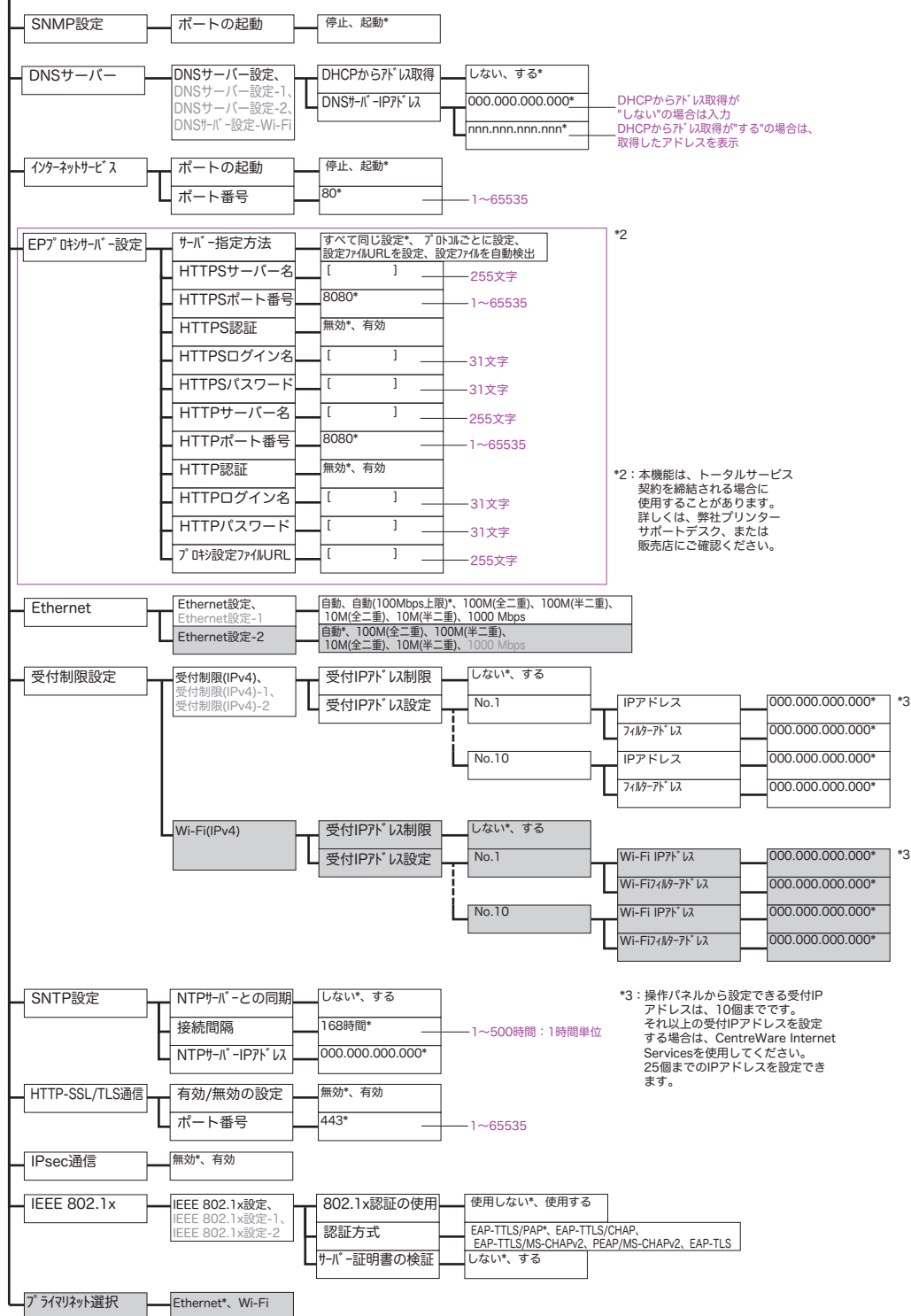


★A

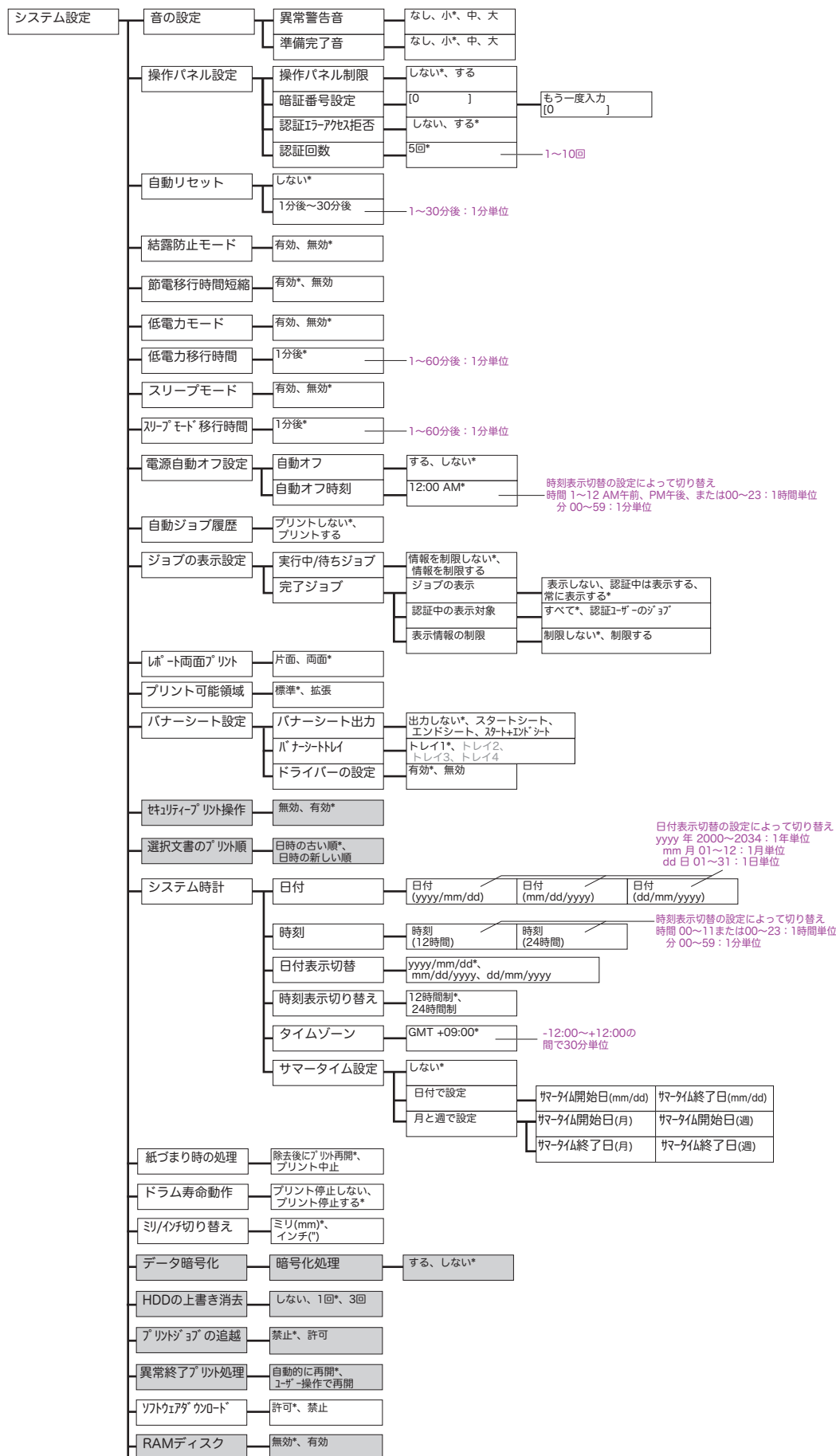


次ページ ★Bへ→

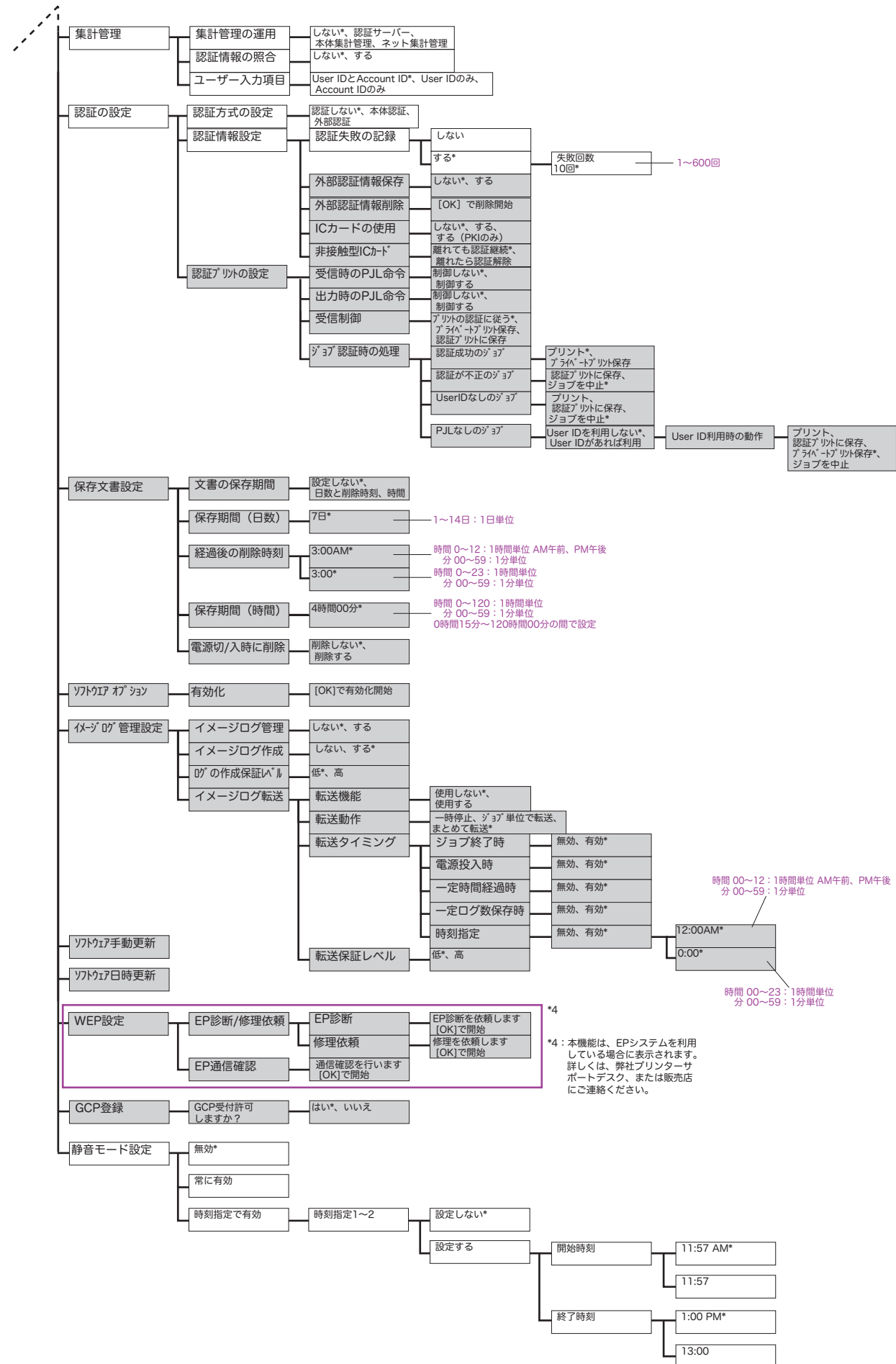
LPD	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	コネクションタイムアウト	16秒* — 2~3600秒：1秒単位
	TBCPフィルター	無効*、有効
	ポート番号	515* — 1~65535
	セッション数	5* — 1~10
	プリント順序	データ処理順*、プリント受け付け順
IPP	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	アクセス権制御	無効*、有効
	DNS使用	無効、有効*
	追加ポート番号	80* — 1~65535
	タイムアウト	60秒* — 0~65535秒：1秒単位
	TBCPフィルター	無効*、有効
Bonjour	ポートの起動	停止、起動*
USB	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	自動排出時間	30秒* — 5~1275秒：5秒単位
	Adobe通信プロトコル	標準*、バイナリー、TBCP、RAW
	PSE印刷待ちタイムアウト	無効*、有効
	ポートの固定	無効*、有効
Port9100	ポートの起動	停止、起動*
	プリントモード指定	自動*、ART EX、PS、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
	PJL	無効、有効*
	コネクションタイムアウト	60秒* — 2~65535秒：1秒単位
	ポート番号	9100* — 1~65535
	TBCPフィルター	無効*、有効
BMLinkS	ポートの起動	停止*、起動
	ポート番号	80* — 1~65535
UPnP	ポートの起動	停止*、起動
	ポート番号	80* — 1~65535
WSD	ポートの起動	停止、起動*
	ポート番号	80* — 1~65535
補足：「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。		
SOAP	ポートの起動	停止、起動*
	ポート番号	80* — 1~65535
ThinPrint	ポートの起動	停止*、起動
	ポート番号	4000* — 1~65535
	SSL/TLS通信	無効*、有効



★D



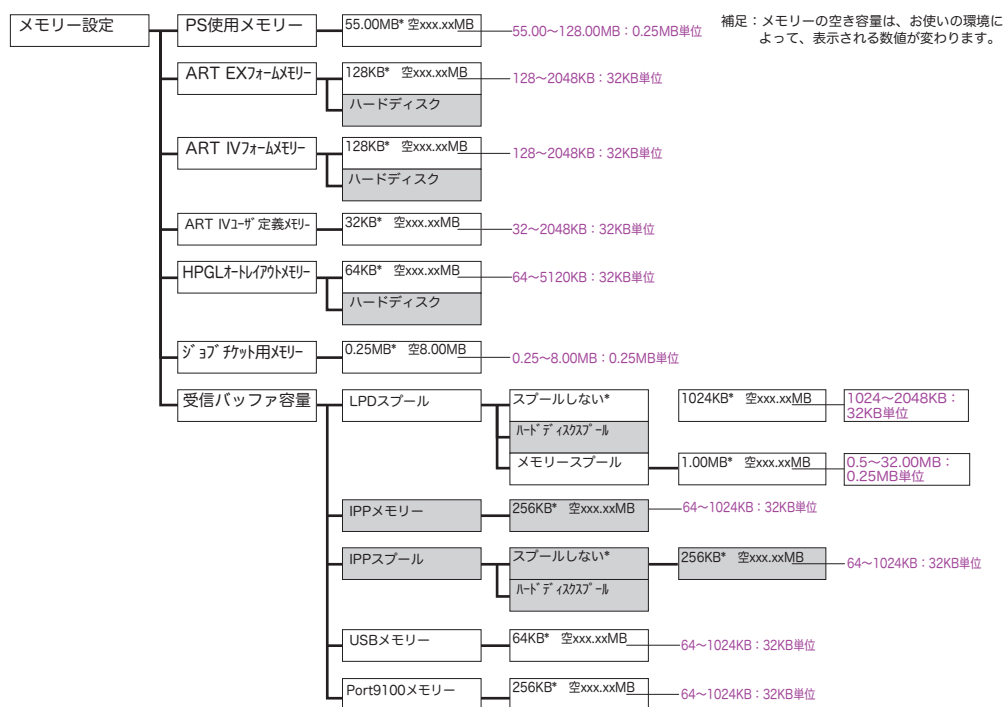
次ページ ★Eへ→



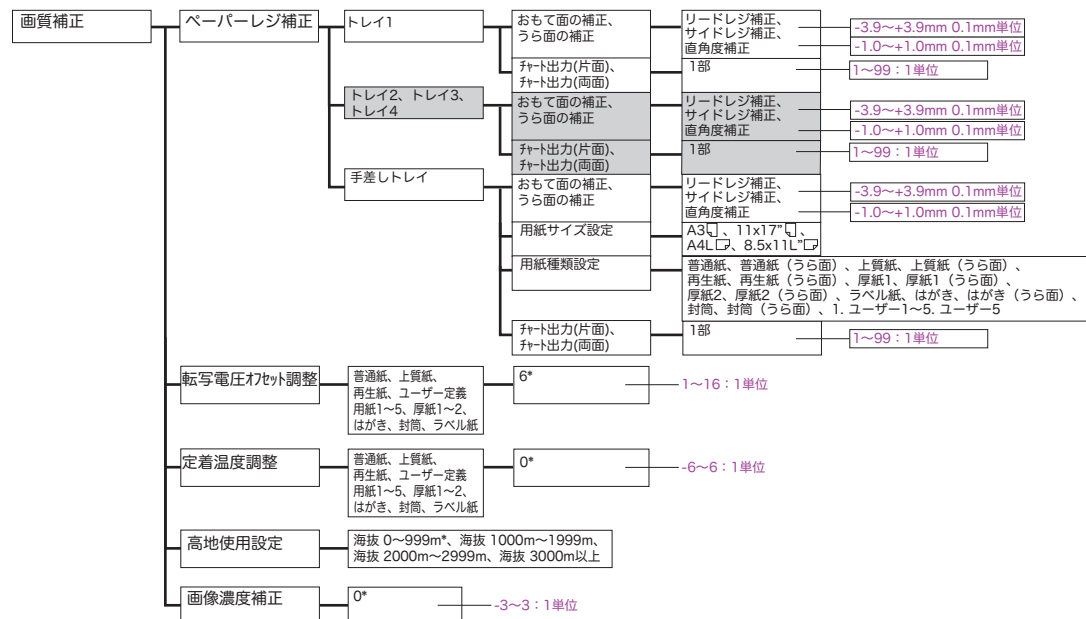
★F

プリント設定	用紙の置き換え	給紙モード	しない*、大きいサイズを選択、 近いサイズを選択、近いサイズ(等倍)、手差しトレイを選択
		ペー折れアウト	標準*、中央
	用紙種類17の処理	設定変更表示、確認画面表示*、 プリントする	
	トレイの用紙種類	トレイ1	普通紙*、再生紙、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル紙、封筒、はがき、1. ユーザー1～5. ユーザー5
		トレイ2～4	普通紙*、再生紙、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル紙、封筒、はがき、1. ユーザー1～5. ユーザー5
		手差しトレイ	普通紙*、普通紙(うら面)、再生紙、再生紙(うら面)、上質紙、 上質紙(うら面)、厚紙1、厚紙1(うら面)、厚紙2、厚紙2(うら面)、 ラベル紙、はがき、はがき(うら面)、封筒、封筒(うら面)、1. ユーザー1～5. ユーザー5
	トレイの用紙色	トレイ1、トレイ2、 トレイ3、トレイ4、 手差しトレイ	白*、青、黄色、緑、ピンク、透明、アイボリー、グレー、 クリーム、山吹色、赤、オレンジ、1. ユーザー1、2. ユーザー2、3. ユーザー3、 4. ユーザー4、5. ユーザー5、その他
	用紙の優先順位	上質紙	8～4番目、3番目*、 2～1番目、設定しない
		普通紙	8～2番目、1番目*、 設定しない
		再生紙	8～3番目、2番目*、 1番目、設定しない
		1. ユーザー1～ 5. ユーザー5	8～1番目、 設定しない*
	トレイの優先順位	トレイ1	1番目*、2～5番目、 自動トレイ切替対象外
		トレイ2	1番目、2番目*、3～5番目、 自動トレイ切替対象外
		トレイ3	1～2番目、3番目*、4～5番目、 自動トレイ切替対象外
		トレイ4	1～3番目、4番目*、5番目、 自動トレイ切替対象外
		手差しトレイ	2～5番目、自動トレイ切替対象外*
	手差し優先	する、しない*	
	トレイの用紙サイズ設定	トレイ1	自動* 定形外
		トレイ2、トレイ3、 トレイ4	自動* 定形外
		手差しトレイ	A3□、A4□、A4*□、A5□、A6□、B4□、B5□、B6□、 7.25×10.5"□、8.5×11"□、8.5×13"□、8.5×14"□、 11×17"□、はがき□、往復はがき□、長形3□、長形4□、 洋長形3□、封筒C5□、洋形3□、角形2□、角形3□、角形6□ 定形外
			たて(Y)方向のサイズ よこ(X)方向のサイズ
			たて(Y)方向のサイズ よこ(X)方向のサイズ
			たて(Y)方向のサイズ よこ(X)方向のサイズ
	用紙の画質処理	普通紙、普通紙(うら面)	A、B*、C、D
		再生紙、再生紙(うら面)	A、B、C*、D
		上質紙、上質紙(うら面)	A*、B、C、D
		ラベル紙	ラベル1*、ラベル2
		1. ユーザー1～5. ユーザー5	A、B*、C、D
	用紙種類名称設定	1. ユーザー1～5. ユーザー5	[ユーザー1]～[ユーザー5]
	用紙色名称設定	1. ユーザー1～5. ユーザー5	[ユーザー1]～[ユーザー5]
	ID印字機能	しない*、左上、右上、左下、右下	
	奇数ページの両面	両面、片面*	
	未登録フォームへ印字	する(データのみ)*、しない	
	基本の用紙サイズ	A4*、8.5×11"	
	OCRフォントのグリフ	バックスラッシュ*、円記号	
	サイズ不一致時の処理	トレイ1	確認画面を表示する*、プリントする
		トレイ2～4	確認画面を表示する*、プリントする
		手差しトレイ	確認画面を表示する*、プリントする
	ダイヤルスイッチ設定	トレイ1	A6□、B6□、7.25×10.5"□、8.5×11"□、8.5×13"□、 8.5×14"□、11×17"□、はがき□、往復はがき□、 長形3□、長形4□、角形2□、角形3□、角形6□、封筒C5□
		トレイ2～4	A6□、B6□、7.25×10.5"□、8.5×11"□、8.5×13"□、 8.5×14"□、11×17"□、はがき□、往復はがき□、 長形3□、長形4□、角形2□、角形3□、角形6□、封筒C5□

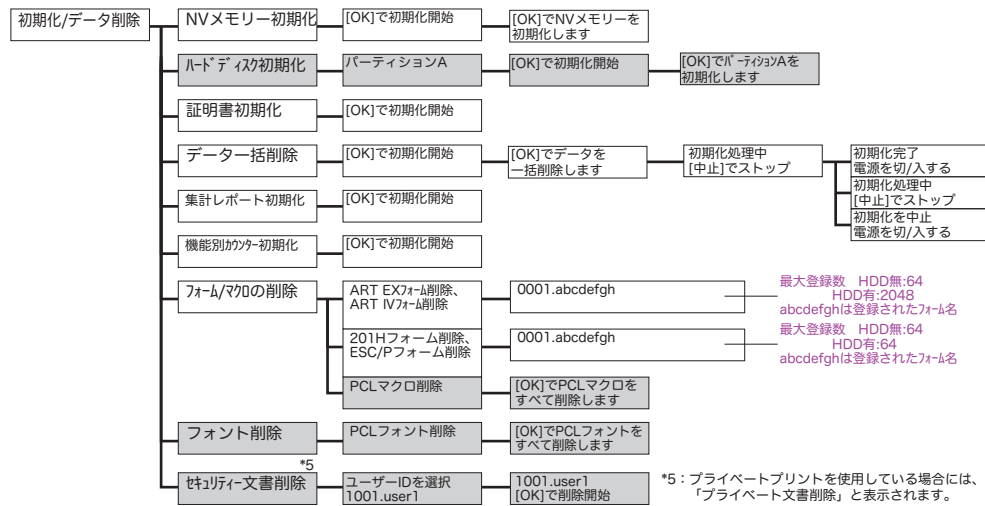
★G



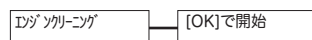
★H



★I



★J



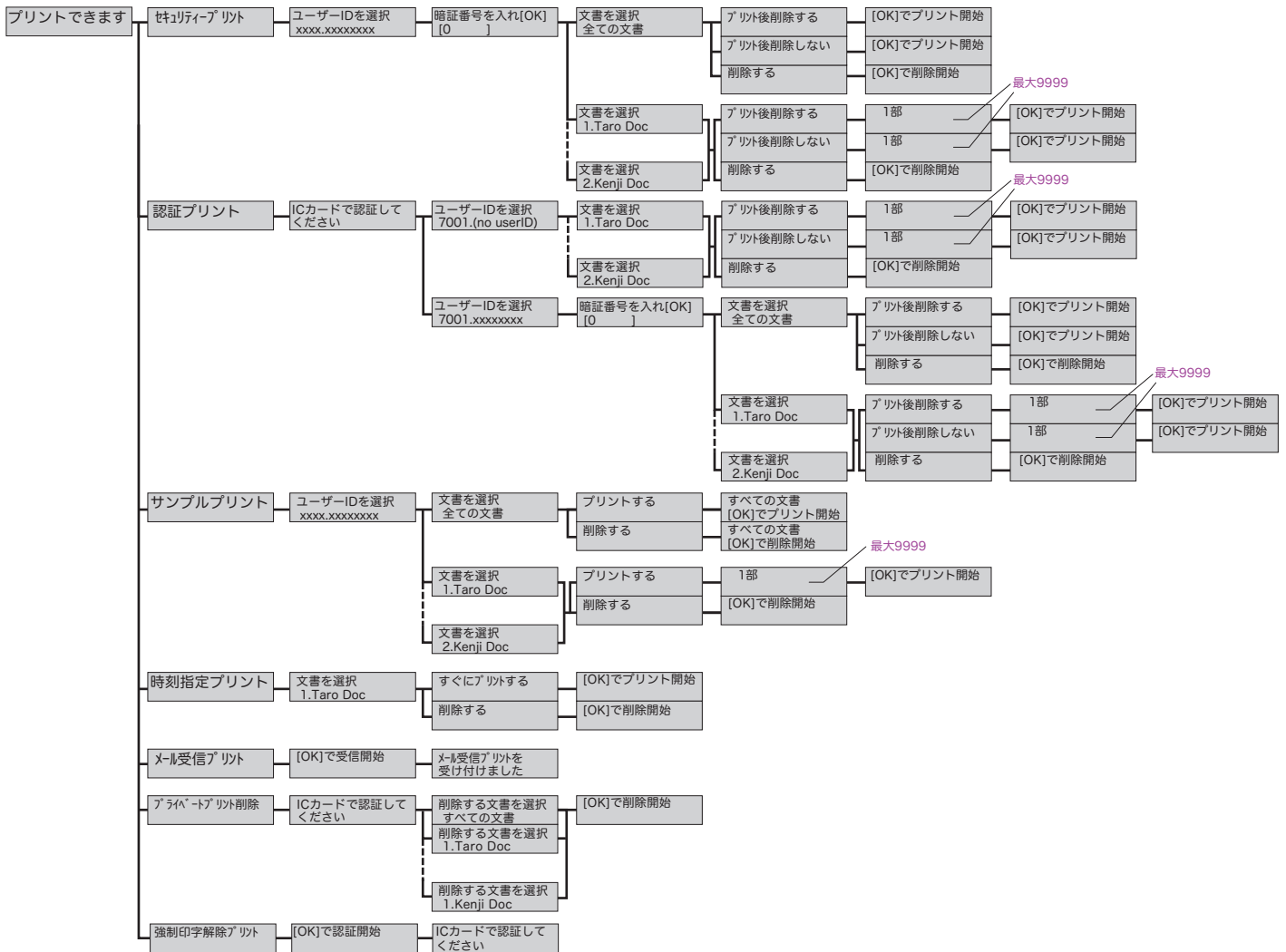
★K



プリントメニュー

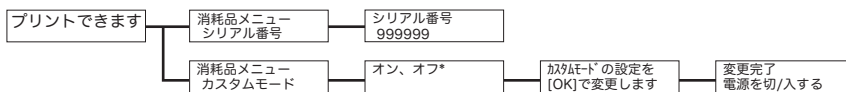
プリントメニューで認証を行った場合、【プリントできます】に戻るまで認証状態が継続されます。

〈プリントメニュー〉ボタン



消耗品メニュー

〈▼〉 + 〈OK〉 ボタン



商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックス株式会社
プリンターサポートデスク
TEL: 0120-66-2209
受付時間 9:00~17:30
(土、日、祝日および弊社指定休業日をのぞく)

FUJI xerox

A-24017F

表面

●保守・操作の問い合わせ (カスタマーコンタクトセンター)
TEL.
FAX.

●用紙・消耗品のご用命 (カスタマーコンタクトセンター)
TEL.

●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機械No.

 **FUJI xerox**

897E 14583

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。
(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フジゼロックス
フリーダイヤル **0120-66-2209** FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、富士ゼロックスお客様相談センターにお問い合わせください。

TEL:0120-27-4100

受付時間:9時から12時、13時から17時

(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

- 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル **0120-27-4100**

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~12時、13時~17時

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 公式サイトで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

<http://www.fujixerox.co.jp>

DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d ユーザーズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2020年1月 第1版

(管理番号: ME8546J1-3)